



Fujioka
General
Hospital
2021

病院年報

公立藤岡総合病院



介護老人保健施設「しらさぎの里」



令和3年度年報発刊に寄せて

病院長 塚田義人

2021年度の公立藤岡総合病院の年報をお届けします。

2020年春から、日本を襲い始めた新型コロナウイルス感染症の影響は今年度も収まる気配がなく、ウイルスは次々と変異を遂げながら、1月、5月-9月、8月、2021年1-3月11月と波状的な流行を見せました。当院も大規模感染症に対応する基幹的施設として多くの感染者を受け入れ続けました。地域包括病床をコロナ病床に全面的に転換することにより、最大38人までの患者受け入れ態勢を整え、ピーク時には連日の入院患者に対応しました。入院患者のスクリーニング検査、発熱者、濃厚接触者外来、感染症にまつわる業務は拡大の一途でありました。また予防策のワクチン接種においても、職員はもとより、外来かかりつけ患者、藤岡市の集団接種、Gメッセの大規模接種においても多くの職種が応援に入りました。近隣でクラスター発生を起こした高齢者施設へのICNの派遣やCMAT出動も頻回にありました。2022年度に入っても、流行はいまだ長期沈静化には至らず油断ができません。職員自身の感染は勤務体制に混乱をきたし、また入院患者のクラスター感染は、病床の機能停止を招く恐れがあるため感染防止には細心の注意が求められています。

こうした非常時においてこそ、職員全員が目目の前の課題解決に意識を集中して協調的な行動を行わなければなりません。幸い当院は感染対策委員会の統制のもと、状況に応じて適切な診療体制を整え、多くの感染者の受け入れつつも、二次感染の発生を極力抑えることができました。

一般診療においても2020年度のコロナパンデミックの混乱が招いた各部署の診療規模縮小が徐々に解消する兆しが見えはじめています。外来患者数は前年より回復し、病床の圧迫で一時期不要不急の手術は延期される事態も解消し、訪問看護や健診事業、老健事業もコロナ対策を講じながら正常化に向かっていきます。

いまだ感染症の流行の収束は見通すことができず、当面对応に翻弄されることになるとは思いますが、今回のコロナ禍は巨視的に眺めればいわば一時的な混乱です。目前の課題に対応しつつも、一方で、当面今後10年から20年後にかけての少子高齢化、人口減少という条件に適合した地域中核病院としての当院のあり方を見極めていく必要があると思います。地域医療構想の視点から、当院の急性期病院としての役割の強化と、回復期病床(48床)、地域包括病床(47床)の現状に応じた至適な運用方法の検討が必要です。

さて、公立藤岡総合病院は1951年に発足し、2021年に満70歳を迎えました。時節柄大げさな祝賀儀式は行えませんが、創立70年の記念誌を準備しています。2002年に外来センターの分離がありました。その後の20年間は、病棟、外来分離状態で悪化した経営の立て直し、病棟移転による再統合を目標にした奮闘の時間でありました。このような曲折を経ながらも、多くの病院職員の努力、そして藤岡多野医療事務市町村組合の関係者のご支援のおかげで、2017年ようやく統合を果たせました。地域のみならず、群馬県内でも存在感を発揮できる病院に成長を遂げたと思います。先人たちの功績を引き継ぎながら、これからも地域の医療を逞しく担っていく存在であり続けたいと思います。

病院事業

【公立藤岡総合病院】

I 病院の現況

1. 病院の概要	1	12. リハビリテーション室	133
2. 組合構成団体の地勢と位置	4	13. 栄養室	135
3. 歴史と沿革	6	14. 人工透析室	135
4. 建物配置図及び面積表	12	15. 患者支援センター	136
5. 建物設備の概要	13	16. 健康管理センター	137
6. 主要医療機器	23	17. 母親学級	137
7. 令和3年度導入医療機器	27	IX 群馬県立赤城特別支援学校	
8. 医療法に関する許可承認事項	28	公立藤岡総合病院内教室	138

II 組織及び職員の現況

1. 組織	31
2. 職員数	32
3. 主要役職員名簿	34
4. 議会	36

III 院内会議及び委員会

1. 会議	37
2. 委員会	37

IV 学会及び研修会

	41
--	----

V 研究業績

1. 論文	46
2. 学会及び研究発表	47
3. 講演	51
4. 講演会・研修会開催実績	54
5. 認定看護師の活動記録	56
6. CPC	73
7. 教育実習生・研修生受入実績	74
8. 医師臨床研修制度	75

VI 購入図書

	86
--	----

VII 経営状況

1. 損益計算書	87
2. 貸借対照表	88
3. 経営分析	89

VIII 業務統計

1. 入院・外来患者の状況	90
2. 診療請求の現況	102
3. 救急患者の状況	105
4. 分娩件数	107
5. 剖検数	107
6. 内視鏡件数	107
7. 循環器科	108
8. 手術件数	108
9. 薬剤部	122
10. 放射線室	125
11. 検査室	129

介護老人保健施設事業

【介護老人保健施設 しらさぎの里】

【訪問看護ステーション はるかぜ】

I 施設の現況

1. 施設の概要	140
2. 歴史と沿革	142

II 職員の現況

1. 職員数	143
2. 主要役職員名簿	143

III 学会及び研修会

	144
--	-----

IV 教育実習生・研修生受入実績

	146
--	-----

V 経営状況

1. 損益計算書	147
2. 貸借対照表	149
3. 経営分析	150

VI 業務統計

1. 介護老人保健施設「しらさぎの里」	151
2. 訪問看護ステーション「はるかぜ」	153

業務概要

1. 診療部	154
2. 薬剤部	171
3. 診療支援部	172
4. 看護部	177
5. 経営管理部	191
6. 研修管理センター	193
7. 安全管理センター	194
8. 患者支援センター	196
9. 緩和ケアセンター	196
10. しらさぎの里管理課	197

病院行事

1. 主な病院行事	198
2. 職員健康管理	199
3. 職員共済行事	199

病 院 事 業

【公立藤岡総合病院】

病院の理念

地域住民から信頼される医療

基本方針

1. 患者さんの権利と意思を尊重し、患者本位の医療を提供します。
2. 地域中核病院として、救急医療、高度専門医療の充実に努めます。
3. 地域の医療・介護・保健機関と密接な連携を行います。
4. 次世代の医療従事者の教育・研修に貢献します。

看護部理念

「患者さんの満足」と「看護者のやりがいの実現」に向けて、人間愛に基づいた専門性の高い看護サービスの提供を目指します。

基本方針

1. 患者さんの命と尊厳を守る心のこもった看護を提供します。
2. 質の高い看護が提供できるよう看護職員の能力開発に努めます。
3. 地域の医療チームと連携し、継続したケアの提供に努めます。

I 病院の現況

1. 病院の概要（令和4年3月31日現在）

名称	公立藤岡総合病院
所在地	群馬県藤岡市中栗須 813 番地 1
電話番号等	TEL : 0274 (22) 3311 (代表) FAX : 0274 (24) 3161 E-mail : somu@fujioka-hosp.or.jp URL : http://www.fujioka-hosp.or.jp
開設者	多野藤岡医療事務市町村組合 管理者 新井 雅博
構成市町村	藤岡市、上野村、神流町、高崎市
病院長	塚田 義人
病床数	399床（一般395床、感染症4床）
診療科目	内科、精神科、神経内科、消化器内科、循環器内科、呼吸器内科、血液内科、腎臓内科、アレルギー科、リウマチ科、小児科、外科、整形外科、脳神経外科、歯科口腔外科、形成外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線診断科、放射線治療科、麻酔科、病理診断科、救急科（27科）
施設	敷地面積 40,807.91 m ² ・職員駐車場面積 16,478 m ² 延床面積 34,275.33 m ² 構造 鉄骨・鉄筋コンクリート造 規模 地上7階、入院棟、放射線棟、接続棟、外来棟 附帯施設 駐車場 約1,000台（患者用 約300台） 訪問看護ステーション「はるかぜ」 群馬県立赤城養護学校公立藤岡総合病院分教室 院内保育所
診療指定	保険医療機関、国保療養取扱機関、労災保険、結核指定医療機関、生活保護法、指定自立支援医療機関（更生医療・育成医療・精神通院）、養育医療、救急医療告示病院、母体保護法指定医、肝疾患専門医療機関、特定医療費（指定難病）指定医療機関、小児慢性特定疾病指定医療機関、原爆被害者一般疾病医療機関、地域災害拠点病院、第二種感染症指定病院、群馬県エイズ診療協力病院、群馬県地域周産期母子医療センター、臨床研修指定病院、地域がん診療連携拠点病院、地域医療支援病院、開放型病院、DPC対象病院、病院機能評価認定、卒後臨床研修機能評価機構認定、人間ドック・健診施設機能評価認定
施設基準	【基本診療料】 歯科点数表の初診料の注1に規定する施設基準 急性期一般入院料1 超急性期脳卒中加算 急性期看護補助体制加算(25対1)看護補助5割未満 看護職員夜間配置加算(16対1配置加算1) 重症者等療養環境特別加算 無菌治療室管理加算2 医療安全対策加算1 感染防止対策加算1 抗菌薬適正使用加算 ハイリスク妊娠管理加算 総合評価加算 病棟薬剤業務実施加算1 入院時支援加算1 入院時支援加算 せん妄ハイリスク患者ケア加算 小児入院医療管理料4 地域包括ケア病棟入院料2 【特掲診療料】 歯科疾患管理料の注11に規定する総合医療管理加算及び歯科治療時医療管理料 外来栄養食事指導料 がん性疼痛緩和指導管理料 がん患者指導管理料ロ がん患者指導管理料ニ 小児運動器疾患指導管理料 腎代替療法指導管理料 夜間休日救急搬送医学管理料の注3に規定する救急搬送看護体制加算1 外来放射線照射診療料 歯科外来診療環境体制加算1 救急医療管理加算 診療録管理体制加算2 医師事務作業補助体制加算2(40対1) 療養環境加算 無菌治療室管理加算1 栄養サポートチーム加算 医療安全対策地域連携加算1 感染防止対策地域連携加算 患者サポート体制充実加算 ハイリスク分娩管理加算 後発医薬品使用体制加算1 データ提出加算2 地域連携診療計画加算 認知症ケア加算2 地域医療体制確保加算 回復期リハビリテーション病棟入院料1 看護職員配置加算 糖尿病合併症管理料 がん患者指導管理料イ がん患者指導管理料ハ 糖尿病透析予防指導管理料 乳腺重症化予防ケア・指導料 小児科外来診療料 開放型病院共同指導料

がん治療連携計画策定料	薬剤管理指導料
医療機器安全管理料 1	医療機器安全管理料 2
医療機器安全管理料 (歯科)	
在宅患者訪問看護・指導料及び同一建物居住者訪問看護・指導料の注 2	
持続血糖測定器加算及び皮下連続式グルコース測定	
持続血糖測定器加算 (間歇注入シリンジポンプと連動しない持続血糖測定器を用いる場合)	
遺伝学的検査	骨髄微小残存病変量測定
BRCA1/2 遺伝子検査	HPV 核酸検出 (簡易ジェノタイプ判定)
検体検査管理加算 (I)	検体検査管理加算 (IV)
時間内歩行試験及びシャトルウォーキングテスト	長期継続頭蓋内脳波検査
神経学的検査	小児食物アレルギー負荷検査
ポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影	CT 撮影及び MRI 撮影
外来化学療法加算 1	連携充実加算
遠隔モニタリング加算	先天性代謝異常症検査
無菌製剤処理料	
心大血管疾患リハビリテーション料 (I)	脳血管疾患等リハビリテーション料 (I)
運動器リハビリテーション料 (I)	呼吸器リハビリテーション料 (I)
がん患者リハビリテーション料	歯科口腔リハビリテーション料 2
人工腎臓 (慢性維持透析を行った場合 1)	導入期加算 2 及び腎代替療法実績加算
透析液水質確保加算及び慢性維持透析濾過加算	下肢末梢動脈疾患指導管理加算
手術用顕微鏡加算	CAD/CAM 冠
脳刺激装置植込術 (頭蓋内電極植込術を含む。) 及び脳刺激装置交換術	
脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術	
乳がんセンチネルリンパ節加算 1 及びセンチネルリンパ節生検 (併用)	
経皮的冠動脈形成術 (特殊カテーテルによるもの)	
ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術	
大動脈バルーンパンピング法 (IABP 法)	
体外衝撃波腎・尿管結石破碎術	腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術
医科点数表第 2 章第 10 部手術の通則の 16 に掲げる手術	
輸血管理料 II	輸血適正使用加算
人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算	胃瘦造設時嚥下機能評価加算
広範囲顎骨支持型装置埋入手術	歯根端切除手術の注 3
麻酔管理料 (I)	放射線治療専任加算
外来放射線治療加算	高エネルギー放射線治療
1 回線量増加加算 (全乳房照射)	画像誘導放射線治療加算 (IGRT)
体外照射呼吸性移動対策加算	定位放射線治療
クラウン・ブリッジ維持管理料	
【入院時食事療養費】	
入院時食事療養費 (I)	
【保険外併用療養費】	
入院医療に係る特別の療養環境の提供	時間外診察
200 床以上の病院の初診	201 床以上の病院の再診
入院期間 180 日を超える入院	金属床による総義歯の提供

教育指定	日本内科学会認定医制度教育関連病院
	日本呼吸器学会認定施設
	日本呼吸器内視鏡学会専門医制度認定施設
	日本腎臓学会研修施設
	日本透析医学会専門医制度認定施設
	日本血液学会血液研修施設
	日本循環器学会認定循環器専門医研修施設
	日本心血管インターベンション治療学会認定研修関連施設
	日本静脈経腸栄養学会 NST (栄養サポートチーム) 稼働施設
	日本静脈経腸栄養学会 NST (栄養サポートチーム) 専門療法士実地修練施設
	日本栄養療法推進協議会 NST (栄養サポートチーム) 稼働施設
	日本外科学会外科専門医制度修練施設
	日本呼吸器外科学会専門医合同委員会専門研修連携施設
	日本消化器外科学会専門医制度専門医修練施設
	日本乳癌学会認定医・専門医制度関連施設
	日本消化器病学会専門医制度認定施設
	日本消化器内視鏡学会専門医制度指導施設
	日本がん治療認定医機構認定研修施設

日本臨床腫瘍学会認定研修施設（特別連携施設）
 日本緩和医療学会認定研修施設
 日本整形外科学会専門医制度研修施設
 日本リウマチ学会教育施設
 日本脳神経外科学会専門医認定制度指定訓練場所
 日本脳卒中学会認定研修教育病院
 日本脳神経血管内治療学会研修施設
 日本泌尿器科学会専門医教育施設
 日本産科婦人科学会専門医制度専攻医指導施設
 日本麻酔科学会麻酔科認定病院
 日本病理学会研修協力施設
 日本手外科学会基幹研修施設
 日本気管食道科学会研修施設
 日本小児科学会小児科専門医研修施設
 日本医学放射線学会放射線科専門医修練機関
 日本リハビリテーション医学会研修施設
 日本人間ドック学会研修施設
 日本口腔外科学会認定准研修施設

人間ドック	日本人間ドック学会研修施設 日本病院会指定、人間ドック・健診施設機能評価認定	日本病態栄養学会認定病態栄養専門医研修認定施設
人工透析室	ベッド数 29 床	
救急体制	救急処置室、救急指定、病院群輪番制（二次救急）	
ガン検診治療施設	リニアック、シンチレーションカメラ、循環器撮影装置、全身用 CT、MRI、PET - CT	
リハビリテーション施設	運動療法室、作業療法室、言語聴覚療法室、水治療室	
未熟児施設	ベッド数 4 床、経皮酸素分圧測定装置、レスピレーター、ECG モニター、光線治療ユニット、エアオキシゲンブレンダー、保育器	
病理解剖施設	病理検査室、解剖室、固定標本室	

2. 組合構成団体の地勢と位置

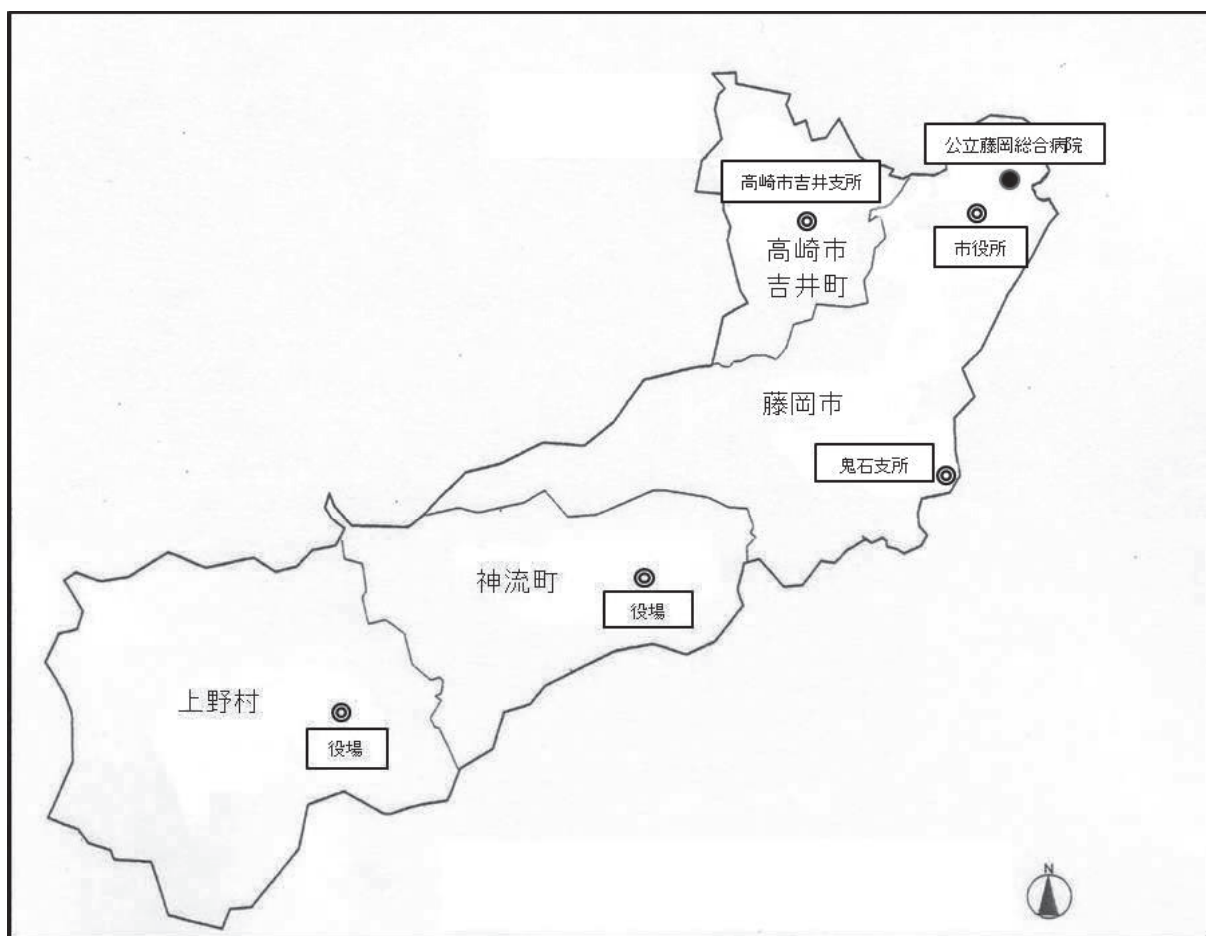
当組合構成市町村は、関東地方の北西部、群馬県の南西部に位置し、地形は東西 52.0km、南北 12.5km、総面積 482.54 km² で群馬県面積の 7.6%を占める。藤岡市を中心に上野村、神流町、高崎市（吉井区域）の 2市1町1村から構成されている。

高崎市の吉井区域について、平成 21 年 6 月 1 日に吉井町は高崎市と合併したが、配置分合により、吉井町が組合を脱退し、吉井区域について高崎市が組合に加入となる。

東南部は神流川を隔てて埼玉県に、西は富岡市及び甘楽郡、北は烏川を隔てて高崎市及び佐波郡玉村町に境界を接している。

南西部は関東山地の秩父荒船連山に囲まれ、中央部は御荷鉢、赤久縄連山で分断され、東北部を除き大部分が山岳地帯であり、西から東へと流れる神流川の上流域は首都圏の水源にもなっていて、山・川等の美しく豊かな自然に恵まれている。中世には関東管領上杉憲実公の城下町として繁栄した歴史を残しながら、関越自動車道と上信越自動車道の分岐点として発展し、群馬県の表玄関となっている。

当病院は、この圏域の東北部の位置にあり、JR 八高線北藤岡駅の南 2km、上信越自動車道藤岡 IC 南東 1km に位置している。

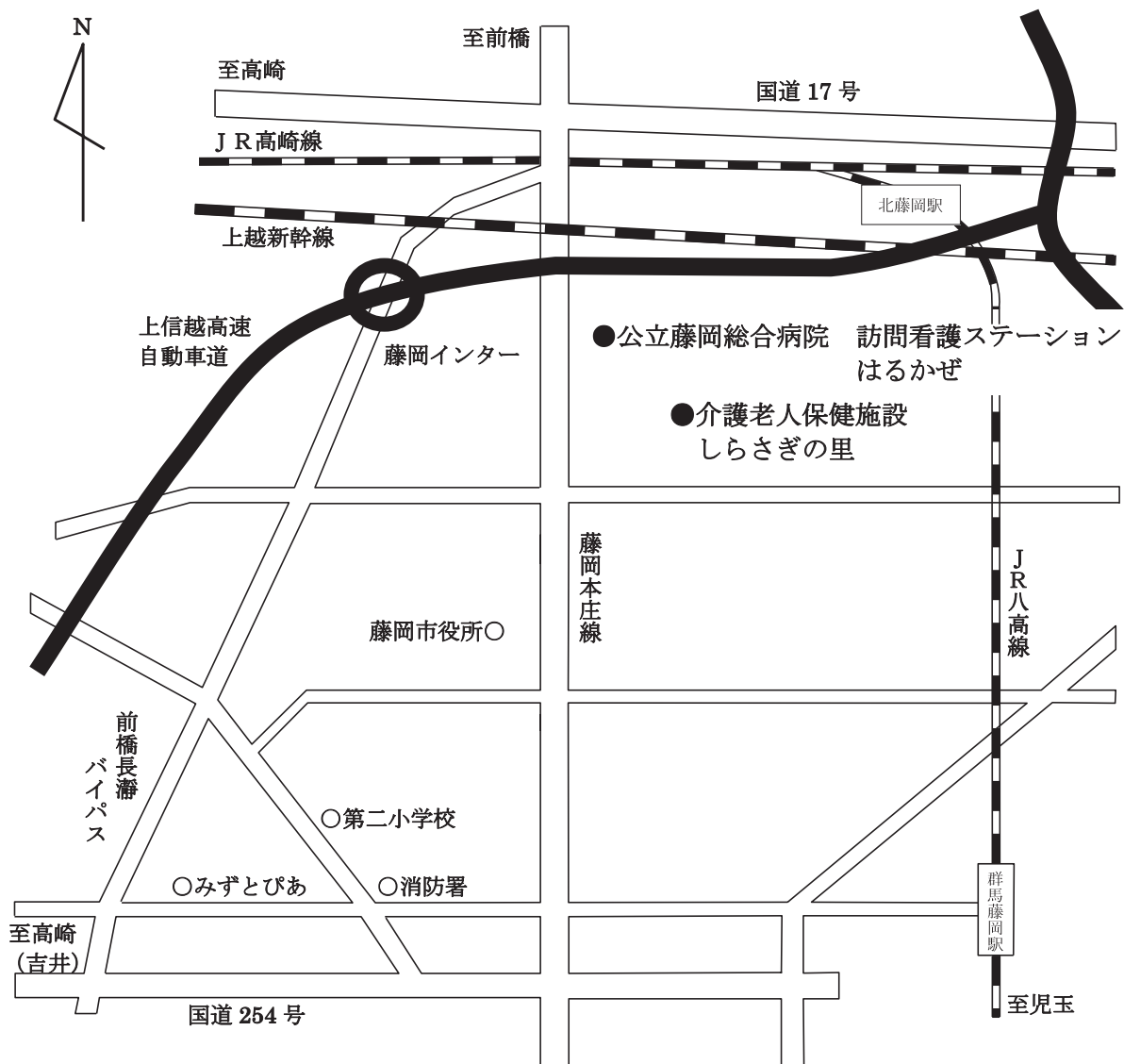


【交通のご案内】

JR 八高線 北藤岡駅から徒歩 25 分

JR 高崎線 新町駅から車で 10 分

上信越自動車道 藤岡 IC から車で 3 分



3. 歴史と沿革

昭和25年12月5日	多野郡藤岡町外16ヶ町村多野医療事務町村組合を設立 藤岡町、神流村、新町、小野村、八幡村、美土里村、平井村、美九里村、吉井町、多胡村、日野村、入野村、三波川村、美原村、万場町、中里村、上野村
昭和26年3月31日	病院建築工事着工（木造2階建）
4月10日	病院開設許可（42床 群馬県指令第363号）（一般25床 結核17床）
11月15日	病院開院 初代病院長 森 鉄太郎
11月17日	結核予防法による医療機関指定
19日	保険医指定
27日	病院使用許可（30床）（内科、外科、産婦人科）
昭和27年9月30日	病院使用許可（51床）（一般28床 結核23床）
昭和28年1月22日	病院開設許可事項一部変更許可（一般8床増床）
5月11日	第二代病院長 中川 恭一
6月 1日	生活保護法による医療機関指定
10日	病院施設増築許可
23日	病院使用許可（59床）（一般36床、結核23床）
7月15日	小児科、整形外科開設
10月15日	放射線科開設
昭和29年4月23日	病院開設許可事項一部変更許可（結核30床増床）
7月19日	病院使用許可（89床）（一般36床、結核53床）
10月15日	労災保険指定病院指定
昭和30年4月1日	第三代病院長 藤多 喜一
9月23日	多野藤岡医療事務市町村組合と改称 （藤岡市、新町、鬼石町、吉井町、万場町、中里村、上野村）
12月26日	医師住宅建築（木造平屋建、49.5㎡） 医師住宅建築（木造平屋建、39.6㎡）
昭和32年12月9日	病院開設許可事項一部変更許可（一般44床増床）
昭和33年3月31日	病院増築工事竣工
5月8日	病院使用許可（133床）（一般80床、結核53床） 耳鼻咽喉科開設
10月1日	基準給食実施承認
昭和35年10月1日	多野藤岡伝染病予防事務市町村組合設立許可
昭和36年6月14日	伝染病棟開設許可
24日	伝染病棟使用許可（35床）
昭和40年7月29日	病院開設許可事項一部変更許可（寝具、消毒室、リネン室）
8月16日	病院使用許可（寝具、消毒室、リネン室）
昭和43年4月1日	地方公営企業法適用
昭和44年2月14日	救急医療告示病院認定
昭和45年6月4日	病院開設許可事項一部変更許可（全面増改築）
9月28日	病院増改築工事着工
昭和46年9月30日	病院増改築工事竣工 鉄筋コンクリート造、地下1階、地上5階、塔屋2階 7,540.68㎡
10月8日	病院使用許可（213床）（一般180床、結核33床、伝染35床） 眼科、脳神経外科開設
20日	新病棟へ移転開始
昭和48年11月1日	総合病院名称使用承認 （内科、外科、小児科、整形外科、産婦人科、耳鼻咽喉科、脳神経外科、眼科、放射線科）
昭和49年3月31日	多野藤岡伝染病予防事務組合の解散
4月1日	多野藤岡医療事務市町村組合伝染病隔離病舎設立
8月1日	基準看護変更実施承認（一般、特Ⅰ類）
昭和51年9月1日	基準看護変更実施承認（一般、特Ⅱ類 結核、Ⅲ類）
昭和53年3月27日	医師住宅建築（木造平屋建、69.56㎡ 2棟）
昭和55年4月1日	第四代病院長 大野 治俊
11月22日	医事課電算機導入
29日	書類倉庫建築（プレハブ 49.5㎡）
昭和56年11月1日	重症者看護及び重症者の収容基準の実施承認（8床）

昭和57年3月10日	全身用CT導入 (CT-W3-10形)
31日	医師住宅建築 (木造2階建、112㎡) 看護婦寮竣工 (鉄筋コンクリート造、地上3階、1,061.2㎡) (36人収容) カルテ倉庫建築 (ブロック造)
昭和59年11月20日	病院開設許可事項一部変更許可 (増改築)
24日	病院増改築工事起工式
昭和60年4月10日	群馬県立西毛養護学校多野総合病院分教室開校
18日	中国陝西省衛生友好団来院
8月2日	病院開設許可事項一部変更許可 (伝染病棟病床数変更、中央診療棟増築工事)
13日	日航ジャンボ機墜落事故生存者収容 (落合由美、川上慶子、吉崎博子、吉崎美紀子)
14日	日航ジャンボ機墜落事故犠牲者遺体確認レントゲン撮影 ~9月26日
16日	日航ジャンボ機墜落事故犠牲者遺体確認派遣 (医師1名、看護婦20名)
9月7日	日航ジャンボ機墜落事故犠牲者遺体確認派遣 (看護婦13名)
9月7日	中国研修医来院 (陳 君三、白 本寛) (6ヶ月間)
11月12日	日航ジャンボ機墜落事故犠牲者部分遺体確認レントゲン撮影 ~11月23日
12月18日	病院使用許可 (中央診療棟、新設病棟)
23日	病院開設許可事項一部変更許可 (旧病棟改修)
昭和61年6月14日	病院使用許可 (旧病棟)
30日	病院増改築工事竣工 (413床) (一般370床、結核33床、伝染10床) 病棟管理棟16,406.7㎡、中央診療棟2,495.0㎡、伝染病棟500.0㎡
7月9日	病院使用許可 (運動療法室、救急処置室、外来診療)
9月1日	運動療法の施設基準実施承認
10月6日	理学診療科開設
11月10日	病院開設許可事項一部変更許可 (麻酔科開設、麻酔科外来) 中国陝西省衛生友好団来院
12月16日	病院使用許可 (麻酔科外来)
昭和62年1月1日	重傷者看護及び重傷者の収容基準の実施承認 (20床)
1月29日	短期人間ドック施設認定 (日本病院会)
3月1日	多野総合病院院内保育所開所
6月5日	泌尿器科開設
11日	病院使用許可 (泌尿器科外来)
19日	会計検査院実地検査
9月3日	中国研修医来院 (夏 中洵、顧 暁紅) (3ヶ月間)
昭和63年6月20日	全身用CT更新 (QUANTEX-RX形)
8月1日	ミキシング業務開始 (外科病棟)
9月22日	患者専用駐車場用地取得 (1,059.44㎡)
平成元年7月25日	駐車場造成舗装工事
平成2年3月20日	人間ドック室改修工事竣工 (8床 281.9㎡)
30日	病院使用許可 (人間ドック室)
平成3年8月20日	病院開設許可事項一部変更許可 (放射線棟増築工事)
平成4年1月10日	放射性同位元素等使用許可
3月10日	放射線棟竣工 (鉄筋コンクリート造地下1階、地上2階、457.98㎡) 放射線治療システム (ライナック) ・シンチカメラ ・循環器X線撮影装置導入
平成4年4月1日	第五代病院長 小栗 政夫
7日	精神・神経科開設
4月30日	高周波利用設備許可
5月6日	施設検査合格証 (放射線棟)
11日	病院施設使用許可 (放射線棟)
18日	労働者災害保証保険外科後処置実施医療機関指定
9月4日	理学療法等の施設基準実施承認 (作業療法Ⅱ)
12月25日	病院施設使用許可 (皮膚科外来)
平成5年1月6日	皮膚科開設
4月1日	週休2日制 (週40時間勤務) 実施
5月16日	病院開設許可事項一部変更許可 (一般11床増床)
31日	病院使用許可 (424床) (一般381床、結核33床、伝染10床)
平成7年5月2日	病院開設許可事項一部変更許可 (MRI棟増築工事)
平成8年2月5日	病院施設使用許可 (MRI棟2階部分)
2月24日	病院施設使用許可 (MRI棟)

7月1日	循環器科開設
平成9年3月27日	災害拠点病院指定（地域災害医療センター）
31日	鬼石町脱退（藤岡市、新町、吉井町、万場町、中里村、上野村）
4月1日	組合規約変更許可 名称変更 公立藤岡総合病院・議員定数変更（20名）
7月1日	組合立老人保健施設「しらさぎの里」開設 入所定員80名（一般棟40名、痴呆専門棟40名）、通所定員40名 病院施設使用許可（414床）（一般371床、結核33床、伝染10床）
8月1日	老人保健施設「しらさぎの里」に老人訪問看護ステーション開設
11月7日	高周波利用設備許可
平成10年2月12日	身体障害者福祉法指定医指定
9月29日	病院開設許可事項一部変更許可（結核33床の廃止、療養型病床群58床の開設）
30日	病院施設使用許可（381床）（一般313床、療養58床、伝染10床）
10月22日	病院開設許可事項一部変更許可（事務棟336.73㎡）
7日	病院開設許可事項一部変更許可（一般43床増床）
24日	病院施設使用許可（424床）（一般356床、療養58床、伝染10床）
平成11年2月1日	救急医療告示病院認定
4月1日	病院開設事項一部変更（伝染病床10床廃止、感染症病床4床に変更） 組合規約変更許可（伝染病隔離病舎事業廃止、議員定数変更（21名）） 病院施設使用許可（418床）（一般356床、療養58床、感染症4床）
7月8日	伝染病隔離病舎用途変更（取得財産処分行為）
平成12年1月14日	組合規約変更許可（公立藤岡総合病院附属外来センター設置）
2月23日	病院開設許可事項一部変更許可（一般10床増床） 精神・神経科の名称を精神科に変更
3月29日	病院施設使用許可（428床）（一般366床、療養58床、感染症4床）
4月1日	組合規約変更許可 （名称変更 組合立介護老人保健施設・組合立訪問看護ステーション）
12月27日	開設許可（群馬県指令 医第221号）
4月1日	労災保険二次健診等給付医療機関指定
5月17日	自治体立優良病院・両会長表彰受賞
8月14日	病院開設許可事項一部変更許可（消化器科開設）
平成14年4月1日	第六代病院長 鈴木 忠
5月21日	病院開設許可事項一部変更許可（西病棟改修）
7月26日	病院開設許可事項一部変更許可（療養病床58床廃止）
3月7日	病院開設許可事項一部変更許可（395床）（一般391床、感染症4床） （神経内科開設）
11日	病院施設使用許可（395床）（一般391床、感染症4床）
4月1日	万場町と中里村が合併し、神流町となる （藤岡市、新町、吉井町、上野村、神流町）
	院内保育所閉所
平成16年3月31日	臨床研修病院指定（厚生労働省発医政第0331050号）
6月15日	手術棟増改築工事着工
7月29日	病院開設許可事項一部変更許可 手術棟（3階建）増設
10月1日	管理型臨床研修病院指定（医政発第1021001号－145）
平成17年1月28日	病院施設使用許可 手術棟（3階建）増設
3月27日	病院機能評価訪問審査
28日	手術棟増改築工事竣工（地上3階）
6月1日	群馬県地域周産期母子医療センター指定（保予第261－2号）
20日	病院機能評価認定（JC571号 審査体制区分3Ver. 4.0） 認定期間：平成17年6月20日～平成22年6月19日
平成18年1月23日	新町脱退 （藤岡市、吉井町、上野村、神流町）
2月24日	議員定数変更（19名）
4月1日	地域医療支援病院名称使用承認（群馬県指令医第166－1号） DPC（診断群分類別包括評価）準備病院
平成19年1月31日	地域がん診療連携拠点病院指定（厚生労働省発健第0131004号）
9月1日	病院敷地内全面禁煙開始
19日	体外式衝撃波結石破碎装置更新

平成20年3月28日	救急医療告示医療機関認定（群馬県指令医第128-7号）
	認定期間：平成20年2月1日～平成23年1月31日
3月28日	放射線治療装置更新（医療用リニアック）
4月1日	リウマチ科開設 給食調理業務を委託業者に変更
6月30日	医療情報システム更新（医事会計システム・健診システム）
7月1日	DPC（診断群分類別包括評価）対象病院 → DPC請求開始
平成21年1月31日	熱源設備機器更新（ボイラー）
3月19日	公立藤岡総合病院改革プラン策定
4月1日	病院開設届出許可事項等一部変更届（診療科目） 消化器科→消化器内科、循環器科→循環器内科、呼吸器内科、血液内科、腎臓内科を追加
5月11日	被爆者指定医療機関指定（関厚発第0511054号）
21日	吉井町の配置分合による多野藤岡医療事務市町村組合規約変更許可 （群馬県指令市第30033-6号）
5月31日	新医療情報システム更新（オーダーリングシステム）
6月1日	吉井町が高崎市と合併 配置分合により、吉井町が組合を脱退し、吉井区域について高崎市が組合に加入となる。 （藤岡市、上野村、神流町、高崎市）
平成22年3月14日	病院機能評価Ver. 6.0訪問審査（3月14日～16日）
6月20日	病院機能評価認定（第JC571-2号 審査体制区分3 Ver. 6.0） 認定期間：平成22年6月20日～平成27年6月19日
平成23年1月14日	救急医療告示病院認定（群馬県医第128-21号） 認定期間：平成23年2月1日～平成26年1月31日
3月8日	循環器撮影装置更新
5月2日	保険医療機関指定（更新）（関厚発第19号） 指定期間：平成23年5月1日～平成29年4月30日
11月7日	磁気共鳴断層撮影装置（MRI）更新
8日	高周波利用設備変更許可（関東総合通信局）
21日	電子カルテシステム稼働
平成24年10月1日	第2次公立藤岡総合病院改革プラン策定
平成26年1月21日	救急医療告示病院認定（更新）（群馬県医第128-5号） 認定期間：平成26年2月1日～平成29年1月31日
4月1日	第七代病院長 石崎 政利
9月1日	中国研修医来院（程 卫、刘 仕琪）（3ヶ月間）
30日	病院開設許可事項一部変更許可（群馬県指令医第166-76号） 西棟1階、X線撮影室に係る一部用途変更（X線撮影室（4））
12月2日	病院開設許可事項一部変更許可（群馬県指令医第166-101号） 西棟1階、X線撮影室に係る一部用途変更（X線撮影室（3）→医療機器倉庫）
平成27年3月26日	病院開設許可事項一部変更許可（群馬県指令医第166-144号） MRI棟1階、CT撮影室に係る一部用途変更（CT撮影室2→画像診断室）
平成27年4月1日	臨床研修評価機構認定（新規認定） 認定期間：平成27年4月1日～平成31年4月1日 病院内保育所開設
6月5日	病院機能評価認定（機能種別版評価項目3rdG（Ver. 1.0）一般病院2） 認定期間：平成27年6月20日～平成31年6月19日
8月1日	病院開設届出許可事項等一部変更届（診療科目） 放射線科廃止、放射線診断科・放射線治療科・病理診断科を新設
11月1日	地域包括ケア病棟開設 東棟6階（39床）
平成28年2月1日	新入院棟建設工事着工
28日	公立藤岡総合病院 新入院棟建設・附属外来センター改修工事 起工式
4月1日	病院開設届出許可事項等一部変更届（診療科目） 救急科を新設
10月11日	電子カルテシステム更新
平成29年1月5日	新公立藤岡総合病院改革プラン策定
2月1日	救急医療告示病院認定（更新）（群馬県医第128-24号） 認定期間：平成29年2月1日～平成32年1月31日
9月30日	公立藤岡総合病院 新入院棟 竣工

10月20日	新公立藤岡総合病院 開設許可 (群馬県指令医第166-44号) 病床数 一般病床410床 (DPC対応295床、包括ケア47床、回復期リハ48床、人間ドック20床)、感染症病床4床 合計414床 診療科目 内科、精神科、神経内科、消化器内科、循環器内科、呼吸器内科、血液内科、腎臓内科、アレルギー科、リウマチ科、小児科、外科、整形外科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線診断科、放射線治療科、麻酔科、病理診断科、救急科、歯科口腔外科、形成外科(27科)
11月1日	旧病院から新病院へ移転 新公立藤岡総合病院 開院 陽電子放出断層撮影装置 (PET-CT) 導入
12月1日	保険医療機関指定 (関厚発第105号) 指定期間: 平成29年11月1日～平成35年10月31日
28日	公立藤岡総合病院 旧附属外来センター改修工事 竣工
平成30年3月27日	病院開設許可事項一部変更許可 (一般病床15床廃止)
平成30年4月1日	病床数変更 一般病床395床 (DPC対応295床、包括ケア47床、回復期リハ48床、人間ドック5床)、感染症病床4床 合計399床 歯科口腔外科外来開設 形成外科外来開設
平成30年8月31日	職員駐車場整備工事 竣工
平成31年4月1日	第八代病院長 塚田 義人 臨床研修評価機構認定 (更新、エクセレント賞) 認定期間: 平成31年4月1日～令和3年3月31日
令和元年10月1日	16列マルチスライスCT搭載型SPECT装置 (SPECT-CT) 更新
令和2年2月1日	救急医療告示病院認定 (更新) (群馬県医第128-28号) 認定期間: 令和2年2月1日～令和5年1月31日
3月6日	病院機能評価認定 (機能種別版評価項目3rdG (Ver. 2.0) 一般病院2) 認定期間: 令和2年6月20日～令和7年6月19日
令和3年6月28日	旧公立藤岡総合病院解体工事着工

* 附属外来センター(平成14年4月1日～平成29年10月31日)

平成12年12月27日	病院開設許可 20床 (群馬県指令医第221号) 病院建築工事着工
平成13年3月10日	地鎮祭
平成14年3月18日	病院施設使用許可 20床 (その他の病床)
3月25日	病院建築工事竣工
3月27日	労災保険指定医療機関の指定
4月1日	公立藤岡総合病院附属外来センター開院 初代 外来センター長 田中 壯侖 保険医療機関の指定 生活保護法に基づく医療機関指定 結核予防法に基づく医療機関指定
4月11日	地方公務員災害補償基金群馬県支部指定医療機関指定
平成15年2月28日	労働者災害補償保険法に基づく義肢採型指導医指定
平成17年3月4日	診療所開設許可 19床 (藤保指令第203-1号)
3月14日	診療所施設使用許可 19床 (一般19床)
3月24日	病院廃止届 (廃止年月日:平成17年3月31日)
3月31日	保険医療機関廃止届 (廃止年月日:平成17年3月31日)
4月1日	病院から診療所へ変更 保険医療機関の指定
11月24日	人間ドック・健診施設機能評価訪問審査
平成18年1月16日	人間ドック・健診施設機能評価認定 (認定第92号)
平成19年3月1日	障害者自立支援法第64条の規定に基づく指定自立支援医療機関 (精神通院医療) 指定
4月1日	第二代 外来センター長 田村 勝
9月1日	診療所敷地内全面禁煙開始
平成20年3月7日	診療所開設届出許可事項等一部変更届 (診療日及び診療時間の変更)
4月1日	土曜診療の休診 リウマチ科、禁煙外来開設
平成21年4月1日	第三代 外来センター長 清水 透
5月11日	被爆者指定医療機関指定
平成22年1月6日	人間ドック・健診施設機能評価訪問審査
2月12日	人間ドック・健診施設機能評価更新認定 (認定第92号) 認定期間:平成22年4月1日～平成27年3月31日
平成23年1月1日	肝疾患専門医療機関認定
4月1日	保険医療機関指定 (更新) 指定期間:平成23年4月1日～平成29年3月31日
7月2日	建築基準法第6条第1項の規定による確認 (化学療法室増築)
11月27日	化学療法室竣工 (218.77㎡)
12月17日	電子カルテシステム外来部門稼働
平成26年8月8日	人間ドック・健診施設機能評価訪問審査 人間ドック・健診施設機能評価更新認定 (認定第92号) 認定期間:平成27年4月1日～平成32年3月31日
平成29年4月1日	保険医療機関指定 (更新) 指定期間:平成29年4月1日～平成35年3月31日
平成29年10月31日	新公立藤岡総合病院開院に伴う附属外来センター廃院

4. 建物配置図及び面積表



	①入院棟	②放射線棟	③接続棟	④外来棟
7階	南病棟 47床			
6階	北病棟 47床 南病棟 46床			
5階	北病棟 46床 南病棟 47床			
4階	北病棟 38床 南病棟 47床			
3階	HCU 24床 手術室・中央材料滅菌室 麻酔・ペインクリニック科 内視鏡室、血管撮影室	機械室		健康管理センター 人間ドック宿泊施設
2階	北病棟 48床 人工透析 29床 リハビリテーション室、ME室 会議室、スタッフルーム、図書室	核医学診断室	管理事務室	訪問看護ステーション 臨床検査室、内視鏡センター 産婦人科、小児科、眼科 耳鼻咽喉科、皮膚科 泌尿器科、心療内科 歯科口腔外科、形成外科 医局、病院長室、応接室 研修室、レストラン
1階	感染症病室 4床、救急センター 放射線診断室、検査室 入院受付、支払窓口 防災センター、入退院支援室 地域連携室、総合相談室 緩和ケアセンター 栄養室・厨房	放射線治療室	SPD	総合案内、外来受付 支払窓口、売店、がんサロン 薬局、お薬サロン、栄養相談室 検査センター、画像診断センター 内科、外科、整形外科 脳神経外科、処置点滴室 化学療法室、外来スタッフ室 医療情報管理室、病歴管理室 保育所、養護学校 リハビリ諸室、電話交換室

建物面積

	①入院棟	②放射線棟	③接続棟	④外来棟
7階	2,131.46㎡			
6階	2,662.91㎡			
5階	2,662.91㎡			
4階	2,841.31㎡			(搭屋) 81.41㎡
3階	3,063.55㎡	42.15㎡		1,430.66㎡
2階	3,063.55㎡	469.83㎡	353.82㎡	5,180.45㎡
1階	3,065.50㎡	469.83㎡	353.82㎡	6,402.17㎡
計	19,491.19㎡	981.81㎡	707.64㎡	13,094.69㎡

構造

①入院棟 鉄骨・鉄筋コンクリート造
③接続棟 鉄骨造

②放射線棟 鉄筋コンクリート造
④外来棟 鉄筋コンクリート造

敷地面積 40,807.91㎡ 職員駐車場面積 16,478㎡

5. 建物設備の概要

* 入院棟

番号	名称	規格	内訳	数量
1	モジュールチラー	空気熱源ヒートポンプ式モジュールチラー RUA-SP243HK5	冷房・暖房	2
2	ジェネリンク	廃熱回収型吸収冷温水機 NHJ-210HN5A	冷房・暖房	2
3	温水ボイラー	真空式温水ボイラー GTL-500BN	暖房・給湯	2
4	冷却塔	開放型、角形、超低騒音 SKB-36×2TS M7 冷却水処理装置 EB-811SC	発電	1
		開放型、角形、超低騒音 SKB-210×2GN 冷却水処理装置 EB-811SC	冷房	1
5	空調用ポンプ群	冷却水ポンプ 65LPD53.7E	発電	2
		冷却水ポンプ 150LPD4J518E	冷房	2
		冷温水一次ポンプ 125LPD4H57.5E	冷房・暖房	2
		冷温水二次ポンプ 80LPD57.5E	冷房・暖房	3
		廃温水ポンプ 65LPD55.5E	冷房・暖房	2
		温水ポンプ(温水余熱) 80LPD53.7E	暖房	1
		温水ポンプ(熱交換器一次側) 40LPD51.5E 温水ポンプ(熱交換器二次側) 40LPD52.2E	暖房 暖房	2 2
6	熱交換器	プレート式熱交換器(暖房余熱) LX-125A-NJ-17	暖房	1
		プレート式熱交換器(温水) LX-095A-NHJ-9	暖房	2
7	膨張タンク	密閉式膨張タンク(廃温水) AFU-500	冷房・暖房	1
		密閉式膨張タンク(冷温水) AFU-300	冷房・暖房	1
		密閉式膨張タンク(温水一次) HM-24	暖房	2
		密閉式膨張タンク(温水二次) AFU-60	暖房	1
8	空調機	外調機(2管式) EI 30 DT他	冷房・暖房	21
		外調機(4管式) EI 50 DT他	冷房・暖房	6
		全熱交換器組込外調機(2管式) EI 50 RH他	冷房・暖房	2
		空調機(2管式) EI 250 DT	冷房・暖房	1
9	ファンコイルユニット	天カセ1方向 #200 DCR-204KV-LW-J3	冷房・暖房	3
		天カセ2方向 DCR-204~804KW-LW-J3	冷房・暖房	85
10	レヒーターコイル	天井隠蔽ダクト接続型 100~1150m3/h #L 3	暖房	19
11	空冷パッケージ エアコン	冷暖フリーマルチ型室外機 REYP224D~1360DR	冷房・暖房	21
		冷暖切替マルチ型室外機 RXYP224DA~900DAR	冷房・暖房	21
		クリーンルーム用カセット形 マルチ室内機 FBXYP45MB~71MB	冷房・暖房	42
		壁掛マルチ室内機 FXYAP28MB~36MB	冷房・暖房	4
		1方向カセット形マルチ室内機 FXYKP22C~71C	冷房・暖房	15
		2方向カセット形マルチ室内機 FXYCP22MB~80MB	冷房・暖房	215
		4方向カセット形マルチ室内機 FXYFP28MJ~140MJ	冷房・暖房	115
		天吊形マルチ屋内機 FXYHP90MC~160MC	冷房・暖房	3
		天井埋込ダクト形マルチ屋内機 FXYMP45C~90C	冷房・暖房	105
		天井ビルトイン形マルチ屋内機 FXYSP22MB~28MB	冷房・暖房	4
		外気処理天井埋込ダクト形マルチ屋内機 FXYMP224MCF~280MCF	冷房・暖房	3
		店舗用パッケージカセット形 SZRK40BBT~SZRC140BAD	冷房・暖房	5
店舗用パッケージ天吊形 SZRH112BA~SZRH160BA	冷房・暖房	3		
厨房用パッケージ天吊形 SZRT140BA	冷房・暖房	2		
設備用パッケージ床置形 SZVCP560KR	冷房	7		
12	送排風機・排煙機	片吸込シロッコファン 1.5kw 床置	給気	1
		片吸込シロッコファン 5.5kw 天吊	給気	1
		片吸込片持形シロッコファン 0.75kw 天吊	給気	1
		消音ボックス付片吸込シロッコファン 2.2kw 天吊	給気	1
		消音ボックス付両吸込シロッコファン 7.5kw 天吊	給気	1
		消音形ストレートシロッコファン BFS-80TUC~BFS-1000TU	給気	30
		片吸込片持形シロッコファン 0.4kw~11kw 床置	排気	7
		片吸込リミットロードファン 1.5kw~5.5kw 床置	排気	6
		片吸込片持形リミットロードファン 3.7kw 床置	排気	1
		消音ボックス付両吸込シロッコファン 5.5kw 天吊	排気	1
		消音型ストレートシロッコファン BFS-80TUC~BFS-300TX1	排気	112
		片吸込排煙ファン 11kw、22kw 床置	排煙	2

番号	名称	規格	内訳	数量
13	換気扇	有圧扇 EWF-30 BTA-Q~35 CTA-Q	給気	4
		天井扇 VD-23ZQ8-W	給気	1
		天井扇 VD-18ZX10-FP	排気	1
14	全熱交換機	天井埋込ダクト形 VAM25GAMS 250m3/h~100GAMES 1000m3/h		7
15	フィルターユニット	RIフィルターユニット(放射線系統) PTS-D4(2+2)PHC-S-AS	排気	1
		HEPAフィルターユニット(感染系統) 1×1.5H-POS-AS	排気	1
		HEPA制気口 CAP-GS-D(H)-SAS-DS-AS他	給気	31
		HEPA制気口 CAP-GS-D(H)-EAS-FS-AS	排気	1
		プレフィルター K-2×3.5P-NG-SF他	給気	7
16	風量制御装置	定風量装置 CDY-150-24他	給気	39
		定風量装置 CDY-150-24他	排気	6
		変風量装置 VDY-150-24他	給気	6
		変風量装置 VDY-150-24他	排気	1
17	自動制御機器(空調)	デジタル設定器 QY7205A3011	FCU・RH用	一式
		温度検出器 TY7043Z0P00	FCU・RH用	一式
		湿度検出器 HY7043T1000	室内用(計測)	一式
		温湿度発信機 HTY7043T1P00	室内用(計測)	一式
		温度発信機 TY7803C000M(通信タイプ)	ダクト用	一式
		温湿度発信機 HTY7803T1P00	外気用	一式
		温度・露点温度発信機 HTY7903C000M(通信タイプ)	ダクト用	一式
		湿度調節器 HY6000Z2000	室内用(加湿)	一式
		温度検出器 TY7830B1015・1030	配管・貯湯槽用	一式
		盤表面型表示設定器 QY5100W0000	盤面取付	一式
		差圧発信器 JTD930A	熱源バイパス用	一式
		温度指示調節器 R36	盤面取付	一式
		デジタル調節器 WY5206W1000	CAV・VAV用	一式
		デジタル調節器 WY5205W1010	FCU用(on/off)	一式
		デジタル調節器 WY5205W2100	RH用(比例)	一式
		台数制御ユニット WY2000Q	熱源機用	一式
		台数制御ユニット WY2000P	ポンプ用	一式
		電磁流量計(変換器) MGG10C	熱源用	一式
		電磁流量計(検出部) MGG11D	熱源用	一式
		電動バタフライ弁 700G-4IA	熱源用(on/off)	一式
		電動バタフライ弁 700G-4IAP	熱源用(比例)	一式
		電動ボール弁 VY6100D	冷却塔用	一式
		小型電動ニ方ボール弁 VY6202A0012	FCU用(on/off)	一式
		小型電動ニ方弁 VY5502A0021	RH用(比例)	一式
		アクチュエータ MY5560C0000	RH用(比例)	一式
		電動ニ方弁 VY5165K(通信タイプ)	空調機取付	一式
		電動ニ方弁 FVY5160J(通信タイプ)	空調機取付	一式
		電動ニ方弁(通信タイプ) VY5113J	熱源バイパス用	一式
		三方弁 V5065A6078	熱源用	一式
		アクチュエータ QY9403B0001	熱源用	一式
		三方弁 VY5303A0041	熱源用	一式
		アクチュエータ MY5301A1001	熱源用	一式
		積算熱量計 WTY8000A1201	熱源用	一式
温度検出器 TY7840B1015(熱量計専用)	熱源用	一式		
ダンパモータ MY8040A2001(通信タイプ)	空調機用	一式		
煤煙濃度計 GYY-S2000	煙道取付	一式		
電磁弁 WS-22	受水槽用	一式		
漏水センサ AD-RS(発色タイプ)	漏水監視	一式		
差圧スイッチ PYY-CL13	空調機取付	一式		
18	CGS設備	ガスエンジン発電設備389KVA 6600V 50Hz発電装置		一式
19	中央監視設備	savic-net FX2		一式
		BEMS管理 システム制御盤 空調制御盤		

番号	名称	規格	内訳	数量
20	スプリンクラー設備	加圧送水装置		1
		ステンレスパネル 溶接形消火用補給水槽	1000×1000×1500H	1
		一次圧力調整弁	WVM-02T型	1
		湿式 K50/60 流水検知装置	GNA-EA80	7
		スプリンクラー末端試験装置	GSF-C80	7
		閉鎖型スプリンクラーヘッド	EZ72-Q80A (1909個) EZ96-Q80A(31個)	1,940
		補助散水栓格納箱		70
21	連結送水管	放水口格納箱		7
		媒介金具 差込式受け口65A×差込式差し50A鎖付	スプリンクラー用×1 連結送水管×2	7
		埋込型双口送水口 100×65×65		1
22	採水口	スタンド型採水口・ストップ弁付(100×65)		1
		65A町男×65A町男		1
		媒介金具 差込式キャップ65A(受け口)		1
23	フード消火	KGL-34HD 評14-011号	フード・ダクト用	1
		KGL-34D 評14-012号	ダクト用	1
		KGL-34RF 評14-013号	小型レンジ・フラーヤ用	1
		KGL-34R2 評14-014号	大型レンジ・フラーヤ用	1
	不活性ガス消火	窒素容器ユニット 83L 20.3m3 36本	電気室用	1
24	医療ガス設備	定置式液酸タンク 5,000ℓ		1
		定置型センサーユニット 液酸タンク用		1
		予備酸素マニフォールド 2列36本		1
		センサーユニット 予備酸素用		1
		笑気マニフォールド FML-D 2列4本		1
		炭酸ガスマニフォールド FML-D 2列4本		1
		窒素マニホールド FMN-D 2列8本立		1
		治療用空気供給ユニット CUBE-D 3.7kw		1
		センサーユニット 空気用		1
		非治療用空気減圧装置(センサーユニット内蔵タイプ)		1
		吸引ポンプ オイル式 8.0kw		2
		吸引タンク 1,000ℓ		2
		センサーユニット 吸引用		1
		吸引ポンプ制御盤 自動交互追従型		1
		壁付型アウトレット NSVタイプ		各室
		天井吊り下げ型アウトレット		26
シャットオフバルブ		46		
シーリングペンダント	手術室	各室		
余剰ガスフローコントロールユニット	手術室	各室		
高圧窒素アウトレット	手術室	各室		
MMⅡ型エアモニター		5		
MMⅢ型中央監視モニターL		2		
25	受水槽	sus製パネルタンク保温30mm付 81.25m3		2
26	陸上ポンプ類	PWU-J1 加圧給水ポンプユニット 7.5kw×5		1
		PWH-BH1,2 ラインポンプ(SUS製) 32A 110L 0.25KW		2
		PWH-HW1,2 ラインポンプ(SUS製) 25A 30L 0.15KW		2
27	水中ポンプ類	雑排水用水中ポンプ 50A 100L 0.4KW~65A 300L 2.2KW		26
		汚物用水中ポンプ 80A 400L 1.5KW~5.5KW		4
28	貯湯槽	TS-1,2 SUS444 1600φ×2600H 6.135m3		2
29	CGS予熱槽	TVW-CGS-1,2 SUS444 1600φ×2600H 6.135m3		2
30	給湯用膨張タンク	TEX-1,2 密閉式膨張タンク 1000φ×2500H 1.6m3		2
31	厨房機器	多種		一式
32	電気温水器	WHE 貯湯先止め式床下設置型 25L		7
33	衛生器具	洋風大便器 UAXC1BPAL他	各所	127
34	グリーストラップ	GT-1 4槽式耐火防水型 パイプ接続天吊 285L		2
		GT-2 パイプ導入型 地中埋設型 85L		1

番号	名称	規格	内訳	数量
35	RI排水処理	J-1 浄化槽 合併処理浄化槽 5人槽		1
		T-1 分配槽 SUSパネルタンク 1000×1500×1000h 1.5m3		1
		T-2～4 貯留槽 SUSパネルタンク 2500×3000×2500h 5m3×3		1
		P-1-1,2 分配ポンプ 50A 150L 0.4KW		2
		P-2-1,2 P-3-1,2 移送ポンプ 50A 150L 0.4KW		4
		P-4-1,2 放流ポンプ 50A 150L 0.75KW		2
		P-5-1,2 ピット配ポンプ 40A 150L 0.4KW		2
		排水処理制御盤 排水処理モニター類		1 一式
36	排水処理	流動担体 樹脂製 結合固定化担体		一式
		中和緩衝槽スクリーン 1m3 閉止板		1
		誘導剤槽 PVC製 50L 注入ポンプ 0.025KW		1
		厨房調整槽ブロワ 50A 0.97m/分 1.5KW		1
		厨房調整ポンプ 50A 0.07m/分 0.4KW		2
		自動スクリーン 自動掻揚型 0.025KW		1
		ばっ気ブロワ 80A 3.72m/分 3.7KW		1
		流動担体 樹脂製 結合固定化担体		1
		生物流動床スクリーン SUS製		2
		返送ポンプ 50A 0.08m/分 0.4KW		1
		分配計量計 樹脂製Vノッチ		1
		放流ポンプ 50A 0.08m/分 0.4KW		1
		感染系スクリーン PVC製		1
		感染系減水ポンプ 50A 0.09m/分 0.4KW		1
		消毒反応槽 0.75m3 FRP製 攪拌機 0.2KW		1
		検査系スクリーン バスケット型 PVC型		1
		検査系原水槽ブロワ 20A 0.11m/分 0.086KW		1
		感染系原水ポンプ 50A 0.01m/分 0.4KW		1
		中和反応槽 FRP製 攪拌機 0.1KW		1
		消毒薬液槽 PVC製 200L 注入ポンプ 0.025KW		1
還元剤薬液槽 PVC製 100L 注入ポンプ 0.025KW		1		
酸薬液槽 PVC製 100L 注入ポンプ 0.025KW		1		
アルカリ薬液槽 PVC製 200L 注入ポンプ 0.025KW		1		
脱臭装置 樹脂製 12m/分 0.7KW		1		
37	受変電設備	主受電盤 VCB 7.2KV 600A 12.5KA		1
		分岐盤 VCB 7.2KV 600A 12.5KA		16
		母線連絡盤 VCB 7.2KV 600A 12.5KV		6
		保護装置過電流継電器		17
		保護装置不足電圧継電器		1
		保護装置方向地絡継電器		6
		変圧器動力 3相 200～750KVA 6,600/210V		8
		変圧器電灯 単相 100～300KVA 6,600/210 105V		7
		変圧器電灯 スコット 200KVA 6,600/210-105V		1
		変圧器動力 3相 200～500KVA 6,600/415V		3
		コンデンサ 3相 19.1kvar 243V	自動力率調整付	6
リアクトル 3相 319kvar 7.2kV		6		
38	発電設備	発電機 3φ 6.6kV 50Hz 1250KVA(1000kw)		1
		エンジン ガスタービン A重油		
		始動装置 蓄電池設備		
39	非常用直流電源装置	制御方式据置鉛(MSE長寿命型)蓄電池 SNSX-400 108V 400AH 54セル(2V×54個)		1
40	テレビ共聴	UHF・BS 共聴システム		1
41	ナースコール	自動相互呼出通話		各病棟
42	構内電話	蓄積プログラム制御方式(PCMデジタル制御方式)		1
		アナログ一般電話機		205
		デジタル多機能電話機		80

番号	名称	規格	内訳	数量
43	院内携帯電話設備	携帯電話機セットPHS方式 PHS接続装置		400 54
44	ペーシング設備	無		1
45	防災監視盤	自動火災報知設備 複合GR型(アナログ式) ガス漏れ警報設備 GN3VBAC 防火・防排煙設備 連動制御器	自動試験機能付	1 1 1 1
46	全館放送装置	放送盤:1640W 出力回線:90回線+一斉 非常用遠隔操作装置 非常用蓄電池設備 DC24V		1 2 1
47	通路誘導灯	バッテリー内蔵型		189
48	非常照明	バッテリー別置型		682
49	防火シャッター・ドア			78
50	防火垂れ壁			16
51	オートドアパニックオープン			3
52	会議室AV装置 (大会議室)	大会議室 AV操作ワゴン 液晶プロジェクター WXGA5500lm 150型16:10電動スクリーン コンパクトハイパワースピーカー シーリングスピーカー マイクロホン(ダイナミック、ワイヤレス)		一式 1 1 2 4 7
53	会議室AV装置 (中会議室)	中会議室1.2 AV操作ワゴン 液晶プロジェクター WXGA4000lm 100型16:10電動スクリーン コンパクトスピーカー ワイヤレスアンテナ マイクロホン(ワイヤレス)		二式 2 2 2 4 4
54	映像システム	手術室監視ITV 23V型ワイド液晶ディスプレイモニター ネットワークビデオレコーダー 19V型ワイド液晶ディスプレイモニター 監視用PC(23型液晶モニター) 屋内ドーム型IPカメラ 新生児室監視ITV 23V型ワイド液晶ディスプレイモニター ネットワークビデオレコーダー ドーム型HDネットワークカメラ		一式 1 1 1 1 6 一式 1 1 4
	ITV(防犯監視用)	操作用PC 24型カラー液晶モニター メインメモリ8GB以上 ネットワークレコーダー データ保護用兼動作補償用UPS スイッチングHUB 室内固定ドーム型カメラ メディアコンバーター		1 1 2 2 24 2
55	電気錠システム	ヒューマンインターフェイスサーバ(HIS) データ保護用兼動作補償用UPS 非接触カード登録機 スイッチングHUB ロギングプリンタ 連動コントローラ IDコントローラ(IDC4、8) 非接触カードリーダー UPS メディアコンバーター 非接触カード		1 1 1 3 1 1 12 52 2 2 1,000
56	無停電装置(UPS)	制御方式据置鉛(MSE長寿命型)蓄電池 200kVA 400Ah/10hr 186セル		1

番号	名称	規格	内訳	数量
57	手術室BGM設備	機器架		一式
		クリーンルーム用スピーカ		6
		6ch選択リモコン		6
58	エレベーター	人荷用 2方向 1750kg(26名) 90m/min		1
		寝台用 2方向 1000kg(15名) 90m/min		3
		寝台用 1方向 1000kg(15名) 90m/min		2
		寝台用 2方向 1150kg(17名) 90m/min		1

* 外来棟

番号	名称	規格	内訳	数量
1	氷蓄熱ユニット	空気熱源ヒートポンプ式ブラインスクルーチラーユニット スタティック内融式・屋外設置水槽形 ブラインポンプ	冷房・暖房	二式
2	冷凍機	直焚き吸収冷温水機 TSA-CUW-400E1GL	冷房・暖房	1
3	冷却塔	開放型、角形、超低騒音 SKB-350GS 冷却水処理装置WTR-1 PXP-31-VEC-100L	冷房	1
4	空調用ポンプ群	冷却水ポンプ SJ4-200×150J545	冷房	1
		冷温水ポンプ M100-III-2～M150-II-1	冷房・暖房	3
		冷温水薬液注入装置1式	冷房・暖房	2
5	開放式膨張タンク	膨張水槽 EXPT-C	冷房・暖房	2
6	空冷パッケージ エアコン	壁掛ルームエアコン S22TDS-W	冷房・暖房	1
		天カセツイン SMYGP280BD	冷房・暖房	1
		天埋形加湿器付 SHYMP140C、160C	冷房・暖房	2
		電算型加湿器付 DSRJ400PA	冷房・暖房	1
		天カセ形 SHYCP112C	冷房・暖房	1
		天埋形 SHYGP80B	冷房・暖房	1
		冷専床置形 SVDPI140AR～280AR	冷房	4
		天カセ形 SHYGP40CV	冷房	2
		冷専壁掛形 SAP80B	冷房	1
		マルチ形室外機 RSXYP280KC	冷房・暖房	2
		マルチ室内機 ビルトイン形 FXYSY22KC	冷房・暖房	20
		マルチ室内機 天埋形 FXYMP56KC	冷房・暖房	3
		外気処理エアコン 壁ビルトイン 電熱式加湿器付 RSXYJ140KC～224KC	冷房・暖房	5
7	クリーンルーム用 パッケージ	壁吸込ユニット(ツイン)RX-J56M 室外機 PUSY-J112M-B	冷房・暖房	2
		壁吸込ユニット(4台マルチ)RX-J45M 室外機 PUSY-160M-B	冷房・暖房	1
		フィルターファンユニット 天カセ HEPAフィルター付	冷房・暖房	16
		ファンコイルユニット 天カセ HEPAフィルター付	冷房・暖房	11
		ファンコイルユニット	冷房・暖房	18
8	空調機	エアハンドリングユニット EI-75DT 電熱式加湿器付 RS-50J他	冷房・暖房	18
9	ファンコイルユニット	天カセ DCR-202PW-F3 FCC-1他	冷房・暖房	352
		天埋 DCR-202P BHB-3 FCR-1他	冷房・暖房	87
10	送排風機・排煙機	ベルト掛け 0.2kw天吊		63
		ベルト掛け 床置 排煙ファン		2
11	全熱交換機	HEX-STF-1F-1 LGH-15RHW 150m3/h 外		4
12	天井扇	天井埋込型換気扇 低騒音 VD-20ZB5		1
13	空気清浄装置	AFU-ENG-1F-1 FU5-2030S 9900m3/h 外		9
14	床暖房	ネオフロアヒーター FH-20		1
		温度調節器 MD-511		1
		埋設用温度ヒーター S-515M		1
		電気床暖房制御盤 EH-1		8
15	自動制御機器(空調)	ユーザーオペレーション機器 QY7205A3001	FCU用	一式
		温度検出器 TY7003Z0P00	室内用	一式
		湿度検出器 HY7003T1000	室内用	一式

番号	名称	規格	内訳	数量
15	自動制御機器(空調)	温度検出器 TY7813Z0P00	ダクト用	一式
		温湿度発信機 HTY7813T1P0	外気用	一式
		屋外センサーシールド DY8000A1001	外気用	一式
		ユニット用温度検出器 TY7820Z0P00	FCU用	一式
		温度・露点温度発信機 HTY7913T1P0	ダクト用	一式
		温度検出器 TY7830B1015	配管用	一式
		温度調節器 T675A1896	配管用	一式
		差圧発信器 JTD930A111A1XXXX1XX	熱源バイパス弁用	一式
		温度指示調節器 R310DA00030	盤面取付	一式
		差圧指示調節器 R315GA00030	盤面取付	一式
		温度指示計 PCA13	盤面取付	一式
		湿度指示計 PCA13	盤面取付	一式
		デジタル調節器 WY7211B2101	AHU用	一式
		デジタル調節器 WY7205W5211	FCU用 (on/off)	一式
		デジタル調節器 WY7205W6212	FCU用 (比例)	一式
		台数制御ユニット WY2000Q1411010B	熱源用	一式
		冷却水ブロー調節器 R7010B	冷却塔用	一式
		電磁流量計(変換器) MGG10C-DA1A-XBXX-X	熱源用	一式
		電磁流量計(検出部) MGG11D-125E11LS1AHA-X1-X	熱源用	一式
		電動バタフライ弁 616J-M		一式
電動ボール弁 VY6100D20		一式		
小型電動ニ方ボール弁 VY6202A0011		一式		
電動ニ方弁 VY5110F		一式		
小型比例ニ方弁 VY5912A		一式		
アクアチュエータ M7410C		一式		
モジュロモータ M904F1076		一式		
バルブリンケージ Q455C		一式		
ニ方弁 V5064A		一式		
ダンパモータ GBB131.1E	ダクト用	一式		
煤煙濃度計 GYY-S2000	煙道取付	一式		
差圧スイッチ PYY-CL13	空調機取付	一式		
16	ガスタービン発電設備	500KVA 6600V 50Hz発電装置		一式
17	GS・直流電源装置	整流器 三相 三線 200V 50HZ		一式
18	無停電電源装置(UPS)	20KVA 無停電電源装置		1
		バッテリー盤 50AH×180セル 入出力盤		1
19	屋内キュービクル式受変電設備	6.6KVA 1回線 高圧スイッチギア 気中絶縁形 三相3線 7.2Kv 600A 50Hz 単一母線方式 遮断器 水平引出、自動連結形 7.2KV 600A 12.5KA サイクル3 DC100V電動ばね操作 計器用変圧器 エポキシレジンモールド形 6600:110V 100VA以上 1P級 零相蓄電器 硝子分圧形 6.9KV 変流器 エポキシレジンモールド形 6.9KV n>10以上 零相変流器 エポキシレジンモールド形 進相用コンデンサ ガス絶縁形 7020KV 530kvar 三相 50Hz 直列リアクトル モールド形 6.6KV L=6% 三相 50HZ 動力変圧器 モールド形 50Hz 一次6.6kv 二次415V 210V 照明変圧器 モールド形 50Hz 一次6.6Kv 二次105/210V 二次単相3線 真空コンダクタ(VCS) 3極単投 電磁操作 固定形 6.6KV 200A 低圧絶縁監視装置 IR電流検出方式		一式
20	動力制御盤	屋内自立型 P-1-MR 3.7kw 6.5kw 39.0kw 48.06kw 61.48kw	各所	一式
21	電灯・コンセント分電盤	屋内自立型 PL-1-ER 9.68kw 9.8kw	各所	一式
		屋内自立型 PL-2-BAI 0.66KVA 0.15KVA		1
22	総合盤・端子盤	ヘッドエンド装置収納架		1

番号	名称	規格	内訳	数量
22	総合盤・端子盤	エレベーター監視盤		1
		医療ガス情報監視システム、誘導灯信号装置		1
		入館入室管理盤-1、2		2
		ITV監視制御盤		1
		ナースコール表示パソコン		1
		システム制御盤		1
		空調制御盤		1
		コーナー継ぎ板		1
		床暖房用中継端子盤		17
23	手元開閉基盤	手元開閉基盤(50AFx1)		11
24	変圧器	単相300kVAモールド変圧器 RCT-N21		4
		100kVAスコットモールド変圧器 RCTQ-N21		1
		三相300kVAモールド変圧器 RCT-N21 外		6
25	コンデンサー・リアクトル	高圧進相コンデンサ AF702261KHA1 外		2
		高圧進相コンデンサ用6%直列リアクトル CR702261KDE5 外		2
		低圧進相コンデンサ設備 LB3-S形 LB322B5025S26		2
26	照明器具	多種	各所	4,516
27	フル2線ネットワークコントロールユニット	WR3385K	照明中央制御	1
		WR3386K	照明中央制御	1
28	放送設備	多種	各所	一式
29	手術室・分娩室BGM放送設備	BGM放送架		一式
30	人間ドックBGM	BGM放送架		一式
31	外来ナースコール設備	ナースコール表示パソコン他	各所	一式
32	外来呼出インターホン設備	待合共同呼出装置 主装置 AME-2031、2101		15
		フレキシブル形卓上マイク AMO-301		50
		ドアホン親機1局 SHN-1BA		1
		夜間受付子機 SG-330-1A		1
33	人間ドックナースコール設備	ナースコールボード形親機Z型 60局 BZP-20~160		一式
34	健診センターインターフォン設備	待合共同呼出装置 主装置 AME-2031/2101		一式
		フレキシブル形卓上マイク AMO-301		4
35	手術室インターフォン設備	インターカム交換機 EX-200J		1
		インターカムステーション HF-250M		7
		手術室用子機 BA-303		3
		手術室インターホン制御ボックス BA-303		3
		足押式押ボタン BB-513A-4S		3
		ドアホン形インターカムステーション HF-640S		1
36	テレビ共聴設備	BSアンテナ 90cm型 BL BS-901K		一式
37	ITV設備	ドーム型カラーカメラ WV-CF35		11
		画像記録装置 WJ-DR200		1
38	案内表示設備	診察状況案内表示板システム		一式
		外待合表示盤(42インチ) KD01037-B148		9
		診察室表示盤 KD01037-B149		36
		表示制御パソコン KD96002-L873 外		8
39	防犯設備	入館入室管理システム SAFEWARE		一式
		カードホルダ		20
		パッシブセンサー		7
		マグネットセンサー		12
40	電話設備	D2000交換機(TypeMA)		1
		通話料金管理装置 PS4080A CNSA		1
		多機能電話 DI2106C		38
		アナログ一般電話機 DA2029C		203
		PHS TC-631SE		78

番号	名称	規格	内訳	数量
41	自動火災報知設備	熱感知器 DSH-2WRL DFG-TW-60L/70L		109
		煙感知器 SLR-2RL ALG-NRLY-A		454
		消火栓組込型 HURB-10BL		34
		発信機 PPE-1U		34
		表示灯 TL-13D		34
		自動開閉装置 ARS-B 104		16
		ガス漏れ検知器 KN-35B		6
42	中央監視設備	savic-netEV model30 ヘッドエンド装置収納架 ドアホン、配線架 エレベーター監視盤 医療ガス情報監視システム 誘導灯信号装置 CL-1-BOU 入館入室管理盤-1 入館入室管理盤-2 ITV監視制御盤 ナースコール表示パソコン システム制御盤 空調制御盤		一式
43	避雷針設備	接地測定用端子函:建設省仕様(TB-SSIA)		一式
44	高圧気中負荷開閉器	KLT-M1cHD2N10LT		一式
45	自動ドア設備	両引自動扉		4台
		片引自動扉		16台
		二重片引自動扉		2台
		自閉式(半自動)引戸		一式
46	エレベーター	寝台用 1000KG 60M/min インバータ制御		2台
		乗用展望用 1000KG 45M/min インバータ制御		1台
		乗用 750KG 60M/min インバータ制御		1台
		小荷物用 50KG 30M/min インバータ制御		1台
		乗用 エスカレーター 9000人/h台 30M/min インバータ制御		2台
47	排煙	電動オペレーター用		一式
		開閉式トップライト 手動操作型		一式
		防火ドア		一式
		防火・防炎シートシャッター		一式
		重量シャッター・グリルシャッター		一式
		防炎垂壁・スクリーン		一式
48	OAフロアー	500×500×28 FSA500 500×500×28 FSB500 500×500×34 G500		18箇所
49	システムバス	シャワールームユニット	OP室	2
		ユニットバスルーム		22
50	手術室 モジュラーシステム	情報パネル・記録台・無影灯操作盤・シャーカステン3台・ フィルムラック・器材棚・保温庫パイプファンヒーター・ 保冷库全密閉型圧縮機・アイソレーショントランス・ ラインアイソレーションモニター・ロードモニター		一式
51	受水槽・高架水槽	中仕切付受水槽 NW型 44m3		1
		高架水槽(上水) NW型 5.0m3		1
		高架水槽(雑水用) NW型 5.0m3		1

番号	名称	規格	内訳	数量
52	陸上ポンプ類	LP-1/2 上水揚水ポンプ TN-405X4s-M2.2		2
		LP-3/4 雑用水揚水ポンプ TN-405X4s-M2.2		2
		LP-6 散水用ポンプ NF-400TH-A		1
		LP-7 補給水ポンプ KB2-505A2.2		1
		HP-1/2 給湯用循環ポンプ PSS-255-0.15T		2
		FP-1 スプリンクラーポンプ KTY2-1005×4s-M18.5TPB		1
		ジョッキーパーポンプ CHS-255-M1.5		1
53	水中ポンプ類	DP-1 雨水移送ポンプ SF-5 0.75kw		28
54	軟水器	NS-1 全自動硬水軟化装置 SA-1500ZW-001		1
55	給湯用ボイラ	BH-1 無圧温水器BH-G130 349Kw		1
56	貯湯タンク	ST-1/2 貯湯タンク STV-1500 1500l		2
57	給湯用膨張タンク	密閉式膨張タンク EX-300VS 300l		1
58	厨房機器	多種		一式
59	衛生器具	洋風大便器 C550RU TV750WR TS116W他		589

60	配管ユニット	バンネA型 640×240×150 上水／給湯／ガス／排水		1
61	薬液回収タンク	ダイライトタンク SP 0.5m3 現像液／定着液		2
62	スプリンクラー設備	加圧送水装置	GQH-FB72(1,217ヶ)	1
		起動装置	GQH-FB96(8ヶ)	1
		閉鎖型スプリンクラーヘッド	139℃(3ヶ)	1,228
63	スプリンクラー設備器具	操作盤		1
		流水検知装置 湿式 K50/60併用 自動警報弁型80		5
		圧カスイッチ GPS-EA10T		5
		表示板(自火報受信機)		1
		呼水装置		1
		建設省型補助散水栓格納箱 T49N-103A-HPB		34
		埋込型送水口 N-EKSW1N-C		1
64	医療ガス機器	医療ガス情報監視システムARGUS 医療ガス供給装置MLh型		1
		ガス供給装置 気体用供給装置 予備マニホールド M-LGR(大容量タイプ)		1
		医療ガス情報監視システムARGUS 医療ガス供給装置MMAh/MANh型		1
		日立オイルフリーベビコン 3.7kw		2
		SMC空冷式アフタークーラー HAA7		2
		空気供給装置用タンク500l		1
		医療用空気供給装置メディカルピュアパック PURE550Di		1
		吸引供給装置メディラインパック600l 2.2kw		2
		吸引供給装置メディラインパック600l 2.2kw 除菌フィルター		2
		医療ガス情報監視システムARGUS 予備センサーユニット		1
		医療ガス情報監視システムARGUS 空気センサーユニット		1
		医療ガス情報監視システムARGUS 吸引センサーユニット		1
		医療ガス情報監視システムARGUS センサー内蔵型 非治療用空気減圧装置		1
		医療ガス情報監視システムARGUS 中央監視モニター		1
		医療ガス情報監視システムARGUS エリアモニター ARM-12(8チャンネル)		1
		センチュリアタイプアウトレット NSVタイプ		208
65	PH処理装置	リール式アウトレット		17
		窒素圧力調整装置		3
		シャットオフバルブ 緊急導入口付表示区域タイプ 埋込型		18
		余剰ガス回収システム イジェクタータイプ		9
		原水ポンプ 40TM2.25-51 0.25kw		2
66	グリーストラップ	着脱装置 TOK-3P(VANCS)		1
		位置検出用スナッフフロート(レベルスイッチ) RF-5		13
		PH処理装置 SPC0827		1
		PH処理装置制御盤		1
67	浄化槽	微細目スクリーン KE-200S-5 41m3/H		1
		微細目自動スクリーン制御盤 屋外自立型		1
67	浄化槽	調整攪拌ブローア BSS40		1
		ばっ気ブローア BE80E		2

6. 主要医療機器

所属	医療機械器具名	製造会社名	規格	数量
薬剤部	自動注射薬払出装置	TOSHO	NDS-4000C	1式
	全自動散薬分包機	TOSHO	i 0-9090EX4	1式
	調剤システム	トーション	Pervasive PSQL V10 外	1式
放射線室 (カテ室)	循環器撮影装置	東芝メディカルシステムズ	INFX-8000V/JC	1式
	血管造影X線診断装置	フィリップス	AlluraXperFD20/20	1式
	DR式汎用X線透視診断装置	島津	SONIALVISION G4	1式
	SPECT-CT装置	シーメンスヘルスケア	Symbia Intevo16	1式
	磁気共鳴断層撮影装置	GEヘルスケア・ジャパン	SIGNA Explore 1.5T	1式
	デジタルX線画像診断システム	コニカミノルタジャパン(株)	1417Q外	1式
	FPDフラットパネルAeroDR	コニカミノルタジャパン(株)	AeroDR1717HQ2 外	1式
	X線撮影装置	日立	Radnext50 DHF-155H4	1式
	X線TV装置	日立	EXAVISTA TU-8500H	1式
	医用放射線画像管理情報システム (PACS)	コニカミノルタジャパン(株)	FINO, View, Pro	1式
	放射線治療情報管理システム/R t i s	インフォコム	iRad-RT	1式
	医療情報統合システム	コニカミノルタジャパン(株)	NEOVISTA I-PACS CS	1式
	PET-CT装置	シーメンスヘルスケア	Biograph Horizon	1式
	マルチスライスCTスキャナ	GEヘルスケア・ジャパン	Revolution GSI FREEdom	1式
	全身用X線CT診断装置	GEヘルスケア・ジャパン	Optima CT580W	1式
	放射線治療システム	バリアン	CLINAC iX	1式
	回診車X線撮影装置	ケンコー	Certas MX-700	1式
	放射線レポート (v9) システム	インフォコム	REPORT (iRedV9)	1式
	大動脈バルーンパンピング	泉工医科	Corart BP - 21T	2台
	検査室	検査システム (自動分析装置、臨床検査システム)	富士通	LAINS-X
全自動細菌検査システム		ベックマンコールター	Walkwav96plas	1式
多項目自動血球分析装置		シスメックス	XT-1800i	1式
生化学自動分析装置		日立ハイテクノロジーズ	LABOSPECT006	1式
便潜血自動分析装置		アルフレッサファーマ	ヘモテクトNS-Prime	1式
感染症検査業務支援システム		ベックマン・コールター(株)	SMILE STB	1式
生理検査システム		日本光電工業	PrimeVitaPlus	1式
自動染色装置		サクラファインテック	ティッシュテックプラスマプラス	1式
β-Dガラクトシド測定装置 ES7ナライザー		日水製薬	59570	1式
血液培養装置 パーサトレック96		ベックマンコールター	B98689	1式
全自動遺伝子解析検査装置		ミズホデータ	Smart Gene 85000	1式
ホルモン脱気固定装置		東屋	THW-100型2段	1式
	カラードプラー超音波診断装置	HEWLETT-PACKARD	SONOS-5500	1式
	生体情報モニター	日本光電工業	CNS-9601外	1式
	ポータブル超音波診断装置	GEヘルスケア・ジャパン	LOGIQ-BOOK	1台
	ポータブル超音波診断装置	GEヘルスケア・ジャパン	NANO-MAX	1台
	ベットパンウォッシャー	アトムメディカル	731	10式

病棟	ECGモニター(HCU増設分を除く)	日本光電工業	PU-611R外	1式
	産科カルテシステム	アトムメディカル	f カルテット	1式
	胎児監視システム	アトムメディカル	FSV セントラルモニタ 外	1式
	経皮の心肺補助システム	テルモ	HCS-CFP	1式
	超音波診断装置	東芝メディカルシステムズ	Aplio 400 Platinum TUS-A400/AJ	1式
	セントラルモニタ	日本光電工業	PU-611R他	1式
	パイルサインテレメータ	日本光電工業	GZ-130P	1式
	黄疸計	コニカミノルタジャパン(株)	JM-105	1式
	感染防止クリーンハット	日本医化器械	NB-1200S	2式
	顕微鏡用デジタルカメラ	オリンパスメディカルサイエンス	DP-27-B	1式
HCU	セントラルモニタ	日本光電工業	CNS-6201 外	1式
	セントラルステーション	GEヘルスケア・ジャパン	B 650 外	1式
	超音波診断装置	GEヘルスケア・ジャパン	Vscan Extend R2	1式
	集中治療室ビームシステム	美和医療電機	IS500 特注 外	1式
人工透析室	多人数用透析液供給装置	日機装	DAB-40NX	1式
	逆浸透精製水製造システム	日機装	DRO-NX132H	1式
	透析用監視装置	日機装	DCS-27	3式
	多用途透析用監視装置	日機装	DCG-03	3式
	多用途透析用監視装置	日機装	DCS-100NX-EC 外	16式
	個人用多用途透析装置	日機装	DBG-03	1式
	個人用多用途透析装置	日機装	DBB-100NX-EC 外	5式
	透析通信システム	日機装	FN-WEB 外	1式
	超音波画像診断装置	富士フィルム	FC1-X	1式
	全自動溶解装置	日機装	DAD-50NX	1式
中央手術室	手術用内視鏡ビデオシステム	オリンパスメディカルサイエンス	OTV-S190外	2式
	手術用顕微鏡	カールツァイス	OPMI PENTERO 900	1式
	神経内視鏡セット	カールストルツ	HOPKINS II	1式
	手術用双眼顕微鏡	カールツァイス	6S-DFK-XY 他	2式
	3D内視鏡手術システム	オリンパスメディカルサイエンス	3DV-190外	1式
	手術用顕微鏡システム	オリンパスメディカルサイエンス	VISERA ELITEシステム	2式
	麻酔モニタリングシステム	GEヘルスケア・ジャパン	CSRESCAPE B650/Unity iCentral	1式
	急性期患者情報システム	フクダ電子	CVW-5000 外	1式
	手術室映像統合管理システム	セントラルユニ	summit X480-48X	1式
	麻酔器	GEヘルスケア・ジャパン	Carestation 650	4式
	電動油圧手術台	ミズホ	MOT-5701	3式
	無影灯	山田医療照明	IXM CJリブラ CJ16-TV55 外	6式
	眼科手術顕微鏡	ライカ	Provo 8	1式
	手術顕微鏡	カールツァイス	OPMVARIO700	1式
	電気手術器	コヴィディエンジャパン	FT10パック 外	2式
	レーザー砕石装置	ドルニエ	ドルニエ Medilas H SOLVO 35	1式
マリス バイポーラ 凝固切開装置	日本ストライカー	マリス バイポーラ ジェネレータ/リグータシステム	1式	

	眼科用手術台メプロ4	タカラベルモント(株)	DR-140-ES7	1式
中央滅菌室	過酸化水素ガス滅菌装置	サクラ精機	V-PRO max	1式
	高圧蒸気滅菌装置 外	サクラ精機	VSCR-G45NR外	1式
	ジェット式超音波洗浄装置	サクラ精機	WUS II-4100DX	1式
	ハイブリッド滅菌装置	ゲディング・ジャパン	HS6613TERILTSF-SR	1式
内視鏡室	上部消化管汎用ビデオスコープ	オリンパスメディカルサイエンス	GIF-XP260NS	1式
	大腸ビデオスコープ	オリンパスメディカルサイエンス	CF-Q260AL 外	3式
	上部消化管ビデオスコープ	オリンパスメディカルサイエンス	GIF-XQ260	1式
	内視鏡システム	オリンパスメディカルサイエンス	CV-290 外	1式
	高周波焼灼電源装置	オリンパスメディカルサイエンス	ESG-300 外	1式
臨床工学室	人工呼吸器	I M I	VELA	2台
	人工呼吸器	日本光電工業	ザビエラ	4台
	人工呼吸器	HAMILTON	C1	9台
	人工呼吸器(小児用)	東機質	SLE5000	1台
	陽圧式人工呼吸器	フィリップス	V60ベンチレーター	3台
	除細動器 デフィブリレータ	日本光電工業	TEC-5631	3台
	救急・搬送用人工呼吸器	ドレーゲル	オキシログ 3000	2台
救急センター	8人用医用テレメーター	日本光電工業	WEP-4208	1式

*外来棟

所属	医療器械器具名	製造会社	規格	数量
放射線室	核磁気共鳴断層撮影装置	フィリップス	Ingenia 3.0T	1台
	全身用コンピュータ断層撮影装置	シーメンスヘルスケア	SOMATOM Definition AS+	2式
	X線撮影装置	キャノン	MRAD-A80D RADREX	1台
	X線透視診断撮影装置	日立メディコ	TU-3000DR	2式
	乳房用X線診断装置	日立メディコ	Slemia Dimensions 3D	1式
	一般撮影画像処理装置	コニカミノルタジャパン(株)	無線型フラットパネルAeroDRシステム	2式
	X線骨密度測定装置	GEヘルスケア・ジャパン	PLODIGY primo	1式
	歯科用撮影装置	モリタ	Veraviewepocs3DfamxiX Type2	1式
結石破碎室	体外衝撃波結石破碎装置	ドルニエ	Delta II	1式
検査室	採血管準備システム	Techno Medica	BC-ROBO 585	1台
	多項目自動血球分析装置	シスメックス	XN-2000	1台
	生化学自動分析装置	日立ハイテクノロジー	LABOSPECT008	1式
	呼吸機能検査装置	チェスト	CHESTAC-8900D	1式
	超音波診断装置	GEヘルスケア・ジャパン	Vivid S70N UltraEdition	1台
	超音波診断装置	フィリップス	EPIQ Elite	1式
内視鏡センター	内視鏡用超音波観測装置	オリンパスメディカルサイエンス	EU-ME2 PREMIER PLUS	1式
	上部消化管ビデオスコープ	オリンパスメディカルサイエンス	GIF-XP260NS 外	3式
	大腸ビデオスコープ	オリンパスメディカルサイエンス	PCF-Q260AZI 外	2式
	消化管内視鏡システム	オリンパスメディカルサイエンス	CV-290 外	2式
	先端湾曲ビデオスコープ	オリンパスメディカルサイエンス	LTF-S190-5	4式
	超音波気管支ファイバービデオスコープ	オリンパスメディカルサイエンス	BF-UC290F 外	3式

産婦人科	超音波診断装置	GEヘルスケア・ジャパン	Voluson S6	1台
	超音波診断装置	GEヘルスケア・ジャパン	Voluson E6	1台
	超音波診断装置	コニカミノルタジャパン(株)	SONOVISTA GX30	1式
	検診台 メグジョイナチュラル回転タイプ	アトムメディカル	1147676(ワサビグリーン) (パールピンク)	2式
内科	超音波診断装置	日立アロカメディカル	F37	1台
外科	超音波診断装置	コニカミノルタジャパン(株)	SONIMAGE HS1	1台
小児科	ベットサイドモニター	日本光電工業	PVM-4761-Q20	1式
整形外科	超音波診断装置	GEヘルスケア・ジャパン	LOGIQe	1台
耳鼻咽喉科	耳鼻咽喉科内視鏡システム	オリンパスメディカルサイエンス	ENF-V3	1式
眼科	光干渉断層計(OCT)	ニデック	RS-3000Advance	1式
	眼底カメラ	興和	VX-20	1式
	眼科ファイリングシステム	ピーエスシー	クライオ	1式
歯科 口腔外科	口腔外科用診察台ユニット	モリタ	シグノG50 セレクション外	1式
	口腔外科用レントゲン機器外	モリタ 外	ペラビューエポックス3DFアルファP外	1式
	エラン4 エレクトロ	ビーム・ブラウンエースクラブ	オシレーティングソー GA833 外	1式
	電動式外科用ドリル (マーククラブ ハーシステム)	ビーム・ブラウンエースクラブ	ELAN4 electro	1式
健診管理センター	乳房用X線撮影装置	日立製作所	Slemia Dimensions 2D	1式
	一般X線撮影装置	日立製作所	Radnext50	1式
	デジタル無散瞳眼底カメラ	トプコン	TRC-NW300	1式
	超音波診断装置	日立製作所	ARIETTA 60	1式
	X線透視撮影装置	日立製作所	DIAVISTA	1式
	骨密度想定装置	日立製作所	DCS-600EXV	1式
	マンモグラフィ画像保管システム	コニカミノルタジャパン(株)	Plissimo MG	1式

7. 令和3年度主な導入医療機器

所属	医療機器器具名	製造会社	規格	数量
HCU	EMMA 救急用カプノメータ	アイエムアイ マシモ	14201010	1式
ICLS委員会	シュミレーターPLUS	レールダルメディカル	150-28000 外	1式
安全管理センター	クリーンパーテーション (汚染除去仕様)	日本エアーテック	ACP-897DH	4式
医事情報課	「オンライン資格確認」システム	富士通		1式
外来放射線室 (2番)	一般X線撮影装置 RADREX	キャノンメディカルシステムズ	MR A D-A80 S/A3	1式
看護部	トランスファーストレッチャー	パラマウントベッド	KK-728B	10式
北4病棟	ベビーストレッチャー	東陽精工	TY235	1式
救急センター	ストレッチャー	村中	NST-1	1式
外科	マンモトームリボルブシステム	デヴィコアメディカルジャパン	MSCM1 外	1式
血管撮影室	ベッドサイドモニタ	日本光電工業(株)	PVM-4761-Q20	1式
検査室	バイオハザードキャビネット	スギヤマゲン	BHC-1010 II A2	1式
検査室	全自動免疫生化学統合システム ビトロス	オート・クリニカル・ダイアグノスティクス	XT7600	1式
検査室	超音波診断装置	GEヘルスケアジャパン	Vivid S70N Ultra Edition	1式
検査室	免疫測定装置	ロシュ	cobas pro 801	1式
検査室	微生物同定感受性分析装置/自動血球計数装置	ベックマンコールター	DxM1096/DxH900	1式
研修管理センター	新生児蘇生モデルアドバンス	高研	LM-111	1式
手術室	コビディエン ビデオ喉頭鏡	コビディエンジャパン	RMS McGRATH MAC ビデオ喉頭鏡	2式
手術室	エアウェイマネジメントスコープ	オリンパス	MAF-DM2	1式
手術室	OES ELITE光学視管70°	オリンパス	WA2T470A φ4mm	2式
整形外科 (手術室)	移動型デジタル式汎用一体型X線透視診断装置	GEヘルスケアジャパン	OEC Elite MiniView	1式
中央材料室	カセット式卓上型高圧蒸気滅菌器 ステイティム5000G4	ホワイトメディカル	G4-221005	1式
透析室	個人用多用途透析装置	日機装	DBB-200Si	1式
脳神経外科	超音波双方向血流計	日本光電工業(株)	DVM-4500/N	1式
ハビリテーション科	嚥下造影対応チェア コンバーVFX	タカノ株式会社	TB-211TATE	1式
フットケア外来	アクアス[ミスト式フットケアドリル]	ジェイ・シー・ティ	0583JCT 外	1式
放射線室	医用画像保管システム (PACS)	コニカミノルタジャパン	FINO. View. Pro	1式
南5階	バリアフリースケール	(株)エー・アンド・デイ	AD-6106R	1式
南5階 (整形外科)	能動型下肢用他運動訓練装置 (アートルモットK1)	日本シグマックス	574000	1式
南7階 (臨床工学室)	8人用セントラルモニター	日本光電工業(株)	WEP-5218	1式
リハビリ室	干渉電流型低周波治療器 ジェントルスティム	(株)フードケア	051001 外	1式
臨床工学室	加温加湿搭載型フロージェネレーター	F & Pヘルスケア	AIRV02	2式
臨床工学室	人工呼吸器	日本光電工業(株)	HAMILTON-C6	1式
臨床工学室	生体情報モニタ用送信機一式 (心電図・呼吸器・SpO2)	日本光電工業(株)	送信機ZS-630P	8式

8. 医療法に関する許可承認事項

(1) 施設基準一覧表

令和4年3月31日現在

区分	施設基準名	受理番号	算定開始年月日
基本診療料	歯科点数表の初診料の注1に規定する施設基準	(歯初診) 第97号	平成30年6月1日
	歯科外来診療環境体制加算1	(外来環1) 第345号	平成30年6月1日
	急性期一般入院料1	(一般入院) 第180号	平成30年9月1日
	救急医療管理加算	(救急医療) 第34号	令和2年4月1日
	超急性期脳卒中加算	(超急性期) 第17号	平成29年11月1日
	診療録管理体制加算2	(診療録2) 第90号	平成29年11月1日
	医師事務作業補助体制加算2 (40対1)	(事補2) 第59号	平成29年11月1日
	急性期看護補助体制加算 (25対1) 看護補助者5割未満	(急性看護) 第62号	令和3年9月1日
	看護職員夜間配置加算 (16対1配置加算1)	(看夜配) 第24号	令和元年9月1日
	療養環境加算	(療) 第113号	平成29年11月1日
	重症者等療養環境特別加算	(重) 第75号	平成29年11月1日
	無菌治療室管理加算1	(無菌1) 第10号	平成29年11月1日
	無菌治療室管理加算2	(無菌2) 第9号	平成29年11月1日
	栄養サポートチーム加算	(栄養チ) 第40号	平成29年11月1日
	医療安全対策加算1 (医療安全対策地域連携加算を含む)	(医療安全1) 第78号	平成30年4月1日
	感染防止対策加算1 (感染防止対策地域連携加算、抗菌薬適正使用加算を含む)	(感染防止1) 第25号	平成30年7月1日
	患者サポート体制充実加算	(患サポ) 第66号	平成29年11月1日
	ハイリスク妊娠管理加算	(ハイ妊娠) 第39号	平成29年11月1日
	ハイリスク分娩管理加算	(ハイ分娩) 第29号	平成29年11月1日
	総合評価加算	(総合評価) 第49号	平成29年11月1日
	後発医薬品使用体制加算1	(後発使1) 第34号	平成30年4月1日
	病棟薬剤業務実施加算1	(病棟薬1) 第35号	平成29年11月1日
	データ提出加算2	(データ提) 第75号	平成29年11月1日
	入院支援加算1 (地域連携診療計画加算、入院時支援加算含む)	(入退支) 第83号	平成30年4月1日
	認知症ケア加算2	(認ケア) 第105号	令和2年4月1日
	せん妄ハイリスク患者ケア加算	(せん妄ケア) 第35号	令和2年6月1日
	地域医療体制確保加算	(地医確保) 第9号	令和2年4月1日
	小児入院医療管理料4	(小入4) 第25号	令和2年6月1日
	回復期リハビリテーション病棟入院料1	(回1) 第8号	平成30年6月1日
	地域包括ケア病棟入院料2	(地包ケア2) 第43号	平成29年11月1日
	入院時食事療養費 (I)	(食) 第238号	平成29年11月1日
	歯科疾患管理料の注1に規定する総合医療管理加算及び歯科治療時医療管理料	(医管) 第297号	平成30年4月1日
	外来栄養食事指導料	(外栄食指) 第1号	令和2年4月1日
	心臓ペースメーカー指導管理料の注5に掲げる遠隔モニタリング加算	(遠隔ペ) 第30号	令和3年11月1日
	糖尿病合併症管理料	(糖管) 第37号	平成29年11月1日
	がん性疼痛緩和指導管理料	(がん疼) 第99号	平成29年11月1日
	がん患者指導管理料イ	(がん指イ) 第22号	平成29年11月1日
	がん患者指導管理料ロ	(がん指ロ) 第23号	平成29年11月1日
	がん患者指導管理料ハ	(がん指ハ) 第17号	平成29年11月1日
	がん患者指導管理料ニ	(がん指ニ) 第3号	令和2年4月1日
	糖尿病透析予防指導管理料	(糖防管) 第20号	平成29年11月1日
	小児運動器疾患指導管理料	(小運指管) 第12号	令和2年4月1日
	乳腺重症化予防ケア・指導料	(乳腺ケア) 第12号	平成30年5月1日
	腎代替療法指導管理料	(腎代替管) 第4号	令和2年7月1日
	小児科外来診療料	(小外診) 第255号	令和2年4月1日
	夜間休日救急搬送医学管理料の注3に規定する救急搬送看護体制加算1	(救搬看護) 第24号	令和2年4月1日
	外来放射線照射診療料	(放射診) 第10号	平成29年11月1日
開放型病院共同指導料	(開) 第16号	平成29年11月1日	
がん治療連携計画策定料	(がん計) 第22号	平成29年11月1日	
薬剤管理指導料	(薬) 第151号	平成29年11月1日	
医療機器安全管理料1	(機安1) 第59号	平成29年11月1日	
医療機器安全管理料2	(機安2) 第14号	平成29年11月1日	
医療機器安全管理料 (歯科)	(機安歯) 第5号	平成30年4月1日	
在宅患者訪問看護・指導料及び同一建物居住者訪問看護・指導料の注2	(在看) 第14号	令和2年4月1日	
持続血糖測定器加算及び皮下連続式グルコース測定	(持血測) 第25号	令和元年5月1日	
持続血糖測定器加算 (間歇注入シリンジポンプと連動しない持続血糖測定器を用いる場合)	(持血測2) 第7号	令和2年5月1日	
特掲診療料	遺伝学的検査	(遺伝検) 第6号	平成29年11月1日
	骨髄微小残存病変測定	(骨残測) 第1号	平成30年4月1日
	BRCA1/2遺伝子検査	(BRCA) 第3号	令和2年4月1日
	先天性代謝異常症検査	(先代異) 第9号	令和3年11月1日
	HPV核酸検出及びHPV核酸検出 (簡易ジェノタイプ判定)	(HPV) 第95号	平成29年11月1日
	検体検査管理加算 (I)	(検I) 第109号	平成29年11月1日
	検体検査管理加算 (IV)	(検IV) 第20号	平成29年11月1日
	時間内歩行試験及びシャトルウォーキングテスト	(歩行) 第29号	平成29年11月1日
	長期継続頭蓋内脳波検査	(長) 第7号	平成29年11月1日
	神経学的検査	(神経) 第45号	平成29年11月1日
	小児食物アレルギー負荷検査	(小検) 第24号	平成29年11月1日
	ポジトロン断層・コンピュータ断層複合撮影	(小断コ複) 第11号	平成29年11月1日
	CT撮影及びMRI撮影	(C・M) 第341号	平成29年11月1日
	外来化学療法加算1	(外化1) 第70号	平成29年11月1日
	連携充実加算	(外化連) 第1号	令和2年10月1日
無菌製剤処理科	(菌) 第77号	平成29年11月1日	
心大血管疾患リハビリテーション料 (I) (初期加算を含む)	(心I) 第19号	平成29年11月1日	

区分	施設基準名	受理番号	算定開始年月日
	脳血管疾患等リハビリテーション料（Ⅰ）（初期加算を含む）	（脳Ⅰ）第78号	平成29年11月1日
	運動器リハビリテーション料（Ⅰ）（初期加算を含む）	（運Ⅰ）第104号	平成29年11月1日
	呼吸器リハビリテーション料（Ⅰ）（初期加算を含む）	（呼Ⅰ）第85号	平成29年11月1日
	がん患者リハビリテーション料	（がんリハ）第39号	平成29年11月1日
	歯科口腔リハビリテーション料2	（歯リハ2）第127号	平成30年4月1日
	人工腎臓（慢性維持透析を行った場合1）	（人工腎臓）第59号	平成30年4月1日
	導入期加算2及び腎代替療法実績加算	（導入2）第11号	令和2年4月1日
	透析液水質確保加算及び慢性維持透析濾過加算	（透析水）第44号	平成30年4月1日
	下肢末梢動脈疾患指導管理加算	（肢梢）第38号	平成29年11月1日
	手術用顕微鏡加算	（手顕微加）第34号	平成30年4月1日
	CAD/CAM冠	（歯CAM）第774号	平成30年4月1日
	脳刺激装置植込術（頭蓋内電極植込術を含む。）及び脳刺激装置交換術	（脳刺）第10号	平成29年11月1日
	脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術	（脊刺）第12号	平成29年11月1日
	乳がんセンチネルリンパ節加算1及びセンチネルリンパ節生検（併用）	（乳セ1）第22号	平成29年11月1日
	経皮的冠動脈形成術（特殊カテーテルによるもの）	（経特）第21号	令和2年4月1日
	ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術	（ペ）第68号	平成29年11月1日
	大動脈バルーンパンピング法（IABP法）	（大）第41号	平成29年11月1日
	体外衝撃波腎・尿管結石破碎術	（腎）第23号	平成29年11月1日
	腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術	（腹前）第10号	平成30年5月1日
	医科点数表第2章第10部手術の通則の16に掲げる手術	（胃瘻造）第73号	平成29年11月1日
	輸血管管理料Ⅱ	（輸血Ⅱ）第52号	平成29年11月1日
	輸血適正使用加算	（輸適）第47号	平成29年11月1日
	人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算	（造設前）第37号	平成29年11月1日
	胃瘻造設時嚥下機能評価加算	（胃瘻造嚥）第37号	平成29年11月1日
	広範囲顎骨支持型装埋入手術	（人工歯根）第4号	平成30年8月1日
	歯根端切除手術の注3	（根切顕微）第31号	平成30年4月1日
	麻酔管理料（Ⅰ）	（麻管Ⅰ）第78号	平成29年11月1日
	放射線治療専任加算	（放専）第15号	平成29年11月1日
	外来放射線治療加算	（外放）第14号	平成29年11月1日
	高エネルギー放射線治療	（高放）第20号	平成29年11月1日
	1回線量増加加算（全乳房照射）	（増線）第10号	平成30年4月1日
	画像誘導放射線治療加算（IGRT）	（画誘）第12号	平成30年9月1日
	体外照射呼吸性移動対策加算	（体対策）第10号	平成29年11月1日
	定位放射線治療	（直放）第12号	平成30年4月1日
	クラウン・ブリッジ維持管理料	（補管）第1371号	平成30年4月1日
	酸素の購入価格に関する届出書	（酸素）第12511号	平成31年4月1日
保険外併用療養費	入院医療に係る特別の療養環境の提供	（入療養提供）第852号	令和元年10月1日
	時間外診察	（時間外診察）第45号	令和元年10月1日
	200床以上の病院の初診	（病院初診）第70号	令和元年10月1日
	201床以上の病院の再診	（病院再診）第25号	令和2年6月1日
	入院期間が180日を超える入院	（超過入院）第339号	令和元年10月1日
	金属床による総義歯の提供	（金属総義歯）第1275号	令和元年10月1日

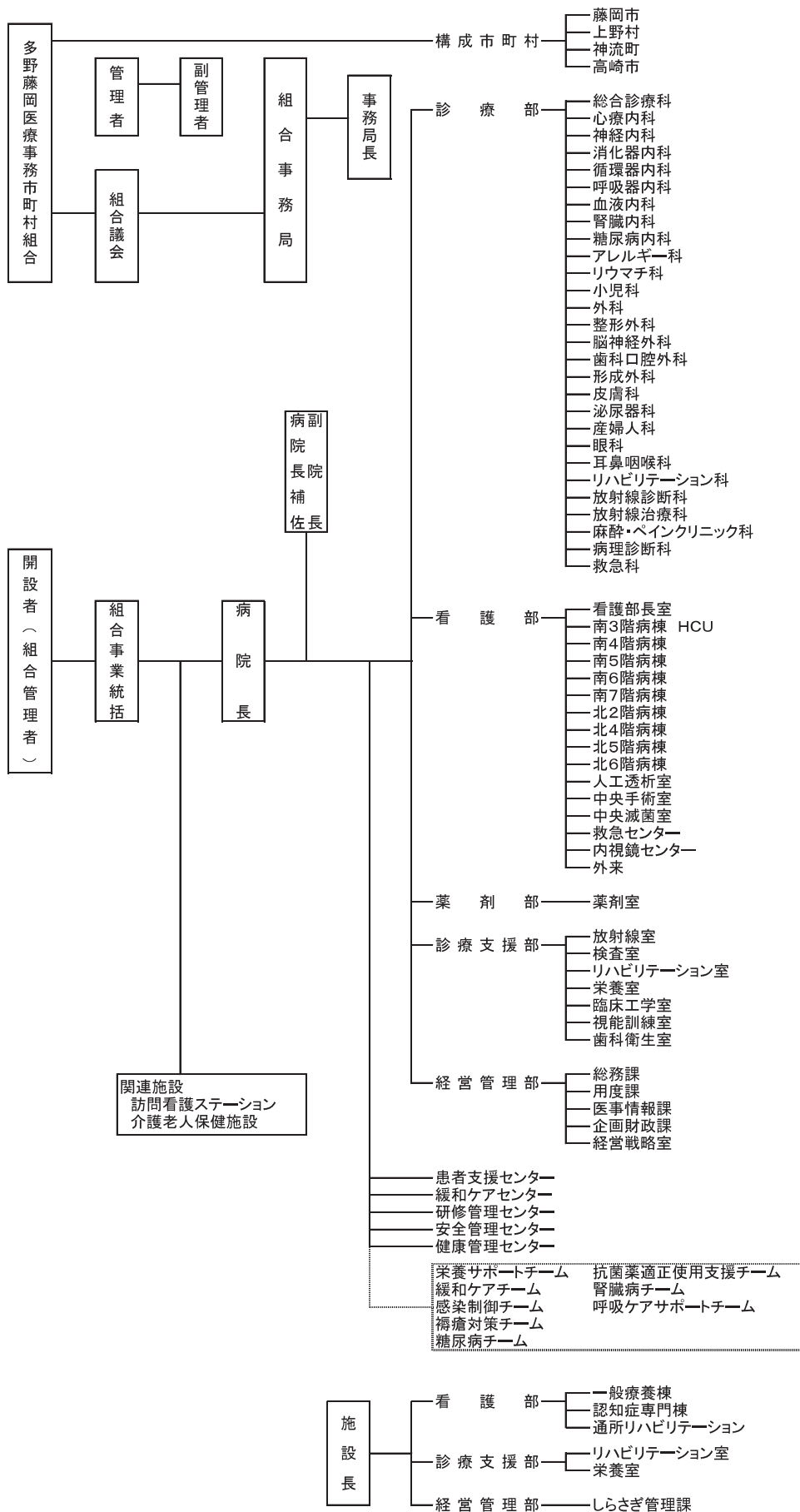
(2) 許可承認事項 (令和3年度分)

許可年月日	許可承認番号	許可及び承認並びに届出事項	許可及び承認者	摘要
令和3年4月1日 (算定辞退年月日)		連携充実加算	関東信越 厚生局長	辞退届
令和3年4月1日 (算定辞退年月日)		外来栄養食事指導料	関東信越 厚生局長	辞退届
令和3年10月1日	関厚発1001 第16号	急性期看護補助体制加算 (25対1) 看護補助者5割未満	関東信越 厚生局長	(急性看補) 第62号
令和3年12月1日	関厚発1201 第42号	心臓ペースメーカー指導管理料の注5に掲げ る	関東信越 厚生局長	(遠隔へ) 第30号
令和3年12月1日	関厚発1201 第42号	先天性代謝異常症検査	関東信越 厚生局長	(先代異) 第9号

II 組織及び職員の現況

令和4年3月31日

1. 組織



2. 職員数

職員の年度別推移（各年度末）

（単位：人）

部門・職種別	令和元年度			令和2年度			令和3年度			
	職員	臨時職員		職員	会計年度任用職員		職員	会計年度任用職員		
診療部	医師	74	69	5	71	66	5	71	65	6
		74	69	5	71	66	5	71	65	6
薬剤部	薬剤師	21	21		23	22	1	23	23	0
	再任用	2	1	1	1	1				
	薬剤助手	3		3	3		3	3		3
		26	22	4	27	23	4	26	23	3
診療支援部	診療放射線技師	21	21		21	21		21	21	
	再任用				1	1		2	2	
	臨床検査技師	25	18	7	23	18	5	25	21	4
	再任用	1	1		1	1				
	理学療法士	29	28	1	31	31		31	30	1
	再任用	1	1		1	1				
	作業療法士	13	12	1	15	14	1	19	18	1
	言語聴覚士	7	7		7	7		8	8	
	看護師									
	栄養士	5	5		5	5		6	6	
	再任用	1	1		1	1		2	2	
	臨床工学技士	7	7		7	7		8	8	
	視能訓練士	2	2		2	2		3	2	1
歯科衛生士	2	2		2	2		4	3	1	
	114	105	9	117	111	6	129	121	8	
看護部	看護師	316	289	27	329	299	30	340	308	32
	再任用	5	5		5	5		3	3	
	准看護師	7	4	3	5	3	2	3	3	
	再任用							1	1	
	介護福祉士	2	2		1	1				
	看護助手	17	6	11	15	4	11	13	3	10
	1	1		1	1		1	1		
	348	307	41	356	313	43	361	319	42	
経営管理部	事務員	39	30	9	36	30	6	37	30	7
	再任用	2	2		1	1		2	2	
	相談指導員									
	その他労務									
	41	32	9	37	31	6	39	32	7	
患者支援センター	看護師	4	4		5	5		6	5	1
	再任用	2	2		3	3		2	2	
	相談指導員	8	8		8	8		8	8	
	再任用		1							
	事務員	3	3		3	3		3	3	
	再任用		1			1		1	1	
	17	19		19	20		20	19	1	

部門・職種別		令和元年度			令和2年度			令和3年度		
		職員	臨時職員		職員	会計年度任用職員		職員	会計年度任用職員	
緩和ケアセンター	看護師	2	2		2	2		2	2	
	相談指導員	1	1		1	1		1	1	
	事務員									
		3	3		3	3		3	3	
研修管理センター	研修医	14		14	14		14	15		15
	看護師									
	事務員	3	2	1	3	2	1	3	2	1
		17	2	15	17	2	15	18	2	16
安全管理センター	看護師	2	2		2	2		2	2	
	事務員 再任用	6	6		6	6		6	6	
	その他労務 再任用							1	1	
	その他労務	2	1	1	2	1	1	1		1
		10	9	1	10	9	1	10	9	1
健康管理センター	事務員	1	1		1	1		1	1	
		1	1		1	1		1	1	
合計		651	569	84	658	579	80	678	594	84

訪問看護ステーション

(単位：人)

部門・職種別		令和元年度			令和2年度			令和3年度		
		職員	臨時職員		職員	会計年度任用職員		職員	会計年度任用職員	
看護師		8	6	2	10	8	2	12	9	3
再任用		1	1		1	1		1	1	
事務員										
合計		9	7	2	11	9	2	13	10	3

3. 主要役職員名簿

令和4年3月31日

職名	氏名	摘要	職名	氏名	摘要
管理者	新井 雅博	藤岡市長	脳神経外科 副院長	甲賀 英明 若林 和樹 込山 和毅	患者支援センター長
副管理者	田村 利男	神流町長	部長		
組合事業統括兼病院長	塚田 義人	安全管理センター長兼 内視鏡センター長	歯科口腔外科 医長	清水 崇寛 池 嘉子	
病院長補佐	設楽 芳範		医長		
副院長	甲賀 英明		皮膚科 部長	嶋岡 正利	
副院長	井上 雅浩	救急センター長	泌尿器科 部長	武井 智幸 坂本 亮一郎 縣 知弘	
診療部 総合診療科 部長	神保 貴宏	健康管理センター長	産婦人科 統括部長	遠藤 究 片貝 栄樹 道崎 護	臨床研修統括部長 研修管理センター長
消化器内科 部長	山口 泰子		部長		
循環器内科 副院長	井上 雅浩	救急センター長	部長		
部長	飯島 徹	健康管理センター長	部長		
部長	間瀬 由紀夫		医員		
部長	植田 哲也		リハビリテーション科 部長	黒崎 みのり 外山 里沙	
部長	高松 寛人		医員		
部長	小野 洋平		放射線診断科 部長	神宮 晶子 横田 貴之	
呼吸器内科 統括部長	茂木 充		医員		
部長	池田 香菜		放射線治療科 部長	塩谷 真里子	
部長	竹村 仁男		部長		
部長	高野 峻一		医員		
血液内科 部長	外山 耕太郎		放射線科・ペインクリニック科 統括部長	荒井 賢一 牛込 嘉美 田口 さゆり 金井 真樹 萩原 竜次	中央手術室統括部長兼救急センター集中治療室担当部長
部長	野口 紘幸		部長		
部長	武井 健二		部長		
部長	今村 健二		部長		
腎臓内科 組合事業統括兼病院長	塚田 義人		部長		
部長	太田 史絵		病理診断科 部長	吉田 孝友	
部長	月田 真祐子		臨床研修医 2年次	鈴木 美咲 小野 りさ子 古市 望 高橋 慶一郎 吉田 源也 峰村 成 今井 勝也 角張 友隆 高橋 里奈 大屋 紘太 林 孝史 前原 七海 前田 遼 松井 遼 岡部 環	
部長	茂木 伸介		2年次		
部長	半田 広海		2年次		
部長	中村 美紀		2年次		
糖尿病内科 部長	中原 理恵子		2年次		
小児科 統括部長	渡部 登志雄	診療統括部長	2年次		
部長	小山 晴美		2年次		
部長	相馬 洋紀		2年次		
外科 病院長補佐	設楽 芳範	安全管理センター長兼 内視鏡センター長	1年次		
部長	中村 卓郎		1年次		
部長	加藤 寿英		1年次		
部長	中里 健二		1年次		
部長	松本 明香		1年次		
部長	原 圭吾		1年次		
部長	高橋 遼		1年次		
部長	片山 千佳		看護部 看護部長室	高田 幸子 足利 章江 千木 直子	
部長	岡崎 英人		看護部長		
部長	青木 麻由		副看護部長		
整形外科 部長	中島 大輔		副看護部長		
部長	工藤 千佳		南3階病棟 看護師長	樋口 美恵子 児島 厚子 高橋 圭	
部長	坂根 英夫		副看護師長		
部長	津久井 俊樹		副看護師長		
部長	萩原 舟平		南4階病棟 看護師長	與口 裕 神岡 貴江 久保 愛	
部長	根岸 涼介		副看護師長		

職名	氏名	摘要	職名	氏名	摘要
南5階病棟 看護師長 副看護師長 副看護師長	藤巻 淳子 根岸 典子 成田 雅子		リハビリテーション室 室長 グループリーダー グループリーダー グループリーダー	関根 圭介 松山 悦典 福田 大典 小林 真	
南6階病棟 看護師長 副看護師長 副看護師長	藤野 妙子 茂木 裕子 齊田 亜弓		栄養室 グループリーダー	堀越 勝	
南7階病棟 看護師長 副看護師長	江原 忍 町田 かつ江		臨床工学室 室長 室長補佐 グループリーダー	金子 修 宇津木 徹 吉田 弘	
北2階病棟 看護師長 副看護師長	菊地 弘美 富山 麻裕子		視能訓練室 グループリーダー	宮本 恵子	
北4階病棟 看護師長 副看護師長 副看護師長	木部 和枝 原澤 優子 中村 道子		経営管理部 経営管理部長	新井 滋	
北5階病棟 看護師長 副看護師長 副看護師長	神宮 由香 高木 元美 石原 里美		総務課 課長 課長補佐 グループリーダー グループリーダー	塩川 広幸 秋山 裕子 金澤 祐子 中村 悟	
北6階病棟 看護師長 副看護師長 副看護師長	高橋 富士美 青木 裕美 高橋 久美子		用度課 課長 グループリーダー	新井 誠十郎 鈴木 晃	
人工透析室 看護師長	原 敦子		医事情報課 課長 グループリーダー グループリーダー グループリーダー グループリーダー	五十嵐 哲二 篠崎 清美 久保寺 正英 山崎 雄大 新井 敬継	
中央手術室 看護師長 副看護師長	野村 香 宮原 裕三		企画財政課 課長 課長補佐 グループリーダー グループリーダー	新井 恵介 齋藤 功志 富田 貴英 萩原 和美	
内視鏡センター 副看護師長	設楽 理枝		経営戦略室 室長 室長補佐	清宮 きよ江 平澤 和興	
外来 看護師長 副看護師長 副看護師長	飯島 京子 南雲 和子 平田 恵美		患者支援センター 参事兼事務統括 副看護師長 グループリーダー	横坂 政彦 針谷 ゆかり 青木 雅代	
薬剤部 薬剤部長 副薬剤部長	小幡 輝夫 堀口 裕之		緩和ケアセンター 事務統括 看護師長 副看護師長	横坂 政彦 古池 きよみ 森崎 裕美	
薬剤室 室長 室長補佐 グループリーダー	櫻澤 千世 久米 隆夫 岩崎 英久		研修管理センター 事務統括	金澤 祐子	
診療支援部 診療支援部長 副診療支援部長	金子 修 高田 哲也		安全管理センター 副看護部長 事務統括 看護師長兼 リスクマネージャー	染谷 由香里 塩川 広幸 斉藤 康行	
放射線室 室長 室長補佐 グループリーダー グループリーダー グループリーダー グループリーダー	高田 哲也 萩原 茂紀 岩村 隆夫 黒澤 琢磨 黒澤 伸司 金子 学		課長補佐 グループリーダー グループリーダー	黒澤 透 大澤 孝一 田畑 幸貴	
検査室 室長 室長補佐 グループリーダー グループリーダー グループリーダー	柴崎 洋一 相馬 千恵子 井口 弘美 奥田 康子 高橋 さゆり		健康管理センター 事務統括 グループリーダー	五十嵐 哲二 新井 美春	

訪問看護ステーション

職名	氏名	摘要	職名	氏名	摘要
看護部 看護師長	山口 明子				

4. 議会

(1) 構成議員

19人（藤岡市11人、上野村1人、神流町1人、高崎市3人、知識経験者3人）

(2) 議会開催状況（令和3年度）

中止 行政視察

令和3年6月2日 令和3年第2回多野藤岡医療事務市町村組合議会臨時会

令和3年11月16日 令和3年第3回多野藤岡医療事務市町村組合議会定例会

令和4年2月14日 令和4年第1回多野藤岡医療事務市町村組合議会定例会

(3) 議会議決事項

議案番号	件名	議決年月日
議案第7号	監査委員の選任について	令和3年6月2日
議案第8号	多野藤岡医療事務市町村組合職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正について	令和3年6月2日
報告第1号	資金不足比率の報告について	令和3年11月16日
議案第9号	令和3年度多野藤岡医療事務市町村組合立病院事業会計補正予算(第1号)について	令和3年11月16日
議案第10号	令和2年度多野藤岡医療事務市町村組合立病院事業会計決算認定について	令和3年11月16日
議案第11号	令和2年度多野藤岡医療事務市町村組合立介護老人保健施設事業会計決算認定について	令和3年11月16日
議案第1号	群馬県市町村総合事務組合の規約変更に関する協議について	令和4年2月14日
議案第2号	多野藤岡医療事務市町村組合職員定数条例の一部改正について	令和4年2月14日
議案第3号	多野藤岡医療事務市町村組合職員のサービスの宣誓に関する条例の一部改正について	令和4年2月14日
議案第4号	多野藤岡医療事務市町村組合職員の給与に関する条例の一部改正について	令和4年2月14日
議案第5号	多野藤岡医療事務市町村組合会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正について	令和4年2月14日
議案第6号	多野藤岡医療事務市町村組合職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正について	令和4年2月14日
議案第7号	多野藤岡医療事務市町村組合個人情報保護条例の一部改正について	令和4年2月14日
議案第8号	令和3年度多野藤岡医療事務市町村組合立病院事業会計補正予算(第2号)について	令和4年2月14日
議案第9号	令和3年度多野藤岡医療事務市町村組合立介護老人保健施設事業会計補正予算(第1号)について	令和4年2月14日
議案第10号	令和4年度多野藤岡医療事務市町村組合立病院事業会計予算について	令和4年2月14日
議案第11号	令和4年度多野藤岡医療事務市町村組合立介護老人保健施設事業会計予算について	令和4年2月14日

Ⅲ 院内会議及び委員会

1. 会議

名称	構成員	目的等	開催
幹部会議	病院長、病院長補佐、副院長、施設長、看護部長、副看護部長、薬剤部長、診療支援部長、放射線室長、検査室長、リハビリテーション室長、栄養室長、臨床工学室長、経営管理部長、総務課長、企画財政課長	組合内の管理運営の基本方針・執行、計画に関する審議。 各部門との協議・調整を必要とする事項の審議。 組合の管理運営に重大な影響を与えると認められる事項の審議。	月1回
連絡調整会議	病院長、病院長補佐、副院長、施設長、統括部長、部長、看護部長、副看護部長、看護師長、薬剤部長、副薬剤部長、薬剤室長、診療支援部長、副診療支援部長、放射線室長、検査室長、リハビリテーション室長、栄養室長、臨床工学室長、経営管理部長、総務課長、用度課長、医事情報課長、企画財政課長、経営戦略室長、患者支援事務統括	組合の経営に関する審議。 各部門との協議・調整に関する審議。	月1回
診療科長会議	病院長、病院長補佐、副院長、統括部長、各診療科長	診療部相互の情報交換、診療業務の推進方法及び改善に関する事項を審議。	月1回
看護師長会議	看護部長、副看護部長、看護師長	看護部相互の情報交換、看護業務の推進方法を審議。	月2回
課長会議	経営管理部長、課長	経営管理部の情報交換、経営管理機能の推進及び改善に関する事項を審議。	随時
室長会議	診療支援部長、室長	診療支援部相互の情報交換、診療支援部業務の推進方法及び改善に関する事項を審議。	随時

2. 委員会

名称	構成員	目的等	開催
安全衛生委員会	病院長補佐、産業医、施設長、部長、看護部長、副看護部長、看護師、薬剤室、放射線室、検査室、臨床工学室、視能訓練室、リハビリテーション室、栄養室、総務課長、総務課 計20人	職員の健康管理及び衛生管理並びに快適な職場環境について審議する。	月1回
院内感染予防対策委員会	病院長、病院長補佐、統括部長、部長、医長、看護部長、副看護部長、看護師長、専従リスクマネージャー、看護師、薬剤部長、薬剤室、診療支援部長、放射線室長、検査室長、検査室、リハビリテーション室長、栄養室長、経営管理部長、安全管理事務統括、研修医、安全管理センター 計33人	院内感染に関する組織的対策及び予防に関し協議する。	月1回
栄養管理委員会	病院長補佐、部長、医長、副看護部長、看護師長、副看護師長、看護師、薬剤部長、検査室、委託職員（日清医療食品）栄養室長、栄養室 計25人	患者給食の改善向上のため、より適正な事項を協議する。	月1回
医療安全管理委員会	病院長、病院長補佐、副院長、統括部長、部長、医長、看護部長、副看護部長、看護師長、薬剤部長、薬剤室長、診療支援部長、副診療支援部長、放射線室長、検査室長、リハビリテーション室長、栄養室長、視能訓練室、経営管理部長、医事情報課長、研修医、安全管理事務統括、専従リスクマネージャー、安全管理センター 計29人	医療事故の防止のための具体的対策の検討及び推進を図る。	月1回
医療事故対策委員会	病院長、病院長補佐、副院長、弁護士、看護部長、経営管理部長、薬剤部長、安全管理事務統括、専従リスクマネージャー、安全管理センター 計11人	医療苦情・事故等あった場合、適切かつ速やかに情報を把握し、迅速に対応することを目的とする。	随時

診療情報管理委員会	病院長、副院長、統括部長、部長、医長、副看護部長、看護師長、薬剤室長、放射線室、検査室長、総務課長、医事情報課長、企画財政課、経営戦略室長、研修医、医事情報課 計 26 人	診療録管理等に関し、必要な事項を審議する。	月 1 回
診療情報開示検討委員会	副院長、部長、副看護部長、総務課長、医事情報課長、医事情報課 計 7 人	診療情報の開示依頼があった場合、その取扱について審議する。	随時
外来・病床管理委員会	副院長、統括部長、部長、医長、看護部長、副看護部長、看護師長、副看護師長、診療支援部長、医事情報課長、経営戦略室長、研修医、患者支援事務統括、患者支援センター 計 32 人	入院患者の診療計画に基づき、有効な病床利用を審議する。	月 1 回
褥瘡対策委員会	副院長、部長、看護師長、看護師、薬剤室、栄養室長、リハビリテーション室、用度課、安全管理センター、患者支援センター 計 17 人	褥瘡について予防と治癒促進を図り、在院日数の短縮を促す。	月 1 回
サービス向上委員会	病院長、副院長、看護部長、看護師長、薬剤部長、副診療支援部長、放射線室長、検査室長、リハビリテーション室長、栄養室長、経営管理部長、医事情報課長、しらす管理課、専従リスクマネージャー、患者支援事務統括、研修管理事務統括、安全管理センター、経営戦略室、委託職員（東朋産業、ソラスト、日清医療）、総務課長、総務課 計 25 人	病院の円滑な業務遂行と患者サービスの改善向上を図る。	月 1 回
治験審査委員会	副院長、統括部長、部長、副看護部長、看護師長、薬剤部長、薬剤室長、検査室長、総務課長、企画財政課、外部委員（藤岡市職員、養護学校教諭）薬剤室 計 14 人	治験薬の臨床試験の実施について審査を行う。	月 1 回
倫理審査委員会	統括部長、部長、副看護部長、看護師長、薬剤部長、副薬剤部長、薬剤室長、検査室長、企画財政課、研修医、外部委員（藤岡市職員、養護学校教諭）総務課長、総務課 計 17 人	医療倫理の適正な推進を図ることを目的とする。	随時
薬事委員会	病院長補佐、副院長、統括部長、部長、副看護部長、薬剤部長、薬剤室長、用度課長、用度課、薬剤室 計 13 人	医薬品の適正な使用管理等に関し、必要な事項を審議する。	随時
輸血療法委員会	病院長補佐、部長、看護師長、副看護師長、看護師、薬剤室、医事情報課、検査室長、検査室 計 15 人	輸血療法の安全性確保と適正化を図る。	随時
臨床検査業務運営適正化委員会	病院長補佐、統括部長、部長、副看護部長、副看護師長、診療支援部長、用度課、医事情報課、検査室長、検査室 計 15 人	臨床検査の適正化を図り、制度向上と効率的な業務の遂行を図る。	随時
医療ガス安全管理委員会	副院長、統括部長、部長、副看護部長、看護師長、薬剤部長、診療支援部長、副診療支援部長、検査室長、委託業者（カンサン）安全管理センター 計 13 人	医療ガス整備の安全管理を図り、患者の安全を確保する。	年 1 回
放射線安全委員会	放射線取扱主任者、副院長、部長、放射線室長、検査室長、総務課長、用度課長、専従リスクマネージャー、放射線室 計 11 人	放射線障害防止について必要な事項を企画審議する。	年 1 回
防火・防災対策委員会	病院長、防火・防災管理者、病院長補佐、副院長、看護部長、薬剤部長、診療支援部長、検査室長、リハビリテーション室長、栄養室長、経営管理部長、総務課長、用度課長、専従リスクマネージャー、安全管理センター 計 17 人	防火管理を徹底し、防災管理を図る。	年 3 回
中央手術室運営委員会	病院長補佐、統括部長、部長、医長、副看護部長、看護師長、副看護師長、検査室、放射線室、医事情報課長、用度課長	各診療科との連絡調整及び手術室の効率的利用について協議し、業務の円滑な運営を図る。	随時

	計 16 人		
職員採用検討委員会	病院長、病院長補佐、副院長、看護部長、薬剤部長、診療支援部長、経営管理部長、企画財政課長、総務課長、総務課 計 11 人	効率的な職員の採用を図ることを目的に設置する。	随時
医療機器整備委員会	病院長、病院長補佐、副院長、統括部長、看護部長、薬剤部長、診療支援部長、経営管理部長、企画財政課長、企画財政課、用度課長、用度課 計 12 人	医療機器の調査、審議、機種決定をし、組合内の機器調整を行うことを目的とする。	随時
救急センター運営委員会	副院長、統括部長、部長、医長、副看護部長、看護師長、看護師、薬剤室長、放射線室、検査室、患者支援事務統括、経営戦略室長、研修医、医事情報課 計 25 人	救急センターの運営管理について審議し、円滑な運営を図る。	月 1 回
広報委員会	病院長、病院長補佐、副院長、看護部長、副看護部長、副看護師長、薬剤室長、放射線室、検査室長、リハビリテーション室長、総務課、医事情報課長、しらすぎの里介護員、患者支援事務統括、研修管理事務統括、研修管理センター、経営戦略室、企画財政課長、企画財政課 計 20 人	院内外に広報活動を進めることを目的とする。	随時
クリニカルパス委員会	副院長、部長、医長、副看護部長、看護師長、副看護師長、看護師、薬剤室、検査室、リハビリテーション室、栄養室、経営戦略室長、医事情報課 計 27 人	入院診療計画書作成を確立し、在院日数の短縮を図る。	月 1 回
電子化情報委員会	病院長、副院長、統括部長、部長、看護部長、副看護部長、看護師長、専従リスクマネージャー、薬剤室長、副診療支援部長、放射線室長、検査室長、リハビリテーション室長、栄養室長、経営管理部長、用度課長、医事情報課長、企画財政課長、患者支援事務統括、研修管理事務統括、医事情報課、企画財政課、委託業者（高崎共同センター） 計 28 人	院内の電子化整備と円滑な運用を図る。	随時
図書委員会	副院長、統括部長、副看護部長、薬剤部長、診療支援部長、検査室、リハビリテーション室長、栄養室長、用度課長、企画財政課、しらすぎ管理課、研修管理事務統括、研修管理センター 計 12 人	効率的な図書室の運営（図書購入、情報発信・収集・利用促進等）を行うことを目的とする。	随時
がん診療委員会	病院長補佐、副院長、部長、看護師長、副看護師長、看護師、薬剤室、検査室長、リハビリテーション室、医事情報課長、患者支援センター、緩和ケアセンター、医事情報課 計 29 人	がん診療の向上と患者への支援等、がん登録業務の円滑な運営を行うことを目的とする。	月 1 回
研修委員会	副院長、統括部長、看護部長、副看護部長、薬剤部長、副診療支援部長、放射線室長、検査室、リハビリテーション室長、栄養室長、経営管理部長、総務課長、企画財政課長、しらすぎ管理課、委託職員（東朋産業、ソラスト）、研修管理事務統括、研修管理センター 計 20 人	病院の職員研修及び病院外研修について、的確かつ円滑に行うことを目的とする。	年 4 回
職員提案委員会	病院長、病院長補佐、副院長、看護部長、薬剤部長、診療支援部長、経営管理部長、企画財政課長、総務課長、総務課 計 11 人	組合の円滑な運営を図るとともに、業務の改善について適切な提案をし、もって医療サービスの推進及び業務の能率的、効率的向上を図ることを目的とする。	随時

I C L S 委 員 会	副院長、統括部長、部長、副看護部長、看護師長、看護師、薬剤室、放射線室、検査室、リハビリテーション室、栄養室、臨床工学室、患者支援センター 計 16 人	組合全職員が BLS 及び ICLS を学び実践し、地域への啓蒙活動を行うことを目的とする。	年 4 回
勤務負担軽減委員会	病院長、病院長補佐、副院長、看護部長、薬剤部長、放射線室長、検査室長、リハビリテーション室長、栄養室長、経営管理部長、医事情報課長、企画財政課長、総務課長、研修管理事務統括、研修管理センター 計 15 人	安心・安全な医療を提供することを目的に医師への勤務負担について検討する。	随時
透 析 機 器 安 全 管 理 委 員 会	部長、看護師長、看護師、専従リスマネージャー、副診療支援部長、安全管理センター、臨床工学室 計 12 人	透析機器の安全管理を図り、患者の安全を確保する。	随時
S P D 委 員 会	病院長、副院長、統括部長、副看護部長、看護師長、薬剤部長、診療支援部長、副診療支援部長、検査室、経営管理部長、医事情報課長、企画財政課長、医事情報課、用度課長、用度課 計 19 人	公立藤岡総合病院・公立藤岡総合病院附属外来センターにおいて使用する診療材料、薬品等の物流、整備、管理について、医療水準の向上、患者サービスのより一層の向上を図るために必要な事項を調査、審議する。	年 2 回
健康管理センター運営委員会	統括部長、部長、看護部長、看護師長、放射線室長、検査室長、栄養室長、医事情報課長、企画財政課長、経営戦略室長、委託職員（ソラスト）、健康管理センター 計 14 人	地域住民及び公立藤岡総合病院における職員の健康推進を図る。	随時
糖 尿 病 治 療 支 援 委 員 会	部長、看護師長、副看護師長、看護師、薬剤室長、薬剤室、検査室長、検査室、リハビリテーション室、栄養室長、栄養室、緩和ケアセンター、患者支援センター 計 16 人	公立藤岡総合病院及び附属外来センターにおける糖尿病患者の合併症等の予防を図ると共に QOL の向上を促す。	随時
研 修 管 理 委 員 会	病院長、病院長補佐、副院長、施設長、統括部長、部長、看護部長、薬剤部長、診療支援部長、経営管理部長、企画財政課長、他病院・他施設の研修実施責任者、有識者、研修医、研修管理事務統括、研修管理センター 計 35 人	医師臨床研修制度の基本理念を遵守するとともに、研修内容の充実とその資質の向上を図り、研修プログラムの策定、研修医・指導医の評価及び処遇など、臨床研修病院群との連携の下に新医師臨床研修制度の構築を図る。	随時
T Q M 委 員 会	病院長、病院長補佐、看護部長、薬剤部長、診療支援部長、経営管理部長、医事情報課長、企画財政課長、経営戦略室長、経営戦略室、計 12 人	地域医療の負託にこたえ、医療の質を向上させることを目的とする。	随時
診 療 報 酬 委 員 会	病院長、副看護部長、経営管理部長、企画財政課長、経営戦略室長、委託職員（ソラスト）医事情報課長 計 9 人	診療報酬請求の適正な請求をすることを目的とする。	随時
内 視 鏡 セ ン タ ー 運 営 委 員 会	病院長補佐、部長、看護部長、副看護部長、看護師長、看護師、放射線室、検査室、医事情報課、企画財政課 計 15 人	組合が実施する内視鏡検査・処置の適正かつ効果的な運営を図る。	随時
虐 待 防 止 委 員 会	統括部長、専従リスマネージャー、看護師長、医事情報課長、患者支援センター事務統括、患者支援センター 計 11 人	虐待への迅速な対応及び組織的な対処を行うことを目的とする。	随時
呼 吸 ケ ア サ ポ ー ト 委 員 会	統括部長、医長、看護師、臨床工学室、リハビリテーション室、医事情報課 計 10 人	医療従事者の呼吸ケア、呼吸療法、呼吸リハビリ関連の知識、技術の水準を引き上げ、その状態を維持発展させ、安全で効率的な質の高い医療の提供が行えるように啓発、育成し、患者に対する最善の医療の提供につなげることを目的とする。	月 1 回

IV 学会及び研修会

名称	開催場所	開催月	出席人数
診療部			
第44回日本脳神経CI学会総会	Web開催	4月	1人
第121回日本外科学会定期学術集会	Web開催	4月	1人
第118回日本内科学会講演会	Web開催	4月	10人
第107回日本消化器病学会総会	Web開催	4月	1人
第3回横浜ライブデモンストレーション	Web開催	4月	1人
第108回日本消化器病学会総会ポストグラデュエイトコース	Web開催	4月	1人
第39回関東腹腔鏡下胃切除研究会	Web開催	4月	1人
第61回日本呼吸器学会学術講演会	Web開催	4月	2人
日本リウマチ学会JCR2021マニュアルコースレクチャー	Web開催	4月	1人
第65回日本リウマチ学会総会学術集会	Web開催	4月	3人
第80回日本医学放射線学会総会	Web開催	4月	1人
第50回日本脊推脊髄病学会学術集会	Web開催	5月	1人
第57回CVIT関東甲信越地方会	Web開催	5月	1人
群馬県産業保健総合支援セミナー	前橋市	5月	1人
群馬産業保健総合支援センター	前橋市	5月	1人
第75回NPO法人日本口腔科学会学術集会	Web開催	5月	1人
第41回日本脳神経外科コンgres総会	Web開催	5月	2人
第38回小倉ライブ2021	Web開催	5月	2人
第65回日本リウマチ学会総会学術集会/教育研修講演	Web開催	5月	1人
第19回日本ヘルニア学会学術集会	Web開催	5月	1人
2021年度日本内科学会生涯教育講演会	Web開催	5月	1人
第59回日本アレルギー学会専門医認定教育セミナー	Web開催	5月	1人
第68回日本麻酔科学会学術集会	Web開催	6月	1人
第66回日本透析医学会学術集会・総会	Web開催	6月	2人
第19回日本脊髄外科学会教育セミナー	Web開催	6月	1人
第120回日本皮膚科学会総会	Web開催	6月	1人
第94回日本整形外科学会学術総会	Web開催	6月	1人
第31回日本顎変形症学会総会・学術大会	Web開催	6月	1人
第39回日本脳腫瘍病理学会教育セミナー	Web開催	6月	1人
第41回日本脳神経外科コンgres総会	Web開催	6月	1人
第45回日本頭頸部癌学会	Web開催	6月	1人
第26回日本緩和医療学会学術大会	Web開催	6月	1人
第64回日本腎臓学会学術総会	Web開催	6月	3人
高齢者医療研修会・座学	Web開催	6月	1人
第38回脳神経外科生涯教育研修会	Web開催	6月	1人
第49回日本小児神経外科学会小児神経外科教育セミナー2021	Web開催	6月	1人
第94回日本整形外科学会学術総会	Web開催	6月	1人
第30回日本脳ドック学会総会	Web開催	6月	1人
第33回気管支鏡セミナー	Web開催	6月	1人
第44回日本呼吸器内視鏡学会学術集会	Web開催	6月	1人
第30回日本脳ドック学会総会、脳卒中・認知症予防のための医学会	Web開催	6月	1人
第29回日本乳癌学会学術総会	Web開催	7月	1人
循環動態アカデミー	Web開催	7月	1人
第141回関東連合産科婦人科学会総会学術集会	Web開催	7月	2人
第76回日本消化器外科学会総会	Web開催	7月	3人
TOPIC 2021	Web開催	7月	1人
第57回日本周産期・新生児医学会学術集会	Web開催	7月	1人
日本内科学会第670回関東地方会・第64回生涯教育講演会	Web開催	7月	1人
日本心エコー図学会	Web開催	7月	1人
群馬県産業保健総合支援セミナー	前橋市	7月	1人
第54回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会	Web開催	8月	1人
日本人間ドック学会2021第2回専門医研修会	Web開催	8月	1人
第27回 日本心血管インターベンション治療学会 中国・四国地方会	Web開催	9月	2人
第261回 日本循環器学会関東甲信越地方会	Web開催	9月	1人
日本脳神経外科学会専門医試験	東京都	9月	1人
日本内科学会関東支部主催 第671回関東地方会	Web開催	9月	1人

第57回 日本医学放射線学会秋季臨床大会	Web開催	9月	1人
第62回 日本人間ドック学会学術大会	Web開催	9月	2人
第16回 腎病理夏の学校	Web開催	9月	1人
第83回 日本血液学会学術集会	Web開催	9月	2人
第51回 日本腎臓学会東部学術大会	Web開催	9月	2人
2021年度 日本内科学会生涯教育講演会Bセッション(2回目)	Web開催	10月	1人
JMECC内科救急講習会	前橋市	10月	1人
第53回日本小児感染症学会総会・学術集会	Web開催	10月	1人
第86回日本泌尿器科学会 東部総会	Web開催	10月	1人
日本脳神経外科学会専門医試験	仙台市	10月	1人
第58回 日本心血管インターベンション治療学会 関東甲信越地方会	Web開催	10月	1人
第23回臨床筋電図・電気診断学入門講習会	Web開催	10月	1人
第59回日本癌治療学会学術集会	Web開催	10月	1人
第70回日本感染症学会 東日本地方会学術集会	Web開催	10月	1人
第40回関東腹腔鏡下胃切除研究会	Web開催	10月	1人
日本心エコー図学会 第18回秋期講習会	Web開催	10月	1人
第27回日本腹膜透析医学会学術集会・総会	Web開催	10月	1人
第74回日本胸部外科学会定期学術集会	Web開催	11月	1人
伊勢志摩ライブ2021	Web開催	11月	1人
日本臨床麻酔学会第41回大会	Web開催	11月	1人
第29回日本消化器関連学会週間(JDDW2021)	Web開催	11月	1人
第60回日本アレルギー学会専門医認定教育セミナー	Web開催	11月	1人
第58回日本小児アレルギー学会学術大会	Web開催	11月	1人
第66回日本口腔外科学会総会・学術大会	Web開催	11月	1人
2021年度 日本内科学会生涯教育講演会Cセッション	Web開催	11月	1人
新生児蘇生法研修会に伴う用具の借入	前橋市	11月	1人
第70回日本アレルギー学会学術大会	Web開催	11月	1人
第373回ICD講習会	東京都	11月	1人
第46回東日本小児科学会	Web開催	11月	2人
日本人間ドック学会 2021年第3回専門医研修会	Web開催	11月	1人
第21回日本クリニカルバス学会学術集会	Web開催	11月	1人
第35回群馬県冠血管治療懇談会	前橋市	11月	2人
第61回日本核医学会学術総会・第41回日本核医学技術学会総会学術大会	Web開催	11月	1人
第142回関東連合産科婦人科学会総会・学術集会	Web開催	11月	1人
第24回日本整形外傷セミナー(JOTS)	Web開催	11月	1人
第17回日本乳癌学会 関東地方会	Web開催	12月	1人
第34回日本内視鏡外科学会総会	Web開催	12月	1人
第53回日本心血管インターベンション治療学会 北海道地方会	Web開催	12月	1人
第35回日本泌尿器内視鏡学会総会	Web開催	12月	1人
第31回日本リウマチ学会関東支部学術集会	東京都	12月	1人
第674回日本内科学会関東地方会	Web開催	12月	1人
群馬産業保健総合支援セミナー	前橋市	12月	1人
第108回日本皮膚科学会群馬地方会	前橋市	12月	1人
第31回日本乳癌検診学会学術総会	Web開催	12月	1人
日本循環器学会 教育研修部会 2021年度臨床研究・統計教育プログラム	Web開催	1月	1人
第83回日本臨床外科学会総会	Web開催	1月	1人
第33回日本心血管インターベンション治療学会九州・沖縄地方会/第6回冬季症	Web開催	1月	1人
日本心エコー図学会 第26回冬季講習会	Web開催	1月	1人
J-CalC2022	Web開催	1月	1人
第45回日本てんかん外科学会/第61回日本定位・機能神経外科学会	Web開催	1月	1人
日本内科学会 第675回関東地方会	Web開催	2月	3人
第109回日本泌尿器科学会総会	Web開催	2月	1人
第32回日本間脳下垂体腫瘍学会	Web開催	2月	1人
第45回群馬県透析懇話会	Web開催	2月	2人
中国四国ライブin倉敷2022	Web開催	2月	1人
2021年度「回復期リハビリテーション病棟専従医師研修会」	Web開催	2月	1人
第24回日本ヒト脳機能マッピング学会	Web開催	3月	1人
Tokyo Physiology 2022 by FRIENDS Live	Web開催	3月	1人
第2回群馬心エコー図研究会	Web開催	3月	1人

日本臨床栄養代謝学会 2022年NST医師教育セミナー	Web開催	3月	1人
第55回・第56回教育研修会	Web開催	3月	1人
第86回日本循環器学会学術集会	Web開催	3月	1人
第7回日本アレルギー学会関東地方会	Web開催	3月	1人
STROKE 2022	Web開催	3月	1人
第676回関東地方会	Web開催	3月	1人
第8回総合アレルギー講習会	Web開催	3月	1人
第12回日本腎臓リハビリテーション学会学術集会	Web開催	3月	1人
日本歯科専門医機構 研修	Web開催	3月	1人
薬剤部			
第69回日本化学療法学会/第95回日本感染症学会	Web開催	5月	2人
第14回日本緩和医療薬学会	Web開催	5月	1人
第36回日本臨床栄養代謝学会学術集会	Web開催	7月	2人
日本病院薬剤師会関東ブロック第51回学術大会	Web開催	8月	8人
第39回北関東病院感染対策懇話会	Web開催	9月	2人
第31回日本医療薬学会年会	Web開催	10月	2人
第48回日本小児臨床薬理学会学術集会	Web開催	10月	1人
第68回日本化学療法学会 東日本支部総会	Web開催	10月	1人
令和3年度がん専門薬剤師集中教育講座WEB	Web開催	11月	1人
第15回日本腎臓病薬物療法学会学術集会・総会2021	Web開催	11月	1人
第40回北関東病院感染対策懇話会	Web開催	1月	1人
日本臨床腫瘍薬学会学術大会2022	Web開催	3月	2人
放射線室			
日本放射線技術学会 2021年度 第1回CTGUMセミナー	Web開催	5月	1人
第77回日本放射線技術学会総会学術大会	Web開催	5月	2人
日本放射線技術学会 2021年度 春季勉強会	Web開催	5月	1人
日本放射線技術学会 中部支部画像研究会 第65回画像研究会	Web開催	5月	1人
日本放射線技術学会 中部支部画像研究会 第66回画像研究会	Web開催	6月	1人
第14回群馬GyroUsersMeeting	Web開催	7月	2人
日本放射線技術学会 2021年度 第1回関東DR研究会	Web開催	7月	1人
日本放射線技術学会 2021年度 第2回CTGUMセミナー	Web開催	9月	1人
日本放射線技術学会 第2回サーベイメータ活用セミナー	Web開催	9月	1人
第41回日本核医学技術学会総会学術大会	名古屋市	11月	1人
第1回群馬県臨床検査技師・診療放射線技師 合同勉強会	前橋市	11月	2人
第70回群馬県核医学研究会	前橋市	11月	1人
第20回CTテクノロジーフォーラム	Web開催	12月	4人
第8回 CV-NET 信州	Web開催	12月	1人
2021年度 第3回CTGUMセミナー	Web開催	1月	2人
放射線治療品質管理機構 第31回講習会	Web開催	2月	1人
第50回 SAITAMA MRI Conference	Web開催	2月	1人
第21回 胃X線検査を楽しく学ぶ会	Web開催	2月	1人
第49回東京MR励起会	Web開催	3月	2人
第10回 胃X線読影勉強会	Web開催	3月	1人
検査室			
第70回日本医学検査学会	Web開催	5月	2人
第64回日本糖尿病学会年次学術集会	Web開催	6月	2人
ニューロバック講習会NCSビギナーズコース	Web開催	6月	1人
第74回群馬臨床細胞学会学術集会	高崎市	7月	2人
脳波計講習会	Web開催	7月	1人
第72回日本医学検査学会コンペ	高崎市	7月	1人
日本超音波検査学会	Web開催	7月	1人
群馬県臨床検査技師会法人登記打合せ	前橋市	7月	1人
第81回 細胞検査士教育セミナー	Web開催	9月	1人
日臨技認定「資格更新研修会」認定病理検査技師特定講習会	Web開催	9月	1人
群馬県臨床検査技師会 新人研修会	前橋市	10月	1人
タスクシフト厚労省指定講習会	前橋市	10月	1人
第1回群馬県臨床検査技師・診療放射線技師 合同勉強会「乳腺画像を極める」	前橋市	11月	4人
第66回群馬県医学検査学会	Web開催	11月	7人
群馬県臨床検査技師会 新春講演会	前橋市	1月	4人

令和3年度群馬臨床細胞学会	Web開催	2月	3人
リハビリテーション室			
第58回 日本リハビリテーション医学会学術集会での発表	Web開催	6月	1人
第8回 STのための嚥下実習講習会	Web開催	8月	1人
第22回 日本言語聴覚学会	Web開催	8月	1人
第26・27回 合同学術大会 日本摂食嚥下リハビリテーション学会	Web開催	8月	1人
令和3年度リハビリ専門委員会報告会	Web開催	9月	1人
第7回 日本呼吸理学療法学会学術大会	Web開催	9月	2人
第26回3学会合同呼吸療法認定士認定講習会	Web開催	10月	1人
第23回群馬県作業療法学会	Web開催	10月	3人
リハビリテーション・ケア合同研究大会 兵庫2021	神戸市	11月	1人
第19回更新者用講習会	Web開催	11月	1人
回復期リハビリテーション病棟協会PTOTSTリーダー研修会	Web開催	11月	1人
栄養室			
2020年度エキスパートナー(がん)eラーニング	Web研修	5月	1人
腎臓病療養指導士認定のための講習会	Web研修	6月	1人
2021年度がん病態栄養専門管理栄養士セミナー eラーニング	Web研修	7月	1人
2021年度 日本病態栄養学会セミナー教育セミナーeラーニング	Web研修	8月	1人
日本脂質栄養学会 第30回大会	Web研修	9月	1人
第15回日本腎臓病薬物療法学会学術集会・総会2021	Web研修	11月	1人
令和3年度群馬県栄養士会生涯教育研修会	Web研修	11月	3人
第24回・第25回 日本病態栄養学会年次学術集会	Web研修	1月	5人
糖尿病療養指導士更新用講習会 第19回更新者用講習会	Web研修	2月	1人
第41回食事療法学会・オンライン	Web研修	3月	4人
令和3年度介護報酬改定と令和4年度診療報酬改定について	Web研修	3月	5人
第18回オホーツク糖尿病教育研修会	Web研修	3月	3人
臨床工教室			
第66回日本透析医学会学術集会・総会	横浜市	6月	3人
第1回 関東甲信越臨床工学会	Web研修	10月	4人
厚生労働大臣の指定による研修	東京都	12月	1人
第5回群馬県臨床工学技士会呼吸器セミナー	Web研修	2月	1人
厚生労働大臣指定による研修	東京都	3月	1人
視能訓練室			
第75回日本臨床眼科学会	Web研修	10月	1人
第62回日本視能矯正学会ハイブリッド開催	Web研修	11月	2人
看護部			
令和3年度群馬県保健師助産師看護師実習指導者講習会	前橋市	5月	4人
群馬県看護協会代議員研修会、理事会役員会	前橋市	5月	1人
2021認定看護管理者教育課程セカンドレベル	前橋市	5月	2人
2021認定看護管理者教育課程セカンドレベル	前橋市	6月	2人
令和3年度群馬県保健師助産師看護師実習指導者講習会	前橋市	6月	2人
令和3年度第1回院内コーディネーター研修会	前橋市	6月	2人
令和3年度群馬県看護協会通常総会	前橋市	6月	2人
新型コロナウイルス感染症の基礎知識とワクチン接種演習	前橋市	6月	3人
2021認定看護管理者教育課程セカンドレベル	前橋市	7月	2人
看護実践に活かすフィジカルアセスメント	前橋市	7月	1人
第31回群馬県看護の日記念式典	前橋市	7月	1人
2021認定者看護管理者教育課程セカンドレベル	前橋市	8月	3人
看護補助者活用推進のための管理者研修	前橋市	8月	3人
看護職員認知症対応力向上研修	前橋市	8月	2人
2021認定者看護管理者教育課程セカンドレベル	前橋市	9月	2人
医療安全対策相互評価 病院訪問	伊勢崎市	9月	1人
2021認定者看護管理者教育課程ファーストレベル	Web開催	9月	2人
自治体病院看護部長会議	前橋市	10月	1人
群馬県看護協会 新人看護職員研修事業 研修責任者研修 打ち合わせ	前橋市	10月	1人
新人看護職員研修事業 実地指導者 研修開催要領	前橋市	10月	1人
2021認定者看護管理者教育課程セカンドレベル	前橋市	10月	2人
2021認定者看護管理者教育課程ファーストレベル	前橋市	10月	2人
自治体病院看護部長会議	前橋市	11月	1人

第31回日本呼吸ケア・リハビリテーション学会学術集会	Web開催	11月	1人
糖尿病重症化予防(フットケア)研修	松本市	11月	1人
群馬県看護協会 新人看護職員研修事業 研修責任者研修	前橋市	11月	2人
ICN分科会	前橋市	11月	2人
2021認定者看護管理者教育課程ファーストレベル	前橋市	11月	2人
2021認定者看護管理者教育課程セカンドレベル	前橋市	11月	2人
2021認定者看護管理者教育課程ファーストレベル	前橋市	12月	2人
初めてのプリセプター研修	前橋市	12月	9人
医療安全管理者養成研修	前橋市	12月	3人
令和3年度災害看護支援ナースフォローアップ研修	前橋市	12月	5人
2021認定者看護管理者教育課程ファーストレベル	前橋市	1月	2人
北毛病院看護教育研修 講師	渋川市	1月	1人
研修管理センター			
第39回院内ICLSコース	藤岡市	5月	5人
第40回院内ICLSコース	藤岡市	6月	1人
第41回院内ICLSコース受講	藤岡市	7月	2人
第2回群馬県新生児蘇生法研修会Aコース	渋川市	9月	1人
母体救命講習会	前橋市	11月	1人
安全管理センター			
医療安全対策相互評価 病院訪問	伊勢崎市	9月	1人
ICN分科会	前橋市	11月	1人
訪問看護ステーション			
訪問看護師養成研修	前橋市	6月	1人
訪問看護師養成研修	前橋市	7月	5人
訪問看護ステーション実習	前橋市	8月	1人
訪問看護師養成研修	前橋市	8月	7人
訪問看護師養成研修	前橋市	10月	1人
訪問看護研修 指導者編	前橋市	11月	1人

V 研究業績

1. 論文 (原著・総説・著書等)

【呼吸器内科】

筆頭者名	共著者名	論文名	雑誌名	巻(号)	頁(初頁・終頁)	発行年月
茂木 充	竹村仁男、梅津和恵、黒岩裕也、板井美紀、中川純一	寛解導入後に血液悪性腫瘍を発症した縦隔原発非セミノーマ性胚細胞腫瘍の2例	日本呼吸器学会誌	10(4)	339-342	2021年
高野俊一	板井美紀、梅津和恵、豊田正昂、原健太郎、小林頂、申悠樹、相川政紀、中川純一、茂木 充	術後胸腔内再発に対して放射線治療・逐次化学療法により長期無増悪生存が得られた胸腺癌の1例肺癌	日本肺癌学会誌	61(3)	184-188	2021年
茂木 充		コロナ第6波に備える 一人一人の行動で抑制	上毛新聞 視点オピニオン21			2021年11月
茂木 充		年末年始のコロナ対策 感染広げぬ行動続けて	上毛新聞 視点オピニオン21			2021年12月
茂木 充		マイクロ飛沫感染対策 マスクと黙食の徹底を	上毛新聞 視点オピニオン21			2022年2月

【外科】

筆頭者名	共著者名	論文名	雑誌名	巻(号)	頁(初頁・終頁)	発行年月
中村卓郎		第2章栄養療法の基礎 II.栄養評価 C.生化学的指標	日本臨床栄養代謝学会 JSPENテキストブック 日本臨床栄養代謝学会(編)		148-156	2021年

【整形外科】

筆頭者名	共著者名	論文名	雑誌名	巻(号)	頁(初頁・終頁)	発行年月
井野福央	金子哲也 坂根英夫 岡部興一 須藤貴仁 筑田博隆	骨病変で発見された悪性リンパ腫の3例	東日本整形外科学会	34(1)	68-72	令和4年3月

【脳神経外科】

筆頭者名	共著者名	論文名	雑誌名	巻(号)	頁(初頁・終頁)	発行年月
松本正弘	川島隆弘、谷崎義生、朝倉健、甲賀英明、栗原秀行	群馬県における脳卒中診療医と行政の連携による急性期脳卒中治療システムの構築	日本神経救急学会誌	33巻2号	58-65	2021/12/1

【リハビリテーション室】

筆頭者名	共著者名	論文名	雑誌名	巻(号)	頁(初頁・終頁)	発行年月
Shuntaro Tamura	Kazuhiro Miyata, Sota Kobayashi Ren Takeda, Hiroki Iwamoto	The mimimal clinically important difference in Berg balance scale among Patients with early subacute stroke: a multicenter, retrospective, observational study.	Topic in Stroke Rehabilitation	Online First	1-7	2021年7月
Shuntaro Tamura	Kazuhiro Miyata, Sota Kobayashi Ren Takeda, Hiroki Iwamoto	Mimimal clinically important difference in Berg Balance Scale in older adults with hip fracture	Disability and Rehabilitation	Online First	1-6	2021年8月
Shuntaro Tamura	Kazuhiro Miyata, Tatsuya Igarashi, Takamitsu Iizuka, Tomohiro Otani, Shigeru Usuda	Mimimal clinically important difference of the Short Physical Performance Battery and Comfortable walking speed in old-old Adults with Acute Cardiovascular Disease: A Multicenter, Prospective,	Disability and Rehabilitation	Online First	1-8	2022年3月

2. 学会及び研究発表

【循環器内科】

演者名	共同演者名	演題名	学会・研究会名	年月	開催地	口演/示説
高松寛人	公立藤岡総合病院 小野洋平、植田哲也、 間淵由紀夫、井上雅浩 高瀬クリニック 長岡秀樹	左鎖骨下動脈狭窄を合併し、透析中に急性冠症候群を発症したCoronary subclavian syndromeの1例	第357回群馬県冠血管治療懇談会	令和3年11月1日	前橋WEB	口演

【呼吸器内科】

演者名	共同演者名	演題名	学会・研究会名	年月	開催地	口演/示説
竹村仁男	板井美紀、梅津和恵、池田香菜、中川純一、茂木充、前野敏孝	ペンプロリズマブにより生じた有害事象の検討	第61回日本呼吸器学会学術講演会	2021年4月	東京	口演
黒岩裕也	梅津和恵、高野俊一、竹村仁男、池田香菜、茂木充	新型コロナウイルス肺炎治療後に侵襲性肺アスペルギルス症を合併した1例	第668回日本内科学会関東地方会	2021年5月	東京	口演
相川政紀	高野俊一、茂木充、前野敏孝他	COVID-19の重症化とABO血液型の関連	第61回日本呼吸器学会学術講演会	2021年4月	東京	口演
茂木充		呼吸器セッション (演題76~84)	第673回日本内科学会関東地方会	2021年11月	東京	口演

【血液内科】

演者名	共同演者名	演題名	学会・研究会名	年月	開催地	口演/示説
吉田源也	杉崎真人、成澤由紀子、塚田明彦、石川哲也、外山耕太郎		第118回日本内科学会総会研修医ことはじめ	2021年4月	東京(WEB)	ポスター
杉崎真人	Gennya Yoshida, Yukiko Naruswa, Akihiko Tukada, Tetsuya Ishikawa, Hohtaro Toyama	Hemolytic crisis in a patient with paroxysmal nocturnal hemoglobinuria (PNH) triggered by treatment for multiple myeloma	第83回日本血液学会学術総会			

【腎臓リウマチ内科】

演者名	共同演者名	演題名	学会・研究会名	年月	開催地	口演/示説
佐藤広宣	小川真一郎 茂木伸介 月田真祐子 太田史絵 塚田義人	肝動脈瘤破裂を繰り返した多発血管炎性肉芽腫症の1例	第65回日本リウマチ学会総会・学術総会	令和3年4月	WEB	示説
月田真祐子	中村美紀 半田広海 茂木伸介 太田史絵 塚田義人	悪性胸膜中皮腫に合併した微小変型ネフローゼ症候群の一例	第51回腎臓学会東部部会	令和3年9月	WEB	口演
月田真祐子	中村美紀 半田広海 茂木伸介 太田史絵 塚田義人	超高齢者に対する腹膜透析導入の経験	第27回日本腹膜透析学会学術集会・総会	令和3年10月	WEB	示説
月田真祐子	中村美紀 半田広海 茂木伸介 太田史絵 塚田義人	ステロイド初期治療抵抗性でメボリズマブ、アザチオプリンにより寛解にいたった好酸球性多発血管炎性肉芽腫症の一例	第31回日本リウマチ学会関東支部学術総会	令和3年12月	東京	口演
中村美紀	半田広海 茂木伸介 月田真祐子 太田史絵 塚田義人	COVID-19関連IgA血管炎が疑われた1剖検例	第675回日本内科学会地方会	令和4年2月	WEB	口演
林 紘太	月田真祐子 中村美紀 半田広海 茂木伸介 太田史絵 塚田義人	ステロイドパルス直後に多発骨格筋膿瘍を発症した重症SLEの1例	第676回日本内科学会地方会	令和4年3月	WEB	口演

【外科】

演者名	共同演者名	演題名	学会・研究会名	年月	開催地	口演/示説
原圭吾	宗田真、渡邊隆嘉、齊藤秀幸、中澤信博、生方泰成、栗山健吾、白石卓也、大曾根勝也、岡田拓久、加藤隆二、佐野彰彦、酒井真、小川博臣、調憲、佐伯浩司	食道胃接合部癌における頸部・縦隔リンパ節郭清の意義	第121回日本外科学会学術集会	2021年8月	千葉	ポスター

原圭吾	宗田真、渡邊隆嘉、斉藤秀幸、中澤信博、生方泰成、栗山健吾、佐野彰彦、酒井真、調憲、佐伯浩司	食道胃接合部癌T1症例におけるKPNA2発現の意義	第76回日本消化器外科学会総会	2021年7月	京都	ポスター
岡崎英人	加藤寿英、青木麻由、片山千佳、高橋遼、原圭吾、松本明香、中里健二、設楽芳範、石崎政利	腹腔鏡下ヘルニア修復術（TAPP）施行後 17か月後にメッシュ感染をきたした1例	第6回群馬ヘルニア研究会	2021年12月	WEB（前橋）	
片山千佳	青木麻由、岡崎英人、高橋遼、原圭吾、松本明香、加藤寿英、中里健二、設楽芳範、石崎政利	当院における外科的緊急疾患に対する緊急手術の検討	第3回群馬Emergency Surgery研究会	2021年10月	前橋	
片山千佳	横堀武彦、須賀邦彦、小澤直也、白石卓也、岡田拓久、大曾根勝也、加藤隆二、宗田真、酒井真、佐野彰彦、原圭吾、小川博臣、調憲、佐伯浩司	大腸癌間質におけるLOX-1陽性細胞の臨床病理学的意義	第121回日本外科学会定期学術集会	2021年4月	千葉	
Chika Katayama	Takuhisa Okada, Katsuya Osone, Ryuji Katoh, Makoto Sakai, Makoto Soda, Hiroomi Ogawa, Ken Shirabe, Hiroshi Saeki	大腸癌StageⅢ症例における術後傍大動脈リンパ節再発症例に関する検討 A study of treatment for para-aortic lymph node metastasis cases in patients with Stage Ⅲ colorectal cancer.	第76回日本消化器外科学会総会	2021年7月	WEB（京都）	
青木麻由	尾林紗弥香、矢島玲奈、荻野美里、中澤裕子、本田周子、藤井孝明、小山徹也、調憲	乳腺原発悪性リンパ腫6症例の臨床病理学的検討	第29回日本乳癌学会学術総会	2021年7月	横浜	ポスター
Takahiro Yamanaka	Mizuki Endo, Hideto Okazaki, Ryo Takahashi, Yuji Kumakura, Asuka Matsumoto, Toshihide Kato, Kenji Nakazato, Yoshinori Shitara, Masatoshi Ishizaki	Limitations of Surgical Treatment for Colorectal Cancer Perforation	第76回日本消化器外科学会総会	2021年7月	WEB（京都）	
山中崇弘	遠藤瑞貴、岡崎英人、高橋遼、熊倉裕二、松本明香、加藤寿英、中里健二、中村卓郎、設楽芳範、石崎政利	当院における胆嚢摘出術の術後合併症リスク因子の検討	第29回日本消化器関連学会週間JDDW	2021年11月	神戸	
中村卓郎		セッション要望演題19 摂食・嚥下障害への対応	第36回日本臨床栄養代謝学会学術集会	2021年7月	神戸WEB	
中村卓郎		セッション一般演題100 嚥下障害5	第36回日本臨床栄養代謝学会学術集会	2021年7月	神戸WEB	
中村卓郎		セッション一般演題9 経腸栄養	第58回日本外科代謝栄養学会学術集会	2021年10月	神戸WEB	
中村卓郎		セッション一般演題1 がん治療	第8回日本臨床栄養代謝学会関東支部学術集会	2021年10月	WEB	

【整形外科】

演者名	共同演者名	演題名	学会・研究会名	年月	開催地	口演/示説
根岸涼介	中島大輔 坂根英夫 工藤千佳 津久井俊樹 萩原舟平	変形治癒部位での下腿骨折術後感染性偽関節に対し髄内釘を用いた staged operationで治療した1例	第10回 群馬整形外傷研究会	令和4年3月	前橋	口演
坂根英夫	岡部興一 三枝徳栄 米本由木夫 金子哲也 須藤貴仁 筑田博隆	関節リウマチ患者の疾患活動性は椎体骨折に関連する	第65回 日本リウマチ学会学術総会	令和3年4月	Web	口演

坂根英夫	飯塚陽一 三枝徳栄 猪俣和弘 高澤英嗣	岡部興一 石綿翔 伊藤俊介 筑田博隆	関節リウマチ患者の既存椎体骨折に 影響する背景因子の検討	第94回 日本整形外 科学会学術総会	令和3年5月	Web	口演
飯塚陽一	坂根英夫 三枝徳栄 石綿翔 角田陽平 伊藤俊介	岡部興一 高澤英嗣 猪俣和弘 本田哲 筑田博隆	関節リウマチ患者の疾患活動性は椎 体骨折に関連する	第50回 日本脊椎脊 髓病学会学術集会	令和3年4月	京都	口演
高澤英嗣	飯塚陽一 石綿翔 友松佑介 本田哲	坂根英夫 猪俣和弘 伊藤俊介 三枝徳栄 筑田博隆	関節リウマチ患者における栄養障害 は腰椎骨量減少に関連する 脊椎手術を見据えた関節リウマチ患 者の骨量コントロールのために	第94回 日本整形外 科学会学術総会	令和3年5月	Web	口演
伊藤俊介	飯塚陽一 三枝徳栄 猪俣和弘 岡部興一	高澤英嗣 石綿翔 坂根英夫 筑田博隆	関節リウマチ患者における腰部脊柱 管狭窄症は脊椎矢状面アライメント と関連する	第94回 日本整形外 科学会学術総会	令和3年5月	Web	示説
金子哲也	坂根英夫 須藤貴仁	岡部興一 筑田博隆 米本由木夫	早期診断できなかった関節リウマチ 患者における脛骨insufficiency fractureの2例	第65回 日本リウマ チ学会学術総会	令和3年4月	Web	示説
金子哲也	坂根英夫 井野福央	岡部興一 須藤貴仁 筑田博隆	関節リウマチ患者の関節近傍に発生 したinsufficiency fractureの3例	第70回 東日本整形 災害外科学会	令和3年9月	岩手	口演
井野福央	金子哲也 坂根英夫	岡部興一 米山友貴 筑田博隆	脆弱性大腿骨骨折における周術期合 併症について	第70回 東日本整形 災害外科学会	令和3年9月	岩手	口演

【脳神経外科】

演者名	共同演者名	演題名	学会・研究会名	年月	開催地	口演/示説
水野寛之	若林和樹、清水立矢、甲賀英 明、長野拓郎、斎藤太、矢尾 板裕之、好本裕平	脳底動脈幹部の蛇行性大動脈瘤に 対し血管内治療による親動脈塞栓で 良好な転帰を得た一例	第100回群馬脳神経外 科懇話会	2021年8月	WEB	口演
甲賀英明	清水立矢、朝倉健、栗原秀 行、松本正弘、谷崎義生、美 原盤	群馬県におけるtPA静注療法および血 栓回収療法の施行状況 2020年県内 医療機関調査より	群馬県救急医療ネッ トワーク リーダー ズ会議	2021年10 月	前橋	口演
甲賀英明	清水立矢、朝倉健、栗原秀 行、松本正弘、谷崎義生、美 原盤	群馬県におけるtPA静注療法および血 栓回収療法の施行状況 2021年県内 医療機関調査より	群馬県救急医療ネッ トワーク 全体会	2021年12 月	前橋	口演

【薬剤部】

演者名	共同演者名	演題名	学会・研究会名	年月	開催地	口演/示説
櫻井望	増野貴司・小幡輝夫・茂木充	ニューモシスチス肺炎発症のリスクを考 慮した中等度催吐性リスクレジメンにお けるDEX投与量の検討	第4回群馬県薬学大会	令和3年5月	WEB	WEB 示説
小林克義	増野貴司・大野祥輝・小幡輝夫	ヒドモルフォン使用により精神症状の 副作用が現れた3症例	第4回群馬県薬学大会	令和3年5月	WEB	WEB 示説
中山和彦	伊藤淳史・増野貴司・櫻澤千 世・堀口裕之・小幡輝夫	連携充実加算を算定するにあたり変更し た外来化学療法の薬剤部業務体制の現状 と今後の展望	日本病院薬剤師会関 東ブロック第51回学 術大会	令和3年8月	WEB	WEB 示説
増野貴司	櫻井望・中山和彦・櫻澤千世・ 小幡輝夫・茂木充	ニューモシスチス肺炎発症のリスクを考 慮した中等度催吐性リスクレジメンにお けるDEX投与量の検討	日本臨床腫瘍薬学会 学術大会2022	令和4年3月	WEB	WEB 示説

【放射線室】

演者名	共同演者名	演題名	学会・研究会名	年月	開催地	口演/示説
清水正挙		脳血流検査の手法 ～当院での取り組み～	群馬県核医学技術懇 話会	令和3年7月	web	示説
清水正挙	金子勇二、飯塚隆 高田哲也、横田貴之 神宮晶子	NEMA Bodyファントムを用いた InSPECT撮像条件の検討	日本核医学技術学会 総会学術大会	令和3年11月	名古屋	示説

清水正挙		タスクシフトアンケート結果	臨床画像診断懇話会 テクニカル分科会	令和4年2月	web	示説
------	--	---------------	-----------------------	--------	-----	----

【リハビリテーション室】

演者名	共同演者名	演題名	学会・研究会名	年月	開催地	口演/示説
田村俊太郎	五十嵐達也, 飯塚隆充, 大谷知浩, 宮田一弘, 臼田滋	心疾患患者におけるShort Physical Performance Batteryおよび歩行速度における臨床的に意義のある最小変化量の検討	第58回 日本リハビリテーション医学会	2021年6月	Web(京都)	口演
田村俊太郎	宮田一弘, 小林壮太, 武田 廉, 岩本紘樹	回復期病棟におけるBerg Balance Scaleを用いた高齢大腿骨近位部骨折患者の歩行自立の予測	第28回 群馬県理学療法士学会	2021年10月	Web(群馬)	口演

3. 講演

【呼吸器内科】

演者名	演題名	講演会名	開催場所	開催年月日
茂木充	新型コロナウイルス感染症 感染予防対策 医師向け	診療部会 院内学術集談会	大会議室	令和3年4月26日
茂木充	新型コロナウイルス感染症 感染予防対策	中外製薬株式会社 社内研修 会	中外製薬(株)高崎オフィ ス	令和4年2月18日
信州大学医学部付属 病院信州がんセン ター准教授 神田慎 太郎	Ⅲ期非小細胞肺癌治療のエビデンスとファ クト	西毛Respiratory Conference (座長 茂木充)	高崎ワシントンプラザホテ ル WEB	令和4年2月25日
自治医科大学内科学 講座呼吸器内科部門 教授 坂東政司	間質性肺疾患における新たな概念:進行 性線維化を伴う間質性肺疾患を考える	びまん性肺疾患を考える会 inGUNMA (座長:茂木充)	前橋テルサ WEB	令和4年3月18日

【血液内科】

演者名	演題名	講演会名	開催場所	開催年月日
外山耕太郎	パネルディスカッション初発CMLにおける TKI選択を考える	ガイドラインから考える初発 CML-CPの治療選択	WEB開催	令和3年5月27日
外山耕太郎	長期の治療自己中断後に受診した慢性骨 髄性白血病の1例	血液内科医のための実臨床 フォーラム	WEB開催	令和3年6月4日

【外科】

演者名	演題名	講演会名	開催場所	開催年月日
中里健二	「がん悪液質発症時の捉え方とエドルミズ の介入基準に関して」	がん悪液質を考える会 in群馬	WEB(前橋)	令和3年9月16日
松本明香	「Real Worldから考えるCDK4/6阻害剤の 一次治療」	第4回 Breast Cancer Online Meeting	WEB	令和3年11月12日

【整形外科】

演者名	演題名	講演会名	開催場所	開催年月日
坂根英夫	高齢者大腿骨近位部骨折に対する当院の 取り組み	整形外科 Winter Seminar	高崎 Webinar	令和4年1月
坂根英夫	大腿骨近位部骨折の骨粗鬆症治療を考 える	群馬リウマチネットワークセミ ナー	前橋 Webinar	令和4年3月

【脳神経外科】

演者名	演題名	講演会名	開催場所	開催年月日
甲賀英明	群馬県におけるtPA静注療法および血栓 回収療法の施行状況 2020年県内医療 機関調査より	Master Summit for Neuroendovascular therapist	WEB	令和3年6月11日
甲賀英明	高齢者初発てんかん	第一三共製薬てんかんWebセ ミナー	WEB	令和3年7月9日
甲賀英明	ペランパネルのスイッチングと血中濃度測 定について	エーザイセミナー	WEB	令和3年7月15日
甲賀英明	群馬県におけるtPA静注療法および血栓 回収療法の施行状況 2020年県内医療 機関調査より	群馬脳卒中医療連携の会	WEB	令和3年7月20日
甲賀英明	認知症と高齢者てんかん	藤岡多野地区かかりつけ医認 知症対応力向上フォローアッ プ研修会	WEB	令和3年11月16日

*講義

甲賀英明	脳神経外科 神経学と諸検査	藤岡准看護学校	藤岡市	令和3年9月1日
甲賀英明	脳血管障害	藤岡准看護学校	藤岡市	令和3年9月8日

甲賀英明	脳腫瘍	藤岡准看護学校	藤岡市	令和3年9月15日
甲賀英明	頭部外傷と末梢神経疾患	藤岡准看護学校	藤岡市	令和3年9月22日

【薬剤部】

演者名	演題名	講演会名	開催場所	開催年月日
増野貴司	当院における大腸がんのレジメン解説	第21回藤岡地域がん化学療法薬薬連携定例会	藤岡	令和3年4月
増野貴司	当院におけるアナモレリン使用状況と外来化学療法室でのがん悪液質改善に向けた取り組み	第25回薬剤師のための群馬抗がん薬研究会	藤岡	令和3年10月
増野貴司	当院におけるアナモレリン使用状況と外来化学療法室でのがん悪液質改善に向けた取り組み	第22回藤岡地域がん化学療法薬薬連携定例会	藤岡	令和3年10月
中山和彦	がん薬物療法に関わる支持療法としての制吐薬について	医薬品安全使用研修会	藤岡 (My Webにて)	令和3年9月
中山和彦	当院における膵がんのレジメン解説	第22回藤岡地域がん化学療法薬薬連携定例会	藤岡	令和3年10月
久米隆夫	AST活動	感染対策必須研修会	藤岡	令和3年12月
岩崎英久	AST活動	感染対策必須研修会	藤岡	令和3年12月

【リハビリテーション室】

演者名	演題名	講演会名	開催場所	開催年月日
藤井洋有	肝転移・肺転移を呈する患者とその家族に対する生活支援	日本作業療法士協会 がん専門作業療法士取得研修	web開催	令和3年5月15日
藤井洋有	乳がんリハビリテーションの再考 一骨転移を呈する乳がん患者の退院支援	日本作業療法学会 専門作業療法士セミナー	web開催	令和3年9月10日
藤井洋有	がん作業療法ー地域移行支援ー	Cancer OT Monthly Update	web開催	令和3年12月18日
小林 真	STのための呼吸	群馬県言語聴覚士会主催研修会	公立藤岡総合病院 (Web研修)	令和3年5月31日
関根圭介	在宅リハビリテーション総論	在宅看護方法論 I	本庄児玉看護専門学校	令和3年7月7日
関根圭介	生活行為向上マネジメント概論	現職者選択研修 生活行為向上マネジメント	web開催	令和3年11月28日
関根圭介	生活行為向上マネジメント	臨床実習指導者講習会	web開催	令和3年10月24日
馬場 健太	呼吸介助方法	群馬県言語聴覚士会 研修会	web開催	令和3年7月9日
馬場 健太	呼吸の基本知識	第13回 群馬県内部障害系理学療法研究会	web開催	令和3年12月19日

【栄養室】

演者名	演題名	講演会名	開催場所	開催年月日
堀越勝	当院の食事について	言語聴覚士勉強会	藤岡	令和3年5月17日
高田留美	嚥下食と食事オーダーについて	北2階勉強会	藤岡	令和3年6月9日
堀越勝	嚥下食について	南6階勉強会	藤岡	令和3年7月27日
堀越勝	当院の食事について	リハビリ職員勉強会	藤岡	令和3年10月13日
福田智春	誰でもできる食事療法～そのバランスあっていますか～	糖尿病教室	藤岡	令和3年11月17日

山本果南	生活習慣病予防の食事について	経営管理部勉強会	藤岡	令和3年12月10日
堀越勝	糖尿病の栄養指導	NST勉強会	藤岡	令和4年2月16日

4. 令和3年度講演会・研修会開催実績

【公開】

開催日	名称	テーマ・内容	講師	開催場所（開催形式）	参加者数	
					院内	院外
4月20日	第21回藤岡地域がん化学療法薬連携定例会	①当院におけるレジメン解説 大腸癌のレジメン ②がん患者の生活を支援する医療者によるアピランスケアとは？	①公立藤岡総合病院 薬剤師 増野貴司 ②公立藤岡総合病院 看護師 塩野智則	藤岡商工会議所（Web 配信）	20	20
5月10日	メディカルコントロール	藤岡消防署合同救急症例検討会	公立藤岡総合病院 副院長兼救急センター統括部長 井上雅浩	公立藤岡総合病院 大会議室	1	30
5月13日	第172回公開CPC	症例 発熱、呼吸困難	公立藤岡総合病院 血液内科部長 外山 耕太郎 病理診断科 吉田 孝友 研修医 高橋 慶一郎	公立藤岡総合病院 大会議室	30	0
7月1日	藤岡がん診療講演会（院外はWeb視聴）	「がん治療と血栓症治療のコンビネーションKEEP-ACT2の概念について」	岐阜大学大学院医学系研究科 腫瘍外科学 分野 臨床准教授 田中 善宏	公立藤岡総合病院 大会議室	34	27
7月8日	第173回公開CPC	症例 多発性骨髄腫 左骨盤骨折	公立藤岡総合病院 血液内科部長 外山 耕太郎 病理診断科 吉田 孝友 研修医 松井 遼	公立藤岡総合病院 大会議室	39	0
7月12日	メディカルコントロール	藤岡消防署合同救急症例検討会	公立藤岡総合病院 副院長兼救急センター統括部長 井上雅浩	公立藤岡総合病院 大会議室	1	29
9月13日	メディカルコントロール	藤岡消防署合同救急症例検討会	公立藤岡総合病院 副院長兼救急センター統括部長 井上 雅浩	公立藤岡総合病院 大会議室	1	32
10月4日	第29回藤岡緩和ケア研修会（院外はWeb視聴）	「がん疼痛薬物治療について～NSAID s やオピオイドをどう使っていくか～」	群馬大学医学部附属病院緩和ケアセンター 副センター長 山田 真紀子	公立藤岡総合病院 大会議室	40	39
10月14日	第174回公開CPC	症例 肺炎	公立藤岡総合病院 呼吸器内科 西連寺 由起子 病理診断科 吉田 孝友 研修医 前原 孝史	公立藤岡総合病院 大会議室	36	0
10月19日	第22回藤岡地域がん化学療法薬連携定例会（Web視聴あり）	①「当院における膀胱がんのレジメン解説」 ②「当院におけるアナモレリン使用状況と外来化学療法室でのがん悪液質改善に向けた取り組み」	①公立藤岡総合病院 がん薬物療法認定薬剤師 中山 和彦 ②公立藤岡総合病院 がん薬物療法認定薬剤師 増野 貴司	公立藤岡総合病院 大会議室	13	14
10月27日	第11回脊椎圧迫骨折地域連携バス会議 第42回大腿骨骨折地域連携バス会議	地域連携バスの運用等について		公立藤岡総合病院 大会議室	27	9
11月17日	第1回糖尿病教室	①誰でもできる食事療法～そのバランスあってますか～ ②家の中で出来る運動～歩くのに活かす！腕と体の運動～	①公立藤岡総合病院 管理栄養士 ②公立藤岡総合病院 理学療法士	公立藤岡総合病院 大会議室	14	14
11月26日	第2回腎臓病教室	①楽しく学ぼう！腎臓病～知ってナットク、お菓子の話～ ②明日からできる腎臓リハビリテーション	①公立藤岡総合病院 薬剤師 ②公立藤岡総合病院 理学療法士	公立藤岡総合病院 大会議室	15	28
12月9日	第175回公開CPC	症例 胃潰瘍、消化管出血	公立藤岡総合病院 呼吸器内科 中村 美紀 病理診断科 吉田 孝友 研修医 高橋 里奈	公立藤岡総合病院 大会議室	39	0
2月3日	第30回藤岡緩和ケア研修会	地域で考えるがん緩和ケア in 藤岡 「がん在宅緩和ケアの地域連携」 ①在宅緩和ケア患者の希望を支える地域連携 ②在宅緩和ケアにおける保険薬局の関わり ③終末期における訪問看護の役割 ④レクチャー	①公立藤岡総合病院 緩和ケアセンター 師長 古池きよみ ②アイケイ薬局藤岡店 黒澤裕子 ③訪問看護ステーションはるかぜ 師長 山口明子 ④すぎもと在宅医療クリニック 院長 杉本由佳	公立藤岡総合病院 大会議室（院内） WEB視聴（院外）	37	59
3月2日	藤岡がん診療講演会	悪性リンパ腫に対する治療とチームで行う副作用対策	国際医療福祉大学三田病院 悪性リンパ腫・血液腫瘍センター センター長 晶清彦	公立藤岡総合病院 大会議室（院内） WEB視聴（院外）	35	18
3月10日	第176回公開CPC	症例 免疫性血小板減少性紫斑病	公立藤岡総合病院 血液内科 武井 寿史 病理診断科 吉田 孝友 研修医 角張 友隆	公立藤岡総合病院 大会議室	30	0
3月18日	第12回脊椎圧迫骨折地域連携バス会議 第43回大腿骨頸部骨折地域連携バス会議	地域連携バスの運用等について ①講演：大腿骨近位部骨折患者の骨粗鬆症に対する当院の取り組み	①公立藤岡総合病院 整形外科医長 坂根 英夫	公立藤岡総合病院 大会議室（院内） WEB視聴（院外）	9	26

【院内】

開催日	名称	テーマ・内容	講師	開催場所（開催形式）	参加者数	
					院内	院外
4月1・2・5日	新入職者オリエンテーション	病院概要・医療倫理・チーム医療 各部門紹介等	公立藤岡総合病院 病院長 塚田 義人 他	公立藤岡総合病院 大会議室	54	
5月12日	医療機器安全研修会	透析前後の採血とkt/vの概要	公立藤岡総合病院 臨床工学技士 吉田 弘	公立藤岡総合病院 透析センター	7	
5月13日	第39回M&Mカンファレンス	症例 肺腺癌	公立藤岡総合病院 呼吸器内科医長 竹村 仁男	公立藤岡総合病院 大会議室	38	
5月13日	第37回キャンサーボード	症例 虫垂癌	公立藤岡総合病院 外科医長 高橋 遼	公立藤岡総合病院 大会議室	40	

5月22日	第39回院内ICLSコース	ICLS	公立藤岡総合病院 中央手術室統括部長兼集中治療室担当部長 荒井 賢一	公立藤岡総合病院 大会議室	24
6月4日・8日	医療倫理研修会 (Web開催)	患者の自己決定権と医療を考える	大阪A&M法律事務所 医師・弁護士 小島 崇宏	公立藤岡総合病院 大会議室	98
6月10日	第40回M&Mカンファレンス	症例 COVID-19	公立藤岡総合病院 腎臓内科医長 茂木 伸介	公立藤岡総合病院 大会議室	44
6月10日	第38回キャンサーボード	症例 前立腺癌、腎盂腫瘍、閉塞性黄疸、総胆管遠位部狭窄	公立藤岡総合病院 泌尿器科医員 縣 知弘	公立藤岡総合病院 大会議室	44
6月10日	第41回画像カンファレンス	胆嚢疾患について	放射線診断科部長 神宮 晶子	公立藤岡総合病院 大会議室	38
6月9・11・17・18日	医療機器安全研修会	人工呼吸ベラピスタ使用中点検	公立藤岡総合病院 臨床工学技士 田島 伸哉	公立藤岡総合病院 北6階病棟	16
6月26日	第40回院内ICLSコース	ICLS	公立藤岡総合病院 中央手術室統括部長兼集中治療室担当部長 荒井 賢一	公立藤岡総合病院 大会議室	15
6月1日～6月30日	医療安全必須研修会 (前期 e-ラーニング)	「患者・家族とのコミュニケーション」	SOMPO リスクマネジメント株式会社 医療・介護コンサルティング部	公立藤岡総合病院 各部署	706
6月28日～3月31日	前期感染対策研修会必須研修	N-95 マスクフィットテスト	公立藤岡総合病院	公立藤岡総合病院 各部署	646
7月8日	第41回M&Mカンファレンス	症例 胃癌	公立藤岡総合病院 外科 岡崎 英人	公立藤岡総合病院 大会議室	50
7月8日	第39回キャンサーボード	症例 膵臓癌	公立藤岡総合病院 消化器内科科部長 山口 泰子	公立藤岡総合病院 大会議室	48
6/9 6/11 6/17 6/18	医療機器安全研修会	人工呼吸ベラピスタ使用中点検研修	公立藤岡総合病院 臨床工学士 田島 伸哉	公立藤岡総合病院 臨床工学士室	16
7月31日	第41回藤岡ICLS院内コース	ICLS	公立藤岡総合病院 中央手術室統括部長兼集中治療室担当部長 荒井 賢一	公立藤岡総合病院 大会議室	28
9月6日～10月6日	医薬品安全使用研修会	「がん薬物療法に関わる支持療法としての制吐薬について」	公立藤岡総合病院 薬剤師 中山 和彦	各自 Web にて	512
9月9日	第42回M&Mカンファレンス	症例 くも膜下出血、多発脳動脈瘤	公立藤岡総合病院 脳神経外科部長 若林 和樹	公立藤岡総合病院 大会議室	46
9月9日	第40回キャンサーボード	症例 骨髄異形成症候群/骨髄増殖性腫瘍 分類不能型	公立藤岡総合病院 血液内科医員 今村 健二	公立藤岡総合病院 大会議室	44
9月9日	第42回画像カンファレンス	原理から学ぶFDG-PET	放射線診断科医員 横田 貴之	公立藤岡総合病院 大会議室	41
9月1日～9月17日	医療安全必須研修 (後期・e-ラーニング)	「外来での患者取り違いによる誤注射」	エルゼビア (セーフティプラス) 動画	公立藤岡総合病院 各部署	673
9月10日～9月30日	個人情報保護研修 (e-ラーニング)	医療機関における個人情報保護対策	SOMPO リスクマネジメント株式会社 医療・介護コンサルティング部	公立藤岡総合病院 各部署	435
10月7日	総合評価研修会	「老年症候群について」サルコペニアとフレイルー高齢者総合的機能評価ー	公立藤岡総合病院 病院長 塚田 義人	公立藤岡総合病院 大会議室	33
10月14日	第41回キャンサーボード	胃 SMT	公立藤岡総合病院 外科 原 圭吾	公立藤岡総合病院 大会議室	46
10月14日	第43回M&Mカンファレンス	AMI	公立藤岡総合病院 循環器内科 小野 洋平	公立藤岡総合病院 大会議室	43
10月28日 11月1日	保険診療講習会	入院診療報酬請求～入院料・施設基準について	公立藤岡総合病院 医事情報課 新井・儘田	公立藤岡総合病院 大会議室	240
11月11日	第42回キャンサーボード	悪性胸膜中皮腫	公立藤岡総合病院 呼吸器内科 竹村 仁男	公立藤岡総合病院 大会議室	40
10月14日	第44回M&Mカンファレンス	子宮頸がんⅢB期	公立藤岡総合病院 産婦人科 道崎 護	公立藤岡総合病院 大会議室	40
12月10日	第43回キャンサーボード	乳癌	公立藤岡総合病院 外科 松本 明香	公立藤岡総合病院 大会議室	59
12月9日	第45回M&Mカンファレンス	多発性骨髄腫	公立藤岡総合病院 血液内科 野口 純幸	公立藤岡総合病院 大会議室	56
1月29日	第42回院内ICLSコース	ICLS	公立藤岡総合病院 中央手術室統括部長兼集中治療室担当部長 荒井 賢一	公立藤岡総合病院 大会議室	21
2月14日～2月28日	感染対策研修会	「正しい細菌検体採取法」～抗菌薬の適正使用のために～	公立藤岡総合病院 抗菌薬適正使用支援チーム:AST		762
3月10日	第44回キャンサーボード	子宮体癌ⅣB期	公立藤岡総合病院 産婦人科 道崎 護	公立藤岡総合病院 大会議室	40
3月10日	第46回M&Mカンファレンス	前立腺癌	公立藤岡総合病院 泌尿器科 縣 知弘	公立藤岡総合病院 大会議室	41
3月15日	診療報酬改定対応オンラインセミナー	2022年度診療報酬改定のポイントと経営対応	株式会社 ASK 診療報酬研究所 代表取締役 中林 梓	公立藤岡総合病院 大会議室	56

5. 認定看護師の活動記録

がん化学療法看護認定看護師

【実践】

外来化学療法室において、外来担当薬剤師と協同し、患者およびその家族に対して抗がん薬治療に伴う有害事象に対するの情報提供と医師に有害事象に対する処方提案を行い安全で質の高いケアが提供出来るよう活動した。今年度は主に外来化学療法室を利用する患者を対象とした、がん薬物療法看護スクリーニングを導入し運用を開始、外来化学療法室の看護の質向上に努めた。

【指導】

月日	対象	テーマ	参加者
2021年4月20日	第21回藤岡地域がん化学療法薬薬連携定例会	「がん患者の生活を支援する医療者によるアピアランスケアとは」	Web 配信
2021年11月25日	群馬医療福祉大学 看護学部 看護学科2年	成人看護援助論V「がん薬物療法を受ける対象への看護」	88名
2021年12月6日	看護部基礎I研修	がん看護①がん薬物療法看護	25名
2022年1月27日	北6階病棟 2年目看護師	安全・確実・安楽にがん化学療法を実践するには:肺がんに対する化学療法	1名

【相談】

外来化学療法室に通院中の患者様やその家族を対象に、がんカウンセリングを通して治療法の選択や治療継続について意思決定の支援を行った。さらに副作用対策方法や日常生活上の悩みなど随時相談を受け付け、患者様や家族の生活の質を高める援助を行った。また、外来各診療科看護師や各病棟看護師からがん化学療法に対する質問や相談に随時対応を行った。

【自己啓発活動】

参加日	参加学会及び研修会	開催場所
2021年5月29日～ 6月30日	日本がんサポーターケア学会	Web 開催
2021年10月21日～23日	日本がん治療学会	Web 開催
2022年2月17日～19日	日本臨床腫瘍学会	現地+Web 開催
2022年2月19日～20日	日本がん看護学会	現地+Web 開催

(文責：公立藤岡総合病院 がん化学療法看護認定看護師 塩野 智則)

がん化学療法看護認定看護師

【実践】

外来化学療法室において、多職種と協同し安全な投与を心がけさらに患者が安心して自宅で過ごせるための支援をチームで行った。また今年度より、がん化学療法看護スクリーニングを開始した。これにより、患者の日常を理解できるようになり、化学療法中の支援に繋がっていると考える。来年度はこのスクリーニングの評価を行い、患者が安心して外来で治療を行うための支援及び、業務の短縮化にもつなげられるためにも検討を重ねていきたいと考える。

【指導】

特記すべきことなし

【相談】

抗がん剤投与の件数が少ない病棟での投与指導（薬剤の説明・投与管理方法の説明など）を行った。来年度は今年度と同様にまずは自分自身を院内に広めることを念頭に置き、結果として安全な化学療法につながればと考える。

【自己啓発活動】

2021/2/27 日本がん看護学会 web 開催

(文責：公立藤岡総合病院 がん化学療法看護認定看護師 高山 仁美)

がん看護専門看護師

【実践】

病棟では緩和ケアチームとして、外来ではがん看護専門外来として、告知から治療選択、治療継続や終末期に渡り、各場面で意思決定支援や緩和ケアを行っている。また、入院－外来間でスムーズに看護を提供できるように、それぞれの部署の多職種と情報共有しながら、入退院後の患者・家族の抱える困難にも積極的に対応した。1年間でがん看護専門外来は465件、がん看護指導管理料イは58件、病状説明同席は108件であった。

【コンサルテーション】

病棟・外来看護師が解決困難と感じている問題(症状マネジメントや退院支援など)に対し、相談者が問題を解決できるよう関わった。

【調整】

病棟及び外来において、問題を抱える患者・家族に対し、それぞれの思いを明確にし、希望にできるだけ添えるよう、多職種間の調整を行った。患者・家族が希望する療養の場(在宅・入院・転院など)へスムーズに移行できるよう、社会資源を活用し、地域連携を行った。

緩和ケアセンターの一員として、緩和ケア病床及び、緩和ケアチームやがん看護専門外来の運営に携わった。院内で閉鎖式薬物移送システム(CSTD)の調整を引き続き行った。

【倫理調整】

病棟・外来において、治療や療養の場の選択の意思決定の場面等、倫理的問題が生じている事例に対し、問題解決ができるよう患者・家族・多職種間の調整を行った。

【教育】

病棟や外来において、日々のスタッフとの関わりを通し、教育的に知識の提供や助言を行った。院内研修として、看護師基礎研修でがん看護に関する研修を、5年目以上の看護師を対象に緩和ケア研修を企画・開催した。院外では群馬医療福祉大学で臨死期のケアと家族ケアについて、高崎医師会看護専門学校では看護倫理に関する講義を行った。

【研究】

第17回群馬がん看護フォーラムで『自分らしく生きるために治療中止を決断したA氏への継続看護』を示説で発表した。

【自己啓発】

日程	内容	場所
2021年7月14日	NSAIDs 経皮吸収型製剤の活用	Web
2021年7月31日	CV ポートセミナー	Web
2022年2月3日	第30回藤岡緩和ケア研究会	Web
2022年3月2日	藤岡がん診療講演会	Web
1～2ヶ月に1回	群馬がん看護専門看護師連絡協議会	Web

(文責：公立藤岡総合病院 がん看護専門看護師 森崎 裕美)

感染管理認定看護師

【実践】

2021年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の波も第4波～第6波を経験することとなった。特に第6波においては、職員家族や職員の感染も確認され、クラスターとならないよう対策の徹底が重要となった。職員の感染が確認された際、他院のICNから目の保護についてご指摘いただき、これまで使用してきたアイガードのみでなく、フレームタイプのアイシールドを患者と接する全職員に提供した。

また、感染拡大に伴い近隣の高齢者施設でのクラスター発生も多く、感染拡大を制御すべくC-MAT（群馬県クラスター対策チーム）としての指導にも多く参加した。

【教育・指導】

院内における感染防止指導として、専従の感染管理実践看護師と共に、院内教育を実施した。

地域でクラスターとなった病院、高齢者施設において、C-MAT（クラスター対策チーム）として感染拡大防止のため各施設に赴き、指導、教育を行った。

また、群馬県医師会指導のもと「群馬県地域医療介護連携感染症予防・対策事業」として、要望のあった高齢者施設、障害者施設に赴き、「新型コロナウイルスについて」「手洗い研修」「PPE着脱訓練」を実技演習も交えて指導した。

【相談】

院内、院外問わず、新型コロナウイルスに関する相談を非常に多く受けた。

【自己啓発活動】

開催日	学会名、研修名、会議名	会場
2021年5月12日 8月4日・10月13日・ 12月8日 2022年3月9日	群馬県感染症対策連絡協議会 ICN 分科会 *左記日程の他 4/14、6/9、7/7、9/8、11/10 1/12、2/9 に Web ミーティングに参加	Web 会議 群馬県医師会
2021年10月30、31日	感染管理認定看護師のためのキャリア イベロップメント講座	Web 参加
2021年7月16日	令和3年度群馬県感染症対策連絡協議会 総会・特別講演会	Web 参加
2022年1月7日	令和3年度群馬県感染症対策連絡協議会 合同カンファレンス	Web 参加
2022年1月19日	第40回北関東病院感染対策懇話会	Web 参加
2022年2月11、12日	感染管理認定看護師のためのキャリア イベロップメント講座	Web 参加

(文責：公立藤岡総合病院 感染管理認定看護師 染谷 由香里)

緩和ケア認定看護師

【実践】

緩和ケアチームラウンドや毎週木曜日緩和ケアチームカンファレンスを開催し、症例検討やチーム介入患者・家族の情報を多職種で共有しながら質の高いチーム医療の提供に努めた。緩和ケアチームとしては175件/年の新規介入依頼に対応した。また、北5階病棟と連携を図り、緩和ケア病床の運用を繰り返し見直した。そして、緩和ケア病床を活用した在宅療養支援の強化に努め、介入患者35名を在宅看取りに繋げることができた。更にグリーフケアについての取り組みも継続し往復はがきを90件/年送付した。新たな取り組みとして、外来スクリーニングシートを作成し、外来スタッフの意識向上と、早期緩和ケア介入に努めた。乳がん患者「なごみの会」は新型コロナウイルス感染症蔓延のため中止としていたが、院内の警戒度に合わせて11月のみがんサロンにて6名の参加で開催した。

【教育・指導】

実施日	対象	内容	対象者
2021年10月	本庄児玉看護専門学校2年	「終末期患者の看護」6回	29名
2021年10月8日	看護部基礎Ⅲ研修	退院支援事例検討	17名
2021年11月1日	群馬医療福祉大学2年	緩和ケアの実際	90名
2022年1月～3月	院内看護師5年目以上	緩和ケア教育プログラム	9名

【相談】

通院中・入院中の患者やその家族の相談（電話・面談）に応じ、適切な情報提供をおこなうことで、納得した意思決定ができるよう支援を行なった。さらに在宅療養へ向けた相談や、在宅療養中の困難についてなど相談を受け、多職種間での連携を行なった。また、緩和ケアリンクナースや各病棟看護師、医師、院内外の病院スタッフからの緩和ケアに関する相談に対応した。

【自己啓発活動】

開催日	学会・研修会	会場
2021年6月18日～19日	第26回日本緩和医療学会	Web開催
2021年7月14日	NSAIDS 経皮吸収型製剤の活用	Web開催
2021年10月4日	第29回藤岡緩和ケア研究会	Web開催
2022年2月3日	第30回藤岡緩和ケア研究会 講演 「在宅緩和ケア患者の希望を支える地域連携」	藤岡総合病院大会議室 ハイブリット開催
2022年3月2日	藤岡がん診療講演会	藤岡総合病院大会議室 ハイブリット開催

(文責：公立藤岡総合病院 緩和ケア認定看護師 古池 きよみ)

緩和ケア認定看護師

【実践】

2020年度1月から開始した週1回の認定看護師活動日にて、緩和ケアセンタースタッフとして院内横断型のコンサルテーション活動を行い、主に呼吸器・消化器内科と外科を担当し、病棟並びに外来において、緩和ケアを必要とする患者と家族のケアを多職種協働した。主な内容としては手術や化学及び免疫療法、放射線療法など、積極的治療中における支持療法や、病勢進行に伴う苦痛症状緩和のための薬物の適正使用に努めると同時に、患者及び家族の思いを積極的に傾聴し、精神・スピリチュアルな痛みの低減を含めた全人的な支援を行った。

【教育・指導】

2021年4月～2022年3月 院内看護スタッフに向けた緩和ケアにおける基本的知識

2021年8月～10月 藤岡准看護学校 患者の心理 講義（全8回）

2022年1月 北毛病院 がん看護研修講義

2022年2月 院内基礎I研修：がん看護I

2022年3月 院内基礎IV研修：がん看護IV

【相談】

外来及び病棟にて、患者とその家族から治療に関する意思決定や今後の療養についての相談を受け、専門職種との協働により意思決定支援を行った。

北5階病棟スタッフ、緩和ケアセンター、主治医、MSW、訪問看護ステーションはるかぜ等、関係多職種が参加可能なケースカンファレンスを毎月開催し、臨床における倫理的課題の検証や対応に難渋した患者及び家族の対応についてディスカッションを行った。本カンファレンスによりコンサルティそれぞれが思いを表出できる場を設けることで、スタッフ間でのグリーフケアが促進されると共に、緩和ケアに対するやりがいも実感できるよう支援した。

【自己啓発活動】

オンコロ 各種臓器別がんについて（オンライン研修）

2022年3月 専門職講座 緩和ケア認定看護師フォローアップ研修（埼玉県立大学オンライン講座）

（文責：公立藤岡総合病院 緩和ケア認定看護師 菅原恵里子）

救急看護認定看護師

【実践】

児童虐待を疑う外傷児童および母親への初療対応

6ヶ月女児。朝に左下肢の腫脹していることに母が気づき来院。下肢全体が腫脹しており触れると軽度熱感あり、一部わずかに皮下出血もみられた。母親との問答で不信な様子はなかったが患部に触れるだけで激しく啼泣する様子から不審な下肢腫脹と判断し、まず小児科医師に診察を依頼した。

診察と検査の結果、左下肢両骨骨折と時相の異なる四肢の多発骨折が発見された。まずは整形外科と小児科の協働を支援しながら、安全確保を目的とする保護入院にむけて関係部署に情報伝達した。また、この時点では骨折が疾患か外傷（虐待）を由来としたものが判明していないため、偏見や誤解を防ぐために医療者間の情報共有は病院内の虐待対策チームを中心に行った。

【教育・指導】

1. 外来看護師にむけて毎月勉強会を実施

2. 『院内養護学校教員救命技術指導』

対象：藤岡市、富岡市の院内養護教員

内容：病院内におけるスタットコールシステム（Eコール）の実施方法。

心停止の判断と胸骨圧迫の方法とAEDの取り扱い

3. 『蘇生器具を用いた救命技術指導』

対象：北5階病棟、北6階病棟看護師

内容：自動心肺蘇生器（商品名：LUCAS II）の使用法

簡易呼吸器（商品名：オキシログ 3000）の使用法

COVID-19感染防止策としてウイルスフィルターも併せて指導した。

4. ICLS（二次救命処置）コースの企画と実施

院内医療従事者 28名が受講

【相談】

次年度の救急センター新設にむけてスタッフの勤務体制についての相談

相談者：看護師長

【自己啓発活動】

研修会への参加

テーマ：精神科救急PEEC（psychiatric evaluation in emergency care）

場所：太田記念病院

（文責：公立藤岡総合病院 救急看護認定看護師 金井 優）

集中ケア認定看護師

【実践】

2022年度は多職種取り組みとして、病院内の呼吸療法を受ける患者ケアの質向上を目的に活動を開始した。医師、看護師、臨床工学技士、理学療法士からなる呼吸ケアサポートチーム（以下：「RST」という。）の発足を行い、人工呼吸器を装着した患者を対象とし、人工呼吸器からの早期離脱のため、RSTによる回診を行った。認定看護師の視点からケアの質向上のため、病棟スタッフへの看護ケアの指導やチーム内の調整役割を担った。現在の対象患者は南3階病棟で侵襲的陽圧換気療法を受ける患者としているが、今後は各病棟での回診や勉強会の開催を行い、人工呼吸器からの早期離脱のみではなく、呼吸療法を受ける患者のケア向上のための活動に取り組んでいきたい。

個人の取り組みとしては、院内急変の減少を目的に活動を開始した。急変事例は、予定外の南3階病棟への入室患者（救急外来からの入室は除く）の事例とし、事例の集計と振り返りを行っている。今後は病棟へのフィードバックや学習会を通じて、看護スタッフの「気付き」の観察力の向上を行い、急変前対応の充実が図れるよう活動に取り組んでいきたい。

【教育・指導】

実施日	対象者	内容	参加者
6月	新入職看護・リハビリ職員	一次救命処置	28名
7月	看護協会	フィジカルアセスメント	
8月	新入職看護職員	フィジカルアセスメント：全7回	24名
9月	パース大学 摂食・嚥下認定看護師教育課程	リスクマネジメント論 呼吸理学療法	30名
11月	看護協会	心電図	
12月	看護職員	ポジショニングと体位ドレナージ	11名

【相談】

フィジカルアセスメントや人工呼吸器装着中の患者の看護、ポジショニングと体位ドレナージ、急変事例の振り返りについて、看護スタッフからの相談を受けた。実践や学習会を通じて、スタッフが自律できるよう関わりを持った。

【自己啓発活動】

特記事項なし

（文責：公立藤岡総合病院 集中ケア認定看護師 高橋 圭）

摂食・嚥下障害看護認定看護師

【実践】

栄養サポートチーム専従看護師として、入院患者の栄養状態の評価及び、適切なエネルギーや栄養素の摂取状況をアセスメントし、低栄養の早期発見とリスクの高い患者を抽出している。

毎週水曜日の栄養サポートチーム検討会では、対象患者や疾患の治療に応じた栄養管理と低栄養患者への適切な栄養管理について多職種で話し合い、質の高いチーム医療の提供に努めた。

経腸栄養コネクタは、国内で新国際規格の ISO80369-3 の誤接続防止コネクタへの移行が進められている。当院での導入に向けて、2021年9月からスタッフに向けて情報提供を開始し、誤接続防止コネクタへの移行の指導を行った。

栄養サポートチーム加算件数 670 件／年、摂食機能療法 400 件／年

【教育・指導】

実施日	対象者	内容	参加人数
2021年4月13日	看護部新入職者	口腔ケアと食事介助・ポジショニング	18名
2021年7月1日 2022年2月18・21日	看護助手	看護助手者研修 安全な食事の提供	
2022年9月～12月	看護部看護師	看護部専門研修（全8回：2コースを担当） 「知って納得！栄養管理 『ただなんとなく』から『根拠を持った栄養管理』へ」	11名

【相談】

嚥下障害がある患者の食事形態や栄養管理、口腔ケアについて相談を受けている。食事介助の実践を通して、対象患者の嚥下障害を理解し、看護師が根拠を持って必要な食事介助が出来るように支援を行った。看護師のみならず、言語聴覚士や栄養士から栄養投与方法、投与量、栄養補助食品についての相談があり、それぞれの専門分野からの意見を統合検討し、最適な栄養管理が出来るように援助した。

【自己啓発活動】

開催日	学会名	会場
2021年7月21日・22日	第36回日本臨床栄養代謝学会	Web
2022年1月12日	栄養療法ネットワーク 第154回定例会・勉強会	Web

(文責：公立藤岡総合病院 摂食・嚥下障害看護認定看護師 横村 季代子)

摂食・嚥下障害看護認定看護師

【実践】

病棟看護師やNST専従看護師と協働して、回復期病棟入院患者の栄養評価や栄養プランの検討を行った。多職種と協働して栄養管理を行い、質の高いチーム医療の提供に努めた。また、排便状態を把握し、食事摂取がスムーズに行えることを目的に、排便チェック表をNSTリンクナース部会で検討・作成し、院内で運用を開始した。

【教育・指導】

実施日	対象者	内容	参加者数
2021年9月13日 9月29日	群馬パース大学 摂食嚥下障害看護認定 看護師教育課程受講生	摂食嚥下障害援助論 認知症看護について 家族指導・家族支援について	22名
2021年10月26日 ～12月5日	群馬パース大学 摂食嚥下障害看護認定 看護師教育課程受講生	摂食嚥下障害看護認定看護師 教育課程臨地実習	2名
2021年9月～12月	看護部看護師	摂食嚥下専門コース（全4回） 『知って納得！栄養管理「ただ何となく」から「根拠を持った栄養管理」へ』	11名
2021年7月27日	群馬県看護協会会員	動画で学ぶ摂食嚥下障害の看護	36名
2021年11月16日	群馬医療福祉大学 3年生	高齢者看護援助論 ～高齢者における 摂食嚥下障害の援助について～	87名

【相談】

嚥下障害のある患者の食形態選択や栄養管理について相談があった。また、排便コントロール不良者への援助について相談があった。病棟看護師が、食事姿勢や嚥下状態を観察し、食事介助や口腔ケアを実施しながら、自らが援助を考え、実践出来る様に支援した。

【自己啓発活動】

日時	学会名
2021年8月2日から8月31日	JSPEN2021 第36回日本静脈経腸栄養代謝学会 学術集会 WEB オンデマンドで受講

（文責：公立藤岡総合病院 摂食・嚥下障害看護認定看護師 富山麻裕子）

透析看護認定看護師

【実践】主に人工透析室で血液透析看護に関っている。安全安楽な治療の提供と QOL の維持・向上を大切にしながら日々の患者ケアを実施した。特に COVID-19 感染予防について、患者の個別性に配慮した指導を行い、感染した透析患者の初期対応や個室透析も行なった。また、腹膜透析は年度末で 11 人が定期通院しており、昨年と同数程度を維持できた。腎代替療法選択相談は事例の内容・課題などを検討するために定期的なカンファレンスを開催した。少数だが生体腎移植・献腎移植登録に繋がった患者もいた。フットケア外来への定期的な参加、入院患者の困難なフットケアにも対応した。

【教育・指導】

実施日	対象者	内容	参加者
2021/7/12	群馬医療福祉大学 看護学部学生	腎不全看護 講義 (WEB)	90 名
2022/1/11	当院の中堅看護師	透析を受ける患者の特徴とケア	37 名
2021/6/29 2021/8/24 2021/11/4 2022/2/10 2022/3/15	人工透析室 看護師	透析治療のガイドラインを読む(1) 透析患者の QOL と透析効率 フレイル・サルコペニア 透析のガイドラインを読む(2) 透析操作と感染予防 今年度の理解度テスト実施	各回 4～6 名 程度

【相談】日々の業務の中では人工透析室のスタッフより透析条件や患者・家族対応についての相談を受けている。入院病棟からは維持透析患者の退院支援相談 1 件、腹膜透析患者の入院中の対応について相談 3 件、フットケア依頼は 6 件に対応した。

【自己啓発活動】

実施日	内容	会場
2021/5/20	第 58 回 東日本腎不全研究会 講演会	Web
2021/6/5	第 66 回 日本透析医学会 学術集会	Web
2021/11/14	第 24 回 日本腎不全看護学会 学術集会	Web
2022/2/20	第 45 回 群馬県透析懇話会	Web
2022/3/12	第 1 回 日本臨床腎臓病看護研究会 学術集会	Web
2022/3/26	第 12 回 日本腎臓リハビリテーション学会 学術集会	Web
毎月 1 回	東日本腎不全研究会 役員会・チーム研究 参加	Web

(文責：公立藤岡総合病院 透析看護認定看護師 櫻井 あかり)

乳がん看護認定看護師

【実践】

外来通院患者に病名や再発・転移告知時の診察に同席し、告知後の精神的なケアや治療選択について看護支援を行った。病棟では、乳がん術後の下着や退院後の生活指導について情報共有を行い、乳腺チームのスタッフを中心に協働した。腋窩リンパ節郭清をした患者へのリンパ浮腫予防指導を退院後の外来で行えるようにシステム作りを行った。また、緩和ケアチームと連携しながら、継続した看護を目指し、乳がん患者家族へ自壊創部のケアや在宅に向けた支援を行った。

【教育・指導】

実施日	対象・内容	参加者
2021年10～11月	藤岡准看護学校講師 成人看護（外科）	30人
2021年10月29日	基礎Ⅱ 症状マネジメント （事例検討・グループワーク）	20人
2021年3月21日	専門・認定看護師研修 自壊創部のケア	30人

【相談】

病棟スタッフから乳癌手術後の下着やリンパ浮腫予防指導の説明方法等の相談に応じた。多職種からの乳がん患者に対する相談（採血方法や手術に向けた下着の準備など）に応じた。

【自己啓発活動】

開催日	学会・研修会	会場
2021年7月	日本乳癌学会	オンライン参加
2021年8月	乳がん看護研究会	Webセミナー

（文責：公立藤岡総合病院 乳がん看護認定看護師 平田 恵美）

認知症看護認定看護師

【実践】

認知症ケアと身体抑制に対する実態調査を行い病棟別、年代別でアンケート集計を実施。院内の認知症看護に対する意識と身体抑制の現状と、日中の身体抑制の低減を目標に認定活動日に各病棟のカルテ監査を行い、入力漏れや判断に誤りがある際は適宜指導を行った。各所属部署の認知症看護検討部会員を中心に、身体抑制解除に向けた対応力とケアの質向上に繋がるよう定期的に勉強会を開催。身体抑制解除に向けた事例検討を繰り返すことで、スタッフが意識的に身体抑制解除へ取り組むことができるよう活動した。身体抑制観察評価シートの改定に伴い三要件に沿ったカンファレンスが充実し、アセスメント内容が記録できるよう指導した。また、しらさぎの里への介入を開始した。

【指導】

実施日	対象者	内容	参加者
2021年6月30日	南5階病棟看護師	身体抑制解除に向けたケア	30名
2021年7月16日	各病棟参加希望者	認知症ケアの実践 ケアを受ける側のニーズを満たすためにできること	35名
2021年9月21日	南5階病棟看護師	身体抑制解除に向けた代替ケア	30名
2021年10月7日	新人看護師	認知症患者の看護 身体抑制体験	25名
2021年11月18日	認知症看護検討部会看護師	高齢者の特徴を踏まえた認知症看護	18名
2022年2月17日	認知症看護検討部会看護師	タクティールケア	18名

【相談】

所属病棟および他部署の認知症患者、せん妄ハイリスク患者の困難事例に対応した。急性混乱時の対応について多職種（医師、薬剤師、リハビリ、栄養士、社会福祉士）と連携し安心安全な医療が提供できるよう対応した。

【自己啓発活動】

開催日	学会・研修名	会場
2021年7月4日	認知症の緩和ケアに関する研究会	Web開催
2021年10月14日	群馬県認知症疾患医療センター研修会	Zoomオンライン開催
2021年11月27日	認知症認定看護師 西毛地区クレインの会	Zoom研修
2022年2月24日	群馬大学看護学看護研究実践統合センター講演会	Zoomオンライン開催
2022年3月24日	愛知県立大学看護学部「周術期看護における認知機能が低下した患者に対する術後せん妄ケアプロセスの様相」研究のアンケート協力	Zoomオンライン開催
2022年3月26日	認定の更新方法について	Zoom研修

（文責：認知症看護認定看護師 黒澤 千恵子）

認知症看護認定看護師

【実践】

医療現場が未だ COVID-19 に翻弄されるなか、入院患者のせん妄や認知機能低下からくる行動・心理症状の悪化に対する看護ケアを行った。環境調整を行う中でスタッフも環境の一部であることを再認識した。入院と言う非日常の療養生活中で「日常」を少しでも感じられる様スタッフを含めた環境調整を心がけ実践した。

【教育・指導】

実施日	対象者	内容	参加者
2021年7月16日	院内中堅看護師	認知症ケアの実践	35人
2021年10月7日	看護師：新入職者	認知症ケアについて	24人
2021年11月～2021年12月	藤岡准看護学校 1年生	藤岡准看護学校 老年看護学 計4回	21人
2021年11月29.30日	全看護師	抑制しない看護	61人
2022年3月17日	北6階看護師	せん妄ケアについて	14人

【相談】

病棟を中心に院内入院患者のせん妄やケアの介入に困難な事例に対し相談対応行っている。月2回の活動日を設け、出来る限り即時対応・継続介入を行って居る。薬物療法に対する相談が多いが、今後も非薬物療法を第一選択とする看護ケアの提案を行っていく。他部署からの相談事例も増えつつある。今後も多方面から相談して頂ける様、横断的に活動を行っていく。

【自己啓発活動】

開催日	学会名・研修会名	開催場所
2021年4月3日	令和3年度第1回群馬県認知症看護認定看護師会研修会	Web開催
2021年4月16日	ユマニチュート基礎研修I	Web開催
2021年6月	日本老年看護学会第26回学術集会	Web開催
2021年7月15日	がん患者の認知症・せん妄ケア WEBセミナー	Web開催
2021年10月14日	第28回群馬県認知症センター研修会	群馬大学病院病院 Web開催
2021年11月16日	藤岡多野地区かかりつけ医認知症 対応力フォローアップ研修会	Web開催
2022年1月31日	2021年度認定看護師を対象とした キャリアアップ研修会	日本看護協会 Web開催

(文責：公立藤岡総合病院 認知症看護認定看護師 清水 仁美)

認知症看護認定看護師

【実践・教育】

認知症ケア加算における自立度判定に悩む職員が多いため、フローを作成した。勉強会や個別指導、記録監査を通し、過不足無く加算算定に繋がられるよう取り組んだ。

身体抑制の低減に向けては、2021年度から状態一括登録への入力を開始。管理職及び職員に、抑制実施者の聞き取り調査を行い、件数の把握と意識水準の向上に努めた。また、認知症看護検討部会では、身体抑制における勉強会と事例検討を通し、安易な抑制防止と記録の充実化を目指し取り組んだ。当該部署の抑制実施者件数は12件/年であったが、解除に向けたカンファレンスにより完全解除に至った事例が8件であり、8件中4件は転入直後の解除となった。また、一時解除者は3件であり、代替案を模索しながら解除に向けて取り組むことができた。

認定活動日の院内巡視では、主に認知症者の療養環境の調整に重点をおきケア介入を試みた。実際には、見当識を補う表示やカンダ-の設置、2500lx以上の光療法下での日光浴、疑似ケア導入によるストレス緩和、手続き記憶に働きかけた役割獲得など、非薬物療法を主体としたケアを職員と一緒に実践した。

【教育・指導】

実施日	対象者	内容	参加者
2021年7月16日	卒後5年以上看護師	中堅研修 認知症ケアの実践	35名
2021年7月15日	認知症看護検討部会員	認知症高齢者の自立度判定基準	12名
2021年9月16日	認知症看護検討部会員	身体拘束に関する裁判例の解説について 伝達講習	17名
2021年10月7日	新人看護師	基礎I研修 認知症ケア・身体抑制	24名
2021年12月16日	認知症看護検討部会員	身体抑制における3要件の判断・考え方	14名
2021年11/29・30日	管理者、院内看護職員	内田病院「抑制しない看護」	61名
2021年4月～ 2022年3月	南7階病棟看護師	加算関連/せん妄について/身体抑制に関する事件・裁判例 他	日勤者

【相談】

所属部署や各部署における認知症困難事例への対応、薬剤使用における判断及び効果判定、加算関連等について適宜相談に応じた。

【自己啓発活動】

開催日	学会名・研修会名	開催場所
2021年3月～4月	日本認知症ケア学会 中国・四国/九州・沖縄ブロック大会	Web研修
2021年4月3日	群馬県認知症看護認定看護師会ケインの会～コロナ禍における認知症看護及びケアの現状に関する研修会～	高崎健康福祉大学 Web研修
2021年6月6日	ぐんま認知症ケアゲーム 第16回春の研修会	Zoom研修
2021年6月12～27日	日本老年看護学会第26回学術集会	Web研修
2021年7月4日	第2回 認知症の緩和に関する研究会	Web研修
2021年10月～11月	老年看護学講義 計5回	藤岡准看護学校

(文責：公立藤岡総合病院 認知症看護認定看護師 富岡 幸之)

皮膚・排泄ケア認定看護師

【実践】

所属病棟においては、ストーマ造設患者に対し、術前からストーマサイトマーキングの実施やセルフケアや日常生活指導、合併症への対応等を行った。

組織横断的活動として、毎週金曜日の午前中は、ストーマ外来で在宅・施設入所のオストメイトに対し継続看護を行っている。毎週金曜日の午後からは褥瘡回診に参加し、局所ケアやポジショニングを多職種と協働し実践・指導を行なうと共に病棟スタッフと情報共有し、創改善に向けた継続ケアが行えるように努めた。

電子カルテ上では、褥瘡対策における当院での評価方法の変更を2021年10月から行った。全病棟に、体位圧分散寝具の入れ替えと新たな体圧分散クッションの導入を行った。

※ストーマ外来延べ人数：206件／年、褥瘡回診依頼件数：114件／年

【教育・指導】

実施日	対象者	内容	参加者
2021年4月22日	南7階病棟看護師	オムツの正しい装着方法	10名
2021年8月12日	R3年度新入職者（看護師）	基礎I研修「スキンケア」	25名
2021年10月～3月	北5階病棟ストーマチーム	ストーマ装具選択について（計5回）	3名
2022年3月22日	当院中堅看護師	認定看護師研修「自壊創」	40名

【相談】

日々、業務の中で、ストーマ造設患者についての局所ケアや社会資源についての内容や、創傷のある患者の局所ケア等について、医師・看護師を始めとする院内スタッフや訪問看護や老人保健施設のスタッフからも相談を受け、適宜、実際にケアの実施や情報の提供・共有等を行っている。

【自己啓発活動】

開催日	学会・研修会	会場
2021年7月3～5日	第30回日本創傷・オストミー・失禁管理学会学術集会	Web開催
2022年2月11・12日	第39回日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会総会	サンポート高松かがわ国際会議場（オンライン参加）

（文責：公立藤岡総合病院 皮膚・排泄ケア認定看護師 松本 佳代）

がん性疼痛看護認定看護師

【実践】

緩和ケアチーム介入の患者、所属病棟において、疼痛や身体的苦痛、不安などが緩和できるように主治医に薬の調整を提案している。また、痛みのある患者に対して、薬の効果的な使い方（レスキュー薬の服用のタイミング）や副作用を説明し、在宅療養においてセルフコントロールができ、長く自宅で過ごせるように調整をおこなっている。

在宅療養や転院など患者の意思決定を尊重し、緩和ケアチームやMSWと連携を図り患者支援をおこなっている。

毎週木曜日には、緩和ケアセンターで兼任として活動し、患者・家族に痛みや生活における不安の相談に対応している。

緩和ケアチームカンファレンスに参加し、痛疼や症状の緩和について、がん性疼痛認定看護師としての視点から意見を述べている。

*がん患者指導管理料 イ・ロの算定をおこなっている。(イ5名、ロ44名)

【教育・指導】

所属病棟では、痛みのメカニズムや痛み止めについて、オピオイドスイッチングのタイミング・換算方法、副作用など事例に沿った勉強会をおこない、便秘などは、統一したアセスメントができるように指導をおこなった。

(5回)

依頼により他病棟では、オピオイド、NSAIDs、換算方法、便秘などの勉強会をおこなった。(5回)

院内においては、がん性疼痛認定看護師として、「基礎Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ研修」及び「緩和ケアの基礎教育」を教育プログラムに沿っておこなった。(6回)

院外では、群馬医療福祉大学、看護学部看護学科2年生に、「身体的ケア」の講義をおこなった。(1回)

【相談】

所属病棟、他部署より疼痛コントロールや副作用について、オピオイドスイッチングの相談に随時対応している。また、がん患者への関わり方についての相談にも対応している。

【自己研鑽】

開催日	学会名・研修会名	開催場所
R3年 5月22日	群馬がん看護フォーラム 共同研究	
R3年 7月14日	デジタルテック 新発売記念講演	WEB講演会
R3年 10月4日	第29回 藤岡緩和ケア研究会	WEB講演会
R4年 2月3日	第30回 藤岡緩和ケア研究会	公立藤岡総合病院 大会議室
R4年 3月2日	藤岡がん診療講演会 ZOOM	公立藤岡総合病院 大会議室

(文責：公立藤岡総合病院 がん性疼痛看護認定看護師 恩田 千栄子)

6. CPC

【第172回】 開催日：令和3年5月13日（木）大会議室

剖検 No	症例	主治医	病理医	臨床診断・病理解剖診断
363	66歳 男性	血液内科 外山耕太郎	高橋慶一郎 (研修医) / 吉田孝友	臨床診断：びまん性大細胞型B細胞リンパ腫、肺炎、急性呼吸窮迫症候群 病理診断：びまん性大細胞型B細胞リンパ腫（非特定型）、びまん性肺胞傷害、間質性肺炎

【第173回】 開催日：令和3年7月8日（木）大会議室

剖検 No	症例	主治医	病理医	臨床診断・病理解剖診断
364	78歳 男性	血液内科 外山耕太郎	松井遼 (研修医) / 吉田孝友	臨床診断：多発性骨髄腫、骨盤骨折、右肺下葉腫瘍 病理診断：多発性骨髄腫、右肺扁平上皮癌

【第174回】 開催日：令和3年10月14日（木）大会議室

剖検 No	症例	主治医	病理医	臨床診断・病理解剖診断
365	86歳 男性	呼吸器内科 西連寺由紀子	前原孝史 (研修医) / 吉田孝友	臨床診断：特発性肺繊維症 病理診断：空腸粘膜下腫瘍、通常型間質性肺炎（特発性肺線維症）、蜂窩肺

【第175回】 開催日：令和3年12月9日（木）大会議室

剖検 No	症例	主治医	病理医	臨床診断・病理解剖診断
369	57歳 男性	呼吸器内科 竹村仁男	吉田源也 (研修医) / 吉田孝友	臨床診断：胃潰瘍、IgA血管炎、COVID-19感染後 病理診断：胃粘膜下腫瘍（平滑筋腫）、IgA血管炎、出血性胃潰瘍、紫斑病性腎炎（壊死性糸球体炎、半月体形成性腎炎）、急性腎不全、COVID-19感染後の状態

【第176回】 開催日：令和3年3月10日（木）大会議室

剖検 No	症例	主治医	病理医	臨床診断・病理解剖診断
366	80歳 女性	血液内科 武井寿史	角張友隆 (研修医) / 吉田孝友	臨床診断：特発性血小板減少性紫斑病、肺胞出血、硬膜下血腫 病理診断：特発性血小板減少性紫斑病、肺胞内出血、びまん性肺胞傷害、肺うっ血水腫、間質線維化、頭蓋内出血（急性硬膜下血腫、くも膜下出血）

7. 教育実習生・研修生受入れ実績

受入部署	学校名	人数	延人数	実習期間	実習内容	備考	
診療部	群馬大学医学部附属病院	7	133	11/22～12/17	群馬大学医学実習(臨床実習)	19日間/1人	
		11	209	1/4～3/25	群馬大学医学実習(臨床実習)	19日間/1人	
	小計	18	342				
看護部	藤岡准看護学校	24	1,022	7/5～11/27	成年・老年看護実習	4～8日間/1人	
		24	120	7/5～11/20	小児看護実習	4～8日間/1人	
		24	96	7/19～11/20	母性看護実習	4～8日間/1人	
	群馬医療福祉大学 看護学科		91	342	7/5～11/26	成人看護学実習Ⅰ	4日間/1人
			86	340	7/5～11/26	成人看護学実習Ⅱ	4日間/1人
			43	83	9/17～9/24	基礎看護学実習Ⅰ	1～2日間/1人
			70	280	11/29～12/24	基礎看護学実習Ⅱ	4日間/1人
			47	235	7/5～11/26	高齢者看護学実習Ⅱ	5日間/2人
			30	96	9/22～11/26	小児看護学実習	3～4日間/1人
			60	180	7/5～11/26	母性看護学実習	3日間/1人
			72	144	7/28～8/6	施設・病棟統合実習	2日間/1人
		上尾中央看護専門学校通信学科		1	2	8/2～8/3	母性看護学実習Ⅱ
			2	4	8/10～8/11	小児看護学実習Ⅱ	2日間/1人
			2	4	7/20～7/21	老年看護学実習Ⅱ	2日間/1人
			1	2	8/23～8/24	成人看護学実習Ⅱ	2日間/1人
	群馬パース大学看護学部		3	120	7/19～10/15	助産実習	15～55日間/1人
			42	168	8/17～9/9	基礎看護実習Ⅱ	4日間/1人
	高崎健康福祉大学保健医療学部看護学科		15	30	6/21～7/19	老年看護学実習	2日間/1人
			11	35	11/22～12/17	母性看護学実習	3～4日間/1人
	摂食嚥下障害看護認定看護師		2	46	10/25～11/30	教育課程臨地実習	23日間/1人
	藤岡消防署		6	18	10/6～2/28	救急救命士再教育病院研修	3日間/1人
	藤岡消防署(就業前実習)		1	20	11/29～12/24	救急救命士就業前研修	20日間/1人
	鬼石消防分署		2	6	10/15～2/4	救急救命士再教育病院研修	3日間/1人
	吉井消防署		4	12	11/17～3/4	救急救命士再教育病院研修	3日間/1人
	奥多野消防分署		2	6	11/11～2/16	救急救命士再教育病院研修	3日間/1人
	小計		665	3,411			
	薬剤部	高崎健康福祉大学	3	165	11/22～2/10	薬剤業務全般	55日間/1人
		小計	3	165			
	検査室	群馬パース大学	2	78	7/1～8/31	臨床検査技師養成コース	39日間/1人
		北里大学保健衛生専門学院	2	78	7/1～8/31	臨床検査技師養成コース	39日間/1人
小計		4	156				
リハビリテーション室	群馬大学	2	64	8/16～10/8	理学療法総合実習	37日間/1人	
		1	38	10/18～12/11	作業療法総合実習	38日間/1人	
	群馬医療福祉大学	2	10	4/26～4/30	理学療法総合実習	5日間/1人	
		2	30	11/29～12/10	理学療法評価実習	15日間/1人	
	高崎健康福祉大学	2	36	9/13～10/8	理学療法総合実習	18日間/1人	
		2	66	10/18～12/4		33日間/1人	
	前橋医療福祉専門学校	2	20	12/6～12/17	理学療法総合実習	10日間/1人	
		1	21	9/27～10/25	言語聴覚療法実習	21日間/1人	
	太田医療技術専門学校	1	32	7/5～8/20	理学療法総合実習	32日間/1人	
	群馬パース大学	2	6	9/14～9/16	言語聴覚療法見学実習	3日間/1人	
	国際医療福祉大学	1	38	8/23～7/9	言語聴覚療法実習	40日間/1人	
	社会医学技術学院	1	38	8/23～10/16	理学療法総合実習	38日間/1人	
	小計	19	399				
合計		709	4,473				

8. 医師臨床研修制度

平成16年4月から厚生労働省は、国民の医療に対する信頼の確保をはじめ、それまで専門分野に偏りがちだった臨床研修を大幅に見直し、専門医となる前の2年間で初期臨床研修と位置づけ必修化した。臨床医として日常の診療で頻繁に遭遇する病気や病態に適切に対応できる基本的で幅広い診療能力（包括的医療）と、患者さんを身体面のみでなく、精神面からも総合的に理解しながらケアできる診療能力（全人的医療）を修得し、さらに、あたたかい人間性と広い社会性を身につけ、地域医療にも貢献できる医師を育てることが目的とされた。

当院においては、平成16年3月31日に厚生労働省より、臨床研修病院として認定（厚生労働省発医政第0331050号）を受けた。また、平成27年4月1日付けで卒後臨床研修評価機構の認定病院となった。

(1) 臨床研修の概況

研修期間割（標準）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
1年次	内科						救急部門			産婦人科	小児科	外科
2年次	地域医療	精神科										

- ※ 内科Ⅰ：循環器・糖尿病 内科Ⅱ：呼吸器、血液 内科Ⅲ：腎臓・リウマチ・消化器
- ※ 救急は主として外科・整形外科、脳神経外科、麻酔科で研修。また年間を通じて日直、宿直時の研修も救急研修と位置づける。
- ※ 必修科目は産婦人科、小児科、外科、精神科を各1か月。小児科、外科では外来診療を経験する。
- ※ 2年次での地域医療は、緩和ケア診療所いっぽまたは藤岡市国民健康保険鬼石病院で行う。
- ※ 選択で協力型病院での研修を行う場合は、最長3ヶ月とする。

協力型病院：群馬大学医学部附属病院、群馬県立小児医療センター、サンピエール病院、公立富岡総合病院、老年病研究所附属病院

協力施設：くすの木病院、藤岡市国民健康保険鬼石病院、緩和ケア診療所・いっぽ、藤岡保健所、介護老人保健施設しらさぎの里

(2) 研修協力

当院は、基幹型臨床研修病院として医師の初期研修に携わるほか、群馬大学医学部附属病院、公立富岡総合病院、館林厚生総合病院の協力型臨床研修病院として、同院に在籍する研修医の初期研修も行っている。

(3) プログラム責任者

役職：臨床研修統括部長兼研修管理センター長 氏名：遠藤 究

(4) 臨床研修医受入れ状況

氏名	年次	期間	在籍	修了者	備考
木村 雅文	2	H16.10.1～H17.9.30(10ヶ月)	群大		除く2ヶ月地保・精神
矢内 有紀	2	H17.4.1～H18.3.31(10ヶ月)	群大		除く2ヶ月地保・精神
梅津 桃	2	H17.4.1～H18.3.31(10ヶ月)	群大		除く2ヶ月地保・精神
喜多川 孝欽	1	H17.4.1～H18.3.31(1年)	群大		
逸見 大造		H17.4.1～H19.3.31(2年)	当院	◎	
長坂 江理	1	H17.4.1～H18.3.31(1年)	群大		
伴野 潤一	2	H18.4.1～H19.3.31(10ヶ月)	群大		除く2ヶ月地保・精神
江原 佳史	1	H18.4.1～H19.3.31(1年)	群大		
中島 久仁子		H18.4.1～H20.3.31(2年)	当院	◎	
矢島 優		H18.4.1～H20.3.31(2年)	当院	◎	
越 浩美		H19.4.1～H21.3.31(2年)	当院	◎	
梅山 敦		H19.4.1～H21.3.31(2年)	当院	◎	
高橋 研吾		H19.4.1～H21.3.31(2年)	当院	◎	
重城 良国		H19.4.1～H21.3.31(2年)	当院	◎	
坂本 亮一郎	1	H19.4.1～H20.3.31(1年)	群大		
金澤 紗恵子	1	H19.4.1～H20.3.31(1年)	群大		
佐藤 成		H20.4.1～H22.3.31(2年)	当院	◎	
堀 瑞子		H20.4.1～H22.3.31(2年)	当院	◎	
廣江 孝	1	H20.4.1～H21.3.31(1年)	群大		
梅元 あずさ	2	H20.5.5～H21.3.31(11ヶ月)	群大		除く1ヶ月地域保健
高橋 駿介		H21.4.1～H23.3.31(2年)	当院	◎	
塚越 律子		H21.4.1～H23.3.31(2年)	当院	◎	
富田 庸介		H21.4.1～H23.3.31(2年)	当院	◎	
竹村 仁男		H21.4.1～H23.3.31(2年)	当院	◎	
鈴山 耕平	1	H21.4.1～H22.3.31(1年)	群大		
諏訪 絢也	1	H21.4.1～H22.3.31(1年)	群大		
日下田 大輔	2	H21.6.1～H22.3.31(10ヶ月)	群大		除く2ヶ月地保・精神
宮地 那実		H22.4.1～H24.3.31(2年)	当院	◎	
高見 尚平	2	H22.4.1～H23.3.31(10ヶ月)	群大		除く2ヶ月地保・精神
中田 聡	2	H22.4.1～H23.3.31(10ヶ月)	群大		除く2ヶ月地保・精神
藍原 和史	1	H23.4.1～H24.3.31(1年)	群大		
友松 佑介		H23.4.1～H25.3.31(2年)	当院	◎	
江原 玄		H23.4.1～H25.3.31(2年)	当院	◎	
木村 隼人		H23.4.1～H25.3.31(2年)	当院	◎	
萩原 慶		H23.4.1～H25.3.31(2年)	当院	◎	
岡庭 隼		H23.4.1～H25.3.31(2年)	当院	◎	
安藤 雅泰	2	H24.4.1～H25.3.31(11ヶ月)	群大		除く1ヶ月地域医療
齊藤 千真		H24.4.1～H26.3.31(2年)	当院	◎	
古川 正一郎		H24.4.1～H26.3.31(2年)	当院	◎	
小暮 正信		H24.4.1～H26.3.31(2年)	当院	◎	

氏名	年次	期間	在籍	修了者	備考
青木 雅典		H24. 4. 1～H26. 3. 31 (2年)	当院	◎	
大嶋 愛沙香	1	H24. 4. 1～H25. 3. 31 (1年)	群大		
山田 宏明	2	H25. 4. 1～H25. 3. 31 (10ヶ月)	群大		除く2ヶ月地医・核医
荒木 祐樹	2	H25. 6. 1～H25. 3. 31 (9ヶ月)	群大		除く1ヶ月地域医療
寺内 祐理		H25. 4. 1～H27. 3. 31 (2年)	当院	◎	
根井 翼		H25. 4. 1～H27. 3. 31 (2年)	当院	◎	
佐々木 隆文		H25. 4. 1～H27. 3. 31 (2年)	当院	◎	
高野 順子		H25. 4. 1～H27. 3. 31 (2年)	当院	◎	
土田 圭祐	1	H25. 4. 1～H26. 3. 31 (1年)	群大		
福田 周一	2	H26. 6. 1～H27. 3. 31 (10ヶ月)	群大		除く1ヶ月藤岡保健所
宮川 真梨江	2	H26. 6. 1～H26. 8. 31 (3ヶ月)	群大		
齋藤 水絵		H26. 4. 1～H28. 3. 31 (2年)	当院	◎	
村主 遼		H26. 4. 1～H28. 3. 31 (2年)	当院	◎	
得居 俊介		H26. 4. 1～H28. 3. 31 (2年)	当院	◎	
本吉谷真理子	1	H26. 4. 1～H28. 3. 31 (1年)	群大		
高木 瑛子		H27. 4. 1～H29. 3. 31 (2年)	当院	◎	
金子 裕美		H27. 4. 1～H29. 3. 31 (2年)	当院	◎	
金井 杏奈		H27. 4. 1～H29. 3. 31 (2年)	当院	◎	
山本 ひとみ		H27. 4. 1～H29. 3. 31 (2年)	当院	◎	
船引 亮輔		H27. 4. 1～H29. 3. 31 (2年)	当院	◎	
渡邊 嘉一		H27. 4. 1～H29. 3. 31 (2年)	当院	◎	
高橋 怜真		H27. 4. 1～H29. 3. 31 (2年)	当院	◎	
平形 絢子	2	H27. 5. 1～H28. 3. 31 (11ヶ月)	群大		
木下 優実	2	H27. 6. 1～H28. 8. 31 (3ヶ月)	群大		
長又 亮	2	H27. 8. 1～H27. 10. 31 (3ヶ月)	群大		
平山 結佳子	2	H27. 10. 1～H28. 12. 31 (3ヶ月)	群大		
平山 恭平	2	H27. 12. 1～H28. 2. 29 (3ヶ月)	群大		
周藤 周	1	H27. 4. 1～H28. 3. 31 (1年)	群大		
戸村 琴音		H28. 4. 1～H30. 3. 31 (2年)	当院	◎	
板井 美紀		H28. 4. 1～H30. 3. 31 (2年)	当院	◎	
道崎 護		H28. 4. 1～H30. 3. 31 (2年)	当院	◎	
三森 亮太		H28. 4. 1～H30. 3. 31 (2年)	当院	◎	
小川 真一郎		H28. 4. 1～H30. 3. 31 (2年)	当院	◎	
丸山 篤造	1	H28. 4. 1～H29. 3. 31 (1年)	群大		
塚田 明彦	1	H28. 4. 1～H29. 3. 31 (1年)	群大		
明石 直樹	2	H28. 5. 1～H29. 3. 31 (11ヶ月)	群大		
佐藤 広宣		H29. 4. 1～H31. 3. 31 (2年)	当院	◎	
福田 怜雄		H29. 4. 1～H31. 3. 31 (2年)	当院	◎	
萩原 舟平		H29. 4. 1～H31. 3. 31 (2年)	当院	◎	
大枝 涼平		H29. 4. 1～H31. 3. 31 (2年)	当院	◎	
南雲 航		H29. 4. 1～H31. 3. 31 (2年)	当院	◎	

氏名	年次	期間	在籍	修了者	備考
木村 健人		H29.4.1~H31.3.31 (2年)	当院	◎	
内田 美帆		H29.4.1~H31.3.31 (2年)	当院	◎	
高橋 亜実	1	H29.4.1~H30.3.31 (1年)	群大		
松本 彬	2	H29.5.1~H30.3.31 (11ヶ月)	群大		
清水 一輝	1	H30.4.1~H31.3.31 (1年)	群大		
荒巻 裕人	2	H30.5.1~H31.3.31 (11ヶ月)	群大		
杉崎 真人	2	H30.11.1~H31.3.31 (3ヶ月)	群大		
河野 慧		H30.4.1~R2.3.31	当院	◎	
木口 友紀		H30.4.1~R2.3.31	当院	◎	
坂本 康大		H30.4.1~R2.3.31	当院	◎	
反町 隼人		H30.4.1~R2.3.31	当院	◎	
半田 敬祐		H30.4.1~R2.3.31	当院	◎	
柴 佳那		H30.4.1~R1.7.31 (1年3ヶ月)	当院		中断後群馬大学で修了
土橋 里美		H31.4.1~R3.3.31	当院	◎	
儘田 千尋		H31.4.1~R3.3.31	当院	◎	
石崎 正徳		H31.4.1~R3.3.31	当院	◎	
黒岩 裕也		H31.4.1~R3.3.31	当院	◎	
牛久保 陸生		H31.4.1~R3.3.31	当院	◎	
友金 佐光		H31.4.1~R3.3.31	当院	◎	
伊藤 望		H31.4.1~R3.3.31	当院	◎	
塩原 理沙	2	R1.5.1~R2.3.31 (11ヶ月)	群大		
小川 由希子	1	R2.10.1~R2.11.30 (2ヶ月)	館林厚生		
石川 幸之助	1	R2.3.1~R2.4.30 (2ヶ月)	館林厚生		
今井 勝也		R2.4.1~R4.3.31	当院	◎	
吉田 源也		R2.4.1~R4.3.31	当院	◎	
鈴木 美咲		R2.4.1~R4.3.31	当院	◎	
高橋 慶一郎		R2.4.1~R4.3.31	当院	◎	
古市 望		R2.4.1~R4.3.31	当院	◎	
小野 りさ子		R2.4.1~R4.3.31	当院	◎	
峰村 成		R2.4.1~R4.3.31	当院	◎	
森村 友紀	2	R4.1.1~R4.1.31 (1ヶ月)	富岡総合		
岡部 環	1	R3.4.1~R4.3.31 (1年)	群大		

令和3年度 医師臨床研修関係実績

月	日	内 容
4月	1～5 6・7	辞令交付式・オリエンテーション 新入職者接遇マナー研修・火災避難訓練 グラム染色・血液型・エコー研修
5		
6	26	院内 ICLS
7	25	レジナビウェブ
8	11 16	研修医採用試験 第1回研修管理委員会
9	14 24 25	救急車同乗実習（～11/18） レジナビオンライン マッチング中間発表
10	1 28 22・29	マッチン中間果発表 マッチング結果発表 外科手技研修
11	5・12 15	外科手技研修 第2回研修管理委員会
12	14	研修医症例発表会
1	21	基本的臨床能力評価試験
2	6・7 9	第115回医師国家試験 次年度採用研修医説明会
3	6 7 16 31	レジナビオンライン 第3回研修管理委員会 第116回医師国家試験発表 修了証書授与式

令和3年度 研修医研修

	開催日	名称	テーマ・内容	講師
4月	4月26日	研修医懇談会レクチャー	尿検査の見方	腎臓内科
	4月26日	院内学術集談会	新型コロナウイルス感染症 感染予防対策	感染研修会 茂木医師
5月	5月13日	キャンサーボード	虫垂癌	外科 高橋医師
	5月13日	M&Mカンファレンス	肺腺癌	呼吸器内科 竹村医師
	5月19日	モーニングレクチャー	栄養に関する最新知識	NST 中村医師
	5月24日	研修医懇談会レクチャー	心不全治療について	循環器内科 高松医師
	5月24日	院内学術集談会	周産期と感染症	産婦人科 片貝医師
	5月26日	モーニングレクチャー	呼吸器内科に関する最新知識	呼吸器内科 高野医師
6月	6月10日	キャンサーボード	前立腺癌	泌尿器科 縣医師
	6月10日	M&Mカンファレンス	COVID-19	腎臓内科 茂木医師
	6月16日	モーニングレクチャー	栄養に関する最新知識	NST 中村医師
	6月23日	モーニングレクチャー	呼吸器内科に関する最新知識	呼吸器内科 高野医師
	6月28日	研修医懇談会レクチャー	「肺結核の画像診断」日常診療で見逃さないために	呼吸器内科 茂木医師
	6月28日	院内学術集談会	感染対策とフィットテスト	安全・感染研修会
7月	7月8日	キャンサーボード	膵臓癌	消化器内科 山口医師
	7月8日	M&Mカンファレンス	胃癌	外科 岡崎医師
	7月21日	モーニングレクチャー	栄養に関する最新知識	NST 中村医師
	7月26日	研修医懇談会レクチャー	急性胆管炎・胆嚢炎	外科 中里医師
	7月26日	院内学術集談会	顎関節脱臼について	歯科口腔外科 清水医師
	7月28日	モーニングレクチャー	呼吸器内科に関する最新知識	呼吸器内科 高野医師
8月	8月23日	研修医懇談会レクチャー	救急外来での産婦人科疾患	産婦人科 片貝医師
	8月23日	院内学術集談会	尿管結石とその救急対応	泌尿器科 縣医師
	8月25日	モーニングレクチャー	呼吸器内科に関する最新知識	呼吸器内科 高野医師
9月	9月9日	キャンサーボード	骨髄異形成症候群／骨髄増殖性腫瘍 分類不能型	血液内科 今村医師
	9月9日	M&Mカンファレンス	くも膜下出血、多発脳動脈瘤	脳神経外科 若林医師
	9月15日	モーニングレクチャー	栄養に関する最新知識	NST 中村医師
	9月22日	モーニングレクチャー	呼吸器内科に関する最新知識	呼吸器内科 高野医師
	9月27日	研修医懇談会レクチャー	貧血の考え方	血液内科 外山医師
	9月27日	院内学術集談会	大腸癌について	外科 加藤医師
10月	10月14日	キャンサーボード	胃SMT	外科 原医師
	10月14日	M&Mカンファレンス	AMI	循環器内科 小野医師
	10月20日	モーニングレクチャー	栄養に関する最新知識	NST 中村医師
	10月22日	トレーニングプログラム	糸結び／皮膚縫合	ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社担当者
	10月25日 ～11月5日	群馬レジデントグランプリ	「ニボー→イレウス・腸閉塞」その先～救急外来で経験した腹痛を主訴とする一例～	研修医1年次
	10月25日	研修医懇談会レクチャー	漢方薬について	株式会社ツムラ担当者
	10月25日	院内学術集談会	診療放射線の安全利用のための研修	放射線研修 神宮医師
	10月27日	モーニングレクチャー	呼吸器内科に関する最新知識	呼吸器内科 高野医師
	10月29日	トレーニングプログラム	真皮縫合	ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社担当者

11月	11月5日	トレーニングプログラム	トロッカー固定と小切開閉創	ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社担当者
	11月11日	がんセンターボード	悪性胸膜中皮腫	呼吸器内科 竹村医師
	11月11日	M&Mカンファレンス	子宮頸がんⅢb期	産婦人科 道崎医師
	11月12日	トレーニングプログラム	消化管吻合／血管吻合／真皮縫合	ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社担当者
	11月17日	モーニングレクチャー	栄養に関する最新知識	NST 中村医師
	11月22日	研修医懇談会レクチャー	意識障害と内分泌・代謝疾患	糖尿病内科 中原医師
	11月22日	院内学術集談会	頭部顔面創傷処置 スキンステープレアの功罪・縫合のススメ	脳神経外科 若林医師
	11月24日	モーニングレクチャー	呼吸器内科に関する最新知識	呼吸器内科 高野医師
12月	12月9日	がんセンターボード	乳癌	外科 松本医師
	12月9日	M&Mカンファレンス	多発性骨髄腫	血液内科 野口医師
	12月15日	モーニングレクチャー	栄養に関する最新知識	NST 中村医師
	12月22日	モーニングレクチャー	呼吸器内科に関する最新知識	呼吸器内科 高野医師
	12月27日	研修医懇談会レクチャー	救外での泌尿器科対応	泌尿器科 縣医師
	12月27日	院内学術集談会	腎代替療法選択について	腎臓内科 月田医師
1月	1月19日	モーニングレクチャー	栄養に関する最新知識	NST 中村医師
	1月24日	研修医懇談会レクチャー	アナフィラキシーの対応	小児科 小山医師
	1月24日	院内学術集談会	後期 医療安全研修会	安全・感染研修会
2月	2月16日	モーニングレクチャー	栄養に関する最新知識	NST 中村医師
	2月10日	がんセンターボード	子宮体癌IVB期	産婦人科 道崎医師
	2月10日	M&Mカンファレンス	前立腺癌	泌尿器科 縣医師
	2月28日	研修医懇談会レクチャー	超急性期脳梗塞の診断と治療	脳神経外科 若林医師
	2月28日	院内学術集談会	高齢者の摂食嚥下障害	リハビリ科 黒崎医師
3月	3月10日	がんセンターボード	子宮体癌IVB期	産婦人科 道崎医師
	3月10日	M&Mカンファレンス	前立腺癌	泌尿器科 縣医師
	3月28日	研修医懇談会レクチャー	胸腰椎損傷の診断と治療	整形外科 中島大輔
	3月28日	院内学術集談会	感染対策必須研修会 AST活動	安全管理センター 金子看護師 抗菌薬適正使用支援チーム

第 16 回公立藤岡総合病院研修医症例発表会抄録

令和 3 年 12 月 14 日(火)17:30～

公立藤岡総合病院 大会議室

1. 左冠動脈前下行枝(LAD)に特発性冠動脈解離(SCAD)をきたし、急性前壁心筋梗塞を 発症した 1 例 角張 友隆

【症例】47 歳女性【臨床経過】1 ヶ月前から胸痛を自覚し、自然軽快することがあった。第 1 病日、胸背部と両頸部～肩にかけての疼痛が持続し、救急搬送された。心電図では V1-6 の ST 上昇を認めた。緊急 CAG を行い、LAD#7-8 にびまん性狭窄、#8 に閉塞を認めた。IVUS にて、#7-8 の血腫形成を認め、SCAD による AMI と診断。引き続き PCI を行なった。IVUS 後 TIMI2 まで血流改善。その後バルーン血管拡張を行なったが、十分な再灌流を得られず、IVUS にて認めた偽腔の entry 閉鎖と血腫拡大防ぐため、#7-8 にステントを留置した。LAD 末梢への良好な血流を確認し手技を終了。術後の経過は良好で、第 15 病日退院。【考察】SCAD は冠動脈の中膜偽腔が生じ、心筋梗塞を来たしうる、中年の女性に好発する稀な疾患である。治療法に明確な指針はなく個々の判断に委ねられているのが現状である。本症例のように、中年女性の急性冠症候群は SCAD を念頭に置きながら診断を進めることが重要であり、診断には IVUS が有用である。また、血行再建のため PCI を行う際は、血管内膜損傷を最小限に留めつつ手技を行う必要がある。SCAD に対する有効な治療法の確立を期待しつつ、本報告のように症例経験を積極的に報告し、共有することが重要であると考えらる。

2. COVID-19 ワクチン BNT162b2 接種後に発症した後天性血栓性血小板減少性紫斑病 (TTP) の 1 例 前原 孝史

【症例】生来健康な 47 歳男性。【主訴】四肢点状出血、口腔粘膜出血。
【現病歴】-9 病日に COVID-19 ワクチン BNT162b2 (コミナティ®; Pfizer/Biontech) の 1 回目を接種した。-5 病日に微熱と頭痛が出現した。-2 病日に四肢点状出血を主訴に前医を受診し、血小板 11.9 万/ μ L と低下を認めた。入院当日に口腔粘膜出血を生じ、当科を紹介受診した。
【経過】血小板減少 (0.7 万/uL)、溶血性貧血、腎機能障害、頭痛、発熱、破碎赤血球を認めた。更に ADAMTS13 活性の低下、ADAMTS13 インヒビター陽性を認め、COVID-19 ワクチンを起因とした後天性 TTP と診断した。
入院第 1 病日から PSL の内服、第 4 病日から血漿交換を開始した。第 6 病日以降、血小板数は 15 万/uL 以上に改善した。血漿交換は計 4 回施行したが、FFP によるアナフィラキシーがあり、その継続が危ぶまれたため、第 8 病日からリツキシマブを投与した。その後、ADAMTS13 活性は改善し、ADAMTS13 インヒビターも陰性化した。経過良好で PSL も漸減でき、第 32 病日に軽快退院した。
【考察】COVID-19 ワクチン接種後に発症した TTP は、これまでに全世界で 18 例報告されている。COVID-19 ワクチン接種後に血小板減少をきたす疾患として、特発性血小板減少性紫斑病やワクチン起因性免疫性血栓性血小板減少症が報告されているが、TTP も考慮する必要がある。

3. 悪性リンパ腫の診断に超音波気管支鏡下経食道的針生検法 (EUS-B-FNA) が有用であった1例

大屋 裕

【症例】72歳女性

【主訴】呼吸困難

【現病歴】X年Y-1月末から呼吸困難が出現した。前医のCTで浸潤影を指摘され、肺炎を疑い抗生剤による入院加療を行ったが改善しなかった。精査加療目的にY月末に当院へ転院となった。

【経過】入院時のCTで、右肺上葉の浸潤影と腫瘤影、縦隔に多発するリンパ節腫大を認めた。呼吸不全を認め、気管分岐下リンパ節に対しEUS-B-FNAを施行した。病理で悪性リンパ腫が疑われ、追加精査で、びまん性大細胞型B細胞性リンパ腫が確定診断となった。R-CHOP療法を開始し、速やかに改善し、呼吸不全なく、退院となった。

【考察】一般的な肺癌の診断や縦隔病変精査に用いる超音波気管支鏡下穿刺吸引生検法 (EBUS-TBNA)は、経気道的アプローチであるため呼吸不全患者に対して施行するのは困難である。一方、EUS-B-FNAは食道からのアプローチであり、本症例のような呼吸不全を伴う患者に対し、安全に施行できる診断方法の1つであると考えられた。

4. ステロイドパルス直後に多発骨格筋膿瘍を発症した重症SLEの一例

林 紘太

【症例】25歳女性。ベトナム人。発熱と咽頭痛を主訴にX年Y-2月上旬に近医で精査したところ肝障害、汎血球減少、フェリチン高値、肝脾腫を認め成人 Still 病が疑われプレドニゾロン (PSL) 20 mgで開始された。症状は一時軽快し PSL 中止したが、その後高熱や顔面皮疹が出現したため不明熱精査として Y 月に当院紹介された。頬部紅斑、鼻咽頭潰瘍、腎障害、汎血球減少、抗核抗体陽性、抗 DNA 抗体陽性などから全身性エリテマトーデス (SLE) と診断した。第4病日に中枢神経ループスを発症したためステロイドパルス療法を開始した。意識レベルは改善したが、パルス直後より上腕と大腿部の疼痛、CRP の急激な上昇を認め、血液培養から S. aureus が検出され敗血症の合併として抗菌薬治療を開始した。その後の画像精査で多発骨格筋膿瘍を認めた。SLE については PSL とヒドロキシクロロキン、ミコフェノール酸モフェチルで部分寛解に至った。膿瘍は長期の抗菌薬投与で消失した。

【結語】SLE における細菌性膿瘍の報告はあるが、その多くは慢性期に発症しており、免疫抑制治療開始直後の膿瘍形成はきわめて珍しい。本症例は鼻腔内潰瘍から敗血症に至ったと考えられたが、SLE 治療継続しながら抗菌薬治療を行って症状軽快することができた。

5. 被包化膿壊死感染を契機に糖尿病性ケトアシドーシスを起こした一例

高橋 里奈

症例は 48 才男性。3 年前に重症急性膵炎を発症した後に敗血症性ショック、被包化膿壊死となった。当時糖尿病と診断されるも治療を自己中断した。2021 年 4 月頃から 3kg/月の体重減少、6 月上旬に口渇が出現した。7 月 5 日に左下腹部痛で近医を受診し、採血で高血糖を認め 7 日当院を受診した。血糖 733mg/dL、HbA1c 14.8%、尿ケトン体陽性で糖尿病性ケトアシドーシスと診断し、左下腹部痛は CT 所見より小腸炎と考えた。セフトリアキソンを開始し補液とインスリン持続静注を行った。最大 80 単位/日程のインスリンを投与したが血糖コントロールは困難であった。治療経過中に炎症反応の悪化があり、CT の再検で入院時より認めた膵嚢胞の増大があった。メロペネムに変更し、外科にコンサルトの上で保存的治療を継続したが改善しないため、16 日に CT ガイド下ドレナージを行った。ドレーン留置後に炎症反応と血糖値は速やかに改善した。培養で緑膿菌が検出された。高血糖は感染リスクになるばかりでなく、感染の重症化により糖尿病性ケトアシドーシスなどの高血糖昏睡リスクにつながる。初期は重症でなくとも的確に治療しないと致死的となりうるため注意が必要である。

6. GBS(Group B Strptococcus)髄膜炎の 2 症例

松井 遼

【緒言】B 群レンサ球菌(GBS)は、新生児や早期乳児の侵襲性感染症の原因菌である。発症すると、死亡率・後遺症を残す率がともに高く、産科小児科領域では注意を要する感染症である。今回、GBS による早発型、遅発型の髄膜炎症例を経験したので、文献的考察を加え報告する。

【症例 1】日齢 8 の男児。日齢 7 の朝に発熱のために近医を受診し、経過観察となっていた。症状の改善なく日齢 8 に当院を受診・入院となった。髄液細胞数の増加があり、髄膜炎と診断し、ABPC と CTX で治療を開始した。髄液培養から GBS が検出された。抗菌療法で髄膜炎は改善したが、頭部 MRI では、左頭頂葉萎縮性変化を残した。母は、周産期の GBS 培養が未検であった。

【症例 2】2 か月の女児。早期乳児の発熱のため入院となった。髄液検査で細胞数の増加があり、髄膜炎の診断で MEPM と CTX、ACV で治療を開始した。髄液培養から GBS が検出された。抗菌療法で髄膜炎は改善したが、両側硬膜下水腫が残存した。

【考察】周産期の GBS に対するガイドラインにより早発型は減少してきているが、未だ完全には予防できない。遅発型は予防法が定まっておらず、一定数の発症が見られる。新生児・乳幼児の発熱を診る際には、GBS 感染症を考慮することが重要である。

7. 「異所性副甲状腺腺腫の局在診断における MIBI-SPECT の有用性を示す一例」

岡部 環

99mTc-MIBI シンチグラフィ（以下 MIBI シンチ）は心筋血流シンチグラムとして開発され、現在副甲状腺の局在診断として超音波や CT、MRI などとともに用いられるようになっており、その検出率は 85%との報告がある。今回 MIBI-SPECT により異所性副甲状腺腺腫の術前局在診断が可能となった一例として本症例を報告する。

症例は 70 歳代女性、体動困難を主訴に来院した。採血と CT の結果から右下、左下、縦隔内の副甲状腺腺腫疑いとなった。頸部エコーでは甲状腺腫の併発により甲状腺下極の副甲状腺の観察が困難であり、縦隔内の腫瘍は描出出来なかった。MIBI シンチグラフィでは右葉下極に集積を認めたため右下副甲状腺腺腫疑いとなったが、MIBI-SPECT の結果では縦隔内副甲状腺腺腫が疑われた。術中採血と病理から縦隔内腫瘍は副甲状腺腺腫と診断され、右下副甲状腺の一部からも同様の病理所見が得られた。

MIBI シンチの副甲状腺腺腫の検出率は 85%程度であるが、MIBI-SPECT まで行うことにより検出率が 92%まで上昇するとの報告がある。特に本症例のようにエコーで描出困難な症例において、MIBI-SPECT は非常に有用であるといえる。

8. 妊娠 34 週、早剥既往の帝王切開 ～当院における、安全なお産と医療資源～

前田 七海

【緒言】常位胎盤早期剥離(以下早剥)は対応の適切さと迅速さが予後を大きく左右する。今回早剥既往の妊婦に対し、急変リスクや医療資源を考慮して方針決定をした症例を経験した。

【症例】33 歳女性、2 妊 1 産、前回経過：妊娠高血圧症候群(以下 HDP)・子宮内胎児発育不全(以下 FGR)を発症し、妊娠 38 週 2 日に早剥で緊急帝王切開。

【経過】自然妊娠。妊娠 34 週 5 日、性器出血を主訴に夜間来院。早剥は否定的で、腹部緊満感の増強・子宮頸管長短縮を認め切迫早産と診断し、子宮収縮抑制剤の投与を開始した。入院翌日に小児科と協議し、近日中の陣痛発来の可能性や早剥既往であることのリスクを踏まえ、同日日勤帯に緊急帝王切開とした。児は 2280g の男児で Apgar スコア 8/9 点、臍帯動脈血 pH7.326 であった。新生児呼吸窮迫症候群の診断で NICU 入院となり、肺サーファクタントを投与され、日齢 24 で退院した。

【考察】本症例は早剥と HDP の既往があり早剥のハイリスクであった。夜間休日の帝王切開は関係部署の待機スタッフの招集を要し、手術決定から児娩出まで 1 時間程度かかる見込みである。早剥を起こした場合、この待機時間では母児ともに致死的な経過を辿ってしまう。こうした当院の周産期に関わる医療資源を踏まえ、より安全なお産について考慮した症例であった。

VI 購入図書

国内雑誌

雑誌名	
1. Coronary Intervention	23. 小児看護
2. 心臓	24. 看護人材育成
3. 腎と透析	25. ナースマネージャー
4. 呼吸器内科	26. エキスパートナース
5. 消化器内視鏡	27. 緩和ケア
6. 病理と臨床	28. メディカルテクノロジー
7. 臨床婦人科産科	29. 心エコー
8. 周産期医学	30. 月刊新医療
9. Lisa	31. インナービジョン
10. ペインクリニック	32. クリニカルエンジニアリング
11. 麻酔	33. ヘルスケアレストラン
12. 糖尿病プラクティス	34. 栄養と料理
13. 小児内科	35. NHK 今日の健康
14. 小児科	36. Journal of clinical rehabilitation
15. 日本整形外科学会雑誌	37. 日経 DI
16. SURGICAL TECHNIQUE	38. 地域医療連携入退院支援
17. 画像診断	39. 地方公務員月報
18. 臨床画像	40. 月刊保険診療
19. レジデントノート	41. 医事業務
20. 日本医事新報	42. 切り抜き速報 医療と安全総集編
21. プロフェッショナルがんナーシング	43. 訪問看護と介護
22. 臨床透析	44. 人事院月報

国外雑誌

雑誌名
1. American Journal of Respiratory and Critical Care Medicine
2. Arthritis and Rheumatism
3. Blood
4. British Journal of Hematology :bjh
5. Circulation
6. The Journal of Pediatrics
7. The New England Journal of Medicine
8. Journal of American College of Cardiology : JACC
9. Journal of American Society of Nephrology :JASN
10. Leukemia
11. Pediatrics
12. The American Journal of Surgical Pathology
13. Chest
14. Journal of Orthopaedic Science

Ⅶ 経営状況

1. 損益計算書

(単位：千円、%)

区分	令和元年度	令和2年度		令和3年度	
	金額	金額	指数	金額	指数
病院事業収益	11,287,605	11,466,103	101.6	12,046,269	105.1
医業収益	10,501,328	9,863,013	93.9	10,573,920	107.2
入院収益	6,721,134	6,216,410	92.5	6,586,685	106.0
外来収益	3,250,966	3,135,694	96.5	3,435,033	109.5
その他医業収益	529,228	510,909	96.5	552,202	108.1
医業外収益	565,364	1,309,428	231.6	1,324,560	101.2
受取利息及び配当金	241	202	83.8	200	99.0
補助金	37,049	835,439	2,255.0	800,821	95.9
他会計負担金	156,264	138,270	88.5	161,694	116.9
長期前受金戻入	313,438	294,135	93.8	315,323	107.2
その他医業外収益	58,373	41,382	70.9	46,522	112.4
特別利益	220,913	293,662	132.9	147,789	50.3
固定資産売却益	0	0	—	0	—
過年度損益修正益	0	0	—	0	—
その他特別利益	220,913	293,662	132.9	147,789	50.3
病院事業費用	11,574,918	11,840,605	102.3	12,635,589	106.7
医業費用	11,005,603	11,083,499	100.7	11,439,624	103.2
給与費	5,423,841	5,531,672	102.0	5,669,354	102.5
材料費	2,729,374	2,706,440	99.2	2,888,143	106.7
経費	1,603,270	1,634,536	102.0	1,692,071	103.5
減価償却費	1,192,918	1,170,199	98.1	1,147,871	98.1
資産減耗費	10,168	8,478	83.4	25,929	305.8
研究研修費	25,605	11,747	45.9	16,256	138.4
長期前払消費税償却	20,426	20,426	100.0	16,623	81.4
医業外費用	568,308	587,089	103.3	661,776	112.7
支払利息及び企業債取扱諸費	161,802	152,682	94.4	143,478	94.0
雑損失	835	3,800	455.1	0	0.0
雑支出	405,672	430,607	106.1	518,298	120.4
特別損失	1,007	170,017	16,883.5	534,189	314.2
固定資産売却損	0	0	—	0	—
過年度損益修正損	1,007	170,017	16,883.5	17,444	10.3
その他特別損失	0	0	—	516,745	—
収支差引	△ 287,313	△ 374,502	—	△ 589,320	—

2. 貸借対照表

(単位：千円、%)

区分	令和元年度	令和2年度		令和3年度	
	金額	金額	指数	金額	指数
固定資産	18,920,006	17,898,416	94.6	17,008,245	95.0
有形固定資産	18,192,759	17,208,332	94.6	16,350,982	95.0
土地	1,738,571	1,738,571	100.0	1,738,571	100.0
建物	22,665,336	13,059,452	57.6	12,565,619	96.2
構築物	913,339	462,283	50.6	425,585	92.1
器械備品	5,457,044	1,935,443	35.5	1,609,853	83.2
車両	10,811	987	9.1	578	58.6
リース資産	204,069	11,596	5.7	10,776	92.9
減価償却累計額	12,796,410	13,854,927	108.3	14,588,930	105.3
建設仮勘定	0	0	0.0	0	0.0
無形固定資産	68,303	51,566	75.5	35,369	68.6
投資	658,944	638,518	96.9	621,894	97.4
流動資産	5,907,992	5,705,957	96.6	6,044,049	105.9
現金預金	3,762,134	3,347,938	89.0	3,470,271	103.7
未収金	1,968,325	2,232,061	113.4	2,424,266	108.6
有価証券	1,000	1,000	100.0	1,000	100.0
貯蔵品	165,857	114,281	68.9	134,633	117.8
前払費用	10,676	10,676	100.0	13,879	130.0
資産合計	24,827,998	23,604,373	95.1	23,052,294	97.7
固定負債	18,064,842	16,980,101	94.0	16,530,760	97.4
企業債	15,863,325	14,779,157	93.2	14,329,809	97.0
リース債務	0	2,681	—	1,802	—
退職者給与引当金	2,201,517	2,198,262	99.9	2,199,149	100.0
流動負債	2,331,058	2,396,987	102.8	2,733,134	114.0
企業債	1,177,733	1,134,068	96.3	1,181,248	104.2
リース債務	0	866	—	880	—
未払金	802,303	871,743	108.7	1,132,281	129.9
引当金	306,645	346,124	112.9	374,328	108.1
その他流動負債	44,377	44,187	99.6	44,397	100.5
繰延収益	888,315	1,028,635	115.8	1,165,929	113.3
長期前受金	7,967,085	8,525,185	107.0	9,092,391	106.7
長期前受金収益化累計額	△ 7,078,770	△ 7,496,550	—	△ 7,926,462	—
資本金	959,515	959,515	100.0	959,515	100.0
自己資本金	959,515	959,515	100.0	959,515	100.0
剰余金	2,584,269	2,239,135	86.6	1,662,957	74.3
資本剰余金	1,931,848	1,961,217	101.5	1,990,988	101.5
利益剰余金	652,421	277,919	42.6	△ 328,031	△ 118.0
負債資本合計	24,827,999	23,604,373	95.1	23,052,295	97.7

3. 経営分析

区分	備考	平成30年度	令和2年度	令和3年度
自己資本構成比率	$\frac{\text{自己資本金} + \text{剰余金}}{\text{負債} \cdot \text{資本合計}} \times 100$	17.9%	17.9%	11.4%
流動比率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}} \times 100$	253.4%	238.0%	221.1%
現金比率	$\frac{\text{現金預金}}{\text{流動負債}} \times 100$	161.4%	139.7%	127.0%
総収支比率	$\frac{\text{総収益}}{\text{総費用}} \times 100$	97.5%	96.8%	95.3%
医業収支比率	$\frac{\text{医業収益}}{\text{医業費用}} \times 100$	95.4%	89.0%	95.3%
病床利用率	一般	86.7%	67.8%	70.3%
1日平均患者数	入院	314.3人	270.4人	280.3人
	入院診療日数	366日	365日	365日
	外来	756.9人	634.0人	667.1人
	外来診療日数	240日	243日	242日
患者1人1日当り診療収入	入院	58,425円	62,975円	64,368円
	外来	17,896円	20,352円	21,276円
医業収益に対する割合	職員給与費	51.6%	55.9%	44.8%
	薬品費	17.9%	19.1%	15.9%
患者1人1日当り薬品費	投薬	901円	1,174円	1,786円
	注射	4,299円	5,142円	5,343円

Ⅷ 業務統計

1. 入院・外来患者の状況

(1) 入院延べ患者数

(単位：人)

月別 科別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	1日平均
内科	4,335	4,293	3,540	4,542	4,720	3,967	3,431	3,854	3,938	4,675	4,438	4,824	50,557	138.5
小児科	154	134	174	269	350	238	286	281	190	224	202	224	2,726	7.5
外科	1,099	1,106	1,141	924	1,018	931	988	1,106	1,075	961	885	1,047	12,281	33.6
整形外科	863	1,079	1,074	1,186	1,048	860	1,098	1,204	1,129	1,183	943	948	12,615	34.6
産婦人科	267	267	259	281	241	289	327	306	435	282	231	406	3,591	9.8
耳鼻科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
脳外科	1,250	1,183	1,254	1,465	1,414	1,427	1,326	1,388	1,524	1,271	1,339	1,781	16,622	45.5
眼科	9	14	16	11	15	12	12	14	15	15	11	16	160	0.4
麻酔科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
泌尿器科	288	280	279	237	260	221	307	240	233	332	214	269	3,160	8.7
心療内科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
皮膚科	0	37	56	51	35	2	48	14	0	0	0	0	243	0.7
放診断科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
救急科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
リハビリ科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
放治療科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
歯科口腔外科	13	42	48	17	41	47	20	34	25	18	26	41	372	1.0
形成外科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
合計	8,278	8,435	7,841	8,983	9,142	7,994	7,843	8,441	8,564	8,961	8,289	9,556	102,327	280.3
1日平均	275.9	272.1	261.4	289.8	294.9	266.5	253.0	281.4	276.3	289.1	296.0	308.3	280.3	
新生児	75	52	38	56	37	61	53	55	100	33	38	73	671	1.8

(2) 入院実患者数

(単位：人)

月別 科別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	1日平均
内科	287	310	296	335	328	284	277	288	299	368	307	292	3,671	10.1
小児科	34	27	30	44	49	35	40	38	33	25	19	30	404	1.1
外科	136	101	112	109	120	120	117	144	134	128	108	140	1,469	4.0
整形外科	59	57	55	75	81	61	69	71	74	85	49	65	801	2.2
産婦人科	35	35	41	37	32	35	40	43	43	37	32	51	461	1.3
耳鼻科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
脳外科	51	50	58	52	52	42	45	62	56	49	59	67	643	1.8
眼科	9	14	16	11	15	12	12	14	15	15	11	16	160	0.4
麻酔科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
泌尿器科	38	35	46	45	39	29	46	43	41	43	37	42	484	1.3
心療内科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
皮膚科	0	3	0	3	0	1	1	0	0	0	0	0	8	0.0
放診断科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
救急科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
リハビリ科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
放治療科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
歯科口腔外科	6	10	12	8	13	10	10	7	11	11	12	14	124	0.3
形成外科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
合計	655	642	666	719	729	629	657	710	706	761	634	717	8,225	22.5
1日平均	21.8	20.7	22.2	23.2	23.5	21.0	21.2	23.7	22.8	24.5	22.6	23.1	22.5	

(3) 診療科別延べ入院患者数

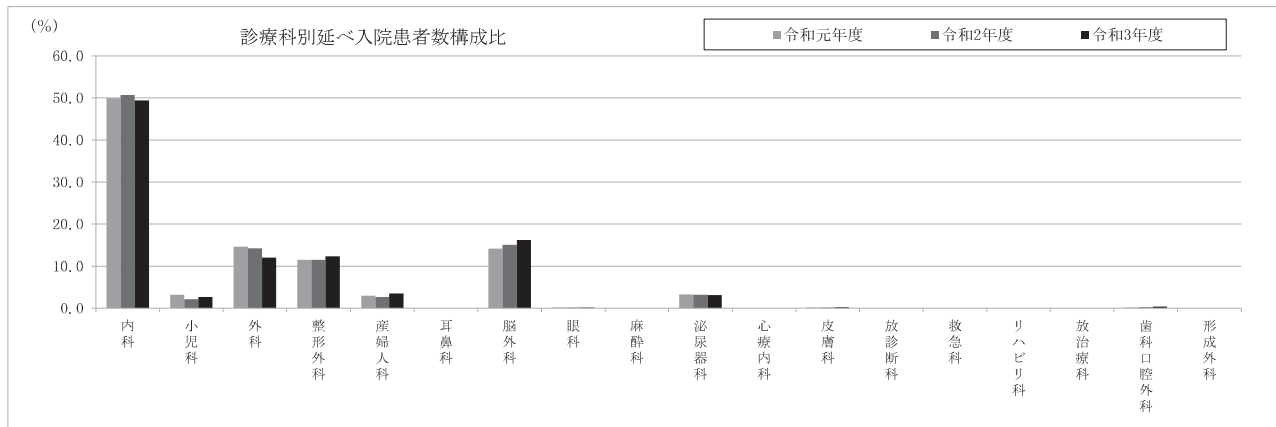
(単位：人)

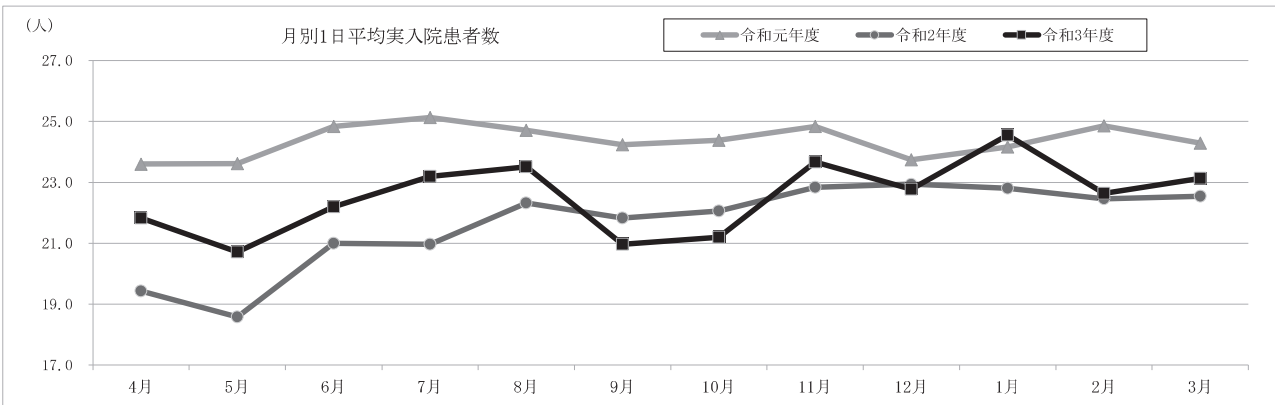
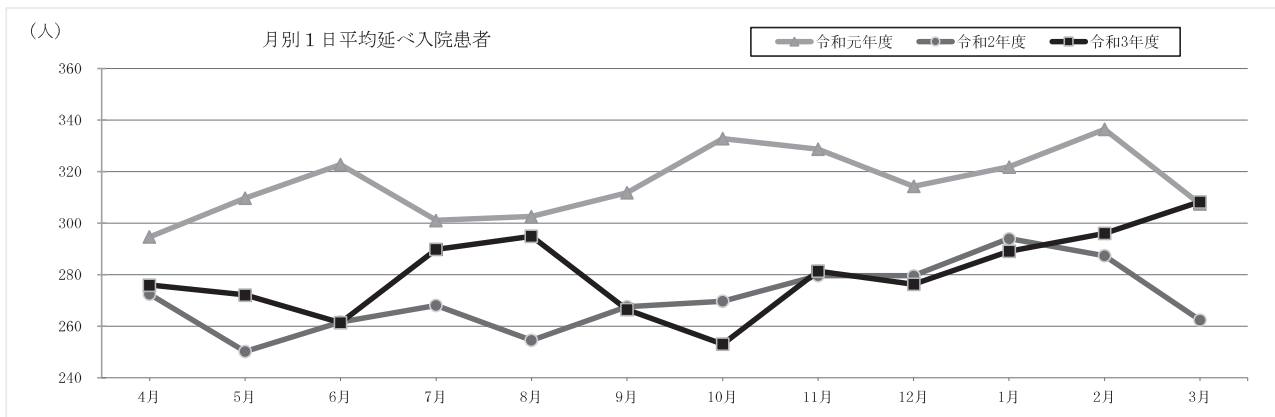
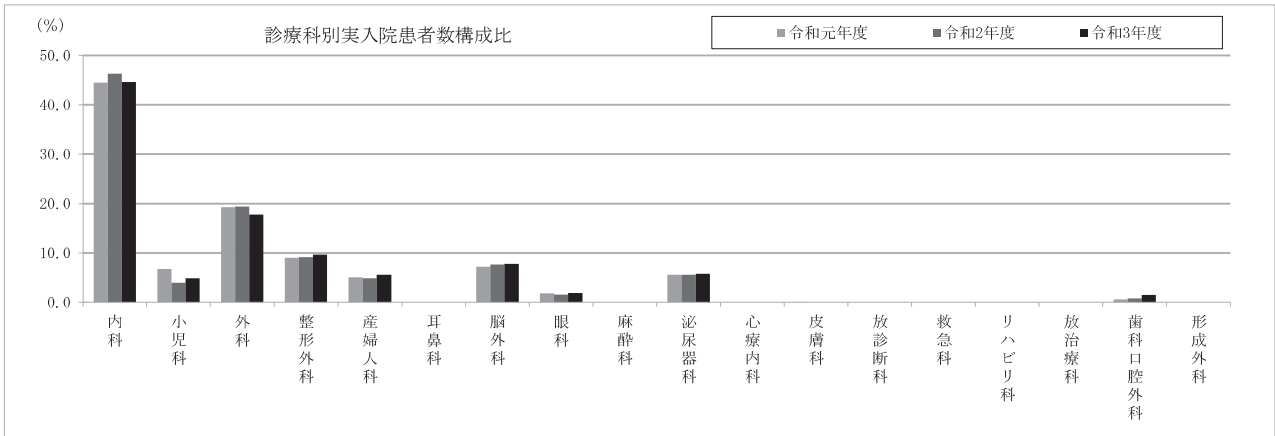
		内科	小児科	外科	整形外科	産婦人科	耳鼻科	脳外科	眼科	麻酔科	泌尿器科	心療内科	皮膚科	放診断科	救急科	リハビリ科	放治療科	歯科口腔外科	形成外科	合計
元年度	患者数	57,443	3,661	16,791	13,223	3,340	0	16,284	162	0	3,745	0	191	0	0	0	0	198	0	115,038
	1日平均	157.4	10.0	46.0	36.2	9.2	0.0	44.6	0.4	0.0	10.3	0.0	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5	0.0	315.2
	構成比(%)	49.9	3.2	14.6	11.5	3.0	0.0	14.2	0.1	0.0	3.3	0.0	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	0.0	100.0
2年度	患者数	50,026	2,097	14,037	11,342	2,664	0	14,872	129	0	3,130	0	150	0	0	0	0	264	0	98,711
	1日平均	137.1	5.7	38.5	31.1	7.3	0.0	40.7	0.4	0.0	8.6	0.0	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7	0.0	314.3
	構成比(%)	50.7	2.1	14.2	11.5	2.7	0.0	15.1	0.1	0.0	3.2	0.0	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	0.0	100.0
3年度	患者数	50,557	2,726	12,281	12,615	3,591	0	16,622	160	0	3,160	0	243	0	0	0	0	372	0	102,327
	1日平均	138.5	7.5	33.6	34.6	9.8	0.0	45.5	0.4	0.0	8.7	0.0	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	0.0	280.3
	構成比(%)	49.4	2.7	12.0	12.3	3.5	0.0	16.2	0.2	0.0	3.1	0.0	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4	0.0	100.0

(4) 診療科別実入院患者数

(単位：人)

		内科	小児科	外科	整形外科	産婦人科	耳鼻科	脳外科	眼科	麻酔科	泌尿器科	心療内科	皮膚科	放診断科	救急科	リハビリ科	放治療科	歯科口腔外科	形成外科	合計
元年度	患者数	3,958	600	1,714	802	452	0	643	162	0	496	0	8	0	0	0	0	57	0	8,892
	1日平均	10.8	1.6	4.7	2.2	1.2	0.0	1.8	0.4	0.0	1.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	0.0	24.4
	構成比(%)	44.5	6.7	19.3	9.0	5.1	0.0	7.2	1.8	0.0	5.6	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.6	0.0	100.0
2年度	患者数	3,664	318	1,536	732	392	0	612	129	0	443	0	6	0	0	0	0	69	0	7,901
	1日平均	10.0	0.9	4.2	2.0	1.1	0.0	1.7	0.4	0.0	1.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	0.0	21.6
	構成比(%)	46.3	4.0	19.4	9.2	4.9	0.0	7.7	1.6	0.0	5.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.8	0.0	100.0
3年度	患者数	3,671	404	1,469	801	461	0	643	160	0	484	0	8	0	0	0	0	124	0	8,225
	1日平均	10.1	1.1	4.0	2.2	1.3	0.0	1.8	0.4	0.0	1.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	0.0	22.5
	構成比(%)	44.6	4.9	17.8	9.7	5.6	0.0	7.8	1.9	0.0	5.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.5	0.0	100.0





(5) 外来患者数

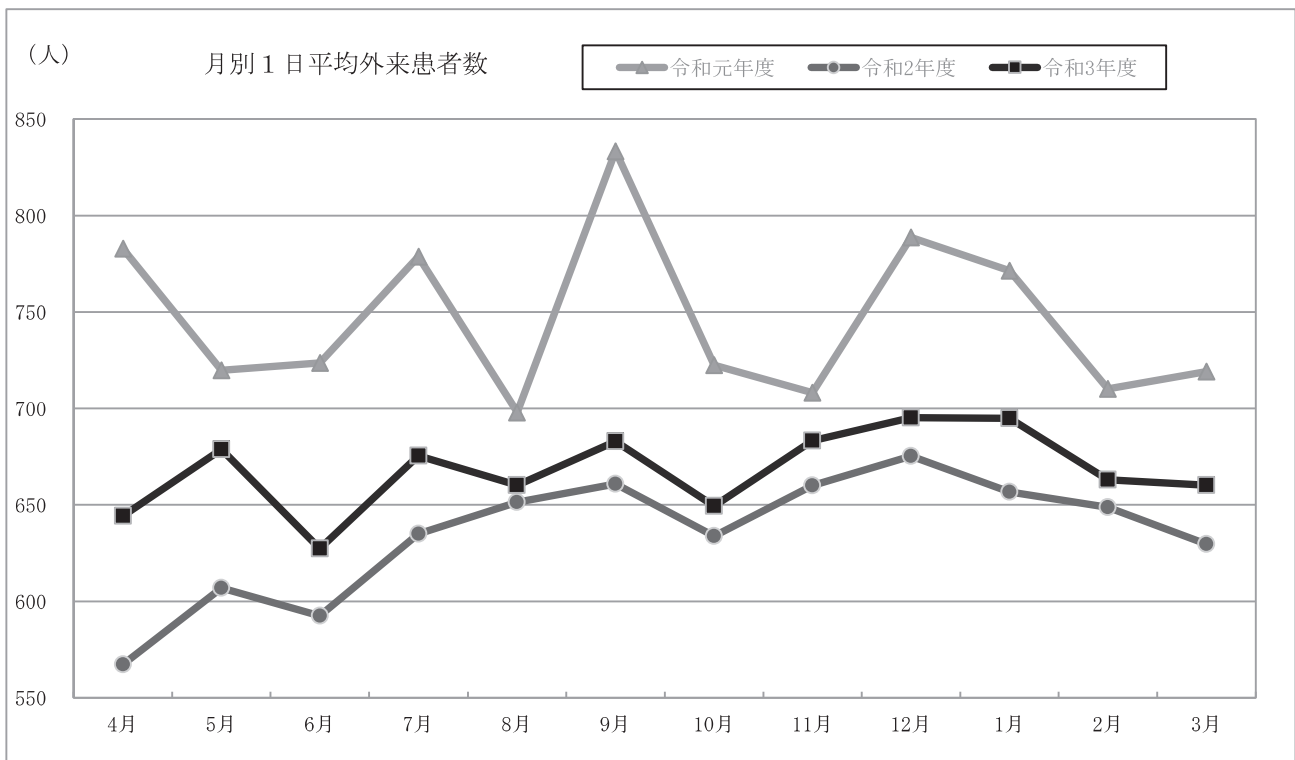
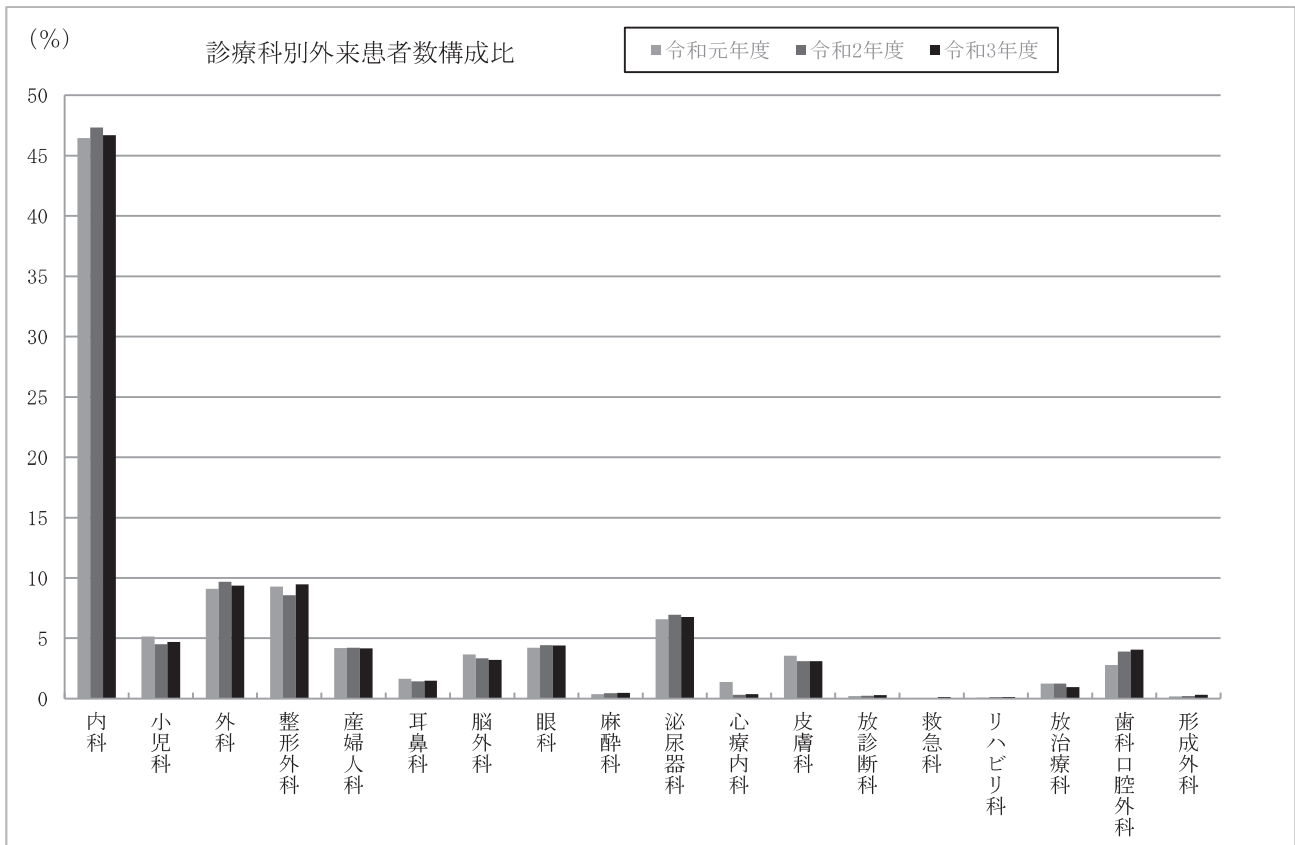
(単位：人)

月別 科別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	1日平均
内科	6,379	5,895	6,433	6,280	6,494	6,519	6,233	6,343	6,420	6,236	5,487	6,666	75,385	310.2
小児科	652	518	657	663	766	608	627	575	657	671	529	642	7,565	31.1
外科	1,178	1,102	1,282	1,261	1,240	1,306	1,328	1,316	1,323	1,242	1,141	1,414	15,133	62.3
整形外科	1,177	1,127	1,278	1,259	1,292	1,189	1,313	1,270	1,361	1,325	1,247	1,447	15,285	62.9
産婦人科	524	492	623	547	502	611	614	633	607	461	443	666	6,723	27.7
耳鼻科	189	170	196	189	182	198	187	227	197	204	184	251	2,374	9.8
脳外科	429	380	445	426	402	436	456	484	497	413	364	427	5,159	21.2
眼科	620	549	609	619	583	586	556	625	612	566	553	616	7,094	29.2
麻酔科	59	58	64	51	49	61	72	76	66	65	66	58	745	3.1
泌尿器科	993	807	905	905	941	853	973	941	918	871	846	962	10,915	44.9
心療内科	26	26	49	47	70	57	41	63	55	53	58	53	598	2.5
皮膚科	473	386	419	374	436	447	476	384	403	390	375	464	5,027	20.7
放診断科	35	27	40	40	35	37	46	48	42	29	31	38	448	1.8
救急科	0	21	28	27	25	31	23	11	13	18	9	12	218	0.9
リハビリ科	17	20	16	22	12	6	20	16	12	17	21	13	192	0.8
放治療科	151	98	164	202	222	127	98	70	128	75	87	117	1,539	6.3
歯科口腔外科	604	504	550	551	574	535	532	556	543	517	455	612	6,533	26.9
形成外科	24	38	44	45	40	51	43	27	49	49	38	66	514	2.1
合計	13,530	12,218	13,802	13,508	13,865	13,658	13,638	13,665	13,903	13,202	11,934	14,524	161,447	664.4
1日平均	644.3	678.8	627.4	675.4	660.2	682.9	649.4	683.3	695.2	694.8	663.0	660.2	664.4	

(6) 診療科別外来患者数

(単位：人)

		内科	小児科	外科	整形外科	産婦人科	耳鼻科	脳外科	眼科	麻酔科	泌尿器科	心療内科	皮膚科	放診断科	救急科	リハビリ科	放治療科	歯科口腔外科	形成外科	合計
元年度	患者数	84,384	9,329	16,523	16,867	7,453	2,975	6,670	7,680	649	11,962	2,503	6,463	369	0	148	2,267	5,065	355	181,662
	1日平均	345.8	38.2	67.7	69.1	30.5	12.2	27.3	31.5	2.7	49.0	10.3	26.5	1.5	0.0	0.6	9.3	20.8	1.5	750.7
	構成比(%)	46.5	5.1	9.1	9.3	4.2	1.6	3.7	4.2	0.4	6.6	1.4	3.6	0.2	0.0	0.1	1.2	2.8	0.2	100.0
2年度	患者数	72,909	6,937	14,922	13,182	6,496	2,202	5,147	6,804	696	10,691	476	4,769	356	0	210	1,913	6,021	341	154,072
	1日平均	300.0	28.5	61.4	54.2	26.7	9.1	21.2	28.0	2.9	44.0	2.0	19.6	1.5	0.0	0.9	7.9	24.8	1.4	634.0
	構成比(%)	47.3	4.5	9.7	8.6	4.2	1.4	3.3	4.4	0.5	6.9	0.3	3.1	0.2	0.0	0.1	1.2	3.9	0.2	100.0
3年度	患者数	75,385	7,565	15,133	15,285	6,723	2,374	5,159	7,094	745	10,915	598	5,027	448	218	192	1,539	6,533	514	161,447
	1日平均	311.5	31.3	62.5	63.2	27.8	9.8	21.3	29.3	3.1	45.1	2.5	20.8	1.9	0.9	0.8	6.4	27.0	2.1	664.4
	構成比(%)	46.7	4.7	9.4	9.5	4.2	1.5	3.2	4.4	0.5	6.8	0.4	3.1	0.3	0.1	0.1	1.0	4.0	0.3	100.0



(7)地域別入院患者数

(単位:人)

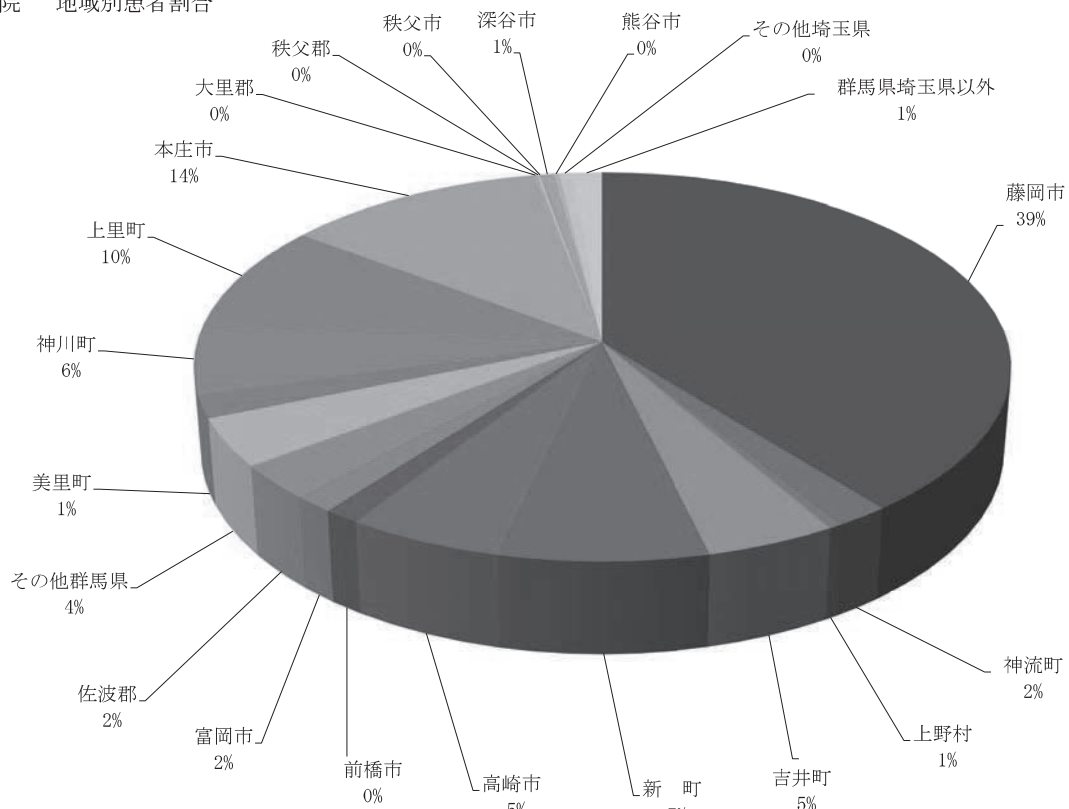
	内科	心療内科	神経内科	循環器科	小児科	外科	整形外科	脳外科	皮膚科	泌尿器科	産婦人科	眼科	耳鼻咽喉科	放射線	ペイン	救急科	リハビリ科	放治療	緩和ケア	歯科	形成外科	合計
群馬県 藤岡市	18,643	0	0	0	1,061	4,719	5,041	7,433	137	1,638	1,326	97	0	0	0	0	0	0	0	123	0	40,218
神流町	755	0	0	0	0	195	758	187	0	37	17	6	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1,956
上野村	128	0	0	0	24	13	126	89	47	7	11	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	447
計	19,526	0	0	0	1,085	4,927	5,925	7,709	184	1,682	1,354	104	0	0	0	0	0	0	0	125	0	42,621
高崎市 吉井町	2,308	0	0	0	118	469	442	1,081	0	89	188	1	0	0	0	0	0	0	0	11	0	4,707
高崎市 新町	3,279	0	0	0	125	1,241	1,218	1,198	59	220	167	6	0	0	0	0	0	0	0	18	0	7,531
その他 高崎市	3,628	0	0	0	273	384	863	244	0	89	149	4	0	0	0	0	0	0	0	10	0	5,644
前橋市	924	0	0	0	56	13	93	76	0	0	71	1	0	0	0	0	0	0	0	49	0	1,283
富岡市	824	0	0	0	9	3	59	545	0	0	11	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	1,455
佐波郡	1,787	0	0	0	31	252	532	291	0	14	80	1	0	0	0	0	0	0	0	6	0	2,994
その他 群馬県	2,542	0	0	0	297	180	466	533	0	6	96	0	0	0	0	0	0	0	0	37	0	4,157
計	15,292	0	0	0	909	2,542	3,673	3,968	59	418	762	13	0	0	0	0	0	0	0	135	0	27,771
小計	34,818	0	0	0	1,994	7,469	9,598	11,677	243	2,100	2,116	117	0	0	0	0	0	0	0	260	0	70,392
埼玉県 美里町	856	0	0	0	17	296	192	443	0	28	67	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	1,901
神川町	3,173	0	0	0	124	953	513	722	0	222	293	21	0	0	0	0	0	0	0	8	0	6,029
上里町	4,966	0	0	0	168	1,070	824	1,263	0	220	403	7	0	0	0	0	0	0	0	22	0	8,943
本庄市	5,331	0	0	0	255	2,120	1,041	2,175	0	493	487	13	0	0	0	0	0	0	0	38	0	11,953
大里郡	43	0	0	0	14	36	61	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	163
秩父郡	59	0	0	0	0	5	0	0	0	24	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	88
秩父市	50	0	0	0	0	5	33	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	93
深谷市	187	0	0	0	51	99	38	75	0	39	59	0	0	0	0	0	0	0	0	27	0	575
熊谷市	175	0	0	0	0	17	20	0	0	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	219
その他 埼玉県	136	0	0	0	21	90	173	96	0	0	79	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	597
群馬県 埼玉県 以外	763	0	0	0	82	121	122	162	0	22	87	0	0	0	0	0	0	0	0	15	0	1,374
計	15,739	0	0	0	732	4,812	3,017	4,945	0	1,060	1,475	43	0	0	0	0	0	0	0	112	0	31,935
合計	50,557	0	0	0	2,726	12,281	12,615	16,622	243	3,160	3,591	160	0	0	0	0	0	0	0	372	0	102,327

(8)地域別外来患者数

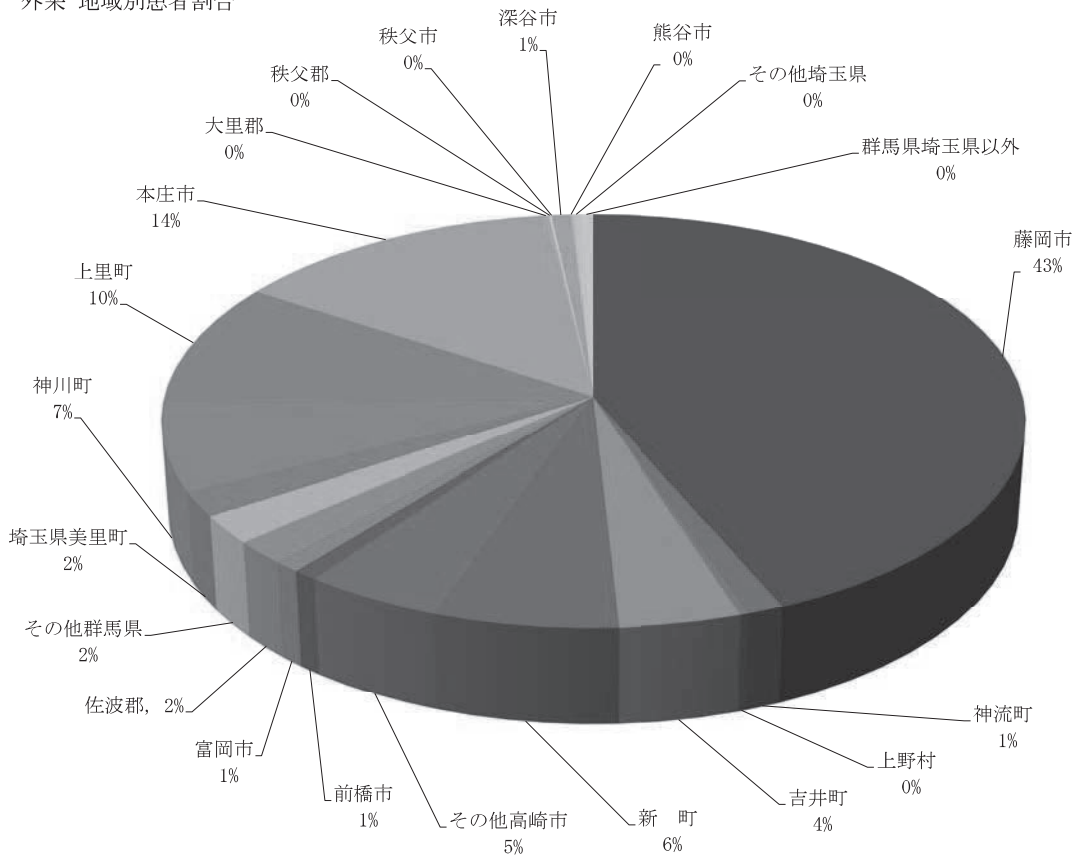
(単位:人)

	内科	心療内科	神経内科	循環器科	小児科	外科	整形外科	脳外科	皮膚科	泌尿器科	産婦人科	眼科	耳鼻咽喉科	放射線	ペイン	救急科	リハビリ科	放治療	緩和ケア	歯科	形成外科	合計
群馬県 藤岡市	31,888	229	1,172	0	3,178	6,300	6,799	2,149	2,171	5,145	2,412	3,477	1,025	207	414	93	118	805	0	2,474	246	70,302
神流町	817	7	35	0	29	193	204	63	80	217	51	128	21	2	4	5	0	4	0	93	15	1,968
上野村	138	0	5	0	15	35	44	29	24	74	17	45	7	1	0	2	0	0	0	40	1	477
計	32,843	236	1,212	0	3,222	6,528	7,047	2,241	2,275	5,436	2,480	3,650	1,053	210	418	100	118	809	0	2,607	262	72,747
高崎市 吉井町	2,841	43	147	0	237	639	810	333	281	448	164	182	112	15	36	11	0	32	0	257	7	6,595
高崎市 新町	4,672	45	207	0	366	1,075	949	227	316	564	418	340	183	25	36	21	27	52	0	425	49	9,997
その他 高崎市	3,704	52	85	0	543	520	839	219	266	356	220	187	87	15	57	13	22	30	0	341	11	7,567
前橋市	483	29	10	0	57	85	227	34	11	24	98	39	27	6	15	0	1	0	0	152	1	1,299
富岡市	681	7	23	0	144	21	165	112	43	13	44	49	16	1	7	0	0	8	0	81	5	1,420
佐波郡	1,426	21	54	0	79	281	388	79	75	93	158	96	31	4	3	6	0	0	0	157	3	2,954
その他 群馬県	1,450	5	25	0	332	198	589	192	83	84	125	121	34	2	20	4	0	57	0	213	17	3,551
計	15,257	202	551	0	1,758	2,819	3,967	1,196	1,075	1,582	1,227	1,014	490	68	174	55	50	179	0	1,626	93	33,383
小計	48,100	438	1,763	0	4,980	9,347	11,014	3,437	3,350	7,018	3,707	4,664	1,543	278	592	155	168	988	0	4,233	355	106,130
埼玉県 美里町	1,384	3	91	0	71	331	195	144	104	256	188	93	32	4	19	1	0	64	0	114	14	3,108
神川町	4,935	23	210	0	429	1,081	940	354	414	859	558	673	187	42	37	8	4	66	0	329	14	11,163
上里町	6,914	58	227	0	681	1,589	1,175	464	493	1,275	891	544	247	68	20	8	8	119	0	729	66	15,589
本庄市	10,139	68	455	0	1,171	2,518	1,530	643	524	1,291	1,199	954	347	41	67	21	12	232	0	895	55	22,162
大里郡	123	0	5	0	26	14	23	14	13	20	16	14	1	2	0	0	0	23	0	23	1	318
秩父郡	91	0	0	0	13	6	8	0	7	24	3	17	0	0	8	0	0	11	0	2	0	190
秩父市	16	0	0	0	0	11	4	2	7	13	7	1	1	1	0	1	0	0	0	1	0	65
深谷市	415	3	9	0	79	129	142	21	50	79	53	93	6	6	2	2	0	27	0	80	0	1,196
熊谷市	88	0	0	0	0	12	12	16	10	11	11	0	0	1	0	0	0	0	0	14	0	175
その他 埼玉県	113	2	15	0	64	36	137	16	4	11	35	27	1	3	0	3	0	0	0	66	0	533
群馬県 埼玉県 以外	275	3	16	0	51	59	105	48	51	58	55	15	9	2	0	6	0	9	0	47	9	818
計	24,493	160	1,028	0	2,585	5,786	4,271	1,722	1,677	3,897	3,016	2,431	831	170	153	63	24	551	0	2,300	159	55,317
合計	72,593	598	2,791	0	7,565	15,133	15,285	5,159	5,027	10,915	6,723	7,095	2,374	448	745	218	192	1,539	0	6,533	514	161,447

入院 地域別患者割合



外来 地域別患者割合



(9) 年齢別・性別・診療科別 延べ入院患者数

(単位:人)

年 代 別	性別	内科	心療内科	神経内科	循環器科	小児科	外科	整形外科	脳神経外科	皮膚科	泌尿器科	産婦人科	眼科	耳鼻咽喉科	放射線科	ペイン	救急科	リハビリ科	放射線科	緩和ケア科	歯科	形成外科	合計
0日～28日未満	男	0	0	0	0	455	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	455
	女	0	0	0	0	361	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	361
	小計	0	0	0	0	816	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	816
28日～2歳未満	男	0	0	0	0	415	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	416
	女	0	0	0	0	292	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	292
	小計	0	0	0	0	707	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	708
2歳～4歳未満	男	0	0	0	0	208	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	208
	女	0	0	0	0	129	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	129
	小計	0	0	0	0	337	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	337
4歳～6歳未満	男	0	0	0	0	112	0	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	122
	女	0	0	0	0	68	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	68
	小計	0	0	0	0	180	0	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	190
6歳～10歳未満	男	0	0	0	0	24	6	20	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0	58
	女	0	0	0	0	53	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	61
	小計	0	0	0	0	77	6	23	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11	0	119
10歳～20歳未満	男	38	0	0	0	383	58	66	12	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0	569
	女	46	0	0	0	215	36	14	7	0	0	32	0	0	0	0	0	0	0	0	14	0	364
	小計	84	0	0	0	598	94	80	19	0	6	32	0	0	0	0	0	0	0	0	20	0	933
20歳～30歳未満	男	606	0	0	0	0	88	66	114	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	36	0	912
	女	575	0	0	0	14	65	15	7	7	7	939	0	0	0	0	0	0	0	0	39	0	1,665
	小計	1,181	0	0	0	14	153	81	121	7	9	939	0	0	0	0	0	0	0	0	75	0	2,577
30歳～40歳未満	男	515	0	0	0	0	63	359	96	0	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	19	0	1,064
	女	476	0	0	0	0	43	54	8	0	0	1,371	0	0	0	0	0	0	0	0	34	0	1,986
	小計	991	0	0	0	0	106	413	104	0	12	1,371	0	0	0	0	0	0	0	0	53	0	3,050
40歳～50歳未満	男	1,038	0	0	0	0	437	299	545	0	55	0	2	0	0	0	0	0	0	0	7	0	2,383
	女	748	0	0	0	0	197	125	101	0	10	645	5	0	0	0	0	0	0	0	19	0	1,850
	小計	1,786	0	0	0	0	634	424	646	0	65	645	7	0	0	0	0	0	0	0	26	0	4,233
50歳～60歳未満	男	2,199	0	0	0	0	405	330	1,351	0	157	0	3	0	0	0	0	0	0	0	8	0	4,453
	女	1,088	0	0	0	0	516	523	669	0	26	104	5	0	0	0	0	0	0	0	7	0	2,938
	小計	3,287	0	0	0	0	921	853	2,020	0	183	104	8	0	0	0	0	0	0	0	15	0	7,391
60歳～65歳未満	男	1,453	0	0	0	0	591	556	1,256	47	104	0	3	0	0	0	0	0	0	0	9	0	4,019
	女	889	0	0	0	0	398	546	431	0	15	63	8	0	0	0	0	0	0	0	13	0	2,363
	小計	2,342	0	0	0	0	989	1,102	1,687	47	119	63	11	0	0	0	0	0	0	0	22	0	6,382
65歳～70歳未満	男	3,391	0	0	0	0	852	260	1,002	0	396	0	3	0	0	0	0	0	0	0	6	0	5,910
	女	1,883	0	0	0	0	497	470	715	0	42	60	15	0	0	0	0	0	0	0	20	0	3,702
	小計	5,274	0	0	0	0	1,349	730	1,717	0	438	60	18	0	0	0	0	0	0	0	26	0	9,612
70歳～75歳未満	男	4,871	0	0	0	0	1,383	532	1,662	0	610	0	13	0	0	0	0	0	0	0	23	0	9,094
	女	2,817	0	0	0	0	1,145	1,393	498	0	130	77	12	0	0	0	0	0	0	0	10	0	6,082
	小計	7,688	0	0	0	0	2,528	1,925	2,160	0	740	77	25	0	0	0	0	0	0	0	33	0	15,176
75歳～80歳未満	男	3,462	0	0	0	0	1,381	594	1,497	0	463	0	21	0	0	0	0	0	0	0	20	0	7,438
	女	2,799	0	0	0	0	649	904	1,215	0	169	70	19	0	0	0	0	0	0	0	27	0	5,852
	小計	6,261	0	0	0	0	2,030	1,498	2,712	0	632	70	40	0	0	0	0	0	0	0	47	0	13,290
80歳～85歳未満	男	4,795	0	0	0	0	873	543	1,514	0	304	0	10	0	0	0	0	0	0	0	2	0	8,041
	女	3,581	0	0	0	0	523	1,294	807	0	82	64	23	0	0	0	0	0	0	0	19	0	6,393
	小計	8,376	0	0	0	0	1,396	1,837	2,321	0	386	64	33	0	0	0	0	0	0	0	21	0	14,434
85歳～90歳未満	男	3,758	0	0	0	0	603	377	839	125	251	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2	0	5,957
	女	3,410	0	0	0	0	753	1,887	1,242	17	114	82	12	0	0	0	0	0	0	0	18	0	7,535
	小計	7,168	0	0	0	0	1,356	2,264	2,081	142	365	82	14	0	0	0	0	0	0	0	20	0	13,492
90歳～95歳未満	男	2,104	0	0	0	0	321	258	490	0	89	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3,262
	女	2,506	0	0	0	0	239	812	344	47	76	78	4	0	0	0	0	0	0	0	3	0	4,109
	小計	4,610	0	0	0	0	560	1,070	834	47	165	78	4	0	0	0	0	0	0	0	3	0	7,371
95歳～100歳未満	男	411	0	0	0	0	62	82	48	0	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	614
	女	938	0	0	0	0	86	174	149	0	27	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,374
	小計	1,349	0	0	0	0	148	256	197	0	38	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,988
100歳以上	男	0	0	0	0	0	11	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	13
	女	160	0	0	0	0	0	49	0	0	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	215
	小計	160	0	0	0	0	11	49	2	0	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	228
男 計	28,641	0	0	0	1,597	7,134	4,352	10,429	172	2,462	0	57	0	0	0	0	0	0	0	0	144	0	54,988
女 計	21,916	0	0	0	1,129	5,147	8,263	6,193	71	698	3,591	103	0	0	0	0	0	0	0	0	228	0	47,339
合 計	50,557	0	0	0	2,726	12,281	12,615	16,622	243	3,160	3,591	160	0	0	0	0	0	0	0	0	372	0	102,327

※退院数を含む。

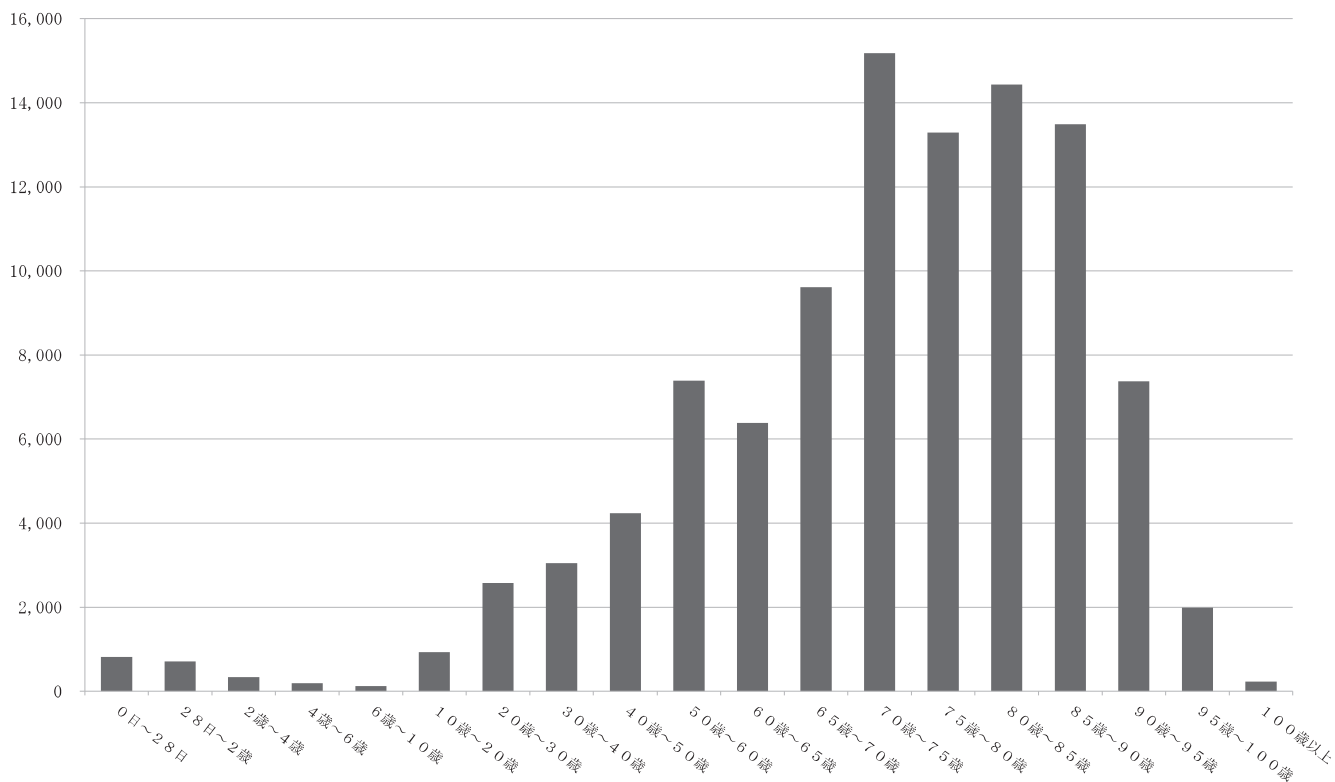
(10) 年齢別・性別・診療科別 延べ外来患者数

(単位：人)

年代別	性別	内科	心療内科	神経内科	循環器科	小児科	外科	整形外科	脳神経外科	皮膚科	泌尿器科	産婦人科	眼科	耳鼻咽喉科	放射線科	ペイン	救急科	リハビリ科	放射線科	緩和ケア科	歯科	形成外科	合計
0日～28日未満	男	0	0	0	0	235	1	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	238
	女	0	0	0	0	155	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	157
	小計	0	0	0	0	390	1	0	1	0	0	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	395
28日～2歳未満	男	0	0	0	0	903	2	16	39	27	11	0	37	27	0	0	2	0	0	0	0	1	1,065
	女	0	0	0	0	653	1	17	24	15	0	0	48	14	0	0	0	0	0	0	4	0	776
	小計	0	0	0	0	1,556	3	33	63	42	11	0	85	41	0	0	2	0	0	0	4	1	1,841
2歳～4歳未満	男	0	0	0	0	434	3	28	28	12	13	0	25	11	0	0	0	0	0	0	2	1	557
	女	0	0	0	0	338	0	29	20	8	0	2	11	9	0	0	0	0	0	0	1	0	418
	小計	0	0	0	0	772	3	57	48	20	13	2	36	20	0	0	0	0	0	0	3	1	975
4歳～6歳未満	男	0	0	0	0	467	1	62	17	2	1	0	14	6	0	0	0	0	0	0	5	0	578
	女	0	0	0	0	317	2	14	10	4	0	0	25	6	0	0	0	0	0	0	0	0	378
	小計	0	0	0	0	784	3	76	27	6	1	0	39	12	0	0	0	0	0	0	5	0	956
6歳～10歳未満	男	0	0	0	0	815	9	130	34	15	24	0	16	2	0	0	2	0	0	0	18	4	1,069
	女	0	0	0	0	638	3	71	21	10	0	1	11	14	0	0	0	0	0	0	17	4	790
	小計	0	0	0	0	1,453	12	201	55	25	24	1	27	16	0	0	2	0	0	0	35	8	1,859
10歳～20歳未満	男	242	1	22	0	1,299	58	507	85	33	37	9	49	17	0	0	7	0	0	0	60	25	2,451
	女	306	0	8	0	1,246	49	173	36	24	11	96	67	12	3	0	3	0	0	0	100	14	2,148
	小計	548	1	30	0	2,545	107	680	121	57	48	105	116	29	3	0	10	0	0	0	160	39	4,599
20歳～30歳未満	男	570	1	61	0	25	86	297	42	47	70	0	28	23	1	0	6	0	0	0	164	0	1,421
	女	794	15	30	0	21	102	214	78	66	26	804	73	31	4	0	7	0	5	0	287	28	2,585
	小計	1,364	16	91	0	46	188	511	120	113	96	804	101	54	5	0	13	0	5	0	451	28	4,006
30歳～40歳未満	男	818	8	59	0	4	67	619	126	53	198	1	73	49	6	4	9	0	0	0	174	15	2,281
	女	1,261	11	49	0	1	155	192	73	91	37	1,111	66	49	8	0	3	0	7	0	268	29	3,111
	小計	2,079	19	108	0	5	222	811	199	144	233	1,112	139	98	14	4	12	0	7	0	442	44	5,692
40歳～50歳未満	男	2,401	11	77	0	0	305	1,026	227	158	215	0	226	67	9	11	10	8	0	0	195	22	4,968
	女	2,436	8	81	0	0	757	409	222	176	106	1,608	198	117	16	15	7	0	105	0	355	34	6,641
	小計	4,837	19	158	0	0	1,062	1,426	449	334	321	1,608	424	184	25	26	17	8	105	0	550	56	11,609
50歳～60歳未満	男	4,062	18	139	0	6	653	1,186	315	244	473	0	373	119	11	34	15	10	23	0	294	24	7,999
	女	4,406	41	108	0	4	1,120	747	267	218	157	1,282	368	162	26	15	8	0	78	0	388	33	9,428
	小計	8,468	59	247	0	10	1,773	1,933	582	462	630	1,282	741	281	37	49	23	10	101	0	682	57	17,427
60歳～65歳未満	男	3,169	36	109	0	0	540	564	231	170	531	6	268	104	8	60	5	5	25	0	294	10	6,132
	女	2,227	28	65	0	4	837	588	190	191	130	310	289	117	25	19	1	5	110	0	282	14	5,432
	小計	5,396	64	174	0	4	1,377	1,149	421	361	661	316	557	224	33	79	6	10	135	0	576	24	11,564
65歳～70歳未満	男	6,127	12	212	0	0	1,018	832	394	293	962	0	425	152	38	59	11	8	125	0	383	43	11,094
	女	3,430	78	139	0	0	984	707	262	201	197	363	452	160	33	21	4	9	79	0	356	18	7,493
	小計	9,557	90	351	0	0	2,002	1,539	656	494	1,159	363	877	312	71	80	15	17	204	0	739	61	18,587
70歳～75歳未満	男	9,422	56	252	0	0	1,535	964	452	486	2,052	4	678	197	47	102	15	21	145	0	480	36	16,954
	女	5,800	43	217	0	0	1,514	1,316	331	334	290	492	705	198	53	57	10	30	74	0	503	14	11,981
	小計	15,222	99	469	0	0	3,049	2,280	783	830	2,342	496	1,383	395	100	159	25	51	219	0	983	50	28,935
75歳～80歳未満	男	6,083	39	247	0	0	1,454	842	330	505	1,851	0	596	127	25	51	6	11	159	0	361	24	12,711
	女	3,672	39	227	0	0	963	882	263	267	370	336	561	159	37	52	11	6	217	0	410	14	8,486
	小計	9,755	78	474	0	0	2,417	1,724	593	772	2,221	336	1,157	286	62	103	17	17	376	0	771	38	21,197
80歳～85歳未満	男	4,917	39	158	0	0	986	548	306	380	1,426	0	370	104	27	121	13	7	173	0	247	31	9,853
	女	3,601	38	196	0	0	719	947	216	279	185	151	432	153	29	8	16	29	58	0	307	35	7,399
	小計	8,518	77	354	0	0	1,705	1,495	522	659	1,611	151	802	257	56	129	29	36	231	0	554	66	17,252
85歳～90歳未満	男	2,425	28	141	0	0	392	266	150	214	902	0	118	57	15	19	15	1	46	0	157	13	4,959
	女	2,218	29	114	0	0	516	620	169	198	142	111	315	73	20	40	10	19	56	0	237	10	4,897
	小計	4,643	57	255	0	0	908	886	319	412	1,044	111	433	130	35	59	25	20	102	0	394	23	9,856
90歳～95歳未満	男	929	3	41	0	0	117	90	71	126	344	0	50	24	1	0	8	5	24	0	53	10	1,902
	女	918	13	24	0	0	126	284	96	145	80	30	103	12	3	49	9	16	30	0	96	3	2,037
	小計	1,847	16	65	0	0	243	374	170	271	424	30	153	36	4	49	17	21	54	0	149	13	3,939
95歳～100歳未満	男	105	0	4	0	0	19	16	6	11	48	0	3	1	0	0	1	0	0	0	6	1	221
	女	209	3	11	0	0	30	68	23	13	10	5	18	0	0	8	3	2	0	0	29	4	436
	小計	314	3	15	0	0	49	84	29	24	58	5	21	1	0	8	4	2	0	0	35	5	657
100歳以上	男	1	0	0	0	0	8	0	1	0	14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	24
	女	44	0	0	0	0	1	26	0	1	1	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	77
	小計	45	0	0	0	0	9	26	1	1	15	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	101
男計		41,271	252	1,522	0	4,188	7,254	7,990	2,857	2,786	9,173	20	3,350	1,088	191	461	125	76	720	0	2,893	260	86,477
女計		31,322	346	1,269	0	3,377	7,879	7,295	2,302	2,241	1,742	6,703	3,745	1,286	257	284	93	116	819	0	3,640	251	74,976
合計		72,593	598	2,791	0	7,565	15,133	15,285	5,159	5,027	10,915	6,723	7,095	2,374	448	745	218	192	1,539	0	6,533	514	161,447

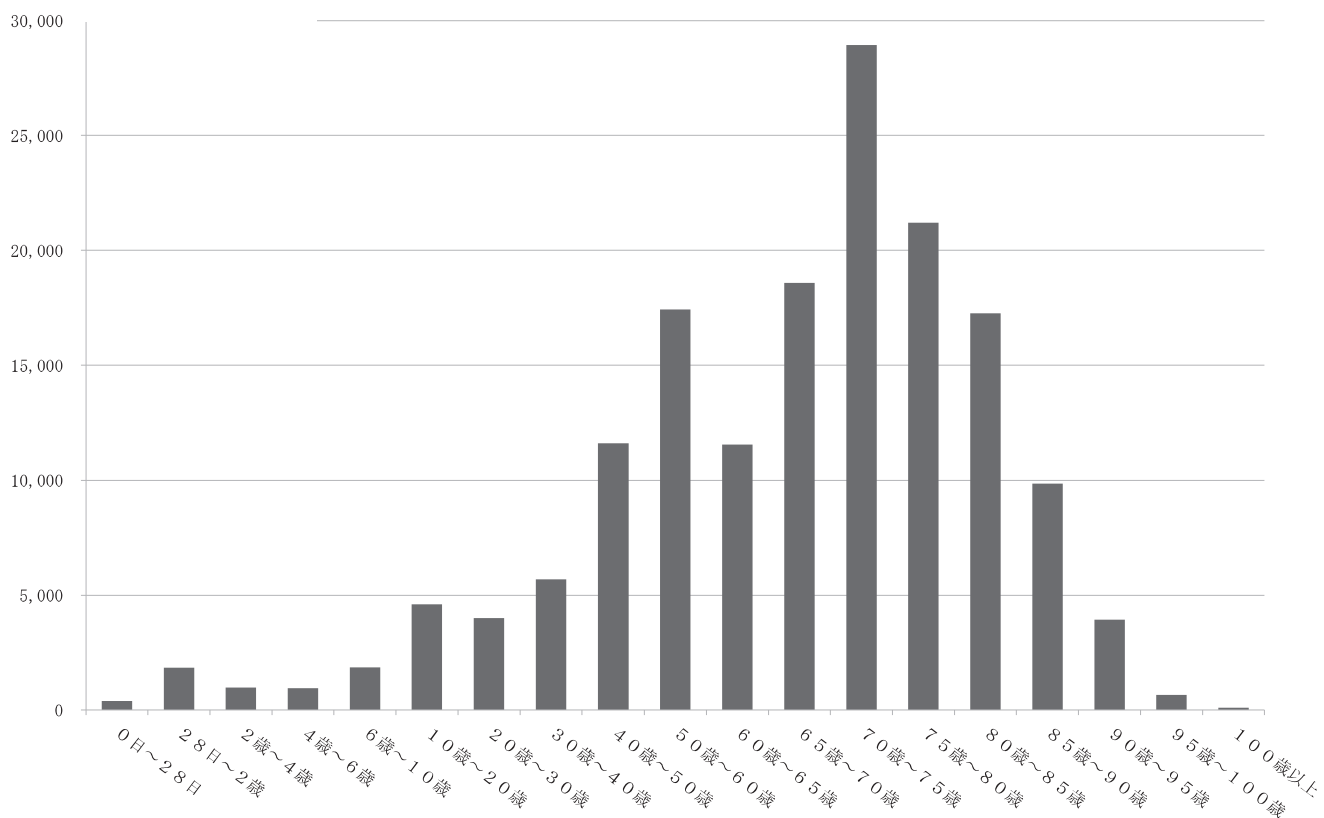
(単位 : 人)

入院 年齢別構成



(単位 : 人)

外来 年齢別構成



(11) 病棟別病床稼働率

(単位：%)

病棟別	病床数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
北2階	48	62.6	73.4	75.5	81.5	77.4	74.9	71.8	74.7	72.6	73.7	75.5	79.2	74.4
北4階	38	55.0	48.7	56.1	63.6	62.1	59.3	59.9	61.7	60.7	61.4	56.3	73.3	46.8
北5階	46	38.4	75.8	78.2	76.2	82.3	72.0	70.3	77.0	74.7	80.2	75.7	83.9	59.9
北6階	47	54.1	85.3	80.5	93.0	88.7	86.0	71.1	83.4	82.1	91.5	90.2	94.8	77.2
南3階 HCU	24	46.5	39.0	41.3	45.3	37.4	32.9	24.1	46.4	51.3	64.0	61.5	72.8	85.9
南4階	47	91.8	82.8	85.2	91.5	94.8	89.9	83.7	89.0	84.1	92.9	94.2	94.6	89.5
南5階	47	79.4	82.6	84.8	89.2	88.7	82.9	84.2	85.5	82.8	87.3	89.6	92.3	85.8
南6階	46	79.0	76.6	69.6	76.4	79.1	72.5	70.0	73.8	68.2	81.6	80.6	83.0	75.8
南7階	47	44.1	44.8	17.4	35.8	48.9	25.5	27.9	43.3	49.6	27.5	48.9	33.4	37.2
感染症	4	0.0	0.0	0.0	3.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3
合計	394	70.0	69.1	66.3	73.6	74.8	67.6	64.2	71.4	70.1	73.4	75.1	78.2	71.2

* 人間ドック5床を除く

(12) 平均在院日数

*DPC

(単位：日)

月別 科別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内科	13.8	13.7	11.7	13.7	15.9	13.0	10.9	12.9	11.4	14.4	15.2	15.5	13.5
小児科	4.5	4.4	6.2	6.6	8.1	8.3	7.6	7.2	5.6	10.6	13.5	9.0	7.3
外科	7.9	10.9	9.8	8.0	8.6	8.0	8.1	7.7	7.4	8.0	8.0	7.7	8.3
整形外科	10.7	11.1	9.8	8.9	9.8	10.8	11.2	10.1	8.5	10.7	13.3	10.0	10.3
産婦人科	8.7	8.6	6.5	8.8	8.3	9.5	9.7	8.0	10.3	9.3	7.9	11.3	8.9
脳神経外科	11.9	12.6	13.6	13.4	14.0	13.9	11.4	11.3	11.8	11.0	11.9	15.1	12.7
眼科	2.0	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0
泌尿器科	8.0	7.7	5.9	5.3	6.8	7.4	7.1	5.4	5.2	7.5	5.9	7.1	6.5
皮膚科	0.0	24.7	37.3	25.5	35.0	4.0	23.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	27.0
歯科口腔外科	1.9	4.7	3.7	2.0	3.4	4.7	2.0	4.3	2.3	1.7	1.8	3.0	3.0
全科合計	11.2	12.1	10.8	11.4	12.5	11.4	10.1	10.5	9.7	11.9	12.3	12.6	11.3

*包括ケア

(単位：日)

月別 科別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内科	8.2	11.5	11.0	8.8	8.8	13.2	11.2	11.5	9.3	8.3	11.1	11.4	10.1
小児科	2.0	8.0	0.0	4.7	5.8	5.1	14.0	0.0	0.0	6.8	4.5	4.0	5.9
外科	4.0	0.0	4.0	13.3	0.0	0.0	3.3	15.0	5.2	10.0	0.0	0.0	5.8
整形外科	7.1	0.0	0.0	15.5	0.0	0.0	7.7	10.9	11.9	13.3	0.0	18.0	10.9
産婦人科	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.0	0.0	5.0	0.0	5.3	6.1	5.5
脳神経外科	20.3	0.0	0.0	8.5	0.0	0.0	7.3	6.3	11.3	11.3	10.0	0.0	10.7
泌尿器科	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	12.0	14.0	14.0	0.0	0.0	13.0
皮膚科	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	26.0	28.0	0.0	0.0	0.0	0.0	27.0
全科	8.1	11.2	10.9	9.3	8.3	12.0	9.9	11.3	9.8	8.3	9.9	10.2	9.7

*回復期リハ

(単位：日)

月別 科別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内科	46.7	72.0	30.0	25.0	56.0	42.0	0.0	30.0	26.0	14.7	40.0	20.0	39.4
外科	0.0	42.0	30.0	31.0	0.0	0.0	0.0	17.0	0.0	0.0	0.0	0.0	49.5
整形外科	31.6	44.0	46.3	51.6	49.0	39.6	43.6	69.6	47.8	54.5	54.5	64.0	47.4
脳神経外科	72.0	66.4	45.8	103.7	60.1	71.0	56.6	58.1	64.6	49.2	72.5	41.9	60.1
全科	52.5	55.1	48.9	73.7	54.8	58.3	52.1	57.9	58.2	50.5	60.1	44.9	54.9

*平均在院日数の計算式 (24時入院患者数) ÷ ((新入院患者数+新退院患者数) ÷ 2)

*平均在院日数の計算には、事故・労災・分娩は含まれません。

*基準別患者数

(単位：人)

月別 基準	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
D P C	6,755	6,690	6,509	7,250	7,278	6,556	6,368	6,754	6,762	7,464	6,631	7,891	82,908
包括ケア	622	653	245	521	713	359	406	611	722	400	643	486	6,381
回復期リハ	901	1,092	1,087	1,212	1,151	1,079	1,069	1,076	1,080	1,097	1,015	1,179	13,038
合計	8,278	8,435	7,841	8,983	9,142	7,994	7,843	8,441	8,564	8,961	8,289	9,556	102,327

2. 診療請求の現況

(1) 診療科別請求額

(単位：千円、%)

区分	診療科	令和元年度	令和2年度		令和3年度	
		診療稼働額	診療稼働額	前年比	診療稼働額	前年比
入院	内科	3,191,495	2,948,498	92.4	3,124,959	106.0
	小児科	203,923	121,191	59.4	148,468	122.5
	外科	1,185,695	1,108,684	93.5	1,016,073	91.6
	整形外科	735,348	702,860	95.6	820,737	116.8
	脳神経外科	908,044	899,909	99.1	971,447	107.9
	皮膚科	6,587	5,579	84.7	8,434	151.2
	泌尿器科	211,285	198,039	93.7	205,435	103.7
	産婦人科	240,272	206,997	86.2	250,235	120.9
	眼科	31,467	26,032	82.7	32,291	124.0
	救急科	0	0	-	208	-
	リハビリ科	0	0	-	0	-
	歯科口腔外科	16,475	23,941	145.3	36,200	151.2
	全科	6,730,591	6,241,729	92.7	6,614,489	106.0
	外来	内科	1,981,390	1,967,124	99.3	2,227,472
心療内科		13,650	685	5.0	1,161	169.5
小児科		66,570	51,326	77.1	82,434	160.6
外科		498,353	508,948	102.1	485,639	95.4
整形外科		125,327	105,372	84.1	136,774	129.8
脳神経外科		90,407	67,688	74.9	67,543	99.8
皮膚科		23,003	14,311	62.2	15,937	111.4
泌尿器科		222,301	197,258	88.7	178,261	90.4
産婦人科		67,720	64,189	94.8	62,473	97.3
眼科		76,915	69,900	90.9	79,701	114.0
耳鼻咽喉科		19,976	15,461	77.4	17,719	114.6
放射線診断科		9533.0	9,189	96.4	16,778	182.6
ペイン		2,565	2,397	93.5	2,630	109.7
救急科		0.0	0	-	5,287	-
リハビリ科		216.0	332	153.7	267	80.4
放射線治療科		50,074	46,994	93.8	39,124	83.3
歯科口腔外科		29414.0	30,482	103.6	33,683	110.5
形成外科		3630.0	3,225	88.8	4,465	138.4
全科		3,281,044	3,154,882	96.2	3,457,348	109.6
合計	内科	5,172,885	4,915,622	95.0	5,352,432	108.9
	心療内科	13,650	685	5.0	1,161	169.5
	小児科	270,493	172,517	63.8	230,902	133.8
	外科	1,684,048	1,617,632	96.1	1,501,712	92.8
	整形外科	860,675	808,232	93.9	957,511	118.5
	脳神経外科	998,452	967,598	96.9	1,038,991	107.4
	皮膚科	29,590	19,890	67.2	24,371	122.5
	泌尿器科	433,585	395,297	91.2	383,696	97.1
	産婦人科	307,992	271,186	88.0	312,709	115.3
	眼科	108,383	95,932	88.5	111,992	116.7
	耳鼻咽喉科	19,976	15,461	77.4	17,719	114.6
	放射線診断科	9533.0	9,189	96.4	16,778	182.6
	ペイン	2,565	2,397	93.5	2,630	109.7
	救急科	0.0	0	-	5,495	-
	リハビリ科	216.0	332	153.7	267	80.4
	放射線治療科	50,074	46,994	93.8	39,124	83.3
	歯科口腔外科	45889.0	54,423	118.6	69,883	128.4
	形成外科	3630.0	3,225	88.8	4,465	138.4
	全科	10,011,635	9,396,611	93.9	10,071,838	107.2

(2) 診療報酬請求状況

(単位：件、点、%)

	診療科	入院					外来				
		元年度	2年度		3年度		元年度	2年度		3年度	
			前年比	前年比	前年比	前年比		前年比	前年比		
請求件数	内科	5,429	4,929	90.8	4,983	101.1	60,081	50,834	84.6	53,168	104.6
	精神科	0	0	-	0	-	2,113	258	12.2	330	127.9
	小児科	713	378	53.0	490	129.6	7,158	5,538	77.4	6,262	113.1
	外科	2,040	1,805	88.5	1,662	92.1	11,182	10,249	91.7	10,281	100.3
	整形外科	1,207	1,109	91.9	1,184	106.8	10,432	8,230	78.9	9,377	113.9
	脳神経外科	1,137	1,088	95.7	1,137	104.5	5,312	4,437	83.5	4,358	98.2
	皮膚科	14	10	-	15	150.0	5,214	3,919	75.2	4,056	103.5
	泌尿器科	584	520	89.0	561	107.9	10,076	9,038	89.7	9,152	101.3
	産婦人科	544	454	83.5	542	119.4	5,430	4,782	88.1	4,996	104.5
	眼科	123	83	67.5	99	119.3	6,876	6,122	89.0	6,315	103.2
	耳鼻咽喉科	0	0	-	0	-	2,481	1,993	80.3	2,128	106.8
	放射線診断科	0	0	-	0	-	366	356	97.3	440	123.6
	麻酔科	0	0	-	0	-	389	358	92.0	394	110.1
	救急科	0	0	-	0	-	0	0	-	212	-
	リハビリ科	0	0	-	0	-	126	178	141.3	173	97.2
	放射線治療科	0	0	-	0	-	412	374	90.8	293	78.3
	歯科口腔外科	64	79	123.4	141	178.5	2,878	3,305	114.8	3,898	117.9
形成外科	0	0	-	0	-	280	278	99.3	396	142.4	
全科	11,791	10,455	88.7	10,814	103.4	127,236	110,249	86.6	116,229	105.4	
1人1日当たり診療点数	内科	5,204	5,495	105.6	5,765	104.9	2,348	2,698	114.9	2,955	109.5
	精神科	0	0	-	0	-	545	144	26.4	194	134.7
	小児科	4,782	5,018	104.9	4,750	94.7	714	740	103.7	1,090	147.3
	外科	6,445	7,163	111.1	7,457	104.1	3,016	3,411	113.1	3,209	94.1
	整形外科	5,246	5,824	111.0	6,135	105.3	743	799	107.5	895	112.0
	脳神経外科	5,372	5,816	108.3	5,638	96.9	1,355	1,315	97.0	1,309	99.5
	皮膚科	3,294	3,576	108.6	3,360	94.0	356	300	84.3	317	105.7
	泌尿器科	5,008	5,571	111.2	5,671	101.8	1,858	1,845	99.3	1,633	88.5
	産婦人科	6,330	6,782	107.1	6,209	91.6	909	988	108.7	929	94.0
	眼科	9,712	10,090	103.9	10,090	100.0	1,002	1,027	102.5	1,124	109.4
	耳鼻咽喉科	0	0	-	0	-	672	702	104.5	746	106.3
	放射線診断科	0	0	-	0	-	2,584	2,581	99.9	3,745	145.1
	麻酔科	0	0	-	0	-	395	344	87.0	353	102.6
	救急科	0	0	-	0	-	0	0	-	2,425	-
	リハビリ科	0	0	-	0	-	146	158	108.4	139	88.0
	放射線治療科	0	0	-	0	-	2,209	2,457	111.2	2,542	103.5
	歯科口腔外科	6,436	7,255	112.7	7,284	100.4	581	506	87.1	516	102.0
形成外科	0	0	-	0	-	1,023	946	92.5	869	91.9	
全科	5,544	5,864	105.8	5,998	102.3	1,967	2,048	104.1	2,142	104.6	

(3) 診療行為別請求額

(単位：千円、%)

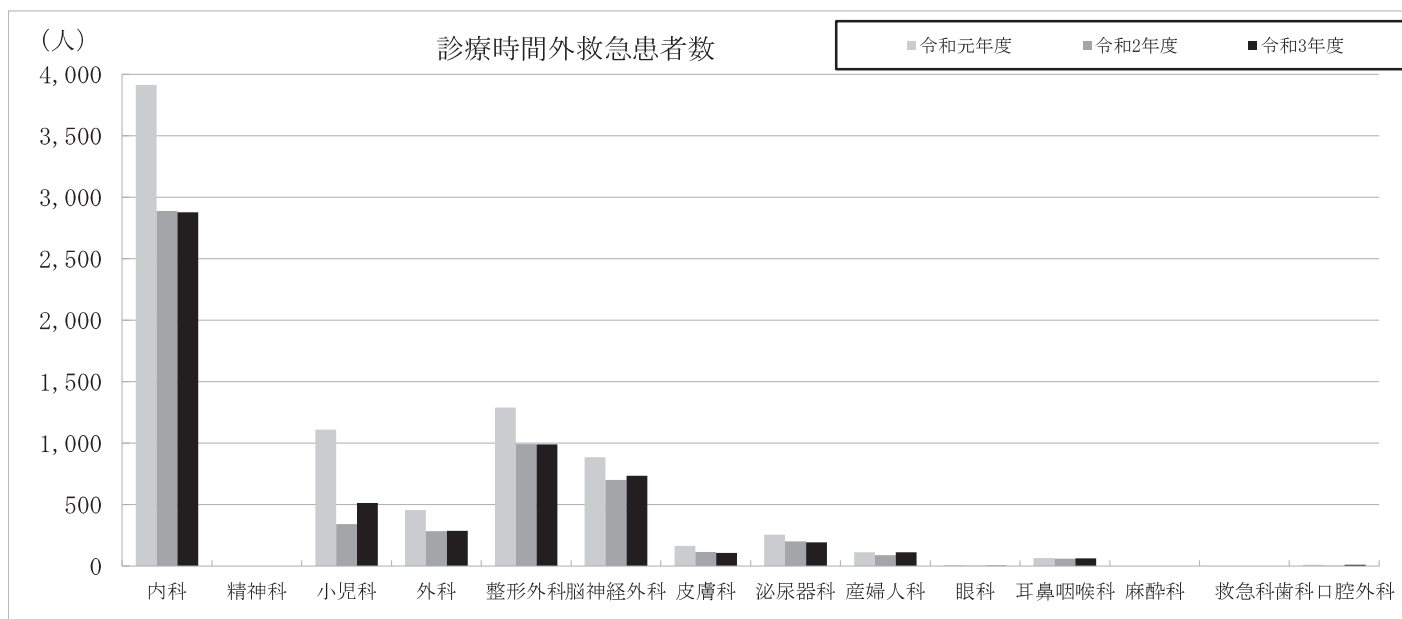
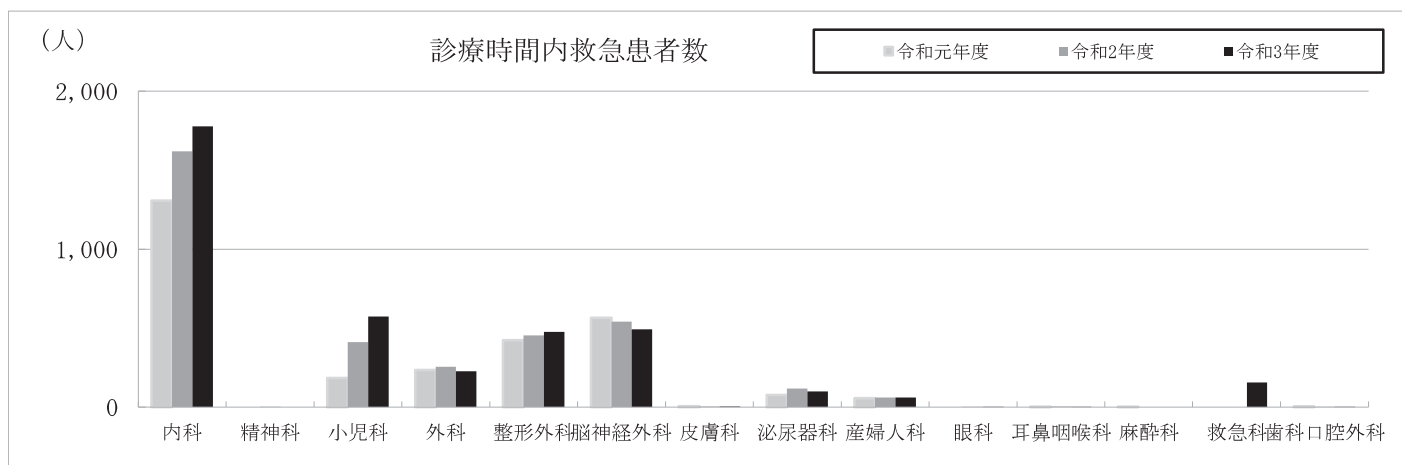
診療行為別	入院					外来				
	元年度	2年度		3年度		元年度	2年度		3年度	
		前年比		前年比			前年比		前年比	
初診料	13,097	11,720	89.5	11,727	100.1	45,485	33,576	73.8	36,162	107.7
再診料	0	0	-	0	-	109,559	93,749	85.6	101,937	108.7
入院料	468,188	471,389	100.7	498,560	105.8	0	0	-	0	-
指導料	69,609	69,851	100.3	74,430	106.6	134,000	131,876	98.4	138,360	104.9
在宅療養料	13,165	15,422	117.1	14,648	95.0	199,688	249,725	125.1	306,763	122.8
投薬料	43,886	45,970	104.7	50,142	109.1	154,168	182,339	118.3	180,615	99.1
注射料	80,729	72,811	90.2	92,300	126.8	910,813	947,174	104.0	1,073,894	113.4
処置料	29,326	32,649	111.3	38,712	118.6	333,743	330,738	99.1	333,306	100.8
手術輸血料	1,159,343	1,045,624	90.2	1,133,019	108.4	149,157	99,277	66.6	111,736	112.5
麻酔料	149,081	129,150	86.6	143,721	111.3	2,389	1,936	81.0	2,238	115.6
検査料	61,848	59,894	96.8	77,726	129.8	706,848	620,425	87.8	679,332	109.5
画像診断料	7,384	6,615	89.6	8,601	130.0	400,235	355,669	88.9	384,665	108.2
理学療法料	205,697	239,957	116.7	256,529	106.9	23,575	15,091	64.0	19,643	130.2
処方箋料	0	0	-	0	-	58,890	49,841	84.6	51,533	103.4
その他	36	537	1,491.7	40	7.4	52,495	43,466	82.8	37,163	85.5
食事料	136,166	126,342	92.8	131,843	104.4	0	0	-	0	-
分娩介補料	51,104	37,898	74.2	37,726	99.5	0	0	-	0	-
DPC包括額	3,322,894	3,181,440	95.7	3,169,541	99.6	0	0	-	0	-
包括ケア病棟	482,122	248,028	51.4	366,313	147.7	0	0	-	0	-
回復期リハ病棟	436,917	446,431	102.2	508,911	114.0	0	0	-	0	-
合計	6,730,591	6,241,729	92.7	6,614,489	106.0	3,281,044	3,154,882	96.2	3,457,348	109.6

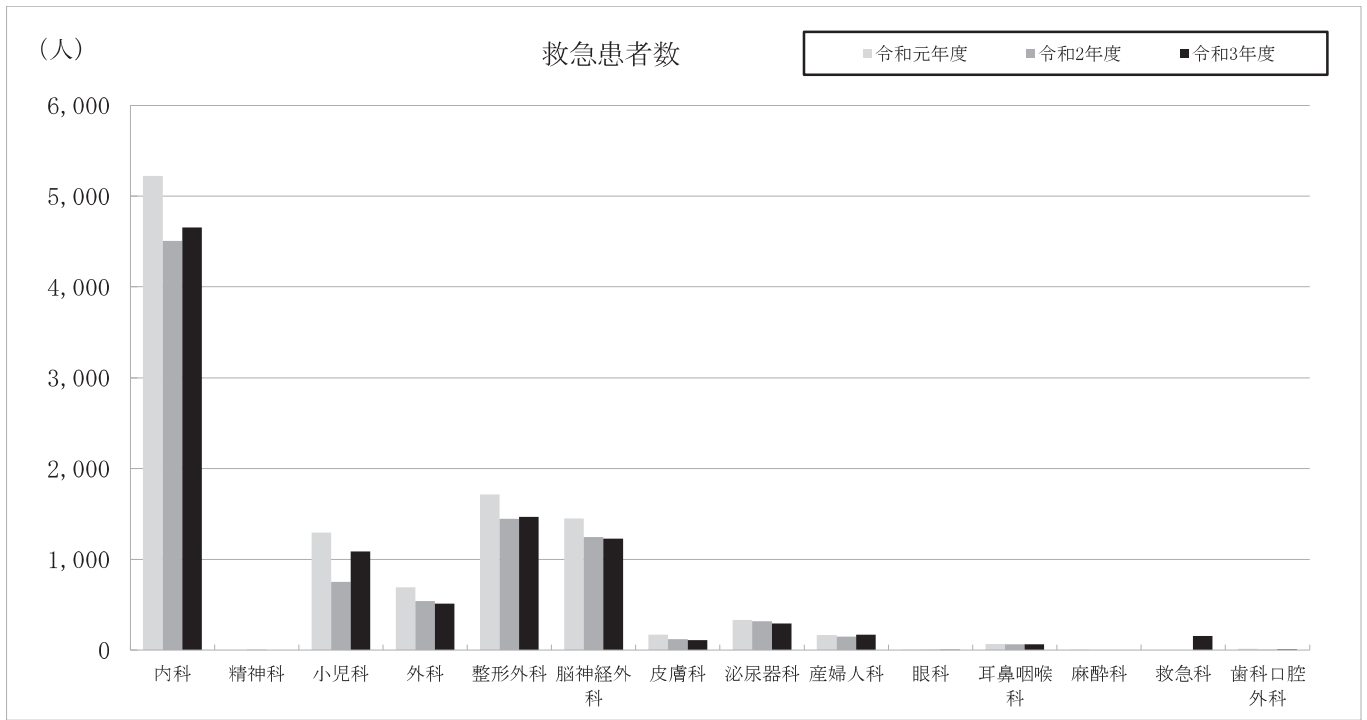
3. 救急患者の状況

(1) 救急患者数

(単位：人)

	内科	精神科	小児科	外科	整形外科	脳神経外科	皮膚科	泌尿器科	産婦人科	眼科	耳鼻咽喉科	麻酔科	救急科	歯科 口腔外科	合計
令和元年度	5,222	0	1,295	692	1,712	1,451	170	334	169	7	70	1	0	16	11,139
時間内	1,308	0	186	236	424	566	7	79	58	0	4	1	0	5	2,874
時間外	3,914	0	1,109	456	1,288	885	163	255	111	7	66	0	0	11	8,265
令和2年度	4,507	2	754	542	1,448	1,243	121	319	150	2	65	0	0	5	9,158
時間内	1,620	2	413	257	456	542	5	119	62	1	5	0	0	1	3,483
時間外	2,887	0	341	285	992	701	116	200	88	1	60	0	0	4	5,675
令和3年度	4,655	0	1,087	514	1,468	1,228	112	294	173	3	66	0	157	11	9,768
時間内	1,778	0	575	228	478	494	6	100	62	1	3	0	157	1	3,883
時間外	2,877	0	512	286	990	734	106	194	111	2	63	0	0	10	5,885

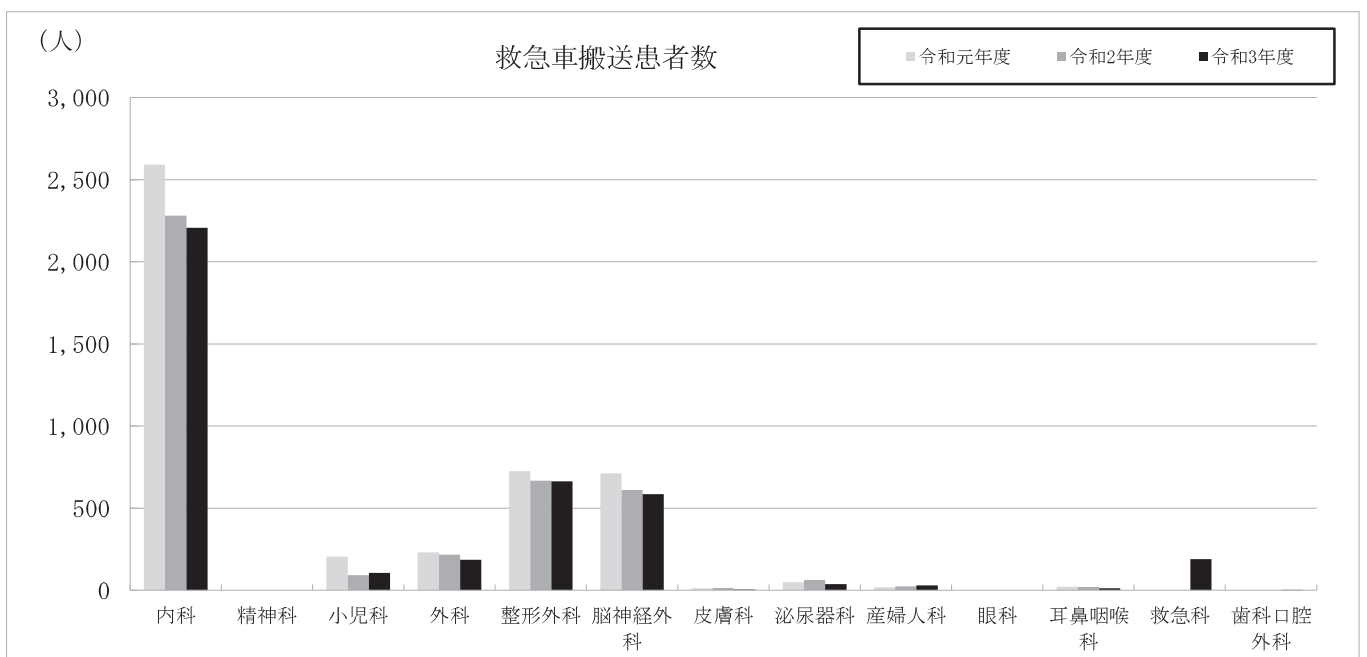




(2) 救急車搬送患者数

(単位：人)

	内科	精神科	小児科	外科	整形外科	脳神経外科	皮膚科	泌尿器科	産婦人科	眼科	耳鼻咽喉科	救急科	歯科口腔外科	合計
令和元年度	2,591	0	205	230	725	712	13	50	18	0	22	0	0	4,566
令和2年度	2,282	0	93	217	667	610	15	63	25	0	20	0	0	3,992
令和3年度	2,207	0	106	185	663	585	4	38	29	0	12	189	2	4,020



4. 分娩件数

(単位：件)

区 分		令和元年度	令和2年度	令和3年度
分娩 件数	単胎	265	200	198
	双胎	0	0	0
	三胎	0	0	0
	計	265	200	198
児 体 数	生産	264	199	198
	死産23W以前	1	1	0
	死産23W以後	0	0	0
	計	265	200	198

5. 剖検数

(単位：件)

区 分	令和元年度	令和2年度	令和3年度
死亡件数	503	538	425
剖検数	8	4	3
剖検率 (%)	1.59	0.74	0.71

6. 内視鏡件数

(単位：件)

区 分		令和元年度	令和2年度	令和3年度
検 査	上部消化管検査	5,855	4,740	5,719
	下部消化管検査	1,627	1,430	1,466
	膵・胆管ファイバー	84	72	67
	胆道ファイバー	0	1	0
	気管支ファイバー	105	76	98
	膀胱鏡	546	483	531
	計	8,217	6,802	7,881
処 置	静脈瘤結紮術	2	1	2
	ポリペクトミー上部・EMR	10	0	1
	ポリペクトミー下部・EMR	419	382	410
	超音波内視鏡	5	19	19
	止血術	404	91	139
	内視鏡的拡張術	33	18	15
	点墨・色素散布	139	128	129
	EST (内視鏡的乳頭括約筋切開術)	47	50	43
	麻酔法	0	0	0
	マーキングクリップ	413	53	50
	PEG (内視鏡的胃瘻造設術)	11	14	13
	内視鏡的胆道胆汁ドレナージ	22	22	13
	イレウス管挿入	45	25	41
	異物摘出術	11	15	6
	経肛門的減圧術	5	3	1
	留置スネア	13	16	7
	SBチューブ挿入	0	1	0
	内視鏡的粘膜下層剥離術	16	21	29
ポリープ焼灼	0	0	0	
計	1,595	859	918	

7. 循環器科

(単位：件)

区 分		令和元年度	令和2年度	令和3年度	
非 観 血 的 検 査	冠動脈CT	306	220	208	
	心筋シンチ	112	76	102	
	塩化タリウム	47	32	49	
	MIBG	25	24	19	
	MIBI	8	0	5	
	BMIPP	32	20	29	
観 血 的 検 査 ・ 治 療	冠動脈造影	501	357	369	
	うち アセチルコリン負荷試験	34	28	21	
	右心カテーテル	23	15	10	
	スワンガンツカテーテル	23	15	10	
	電気生理学的検査	0	0	0	
	心筋生検	14	6	5	
	冠動脈カテーテル治療	245	191	220	
	うち待機	155	112	119	
	うち緊急	90	79	101	
	内 訳	バルーンのみ	65	44	36
		ステント併用	180	147	184
		冠動脈内血栓溶解術併用	0	0	0
		血栓吸引術併用	59	50	60
		大動脈内バルーンパンピング併用	20	7	17
	末梢血管形成術	88	97	106	
	下肢動脈	20	17	24	
	シャント血管	68	80	82	
	下大静脈フィルター	0	0	1	
	一時的ペーシング	43	43	34	
	ペースメーカー	54	50	60	
新規植込み	40	34	47		
電池消耗による交換	14	16	13		

8. 手術件数

(1) 麻酔種別手術件数

(単位：件)

区 分	令和元年度	令和2年度	令和3年度
全身麻酔	1,271	1,091	1,213
腰椎麻酔	404	364	400
伝達麻酔	113	85	104
静脈内麻酔	2	12	6
局所麻酔	467	454	517
無麻酔	82	84	100
硬膜外麻酔	113	88	100
その他	2	3	1
合計	2,454	2,181	2,441

(2) 手術別件数

手術名	元年度	2年度	3年度
皮膚・皮下組織			
創傷処理（長径5cm未満・筋肉、臓器に達するもの）	50	55	74
創傷処理（長径5cm未満・筋肉、臓器に達するもの・真皮縫合）	5	1	1
創傷処理（長径5cm～10cm未満・筋肉、臓器に達するもの）	19	14	21
創傷処理（長径5cm以上10cm未満・筋肉、臓器に達するもの・真皮縫合）	0	3	0
創傷処理（長径20cm以上・筋肉、臓器に達するもの）	1	0	0
創傷処理（長径10cm以上・筋肉、臓器に達するもの）	16	11	8
創傷処理（長径5cm未満・筋肉、臓器に達しないもの）	367	355	352
創傷処理（長径5cm未満・筋肉、臓器に達しないもの・真皮縫合）	14	0	2
創傷処理（長径5cm～10cm未満・筋肉、臓器に達しないもの）	30	36	32
創傷処理（長径5cm以上10cm未満・筋肉、臓器に達しないもの・真皮縫合）	3	3	1
創傷処理（長径10cm以上・筋肉・臓器に達しないもの）	8	5	7
小児創傷処理（長径2.5cm未満・筋肉、臓器に達するもの）	6	3	5
小児創傷処理（長径2.5cm以上、5cm未満・筋肉、臓器に達するもの）	3	1	1
小児創傷処理（直径2.5cm未満・筋肉、臓器に達しないもの）	24	23	19
小児創傷処理（直径2.5cm以上5cm未満・筋肉、臓器に達しないもの）	4	5	3
小児創傷処理（直径5cm以上10cm未満・筋肉、臓器に達しないもの）	0	0	1
皮膚切開（長径10cm未満）	41	31	36
皮膚切開（長径10cm以上20cm未満）	0	1	3
皮膚切開（長径20cm以上）	0	0	1
デブリードマン（100cm ² 未満）	1	0	0
皮下、粘膜下血管腫瘍摘出術（露出部）（長径3cm未満）	5	1	1
皮膚血管腫瘍摘出術（露出部）（直径3cm未満）	0	1	1
皮下腫瘍摘出術（露出部）（長径2cm未満）	13	7	6
皮膚腫瘍摘出術（露出部）（長径2cm未満）	40	27	31
皮下腫瘍摘出術（露出部）（長径2cm以上4cm未満）	7	4	2
皮膚腫瘍摘出術（露出部）（長径2cm以上4cm未満）	12	7	18
皮下腫瘍摘出術（露出部）（長径4cm以上）	0	1	1
皮膚腫瘍摘出術（露出部）（長径4cm以上）	0	0	2
皮下腫瘍摘出術（露出部以外）（長径3cm未満）	10	6	7
皮膚腫瘍摘出術（露出部以外）（長径3cm未満）	21	16	12
皮下腫瘍摘出術（露出部以外）（長径3cm以上6cm未満）	2	3	0
皮膚腫瘍摘出術（露出部以外）（長径3cm以上6cm未満）	2	6	8
皮膚腫瘍摘出術（露出部以外）（長径6cm以上12cm未満）	3	2	0
皮下腫瘍摘出術（露出部以外）（12cm以上）	0	0	1
皮膚腫瘍冷凍凝固摘出術（良性皮膚腫瘍）（長径3cm未満）	12	0	0
皮膚悪性腫瘍切除術（広汎切除）	1	0	0
皮膚悪性腫瘍切除術（単純切除）	19	9	10
形 成			
全層植皮術（25cm ² 未満）	1	2	0
全層植皮術（25cm ² 以上100cm ² 未満）	0	0	1
全層植皮術（200cm ² 以上）	1	0	1
皮弁作成・移動・切断（25cm ² 未満）	5	6	3
筋膜・筋・腱・腱鞘			
腱鞘切開術（関節鏡下によるものを含む）	27	25	47
筋肉内異物摘出術	1	4	1
四肢・躯幹軟部腫瘍摘出術（躯幹）	3	2	0
四肢・躯幹軟部腫瘍摘出術（肩）	0	1	0
四肢・躯幹軟部腫瘍摘出術（前腕）	2	1	0
四肢・躯幹軟部腫瘍摘出術（下腿）	1	0	0
四肢・躯幹軟部腫瘍摘出術（手）	2	2	1
四肢・躯幹軟部腫瘍摘出術（足）	0	0	1
腱剥離術（指）	0	2	0

手術名	元年度	2年度	3年度
腱滑膜切除術	0	2	0
腱縫合術	16	22	24
腱縫合術（指）	9	3	5
腱縫合術（切創等の創傷により）	0	0	2
アキレス腱断裂手術	7	6	4
腱移植術（指（手、足））	1	0	2
腱移植術（その他）	0	0	1
腱移行術（指（手、足））	2	0	1
腱移行術（その他）	0	1	2
四 肢 骨			
骨穿孔術	1	0	0
骨搔爬術（前腕）	0	0	1
骨搔爬術（下腿）	0	0	1
骨搔爬術（手）	1	1	1
骨折非観血的整復術（上腕）	8	5	9
骨折非観血的整復術（前腕）	54	32	48
骨折非観血的整復術（下腿）	5	11	5
骨折非観血的整復術（鎖骨）	6	2	1
骨折非観血的整復術（手）	10	17	9
骨折非観血的整復術（指1本）	0	1	1
骨折非観血的整復術（指3本）	0	0	1
骨折非観血整復術（足、その他）	11	11	5
骨折経皮的鋼線刺入固定術（前腕）	5	5	9
骨折経皮的鋼線刺入固定術（下腿）	2	1	4
骨折経皮的鋼線刺入固定術（手）	0	0	1
骨折経皮的鋼線刺入固定術（指（手・足））	13	19	20
骨折観血の手術（上腕）	22	21	25
骨折観血の手術（大腿）	105	99	93
骨折観血の手術（前腕）	80	73	61
骨折観血の手術（下腿）	48	49	36
骨折観血の手術（手舟状骨）	5	8	2
骨折観血の手術（鎖骨）	10	6	13
骨折観血の手術（膝蓋骨）	3	4	6
骨折観血の手術（手（舟状骨を除く））	6	0	0
骨折観血の手術（足）	2	2	5
骨折観血の手術（指（手、足））	13	17	22
観血的整復固定術（インプラント周囲骨折に対するもの）（大腿）	5	3	5
観血的整復固定術（インプラント周囲骨折に対するもの）（前腕）	0	0	1
一時的創外固定骨折治療術	12	7	10
難治性骨折超音波治療法（一連につき）	3	9	13
超音波骨折治療法（一連につき）	9	11	22
骨内異物（挿入物）除去術（上腕）	20	8	5
骨内異物（挿入物）除去術（大腿）	5	4	0
骨内異物（挿入物）除去術（その他の頭蓋）	1	0	0
骨内異物（挿入物）除去術（前腕）	44	38	42
骨内異物（挿入物）除去術（下腿）	27	14	22
骨内異物（挿入物）除去術（鎖骨）	11	2	5
骨内異物（挿入物）除去術（膝蓋骨）	6	2	0
骨内異物（挿入物）除去術（手）	5	8	10
骨内異物（挿入物）除去術（足）	4	0	1
骨内異物（挿入物）除去術（指（手・足））	17	19	14

手術名	元年度	2年度	3年度
骨部分切除術（上腕）	0	1	0
骨部分切除術（手）	1	0	1
骨部分切除術（鎖骨）	0	1	0
骨腫瘍切除術（指）	1	0	0
骨腫瘍切除術（下腿）	0	0	1
骨切り術（前腕）	1	0	0
骨切り術（指（手、足））	0	0	28
偽関節手術（下腿）	0	1	1
偽関節手術（手舟状骨）	1	0	3
偽関節手術（前腕）	0	1	0
偽関節手術（指（手、足））	0	1	0
骨移植術（軟骨移植術を含む）（自家骨移植）	1	1	9
骨移植術（軟骨移植術を含む）（自家骨・非生体同種骨及び人工骨移植の併施）	1	0	0
四肢関節・靭帯			
化膿性又は結核性関節炎掻爬術（膝）	1	0	0
化膿性又は結核性関節炎掻爬術（股）	0	1	0
化膿性又は結核性関節炎掻爬術（肘）	2	0	0
化膿性又は結核性関節炎掻爬術（指・手）	2	0	0
関節脱臼非観血的整復術（肩）	19	22	13
関節脱臼非観血的整復術（股）	1	3	5
関節脱臼非観血的整復術（膝）	0	1	1
関節脱臼非観血的整復術（肘）	4	2	3
関節脱臼非観血的整復術（手）	0	0	1
関節脱臼非観血的整復術（足）	1	0	1
関節脱臼非観血整復術（指（手、足））	7	4	6
関節脱臼非観血的整復術（小児肘内障）	24	12	26
関節脱臼観血的整復術（肘）	0	1	0
関節脱臼観血的整復術（足）	0	0	1
関節脱臼観血的整復術（指・手）	0	1	0
関節内異物（挿入物を含む）除去術（膝）	0	1	0
関節滑膜切除術（指・手）	0	1	1
関節鼠摘出手術（膝）	0	0	1
ガングリオン摘出術（手）	1	0	1
ガングリオン摘出術（指・手）	0	0	1
関節内骨折観血的手術（膝）	10	7	12
関節内骨折観血的手術（肘）	8	7	11
関節内骨折観血的手術（手）	2	0	0
関節内骨折観血的手術（足）	11	1	12
関節内骨折観血的手術（指・手）	4	5	0
関節鏡下関節内骨折観血的手術（足）	1	0	0
靭帯断裂縫合術（指（手、足））	3	1	2
靭帯断裂縫合術（その他の靭帯）	5	4	11
観血的関節授動術（指・手）	1	0	0
観血的関節固定術（指・手）	4	1	4
観血的関節固定術（指・足）	0	0	1
関節形成手術（肘）	0	0	1
関節形成手術（手）	1	0	3
人工骨頭挿入術（股）	37	52	66
人工骨頭挿入術（肩）	2	1	1
人工骨頭挿入術（肘）	2	1	3
人工関節置換術（股）	0	0	3
人工関節置換術（肘）	0	0	2
人工関節置換術（指・手）	0	0	1
人工関節再置換術（肘）	0	0	1
鋼線等による直達牽引	9	4	1

手術名	元年度	2年度	3年度
四肢切断・離断・再接合			
四肢切断術（大腿）	0	4	2
四肢切断術（下腿）	5	4	9
四肢切断術（足）	1	2	0
四肢切断術（手・指）	2	0	0
四肢切断術（足・指）	2	0	0
四肢関節離断術（股）	0	1	0
断端形成術（軟部形成のみ）（手・指）	3	1	1
断端形成術（骨形成を要す）（手・指）	1	4	2
断端形成術（骨形成を要す）（足・指）	0	1	1
切断四肢再接合術（手・指）	0	2	0
手・足			
爪甲除去術	7	10	13
陥入爪手術（簡単なもの）	1	1	1
手根管開放手術	25	18	23
手掌異物摘出術	0	0	2
足底異物摘出術	1	0	0
デュブイトレン拘縮手術（1指）	1	3	2
デュブイトレン拘縮手術（2指から3指）	0	1	3
母指対立再建術	1	2	2
第一足指外反症矯正手術	0	0	7
脊柱・骨盤			
腸骨窩膿瘍掻爬術	0	1	0
腸骨翼骨折観血の手術	0	0	1
寛骨臼骨折観血の手術	0	0	1
脊椎内異物（挿入物）除去術	0	0	1
脊椎固定術、椎弓切除術、椎弓形成術（後方又は後側方固定）	0	0	5
経皮的椎体形成術	0	0	1
頭蓋・脳			
穿頭脳室ドレナージ術	11	7	6
穿頭術（トレパナチオン）	0	4	0
脳膿瘍排膿術	0	2	0
定位脳腫瘍生検術	1	0	0
頭蓋内血腫除去術（開頭・硬膜外）	1	0	1
頭蓋内血腫除去術（開頭・硬膜下）	10	5	6
頭蓋内血腫除去術（開頭・脳内）	6	7	12
慢性硬膜下血腫穿孔洗浄術	37	48	50
内視鏡下脳内血腫除去術	0	1	3
脳膿瘍全摘術	1	0	0
頭蓋内腫瘍摘出術（その他）	8	5	4
内視鏡下経鼻的腫瘍摘出術（下垂体腫瘍）	3	0	0
水頭症手術（シャント手術）	3	11	8
髄液シャント抜去術	0	3	2
脳動脈瘤頸部クリッピング（1箇所）	5	13	4
脳動脈瘤頸部クリッピング（2箇所以上）	1	1	1
脳血管内手術（1箇所）	13	14	14
脳血管内手術（2箇所以上）	1	1	0
脳血管内手術（脳血管内ステントを用いるもの）	1	5	2
経皮的脳血管形成術	1	1	4
経皮的脳血栓回収術	31	30	40
後頭蓋窩減圧術	0	0	1
頭蓋骨悪性腫瘍手術	0	0	1
頭蓋骨形成手術（頭蓋骨のみ）	3	1	2

手術名	元年度	2年度	3年度
脊 髄 ・ 末梢神経 ・ 交感神経			
神経縫合術（指（手，足））	2	6	6
神経縫合術（その他）	1	2	6
神経剥離術（その他のもの）	3	8	11
眼 験			
眼瞼膿瘍切開術	0	0	1
涙点プラグ挿入術、涙点閉鎖術	12	13	2
眼瞼下垂症手術（その他）	1	1	0
結 膜			
結膜結石除去術（少数のもの）（1眼瞼ごと）	2	4	3
結膜下異物除去術	1	1	1
翼状片手術（弁の移植を要するもの）	0	1	0
角膜・強膜異物除去術	2	4	0
眼 房 ・ 網 膜			
虹彩光凝固術	4	8	2
網膜光凝固術（通常のもの・一連につき）	10	15	19
網膜光凝固術（その他特殊なもの・一連につき）	23	28	39
水晶体・硝子体			
水晶体再建術（眼内レンズを挿入する場合・その他のもの）	162	129	158
水晶体再建術（眼内レンズを挿入しない場合）	0	0	2
後発白内障手術	32	22	34
外 耳			
外耳道異物除去術（単純なもの）	2	2	0
外耳道異物除去術（複雑なもの）	1	0	0
鼻			
鼻腔粘膜焼灼術	6	5	6
鼻骨骨折徒手整復術	0	1	0
上顎洞根治手術	2	2	0
咽 頭 ・ 扁 桃			
咽頭異物摘出術（簡単）	2	0	1
喉頭異物摘出術（直達鏡によらない）	0	1	0
喉 頭 ・ 気 管			
気管切開術	14	4	9
気管切開孔閉鎖術	2	0	0
口 ・ 舌			
頬粘膜腫瘍摘出術	6	2	2
頬粘膜悪性腫瘍手術	1	2	1
舌腫瘍摘出術（その他のもの）	6	4	6
舌悪性腫瘍手術（切除）	0	2	2
口唇腫瘍摘出術（その他）	3	3	2
頬腫瘍摘出術（粘液嚢胞摘出術）	0	3	1
顔面骨・顎関節			
顎関節脱臼非観血的整復術	1	3	0
下顎骨部分切除術	0	1	0
下顎骨折観血的手術（片側）	0	0	1
下顎骨悪性腫瘍手術（切除）	1	1	0
上顎骨形成術（単純）	0	1	2
下顎骨形成術（短縮）	0	2	2
下顎骨形成術（伸長）	0	0	1
顎関節授動術（開放授動術）	2	0	0
顎関節授動術（徒手の授動術）（バンピングを併用）	0	0	1
唾 液 腺			
顎下腺摘出術	1	0	1

手術名	元年度	2年度	3年度
甲状腺・副甲状腺（上皮小体）			
甲状腺腫摘出術（片葉）	1	2	0
甲状腺部分切除術、甲状腺腫摘出術（片葉）	9	7	3
甲状腺部分切除術、甲状腺腫摘出術（両葉）	1	1	0
パセドウ甲状腺亜全摘術（両葉）	0	1	0
甲状腺悪性腫瘍手術（切除）	2	1	1
甲状腺悪性腫瘍手術（全摘）	1	1	0
副甲状腺（上皮小体）腺腫過形成手術（摘出術）	0	0	2
乳 腺			
乳腺腫瘍摘出術（長径5cm未満）	17	12	10
乳腺腫瘍摘出術（長径5cm以上）	0	1	1
乳腺腫瘍画像ガイド下吸引術	21	19	26
乳腺悪性腫瘍手術（乳房部分切除術）（腋窩部郭清を伴わないもの）	17	11	12
乳腺悪性腫瘍手術（乳房切除術・腋窩部郭清を伴わないもの）	27	22	25
乳腺悪性腫瘍手術（乳房部分切除術）（腋窩部郭清を伴う）（内視鏡下によるものを含む）	2	0	0
乳腺悪性腫瘍手術（乳房切除術・胸筋切除併施しない）	2	3	0
乳腺悪性腫瘍手術（乳房切除術・胸筋切除を併施する）	6	5	5
胸 壁			
肋骨骨折観血の手術	1	1	0
胸壁腫瘍摘出術	1	0	0
胸 腔 ・ 胸 膜			
胸腔鏡下試験開胸術	2	1	1
胸腔鏡下試験切除術	2	2	4
胸腔内（胸膜内）血腫除去術	0	0	1
膿胸胸膜切除術（1肺葉に相当する範囲を超えるもの）	1	0	0
胸腔鏡下膿胸腔搔爬術	3	3	4
胸郭形成手術（膿胸手術）（肋骨切除）	1	0	0
縦 隔			
胸腔鏡下縦隔切開術	1	0	0
縦隔腫瘍摘出術	0	0	1
縦隔悪性腫瘍手術（広汎摘出）	0	1	1
胸腔鏡下縦隔悪性腫瘍手術	1	4	0
気管支 ・ 肺			
気管支異物除去術（直達鏡による）	0	1	0
気管支瘻孔閉鎖術	0	0	5
肺切除術（肺葉切除）	1	0	0
胸腔鏡下肺切除術（肺嚢胞手術（楔状部分切除によるもの））	16	11	13
胸腔鏡下肺切除術（部分切除）	0	0	2
胸腔鏡下肺切除術（その他のもの）	1	1	0
胸腔鏡下良性縦隔腫瘍手術	1	0	2
胸腔鏡下縫縮術	0	0	2
肺悪性腫瘍手術（肺葉切除又は1肺葉を超えるもの）	0	0	1
肺悪性腫瘍手術（気管支形成を伴う肺切除）	0	1	1
胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術（部分切除）	6	10	12
胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術（区域切除）	0	0	6
胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術（肺葉切除又は1肺葉を超えるもの）	29	24	35
食 道			
食道狭窄拡張術（内視鏡によるもの）	3	3	0
食道狭窄拡張術（拡張用バルーンによるもの）	3	4	7
食道ステント留置術	3	10	1
内視鏡的食道粘膜切除術（早期悪性腫瘍粘膜下層剥離術）	3	3	0
食道悪性腫瘍手術（消化管再建手術併施）（腹部の操作）	1	0	0
内視鏡的食道・胃静脈瘤結紮術	2	1	1
内視鏡的食道異物摘出術	0	0	1

手術名	元年度	2年度	3年度
心・心膜・肺動静脈・冠血管等			
経皮的冠動脈形成術（急性心筋梗塞に対するもの）	9	3	14
経皮的冠動脈形成術（不安定狭心症に対するもの）	6	3	3
経皮的冠動脈形成術（その他のもの）	48	40	33
経皮的冠動脈形成術（高速回転式経皮経管アテレクトミーカテーテルによるもの）	0	0	2
経皮的冠動脈ステント留置術（急性心筋梗塞に対するもの）	31	31	22
経皮的冠動脈ステント留置術（不安定狭心症に対するもの）	15	18	35
経皮的冠動脈ステント留置術（その他のもの）	135	96	113
経皮的冠動脈血栓吸引術	2	2	0
体外ペースメーカー置入術	2	0	2
ペースメーカー移植術（経静脈電極）	39	34	47
ペースメーカー交換術	15	15	13
植込型心電図記録計移植術	1	0	2
大動脈バルーンパンピング（初日）	17	5	16
大動脈バルーン法（2日目以降）	111	37	53
経皮的心肺補助法（初日）	4	1	1
動 脈			
血管結紮術（その他）	1	0	1
動脈血栓内膜摘出術（内頸動脈）	0	0	1
経皮的頸動脈ステント留置術	19	12	20
動脈形成術（頭蓋内動脈）	1	0	0
動脈吻合術（指（手、足）の動脈）	2	1	1
動脈形成術、吻合術（その他の動脈）	2	1	1
内シャント設置術	33	30	57
抗悪性腫瘍剤動脈、静脈又は腹腔内持続注入用埋込型カテーテル設置（頭頸部その他）	70	58	61
血管塞栓術（頭部、胸腔、腹腔内血管等）（止血術）	1	3	1
血管塞栓術（頭部、胸腔、腹腔内血管等）（その他）	0	0	2
血管塞栓術（頭部、胸腔、腹腔内血管等）（その他）	2	0	2
四肢の血管拡張術・血栓除去術	3	17	23
四肢の血管吻合術	0	0	1
経皮的血管内異物除去術	0	1	2
経皮的シャント拡張術・血栓除去術	62	79	81
静 脈			
中心静脈注射用植込型カテーテル設置（四肢）	0	2	0
中心静脈注射用植込型カテーテル設置（頭頸部その他）	4	10	3
下大静脈フィルター留置術	0	0	1
リンパ管・リンパ節			
リンパ節摘出術（長径3cm未満）	10	7	7
リンパ節摘出術（長径3cm以上）	4	4	5
リンパ節群郭清術（腋窩）	0	0	1
頸部郭清術（片側）	0	0	1
腹 壁 ・ ヘルニア			
腹壁腫瘍摘出術（形成手術を必要としないもの）	1	0	0
ヘルニア手術（腹壁癒痕ヘルニア）	6	2	1
ヘルニア手術（白線ヘルニア）	1	0	0
ヘルニア手術（臍ヘルニア）	1	2	0
ヘルニア手術（鼠径ヘルニア）	93	52	35
ヘルニア手術（大腿ヘルニア）	5	3	1
ヘルニア手術（内ヘルニア）	1	1	0
腹腔鏡下ヘルニア手術（大腿ヘルニア）	3	1	1
腹腔鏡下ヘルニア手術（臍ヘルニア）	0	0	3
腹腔鏡下ヘルニア手術（閉鎖孔ヘルニア）	4	1	4
腹腔鏡下鼠径ヘルニア手術（両側）	41	34	69

手術名	元年度	2年度	3年度
腹膜・後腹膜・腸間膜・網膜			
胸水・腹水濾過濃縮再静注法	13	27	13
連続携帯式腹膜灌流用カテーテル腹腔内留置術	7	4	4
試験開腹術	3	0	0
腹腔鏡下試験開腹術	1	0	1
腹腔鏡下試験切除術	4	0	2
経皮的腹腔膿瘍ドレナージ術	4	5	4
限局性腹腔膿瘍手術（その他）	0	0	1
急性汎発性腹膜炎手術	2	6	3
腹腔鏡下汎発性腹膜炎手術	1	1	0
腸間膜損傷手術（腸管切除を伴わないもの）	0	0	1
腸間膜損傷手術（腸管切除を伴う）	1	0	0
腸間膜腫瘍摘出術（腸切除を伴わないもの）	0	0	1
大網切除術	0	0	1
腹腔鏡下大網、腸間膜、後腹膜腫瘍摘出術	0	1	0
胃・十二指腸			
胃縫合術（大網充填術又被覆術を含む）	4	3	1
内視鏡的胃、十二指腸ステント留置術	3	1	0
内視鏡的胃、十二指腸ポリープ・粘膜切除術（早期悪性腫瘍粘膜切除術）	5	0	0
内視鏡的胃、十二指腸ポリープ・粘膜切除術（早期悪性腫瘍粘膜下層剥離術）	9	18	21
内視鏡的胃、十二指腸ポリープ・粘膜切除術（その他のポリープ・粘膜切除術）	9	6	5
内視鏡的食道及び胃内異物摘出術	9	13	5
内視鏡的胃、十二指腸狭窄拡張術	2	2	1
胃局所切除術	0	0	1
内視鏡的消化管止血術	61	57	46
胃切除術（単純）	2	1	2
胃切除術（悪性腫瘍）	15	22	9
腹腔鏡下胃切除術（単純）	1	0	0
腹腔鏡下胃切除術（悪性腫瘍）	9	7	5
噴門側胃切除術（悪性腫瘍）	1	1	0
胃全摘術（悪性腫瘍）	8	15	11
腹腔鏡下胃全摘術（悪性腫瘍）	0	1	0
胃腸吻合術（ブラウン吻合を含む）	5	4	3
経皮的内視鏡下胃瘻造設術	4	5	11
胃瘻造設術（経皮的内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む）	5	5	4
胃瘻除去術	0	0	1
胆嚢・胆道			
胆嚢摘出術	37	59	43
腹腔鏡下胆嚢摘出術	93	73	79
胆嚢悪性腫瘍手術（胆嚢に限局する）	0	0	2
胆管悪性腫瘍手術（膵頭十二指腸切除術及び血行再建を伴うもの）	0	1	0
総胆管胃（腸）吻合術	0	1	0
胆嚢外瘻造設術	2	2	0
胆管外瘻造設術（経皮経肝）	5	1	8
経皮的胆管ドレナージ術	0	1	0
内視鏡的経鼻胆管ドレナージ術（ENBD）	0	0	1
内視鏡的胆道結石除去術（胆道碎石術を伴うもの）	2	3	2
内視鏡的胆道結石除去術（その他のもの）	3	0	0
内視鏡的胆道拡張術	0	0	1
内視鏡的乳頭切開術（乳頭括約筋切開のみのもの）	7	16	16
内視鏡的乳頭切開術（胆道碎石を伴う）	21	16	13
内視鏡的胆道ステント留置術	43	32	28

手術名	元年度	2年度	3年度
肝			
経皮的肝膿瘍ドレナージ術	5	4	1
肝切除術（部分切除）	2	7	5
肝切除術（外側区域切除）	1	2	2
肝切除術（1区域切除（外側区域切除を除く））	1	0	0
脾			
脾体尾部腫瘍切除術（脾尾部切除術）（脾同時切除）	1	0	1
脾体尾部腫瘍切除術（脾尾部切除術）（脾温存）	1	0	0
脾頭部腫瘍切除術（周辺臓器の合併切除を伴う腫瘍切除術）	1	0	0
脾頭部腫瘍切除術（脾頭十二指腸切除術）	1	0	0
脾頭部腫瘍切除術（リンパ節・神経叢郭清等を伴う）	0	1	0
内視鏡的脾管ステント留置術	0	1	0
脾			
脾摘出術	2	0	0
腹腔鏡下脾摘出術	1	0	1
空腸・回腸・盲腸・虫垂・結腸			
腸切開術	2	0	0
破裂腸管縫合術	0	0	1
腸管癒着症手術	6	8	7
腹腔鏡下腸管癒着剥離術	1	0	1
腸重積症整復（非観血的なもの）	2	4	0
小腸切除術（悪性腫瘍手術以外の切除術）	16	18	15
小腸切除術（悪性腫瘍手術）	1	2	1
腹腔鏡下小腸切除術（悪性腫瘍手術以外の切除術）	1	0	2
腹腔鏡下虫垂切除術（虫垂周囲膿瘍を伴わないもの）	61	42	34
腹腔鏡下虫垂切除術（虫垂周囲膿瘍を伴うもの）	17	25	22
結腸切除術（小範囲切除）	14	16	16
結腸切除術（結腸半側切除）	0	3	2
結腸切除術（全切除、亜全切除又は悪性腫瘍手術）	60	48	45
腹腔鏡下結腸切除術（小範囲切除、結腸半側切除）	3	6	3
腹腔鏡下結腸悪性腫瘍切除術	40	18	23
内視鏡的大腸粘膜切除術（長径2cm未満）	45	23	23
内視鏡的大腸粘膜切除術（長径2cm以上）	8	7	5
内視鏡的大腸ポリープ切除術（長径2cm未満）	356	328	390
内視鏡的大腸ポリープ切除術（長径2cm以上）	23	25	19
小腸結腸内視鏡的止血術	15	22	7
腸吻合術	0	3	1
人工肛門造設術	1	10	7
腹腔鏡下人工肛門造設術	5	0	2
人工肛門閉鎖術（腸管切除を伴わないもの）	1	0	0
人工肛門閉鎖術（腸管切除を伴うもの）	8	8	5
小腸・結腸狭窄部拡張術（内視鏡）	2	0	2
下部消化管ステント留置術	4	6	6
人工肛門形成術（その他）	0	1	0
直 腸			
直腸異物除去術（内視鏡によるもの）	1	0	0
直腸腫瘍摘出術（経肛門）	4	7	9
低浸襲経肛門的局所切除術（MITAS）	0	0	1
経肛門の内視鏡下手術（直腸腫瘍に限る）	1	0	0
直腸切除・切断術（切除術）	12	10	6
直腸切除・切断術（低位前方切除術）	4	2	3
直腸切除・切断術（切断術）	3	3	0
腹腔鏡下直腸切除・切断術（切除術）	5	8	6
腹腔鏡下直腸切除・切断術（低位前方切除術）	18	15	9
腹腔鏡下直腸切除・切断術（切断術）	4	6	3
直腸脱手術（経会陰）（腸管切除を伴わないもの）	1	0	0

手術名	元年度	2年度	3年度
肛 門 ・ その周辺			
痔核手術（硬化療法（四段階注射法によるもの））	7	1	0
肛門周囲膿瘍切開術	12	6	5
痔瘻根治手術（単純）	2	1	0
肛門悪性腫瘍手術（切除）	1	0	0
肛門悪性腫瘍手術（直腸切断を伴うもの）	1	0	0
肛門ポリープ切除術	0	0	1
腎 ・ 腎 盂			
腹腔鏡下副腎摘出術	1	1	1
腹腔鏡下副腎悪性腫瘍手術	1	0	1
副腎腫瘍摘出術（髓質腫瘍（褐色細胞腫））	0	0	1
経皮的尿路結石除去術（経皮的腎瘻造設術を含む）	0	2	0
体外衝撃波腎・尿管結石破砕術（一連につき）	25	23	13
腹腔鏡下腎嚢胞切除術	0	0	1
経皮的腎嚢胞穿刺術	1	1	0
腎（尿管）悪性腫瘍手術	1	2	0
腹腔鏡下腎（尿管）悪性腫瘍手術	9	14	0
経皮的腎（腎盂）瘻造設術	17	6	0
経皮的腎（腎盂）瘻拡張術（一連につき）	0	1	0
腎盂形成術	0	1	0
尿 管			
経尿道的尿路結石除去術（その他のもの）	9	11	0
経尿道的尿管狭窄拡張術	1	0	0
経尿道的尿管ステント留置術	122	132	0
経尿道的尿管ステント抜去術	18	13	0
尿管膀胱吻合術	1	2	0
膀 胱			
膀胱内凝血除去術	6	0	0
膀胱結石、異物摘出術（経尿道的手術）	11	10	0
膀胱結石、異物摘出（膀胱高位切開術）	1	0	0
膀胱壁切除術	1	0	0
経尿道的電気凝固術	1	0	0
膀胱悪性腫瘍手術（切除）	0	1	0
膀胱悪性腫瘍手術（全摘・腸管等利用し尿路変更を行わない）	1	0	0
膀胱悪性腫瘍手術（全摘・回腸又は結腸導管を利用して尿路変更を行う）	1	2	0
膀胱悪性腫瘍手術（全摘・代用膀胱を利用して尿路変更を行う）	0	0	0
膀胱悪性腫瘍手術（経尿道的手術・電解質溶液利用のもの）	68	63	0
膀胱悪性腫瘍手術（経尿道的手術）（その他）	0	1	0
尿膜管摘出術	0	0	0
膀胱瘻造設術	5	0	0
ポアリー氏手術	1	0	0
尿 道			
尿道結石、異物摘出術（前部尿道）	1	1	0
尿道結石、異物摘出術（後部尿道）	0	2	0
外尿道腫瘍切除術	2	3	0
尿道狭窄内視鏡手術	2	0	0
尿道狭窄拡張術（尿道バルーンカテーテル）	0	1	0
女子尿道脱手術	0	0	0
陰 茎			
陰茎悪性腫瘍手術（陰茎切除）	0	1	0
包茎手術（背面切開術）	0	0	0
包茎手術（環状切除術）	4	4	0

手術名	元年度	2年度	3年度
陰囊・精巣・精巣上体・精管・精索			
精巣摘出術	6	11	0
精巣悪性腫瘍手術	2	3	0
陰嚢水腫手術（その他）	5	1	0
停留精巣固定術	4	1	0
精索捻転手術（対側精巣固定術を伴う）	1	1	0
精索捻転手術（その他のもの）	1	0	0
精 嚢 ・ 前立腺			
前立腺腫瘍切開術	0	1	0
経尿道的前立腺手術（電解質溶液利用のもの）	3	7	0
経尿道的前立腺手術（その他のもの）	7	0	0
前立腺悪性腫瘍手術	1	0	0
腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術	12	14	0
外 陰 ・ 会 陰			
バルトリン腺腫瘍切開術	1	0	0
女子外生殖器腫瘍摘出術	0	0	0
外陰・膣血腫除去術	1	0	0
膣			
膣壁形成手術	1	1	0
子 宮			
子宮内膜搔爬術	1	0	0
子宮脱手術（膣壁形成手術・子宮全摘術）	4	9	0
子宮頸管ポリープ切除術	42	30	0
子宮頸部（膣部）切除術	9	14	0
子宮息肉様筋腫摘出術（膣式）	0	1	0
子宮筋腫摘出（核出）術（腹式）	1	0	0
子宮全摘術	35	31	0
腹腔鏡下膣式子宮全摘術	1	0	0
子宮悪性腫瘍手術	3	0	0
子宮附属器			
卵巣部分切除術（開腹）	4	3	0
卵巣部分切除術（腹腔鏡）	0	4	0
卵管結紮術（両側、開腹）	4	9	3
子宮附属器腫瘍摘出術（両側・開腹）	46	38	44
子宮附属器腫瘍摘出術（両側・腹腔鏡）	0	7	11
卵管全摘除術（両側、開腹）	1	0	0
子宮附属器悪性腫瘍手術（両側）	2	0	0
産科手術			
吸引娩出術	18	10	10
鉗子娩出術（低位（出口）鉗子）	1	0	1
鉗子娩出術（中位鉗子）	2	0	1
会陰（膣壁）裂創縫合術（分娩時・筋層に及ぶ）	2	3	0
会陰（膣壁）裂創縫合術（分娩時・肛門に及ぶ）	11	15	2
会陰（膣壁）裂創縫合（分娩時・膣口蓋に及ぶ）	3	0	1
会陰（膣壁）裂創縫合（分娩時・直腸裂創を伴うもの）	0	0	1
頸管裂創縫合術（分娩時）	1	7	3
帝王切開術（緊急切開）	30	22	18
帝王切開術（選択切開）	30	33	38
胎盤用手剥離術	0	2	2
流産手術（妊娠11週まで）	20	19	23
異所性妊娠手術（開腹）	1	1	2
異所性妊娠手術（腹腔鏡）	2	3	1

手術名	元年度	2年度	3年度
歯科口腔外科手術			
後出血処置	1	3	4
抜歯手術・乳歯	6	5	6
抜歯手術・前歯	122	107	150
抜歯手術・臼歯	324	347	455
ヘミセクション（分割抜歯）	0	1	1
抜歯手術・埋伏歯	117	113	157
抜歯窩再搔爬手術	1	7	7
歯槽骨整形手術	0	0	3
骨瘤除去手術	0	3	14
口腔内消炎手術（歯肉膿瘍等）	0	2	0
口腔内消炎手術（骨膜下膿瘍・口蓋膿瘍等）	4	2	0
口腔内消炎手術（顎炎・顎骨骨髓炎等） 1 / 3 顎未満	1	1	3
外歯瘻手術	1	0	0
口腔外消炎手術 骨膜下膿瘍、皮下腫瘍、蜂窩織炎等（5 c m未満）	2	0	1
顎骨腫瘍摘出術（3 c m未満）	11	6	11
顎骨腫瘍摘出術（3 c m以上）	1	1	1
歯肉・歯槽部腫瘍手術（軟組織）	5	4	6
歯肉・歯槽部腫瘍手術（硬組織）	1	6	2
歯根嚢胞摘出手術（歯冠大）	21	8	10
歯根嚢胞摘出手術（拇指頭大）	5	4	5
歯根端切除手術（2以外の場合）	0	7	1
口腔内縫合術（小浅）	0	0	1
口腔内縫合術（小深）	5	4	1
がま腫切開術	3	0	0
口蓋腫瘍摘出術（口蓋粘膜）	3	2	3
口唇腫瘍摘出術（粘液嚢胞摘出術）	6	1	1
歯槽骨骨折非観血的整復術（3歯以上）	0	0	2
下顎骨骨折非観血的整復術	0	0	2
顎関節脱臼非観血的整復術	8	8	2
歯科インプラント摘出術（人工歯根）	0	1	0
口腔内軟組織異物（人工物）除去術（簡単）	2	0	0
腐骨除去手術（歯槽部）	6	3	3
腐骨除去手術顎骨（片側1 / 3 未満）	7	2	2
腐骨除去手術顎骨（片側1 / 3 以上）	0	2	5
顎骨嚢胞開窓術	0	0	1
頬・口唇・舌小帯切離移動術	1	0	0
口蓋隆起形成術	2	0	2
歯の再植術（外傷性脱臼歯）	4	0	0
顎堤形成術（簡単）	0	2	0
歯の破折片除去	0	0	2
上顎洞口腔瘻閉鎖術（困難）	0	3	1
埋伏歯開窓術	3	1	2
歯槽骨骨折観血的整復術（3歯以上）	2	1	0
口腔外縫合術（小浅）	0	1	0
口腔外縫合術（小深）	1	1	1
口腔外縫合術（中深）	1	1	0
下顎隆起形成術（片側）	0	0	1
下顎隆起形成術（両側）	1	0	3
顎骨内異物除去術（困難・顎骨2 / 3 顎未満）	0	0	7
顎骨内異物除去術（困難・全顎にわたる）	0	0	1
歯科インプラント摘出術（人工歯根）（骨開さく）	0	1	1
術後性上顎嚢胞摘出術（上顎に限局するもの）	1	2	0
歯根嚢胞摘出術（鶏卵大）	1	0	1
上顎洞陥入歯等除去術（犬歯窩開さくにより行う場合）	1	0	0
歯の移植手術（自家骨移植）	0	1	1
歯根端切除手術（1歯につき）（歯科用3次元エックス線断面撮影装置及び手術用顕微鏡を用いた場合）	22	7	14

手術名	元年度	2年度	3年度
加 算 (医 科)			
手指の創傷に係る機能回復指導加算	4	22	0
術中透視装置使用加算	3	13	13
乳児加算 (手術)	3	4	2
幼児加算 (手術)	47	44	38
3才未満幼児加算 (手術)	32	15	26
麻酔加算 (MRSA, B型・C型肝炎, 結核患者)	16	43	46
時間外特例医療機関加算2 (処置・手術)	29	75	88
周術期口腔機能管理後手術加算	114	165	182
頸部郭清術加算 (片側)	1	0	1
真皮縫合加算	6	4	6
デブリードマン加算 (汚染された挫創)	64	73	81
デブリードマン (100㎡未満)	0	0	0
センチネルリンパ節加算	0	1	0
下顎骨形成術 (両側・同時) 加算	0	1	2
乳がんセンチネルリンパ加算1	42	29	32
バルーン内視鏡加算	1	0	0
人工肛門造設加算 (結腸切除術)	0	5	5
人工肛門造設加算 (直腸切除・切断術)	1	1	0
人工肛門造設加算 (腹腔鏡下直腸切除・切断術)	0	1	2
複雑加算 (帝王切開術)	23	24	34
超音波凝固切開装置等加算	428	387	344
創外固定器加算	3	1	1
自動縫合器加算	914	820	817
自動吻合器加算	58	62	43
画像等手術支援加算 (実物大臓器立体モデルによるもの)	0	0	1
術中血管等描出撮影加算	7	16	7
人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算	35	29	25
超音波切削機器加算	0	1	5
加 算 (歯 科)			
骨吸収抑制薬関連顎骨壊死又は放射線性顎骨壊死加算	7	3	2
下顎完全埋伏智歯 (骨性) 加算	5	0	2
下顎水平埋伏智歯加算	94	93	134
難抜歯加算 (臼歯)	63	99	88
難抜歯加算 (前歯)	1	0	0

※1. この件数は、医事算定データから抽出したものです。

9. 薬剤部

(1) 処方箋

(単位：枚)

区 分	令和元年度	令和2年度	令和3年度
入院	38,599	35,051	38,921
外来	105,093	89,478	92,604
院内	10,138	9,356	9,544
院外	94,955	80,122	83,060
院外処方箋発行率%	90.3	89.5	89.7
計	143,692	124,529	131,525

(2) 調剤

(単位：件)

区 分	令和元年度	令和2年度	令和3年度
入院	79,001	73,007	77,922
外来	19,717	18,000	19,666
計	98,718	91,007	97,588
調剤の内訳			
内服	73,408	67,355	71,904
外用	16,434	16,055	16,542
頓服	8,876	7,597	9,142

(3) 薬剤管理指導

(単位：件)

区 分	令和元年度	令和2年度	令和3年度
入院	13,236	12,270	13,005

(4) 混注（ミキシング）状況

(単位：件)

区 分	令和元年度	令和2年度	令和3年度
ミキシング	4,550	5,165	4,847
1VH	1,278	1,369	1,076
抗悪性腫瘍	3,272	3,796	3,771
その他	0	6	27
セット	246,710	194,138	206,851

(5) 病棟薬剤業務実施加算

(単位：件)

区 分	令和元年度	令和2年度	令和3年度
D P C対象患者	18,496	15,960	15,739
出来高算定患者	1,177	1,177	1,336
計	19,673	17,137	17,075

(6) 採用医薬品

(単位：品)

区 分	令和元年度	令和2年度	令和3年度
採用薬品数	1,716	1,761	1,821
新規院内採用数	83	93	78
新規院外のみ採用数	64	25	35

(7) 製剤状況

剤形	製剤名	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
内用液剤	ATRA乳剤	100ml	0	0	0
	DMSOシロップ (内服)	47ml	0	0	0
	ルゴール液 (内服用)	100ml	0	0	0
アンプル	無水エタノールアンプル	1A	0	0	0
	1%ピオクタニンアンプル	1A	0	0	0
	墨汁アンプル	1A	75	104	58
	1%メチレンブルーアンプル	1A	0	0	0
点眼剤	生食点眼液	5ml	0	0	0
	0.5%アトロピン点眼液	5ml	4	6	9
	ジフルカン点眼液0.2%	5ml	0	0	0
	バンコマイシン点眼液	5ml	4	4	0
	マイトマイシン点眼液	5ml	0	0	0
点耳	鼓膜麻酔液	10ml	0	0	0
	ファンギゾン点耳液	5mL	0	0	0
	フロリード点耳液	5mL	0	0	0
	インプレトール	1A	0	0	0
吸入剤	耳鼻科用吸入液	50ml	96	3	0
	ファンギゾン吸入液	100ml	0	0	0
	カナマイシン吸入液	100ml	0	0	0
外用液剤	ロピオン含嗽水	100ml	0	0	0
	アロプリノール含嗽水	500ml	0	0	0
	ファンギゾン含嗽水	500ml	0	0	0
	ボラブレジンク含嗽水	100ml	39	19	31
	スペシャル含嗽水	500ml	9	20	14
	DMSO膀胱注入液	80ml	0	0	0
	LPA注腸液	100ml	0	0	0
		50ml	0	0	0
	安息香酸ベンジルローション	100ml	0	0	0
	20%塩化アルミニウム液	100ml	0	0	0
	10%塩化アルミニウム液	100ml	0	0	0
	1%ピオクタニン (外用)	100ml	10	12	14
	0.05%ピオクタニン (外用)	200mL	0	0	13
	5000倍ボスミン液	100ml	217	320	312
50000倍ボスミン液	100ml	0	0	0	
坐剤	チラージンS坐剤	1個	15	15	0
	リンコデ坐剤	1個	0	0	0
軟膏	γ-BHC	100g	0	0	0
	0.1%ポリミキシンB軟膏	500g	3	0	0
	モーズペースト	100g	3	0	0
	オバホルモン軟膏	20g	0	0	0
その他	4%カリ石ケン	18L	0	0	0
	滅菌ハイアミン入りグリセリン	100ml	0	0	0
	ボール水	500ml	0	0	0
	10%ホルマリン液	500ml	0	0	0
	10%ホルマリン液	18L	0	0	0
	20%ホルマリン液	18L	0	0	0
	滅菌グリセリン	100ml	0	0	0
	2%チオ硫酸ナトリウム	500ml	0	0	0
	グリセリン・ヘキサックアルコール	500ml	0	0	0
	ナーベル散	1g	0	0	0
	10%硝酸銀液	30ml	10	9	8
	20%硝酸銀液	100ml	0	0	0
	ルゴール液 (染色用)	50ml	13	9	9
	ロイコボリン含嗽水	500ml	7	2	2
	メトロニゾール軟膏	500g	8	43	1
	3%酢酸液	500ml	3	4	4
0.5%ヒビテン液	500ml	0	1	2	

(8) 麻薬

製剤名	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
塩酸モルヒネ注10mg	A	1099	677	707
塩酸モルヒネ注50mg	A	364	138	187
塩酸モルヒネ注200mg	A	248	19	66
フェンタニル注	A	3279	3,303	3027
塩酸モルヒネ錠	錠	0	0	0
ベチジン注	A	79	122	135
塩酸モルヒネ末	g	0	0	0
MS コンチン10mg	錠	1434	376	288
MS コンチン30mg	錠	178	34	32
MS コンチン60mg	錠	70	0	0
オキシコドン徐放錠5m g	錠	5452	4,800	3537 (以降オキシコドン徐放錠NXへ変更)
オキシコドン徐放錠20m g	錠	2420	1,126	442
オキシコドン徐放錠40m g	錠	484	153	590 (以降オキシコドン徐放錠NXへ変更)
オキシコドン徐放錠NX5m g	錠	-	-	759
オキシコドン徐放錠NX40m g	錠	-	-	589
オプソ5mg	包	1150	463	400
オプソ10mg	包	730	648	0
アンペック坐剤10mg	個	132	249	346
アンペック坐剤20mg	個	0	0	0
アンペック坐剤30mg	個	0	0	0
オキノーム散2.5mg	包	2684	1,992	1339
オキノーム散5mg	包	1397	1,057	583
オキノーム散10mg	包	880	364	260
オキノーム散20mg	包	596	578	1452
レミフェンタニル2m g	V	1347	1,219	1251
フェントステープ0.5mg	枚		375	300
フェントステープ1mg	枚	1192	694	692
フェントステープ2mg	枚	429	337	87
フェントステープ4mg	枚	148	72	49
フェントステープ6mg	枚	114	9	42
フェントステープ8mg	枚	261	61	21
オキファスト注10m g	A	434	374	117 (以降オキシコドン注へ変更)
オキファスト注50m g	A	867	114	55 (以降オキシコドン注へ変更)
オキシコドン注10m g	A	-	-	0
オキシコドン注50m g	A	-	-	6
アブストラル舌下錠100 μ g	錠	140	225	115
アブストラル舌下錠200 μ g	錠	25	10	25
アブストラル舌下錠400 μ g	錠	0	0	0
タペンタ錠25m g	錠	0	0	0
タペンタ錠50m g	錠	0	0	0
ナルベイン注2m g	A	8	1178	428
ナルベイン注20m g	A	0	177	25
ナルサス錠2m g	錠	372	2625	3191
ナルサス錠6m g	錠	82	817	1116
ナルサス錠12m g	錠	45	195	114
ナルサス錠24m g	錠	196	477	0
ナルラピド錠1m g	錠	266	1847	2113
ナルラピド錠2m g	錠	65	537	849
ナルラピド錠4m g	錠	845	1275	10
ケタラール静注用200m g	V	0	0	0

10. 放射線室
(1) 種別部位別

*入院棟

種別	部位	令和元年度			令和2年度			令和3年度		
		人数	件数	回数	人数	件数	回数	人数	件数	回数
一般撮影	頭部	21	39	44	13	23	23	13	21	21
	胸部	9,371	9,650	9,650	8,469	8,921	8,950	8,745	9,261	9,327
	腹部	2,761	4,695	4,692	2,307	4,183	4,185	2,209	3,725	3,727
	四肢	1,744	3,586	4,067	1,274	2,616	2,894	1,595	3,309	3,802
	脊椎・骨全般	1,615	3,229	3,313	1,120	2,236	2,244	1,573	3,339	3,345
	計	15,512	21,199	21,766	13,183	17,979	18,296	14,135	19,655	20,222
TV系	消化器系	287	311	769	300	305	1,249	248	259	1,187
	外科系	97	101	363	90	90	610	81	82	460
	尿路系	33	34	115	36	36	217	21	21	61
	呼吸器・血管・産婦人科系	213	216	225	260	264	280	187	188	212
	整形外科系	85	93	117	41	43	47	57	62	80
	その他	3	3	8	3	3	12	5	5	5
	計	718	758	1,597	730	741	2,415	599	617	2,005
手術室	胸部ポータブル	724	725	725	673	689	690	665	698	700
	腹部ポータブル	655	655	658	597	597	600	569	569	570
	四肢ポータブル	374	741	783	303	583	611	356	704	734
	脊椎・骨全般ポータブル	170	336	337	153	299	301	175	338	341
	骨透視	115	115	115	350	351	351	384	384	384
	胸部透視	76	76	61	71	71	49	69	69	76
	腹部透視	153	153	229	149	149	332	174	174	373
	その他透視	0	0	0	2	2	2	2	3	3
	計	2,267	2,801	2,908	2,298	2,741	2,936	2,394	2,939	3,181
その他	ポータブル	8,453	8,533	8,547	6,818	6,880	6,893	9,136	9,214	9,231
	コピー	2,643	2,647	2,677	2,439	2,462	2,489	2,469	2,506	2,516
	計	11,096	11,180	11,224	9,257	9,342	9,382	11,605	11,720	11,747
合計	29,593	35,938	37,495	25,468	30,803	33,029	28,733	34,931	37,155	

*外来棟

種別	部位	令和元年度			令和2年度			令和3年度		
		人数	件数	回数	人数	件数	回数	人数	件数	回数
一般撮影	頭頸部	37	61	61	24	37	38	31	49	50
	胸部	13,267	14,472	14,472	11,230	12,611	12,709	12,165	13,699	13,841
	腹部	2,320	3,573	3,573	1,791	2,850	2,850	1,835	2,777	2,777
	四肢	3,306	6,935	7,962	2,794	5,836	6,660	3,434	7,336	8,738
	脊椎・骨全般	2,660	6,264	6,556	1,574	3,536	3,582	2,324	5,925	6,010
	乳房	652	652	652	552	552	552	637	640	1,538
	バイオプシー	22	22	22	17	17	17	15	15	15
	計	22,264	31,979	33,298	17,982	25,439	26,408	20,441	30,441	32,969
TV系	消化器系	158	160	267	139	139	687	115	115	591
	尿路系	66	66	83	74	74	283	67	68	254
	整形外科系	35	35	55	25	26	44	51	51	78
	その他	0	0	0	1	1	4	4	4	7
	計	259	261	405	239	240	1,018	237	238	930
顎口腔	デンタル	242	309	309	232	314	314	317	470	470
	コンビームCT	97	119	119	36	43	43	92	113	113
	パノラマ	754	754	754	651	652	652	678	696	696
	計	1,093	1,182	1,182	919	1,009	1,009	1,087	1,279	1,279
骨密度	551	551	551	607	608	608	859	861	861	
コピー	4,189	4,206	4,260	3,181	3,194	3,237	3,545	3,555	3,591	
合計	28,356	38,179	39,696	22,928	30,490	32,280	26,169	36,374	39,630	

(2) CT検査

種別	部位	令和元年度				令和2年度				令和3年度			
		人数	件数		枚数	人数	件数		枚数	人数	件数		枚数
			単純	造影			単純	造影			単純	造影	
入院棟	頭部	3,591	4,001	425	4,426	2,969	3,270	370	3,640	3,310	3,710	375	4,085
	頸部	611	1,002	418	1,420	489	887	214	1,101	507	1,005	194	1,199
	胸部	3,278	4,909	2,294	7,203	3,162	5,180	1,658	6,838	3,534	5,905	1,736	7,641
	腹部	1,618	1,350	2,096	3,446	1,490	1,315	1,808	3,123	1,406	1,436	1,526	2,962
	骨盤部	326	689	176	865	254	463	152	615	254	588	106	694
	脊椎・脊髄	118	324	0	324	103	294	6	300	129	384	10	394
	範囲指定	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	治療計画	207	419	0	419	180	409	0	409	157	395	0	395
	四肢	277	921	61	982	210	667	66	733	291	951	98	1,049
	(データ)	—	0	0	0	—	0	0	0	—	0	0	0
計	10,026	13,615	5,470	19,085	8,857	12,485	4,274	16,759	9,588	14,374	4,045	18,419	
外来棟	頭部	1,158	1,216	320	1,536	1,013	1,230	257	1,487	968	1,326	162	1,488
	頸部	319	241	433	674	330	329	371	700	250	290	226	516
	胸部	3,248	4,238	2,460	6,698	3,112	4,236	2,201	6,437	3,367	4,891	2,242	7,133
	腹部	2,634	1,465	4,035	5,500	2,457	1,590	3,538	5,128	2,564	1,776	3,586	5,362
	骨盤部	766	663	1,225	1,888	704	602	1,117	1,719	743	645	1,169	1,814
	脊椎・脊髄	89	270	0	270	63	202	0	202	55	177	0	177
	範囲指定	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	四肢	295	940	81	1,021	215	689	66	755	257	762	144	906
	(データ)	—	238	0	238	0	222	0	222	—	227	0	227
	計	8,509	9,033	8,554	17,587	7,894	8,878	7,550	16,428	8,204	9,867	7,529	17,396
合計	頭部	4,749	5,217	745	5,962	3,982	4,500	627	5,127	4,278	5,036	537	5,573
	頸部	930	1,243	851	2,094	819	1,216	585	1,801	757	1,295	420	1,715
	胸部	6,526	9,147	4,754	13,901	6,274	9,416	3,859	13,275	6,901	10,796	3,978	14,774
	腹部	4,252	2,815	6,131	8,946	3,947	2,905	5,346	8,251	3,970	3,212	5,112	8,324
	骨盤部	1,092	1,352	1,401	2,753	958	1,065	1,269	2,334	997	1,233	1,275	2,508
	脊椎・脊髄	207	594	0	594	166	496	6	502	184	561	10	571
	範囲指定	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	四肢	572	1,861	142	2,003	425	1,356	132	1,488	548	1,713	242	1,955
	(データ)	—	238	0	238	—	222	0	222	—	227	0	227
	合計	18,328	22,229	14,024	36,253	16,571	20,954	11,824	32,778	17,635	23,846	11,574	35,420

(3) MRI検査

種別	部位	令和元年度				令和2年度				令和3年度			
		人数	件数		枚数	人数	件数		枚数	人数	件数		枚数
			単純	造影			単純	造影			単純	造影	
入院棟	脳	1,630	9,083	1,433	10,516	1,465	8,654	713	9,367	1,578	9,386	764	10,150
	脊椎・脊髄	497	531	22	553	350	372	12	384	468	606	10	616
	頭頸	34	83	4	87	40	166	0	166	66	247	4	251
	胸部	26	3	61	64	15	9	22	31	20	17	39	56
	腹部	212	180	33	213	179	149	33	182	180	165	25	190
	骨盤	126	88	52	140	101	81	36	117	118	90	34	124
	四肢	144	145	12	157	92	93	5	98	130	134	16	150
	(データ)	—	117	0	117	—	111	0	111	—		0	
	計	2,669	10,113	1,617	11,730	2,242	9,524	821	10,345	2,560	10,645	892	11,537

外来棟	脳	1,349	7,372	1,903	9,275	1,238	6,362	2,351	8,713	1,233	6,405	2,134	8,539
	脊椎・脊髄	285	407	11	418	332	517	16	533	291	489	15	504
	頭頸	93	84	29	113	85	101	27	128	80	186	59	245
	胸部	132	35	112	147	105	25	85	110	125	32	99	131
	腹部	315	209	107	316	289	204	86	290	335	246	89	335
	骨盤	338	71	275	346	311	94	245	339	356	83	279	362
	四肢	119	143	25	168	140	164	20	184	181	212	41	253
	(データ)	—	9	0	9	—	12	0	12	—	14	0	14
	計	2,631	8,330	2,462	10,792	2,500	7,467	2,830	10,297	2,601	7,653	2,716	10,369
	人間ドック(脳)	202	202	0	1,221	193	193	0	1,158	232	232	0	1,385
計	2,833	8,532	2,462	12,013	2,693	7,660	2,830	11,455	2,833	7,885	2,716	11,754	
			10,994				10,490				10,601		
合計	脳	2,979	16,455	3,336	19,791	2,703	15,016	3,064	18,080	2,811	15,791	2,898	18,689
	脊椎・脊髄	782	938	33	971	682	889	28	917	759	1,095	25	1,120
	頭頸	127	167	33	200	125	267	27	294	146	433	63	496
	胸部	158	38	173	211	120	34	107	141	145	49	138	187
	腹部	527	389	140	529	468	353	119	472	515	411	114	525
	骨盤	464	159	327	486	412	175	281	456	474	173	313	486
	四肢	263	288	37	325	232	257	25	282	311	346	57	403
	(データ)	—	126	0	126	0	123	0	123	—	14	0	14
	計	5,300	18,434	4,079	22,513	4,742	16,991	3,651	20,642	5,161	18,298	3,608	21,906
	人間ドック(脳)	202	202	0	1,221	193	193	0	1,158	232	232	0	1,385
合計	5,502	18,636	4,079	23,734	4,935	17,184	3,651	21,800	5,393	18,530	3,608	23,291	
			22,715				20,835				22,138		

(4) 循環器

種別	部位	令和元年度			令和2年度			令和3年度		
		人数	件数	枚数	人数	件数	枚数	人数	件数	枚数
循環器	心カテ(診断)	617	895	895	459	565	565	472	564	564
	心カテ(治療)		756	756		557	557		662	662
	血管治療	115	125	125	83	93	93	94	107	107
	頭頸部	121	405	405	87	372	372	100	393	393
	胸部	4	4	4	1	1	1	4	4	4
	腹部	11	24	24	11	34	34	18	28	28
	四肢	75	81	81	94	95	95	106	109	109
	静脈・その他	1	1	1	3	4	4	0	0	0
	合計	944	2,291	2,291	738	1,721	1,721	794	1,867	1,867

(5) RI・PET

種別	部位	令和元年度			令和2年度			令和3年度		
		人数	件数	回数	人数	件数	回数	人数	件数	回数
RI	脳	90	90	90	63	63	63	96	96	96
	甲状腺	6	6	6	21	21	21	19	19	19
	肺	5	5	5	6	6	6	4	4	4
	心臓	86	86	86	57	57	57	73	73	73
	腎	29	29	29	19	19	19	18	18	18
	肝・胆道	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	腫瘍	14	14	14	3	3	3	4	4	4
	骨	392	392	392	365	365	365	298	298	298
	その他	58	58	58	51	51	51	45	45	45
	(データ)	—	0	0	—	0	0	—	37	37
	合計	680	680	680	585	585	585	557	594	594
PET	全身	426	426	426	430	430	430	470	470	470
	(データ)	—	2	2	—	7	7	56	58	58
	合計	426	426	426	430	430	430	526	528	528

(6) 治療 (ライナック)

区分		令和元年度			令和2年度			令和3年度		
		X線	電子線	合計	X線	電子線	合計	X線	電子線	合計
患者数	入院	1,371	13	1,384	1,084	0	1,084	960	0	960
	外来	1,429	15	1,444	1,305	22	1,327	984	81	1,065
	合計	2,800	28	2,828	2,389	22	2,411	1,944	81	2,025
照射門数	入院	4,022	30	4,052	3,413	0	3,413	2,963	0	2,963
	外来	4,157	15	4,172	4,687	32	4,719	3,630	81	3,711
	合計	8,179	45	8,224	8,100	32	8,132	6,593	81	6,674

区分		令和元年度			令和2年度			令和3年度		
		入院	外来	合計	入院	外来	合計	入院	外来	合計
疾患別件数	脳・脊髄腫瘍	0	0	0	58	0	58	35	0	35
	頭頸部腫瘍	0	107	107	0	43	43	0	136	136
	食道癌	254	20	274	252	22	274	71	16	87
	肺がん (原発)	693	217	910	570	125	695	610	43	653
	乳がん (原発)	15	871	886	48	581	629	0	376	376
	胃がん (原発)	18	22	40	12	16	28	12	53	65
	肝がん (原発)	0	4	4	0	14	14	0	13	13
	大腸がん (原発)	118	0	118	35	99	134	21	178	199
	婦人科腫瘍	0	0	0	0	0	0	22	0	22
	泌尿器系腫瘍	138	244	382	168	179	347	158	201	359
	造血器リンパ系腫瘍	257	20	277	67	240	307	175	48	223
	皮膚・骨・軟部腫瘍	0	63	63	0	51	51	0	77	77
	その他がん	80	56	136	48	109	157	0	5	5
	合計	1,573	1,624	3,197	1,258	1,479	2,737	1,104	1,146	2,250

(7) その他

(単位: 件)

区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度
結石破碎	81	83	26

1 1. 検査室

(1) 検査件数

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
臨床化学	1,469,039	1,400,341	1,381,267
血清	200,172	193,948	198,325
血液	272,606	259,733	255,317
尿糞便	115,771	109,523	107,722
細菌	27,195	22,110	18,274
生理	52,528	45,471	48,347
病理	12,321	11,828	14,673
外注	52,313	51,285	48,847
採血 (採血管本数)	311,947	282,224	302,104
計	2,513,892	2,376,463	2,374,876

(2) 検査項目別件数

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
臨床化学	TP	61,131	54,794	58,232
	ALB	62,483	56,019	59,418
	T-Bil	70,679	61,846	65,051
	D-Bil	12,693	12,583	13,057
	AST(GOT)	84,074	74,512	77,519
	ALT(GPT)	90,535	79,638	83,515
	LDH	81,102	70,965	73,865
	CK	54,973	46,739	51,370
	CK-MB(CK-MB定量を含む)	2,554	2,691	2,456
	ALP	68,970	61,221	64,335
	γ-GTP	69,760	62,778	67,081
	Che	8,423	7,568	8,291
	T-CHO	18,483	16,234	16,933
	HDL-C	31,811	27,707	30,063
	LDL-C	32,448	29,273	32,091
	TG	36,006	31,820	34,413
	フェリチン	5,626	5,896	5,980
	プレアルブミン	335	328	238
	C3	1,113	1,068	1,221
	C4	1,094	1,062	1,195
	NH3	1,370	1,014	1,042
	トロポニンT(トロポニンIを含む)	1,540	1,502	1,501
	PCT	2,599	3,350	3,669
	Na	84,422	75,071	77,619
	K	84,446	75,113	77,622
	Cl	72,671	64,813	66,266
	Ca	34,557	32,908	33,676
	P	7,479	7,228	7,264
	Mg	3,522	3,297	3,823
	Zn	709	827	901
	Fe	4,561	4,350	4,380
	UIBC	4,236	3,870	3,876
	BUN	86,829	76,122	79,646
	S-Cr	92,004	81,231	84,610
	U-Cr	10,559	10,092	10,723
	UA	48,056	41,853	45,576
	S-AMY	31,025	31,149	30,938
	U-AMY	39	33	37
	ICG	6	17	13
	血糖	58,611	52,201	56,753
	HbA1C	27,210	24,738	26,522
	ペプシノーゲン	1,891	1,850	1,709
	KL6	3,226	3,589	4,173
	グリコアルブミン	1,318	1,661	1,628
	血清補体価	1,491	1,359	1,562
	血清浸透圧	1,715	1,658	1,538
	尿浸透圧	398	420	395
尿蛋白定量	10,442	9,994	10,663	
計	1,471,225	1,316,052	1,384,449	

		令和元年度	令和2年度	令和3年度
免	ASO	272	256	254
	CRP	62,978	57,069	60,514
	RF	1,825	1,756	2,038
	IgG	3,218	2,900	3,010
	IgA	2,419	1,944	2,003
	IgM	2,311	1,808	1,874
疫	HBs抗原	14,616	12,824	14,437
	HBs抗体	309	1,351	1,436
	HBc抗体	314	520	616
	RPR	13,879	12,102	13,646
	TPHA	13,876	1,212	13,639
	HCV抗体	14,486	12,699	14,285
	HIV抗体	12,133	10,401	12,272
	輸血後H I V抗体	12	12	2
	寒冷凝集反応	32	33	28
	清	TSH	5,785	5,076
FT3		5,303	4,454	5,237
FT4		5,826	5,118	5,689
PSA		4,679	4,220	4,424
CEA		8,666	8,463	8,687
CA19-9		6,660	6,299	6,241
AFP		1,393	1,006	1,147
NSE		0	326	520
ProGRP		0	456	714
BNP		14,945	13,268	15,533
NT-ProBNP		0	0	0
バルプロ酸血中濃度		193	143	112
フェニトイン		41	51	43
フェノバル		47	54	47
カルバマゼピン		199	175	125
バンコマイシン		133	121	77
新型コロナウイルス抗原定量		0	0	1,947
計		196,550	166,117	196,217

血	血算	95,805	84,249	87,489
	網赤血球	4,913	4,069	3,620
	血液像	60,690	54,225	56,044
	血液像目視	868	693	311
液	PT	23,369	21,094	22,353
	APTT	20,793	18,726	20,118
	Fib	14,371	12,874	13,141
	FDP	16,006	14,539	14,594
検	Dダイマー	18,540	18,304	20,126
	ATIII	460	343	428
査	ABO式血液型	3,507	3,655	4,403
	Rh式血液型	3,493	3,618	4,400
	血沈	6,844	6,863	7,620
	骨髄検査	272	228	215
計	269,931	243,480	254,862	

		令和元年度	令和2年度	令和3年度
一 般 検 査	沈渣	26,775	23,694	24,896
	尿定性検査	48,042	42,070	44,079
	尿糖定量	56	77	50
	HCG定量(尿中HCG)	10	9	8
	妊娠反応	130	98	104
	ヒトヘモグロビン	12,605	11,303	12,418
	ロタウイルス	110	26	27
	レジオネラ	367	288	232
	肺炎球菌	397	309	238
	新型コロナウイルス抗原定性	0	0	3,324
	インフルエンザウイルス	1,709	343	313
	RSウイルス	238	80	174
	アデノウイルス	480	258	213
	ストレプト	365	206	113
	マイコプラズマ抗原	121	22	8
	クラミジア	171	131	152
	CDトキシン	165	167	153
	ノロ抗原定性	74	11	28
	髄液検査	75	70	54
	穿刺液検査	112	74	120
計	92,002	79,236	86,704	

生 理 検 査	心電図	22,406	19,505	21,430
	負荷心電図	278	233	223
	脳波	290	210	223
	肺機能	1,156	838	854
	聴力	6,985	6,798	6,975
	重心動揺	109	84	101
	パワーベクトル	109	84	101
	ABI	833	658	679
	トレッドミル	8	0	9
	ホルター心電図	288	225	240
	リアルタイム心電図	0	0	0
	新生児ABR	266	200	198
	心臓カテーテル	684	524	559
	超音波	12,325	10,442	11,629
	心エコー	(3,845) ※1	(3,142) ※1	(3,595) ※1
	腹部エコー	(5,683) ※1	(4,718) ※1	(5,240) ※1
	甲状腺エコー	(476) ※1	(427) ※1	(409) ※1
	頸動脈エコー	(491) ※1	(452) ※1	(471) ※1
	乳腺エコー	(984) ※1	(791) ※1	(849) ※1
	下肢血管エコー	(499) ※1	(539) ※1	(610) ※1
腎エコー	(159) ※1	(127) ※1	(145) ※1	
経食道エコー	(19) ※1	(5) ※1	(6) ※1	
その他エコー	(169) ※1	(241) ※1	(304) ※1	
肺拡散能検査	111	130	144	
呼吸中NO(一酸化窒素)濃度	444	236	181	
血液ガス	6,174	5,234	4,711	
神経伝導速度	94	98	97	
簡易型睡眠時無呼吸検査	53	34	67	
計	52,613	45,533	48,421	

*1 内訳

		令和元年度	令和2年度	令和3年度
病理	組織診	4,570	3,783	4,110
	迅速組織診断	134	103	112
	細胞診	7,756	6,792	7,175
	免疫染色	3,426	2,466	2,711
	剖検数	8	4	3
	合計	15,894	13,148	14,111
細菌	一般塗抹	7,560	4,768	5,331
	一般培養	8,597	5,248	5,851
	嫌気培養	581	738	402
	感受性テスト	8,092	4,897	5,490
	TB塗抹	1,133	713	654
	真菌培養	923	432	654
	結核菌DNA	17	7	7
	合計	26,903	16,803	18,389

病理・細菌検査は入院棟で検査（ノロウイルス抗原・CDトキシンは一般の統計へ）

内訳

		令和元年度	令和2年度	令和3年度
病理	組織診	(1,991) ※2	(1,559) ※2	(1,918) ※2
	迅速組織診断	(0) ※2	(0) ※2	(0) ※2
	細胞診	(7,236) ※2	(6,324) ※2	(6,614) ※2
	免疫染色	(0) ※2	(0) ※2	(0) ※2
	剖検数	(0) ※2	(0) ※2	(0) ※2
細菌	一般塗抹	(4,204) ※2	(2,345) ※2	(2,561) ※2
	一般培養	(4,483) ※2	(2,610) ※2	(2,871) ※2
	嫌気培養	(134) ※2	(232) ※2	(120) ※2
	感受性テスト	(4,120) ※2	(2,325) ※2	(2,550) ※2
	TB塗抹	(698) ※2	(380) ※2	(322) ※2
	結核菌DNA	(7) ※2	(1) ※2	(1) ※2

※2（ ）は外来棟の依頼件数

（3）血液製剤

区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度
照射赤血球RBC	5,078	3,555	3,438
照射洗浄赤血球	0	0	0
照射白血球除去赤血球	0	0	0
照射濃厚血小板	12,050	6,300	5,885
照射濃厚血小板HLA	395	280	530
新鮮凍結血漿	508	406	688

（4）循環器科（非観血的検査）

区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度
負荷心電図	286	233	223
ホルター心電図	288	225	240
リアルタイム心電図	0	0	0
24時間血圧測定	0	0	0
血圧脈波検査	833	610	679
心エコー図	3,845	3,061	3,595
経食道エコー	19	5	6
計	5,271	4,134	4,743

12. リハビリテーション室

【入院】

(1) 延患者数

(単位：人)

区分	元年度	2年度	3年度
理学療法	51,184	52,577	57,761
作業療法	23,549	22,518	27,915
言語聴覚療法	14,718	14,509	17,994
合計	89,451	89,604	103,670

(2) 療法単位数

(単位：件)

区分	令和元年度			令和2年度			令和3年度					
	理学	作業	言語	理学	作業	言語	理学	作業	言語			
脳血管 (1単位)	9,938	3,535	3,384	3,019	9,671	3,934	2,295	3,442	12,701	5,044	3,435	4,222
脳血管 (2単位)	14,703	6,127	4,040	4,536	15,868	6,521	4,975	4,372	17,529	7,204	5,564	4,761
脳血管 (3単位)	9,530	5,110	3,858	562	9,470	5,104	3,883	483	11,314	4,870	4,870	1,574
脳血管 (4単位)	308	247	54	7	313	244	63	6	235	170	60	5
廃用 (1単位)	18,917	10,861	4,148	3,908	17,306	10,130	3,992	3,184	20,317	12,271	4,219	3,827
廃用 (2単位)	10,694	6,541	1,915	2,238	10,529	6,955	2,469	1,105	10,015	6,514	2,663	838
廃用 (3単位)	839	578	188	73	560	397	140	23	565	353	201	11
廃用 (4単位)	1	0	1	0	5	5	0	0	1	1	0	0
運動器 (1単位)	3,250	1,997	1,253	—	3,251	2,269	982	—	4,152	2,784	1,368	—
運動器 (2単位)	6,518	5,405	1,113	—	6,274	5,094	1,180	—	7,052	5,860	1,192	—
運動器 (3単位)	3,933	3,700	233	—	4,020	3,586	434	—	3,955	3,379	576	—
運動器 (4単位)	68	67	1	—	33	28	5	—	21	21	0	—
呼吸器 (1単位)	724	641	83	—	4,857	3,408	1,449	—	7,475	5,224	2,251	—
呼吸器 (2単位)	588	530	58	—	2,248	1,803	445	—	2,976	2,399	577	—
呼吸器 (3単位)	26	23	3	—	83	76	7	—	98	72	26	—
がんリハ (1単位)	5,437	3,483	1,766	188	2,853	1,720	983	150	1,663	1,047	556	60
がんリハ (2単位)	2,295	1,294	881	120	1,311	781	500	30	894	511	349	34
がんリハ (3単位)	87	72	12	3	52	27	24	1	48	40	8	0
心大血管 (1単位)	1,025	622	403	—	303	201	102	—	1	1	0	—
心大血管 (2単位)	477	345	132	—	354	258	96	—	0	0	0	—
心大血管 (3単位)	22	3	19	—	35	34	1	—	0	0	0	—
摂食機能療法	64	—	—	64	62	—	—	62	20	—	—	20
総合計画評価	4,829	3,110	1,400	319	4,245	2,852	1,163	230	4,600	2,874	1,380	346
早期リハビリ加算	88,092	49,242	22,245	16,605	62,460	36,616	15,549	10,295	70,151	40,766	17,532	11,853
退院前訪問指導	68	47	21	—	72	56	16	—	70	45	25	—
合計	182,433	103,580	47,211	31,642	156,235	92,099	40,753	23,383	175,853	101,450	46,852	27,551

(3) 診療科別新患者数

(単位：人)

区分	令和元年度			令和2年度			令和3年度					
	理学	作業	言語	理学	作業	言語	理学	作業	言語			
内科	3830	1606	1587	637	3426	1445	1420	561	3677	1557	1532	588
小児科	2	1	1	0	6	3	3	0	13	6	6	1
外科	1114	524	528	62	950	449	449	52	1061	483	490	88
整形外科	1083	512	506	65	1212	558	554	100	1372	637	627	108
脳神経外科	1654	554	556	544	1782	610	592	580	1927	645	644	638
眼科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
泌尿器科	114	51	52	11	93	44	43	6	105	45	45	15
産婦人科	8	4	3	1	33	16	16	1	44	19	19	6
耳鼻咽喉科	0	0	0	0	0	0	0	0	3	1	1	1
麻酔科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	7,805	3,252	3,233	1,320	7,502	3,125	3,077	1,300	8,202	3,393	3,364	1,445

(4) 疾患別新患者数

(単位：人)

区分	元年度	2年度	3年度
脳血管疾患	583	552	569
廃用症候群	1,085	1,155	1,347
運動器	603	391	398
呼吸器	119	407	476
がんリハ	579	322	252
心大血管疾患	133	42	2
その他	0	0	0
合計	3,102	2,869	3,044

※その他は摂食機能療法

【外来】

(1) 延患者数 (単位：人)

	元年度	2年度	3年度
理学療法	2,489	3,789	1,858
作業療法	3,617	2,689	2,866
言語聴覚療法	431	83	151
訪問 (はるかぜ)	2,556	2,271	2,418
訪問 (外来)	3,788	3,377	2,749

(2) 療法単位数 (単位：件数)

区分	令和元年度				令和2年度				令和3年度			
	理学	作業	言語		理学	作業	言語		理学	作業	言語	
脳血管 (1単位)	252	66	182	4	267	42	225	0	144	49	87	8
脳血管 (2単位)	969	164	427	378	268	62	127	79	536	85	312	139
脳血管 (3単位)	91	26	32	33	9	6	0	3	37	0	33	4
廃用 (1単位)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃用 (2単位)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃用 (3単位)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
運動器 (1単位)	2984	943	2,041	—	2583	692	1,891	—	2154	678	1,476	—
運動器 (2単位)	1673	741	932	—	891	448	443	—	1656	769	887	—
運動器 (3単位)	39	38	1	—	38	38	0	—	85	14	71	—
呼吸器 (1単位)	357	357	0	—	132	132	0	—	179	179	0	—
呼吸器 (2単位)	130	130	0	—	113	113	0	—	84	84	0	—
呼吸器 (3単位)	6	6	0	—	5	5	0	—	0	0	0	—
摂食機能療法	16	—	—	16	0	—	—	0	0	—	—	0
総合計画評価	1225	437	711	77	977	348	607	22	1151	438	666	47
外来リハ診療料1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
外来リハ診療料2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	7742	2,908	4,326	508	5283	1,886	3,293	104	6026	2,296	3,532	198

(3) 診療科別新患者数 (単位：人)

区分	令和元年度				令和2年度				令和3年度			
	理学	作業	言語		理学	作業	言語		理学	作業	言語	
内科	238	179	48	11	161	131	25	5	156	127	28	1
小児科	37	14	7	16	10	7	1	2	10	7	0	3
外科	120	64	52	4	118	72	46	0	130	105	20	5
整形外科	837	335	502	0	767	276	491	0	933	386	547	0
耳鼻咽喉科	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
脳神経外科	319	56	184	79	151	38	92	21	226	46	142	38
泌尿器科	1	1	0	0	5	5	0	0	0	0	0	0
心療内科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
麻酔科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
産婦人科	1	1	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0
リハビリテーション科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
透析科	3	3	0	0	1	1	0	0	2	1	1	0
計	1557	653	793	111	1215	532	655	28	1457	672	738	47

(4) 疾患別新患者数 (単位：人)

区分	元年度	2年度	3年度
脳血管疾患	73	53	84
廃用症候群	0	0	0
運動器	171	258	245
呼吸器	72	55	84
摂食嚥下療法	16	0	0
合計	332	366	413

1 3. 栄養室

(1) 患者食延数

(単位：人)

区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度
常食	64,807	59,290	62,744
軟食	73,324	60,584	65,879
流動食	13,849	13,722	16,576
特別食	122,036	105,121	104,358
調乳	950	711	920
合計	274,966	239,428	250,477

(2) 栄養指導

(単位：件)

区分	令和元年度			令和2年度			令和3年度		
	入院	外来	合計	入院	外来	合計	入院	外来	合計
栄養指導	1,126	800	1,926	1,084	652	1,736	1,067	714	1,781
集団栄養指導（糖尿病）	33	—	33	48	—	48	55	—	55
栄養管理計画書	3,552	—	3,552	2,810	—	2,810	2,604	—	2,604
病棟訪問	10,005	—	10,005	9,616	—	9,616	9,218	—	9,218
糖尿病透析 予防指導	—	33	33	—	72	72	—	136	136
人間ドック	—	127	127	—	97	97	—	101	101
両親学級	—	60	60	—	10	10	—	—	0
在宅酸素外来栄養相談	—	—	0	—	—	0	—	—	0
特定検診	—	—	0	—	—	0	—	—	0
緩和ケア個別栄養食事加算	39	—	39	—	—	0	—	—	0
栄養情報提供書	—	—	0	—	—	0	72	—	72
合計	14,755	1,020	15,775	13,558	831	14,389	13,016	951	13,967

(3) 栄養指導件数内訳

(単位：件)

区分	令和元年度			令和2年度			令和3年度		
	入院	外来	合計	入院	外来	合計	入院	外来	合計
糖尿病	243	426	669	243	327	570	322	448	770
腎臓病	144	220	364	117	159	276	148	143	291
消化器	89	7	96	120	3	123	97	4	101
心臓病	128	8	136	74	6	80	105	8	113
脂質異常症	133	41	174	111	23	134	88	22	110
癌	228	50	278	279	77	356	179	40	219
その他	161	48	209	140	57	197	128	49	177
合計	1,126	800	1,926	1,084	652	1,736	1,067	714	1,781

1 4. 人工透析室

(1) 患者延数

(単位：人)

区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度
年間透析回数	14,034	14,512	14,014
入院	1,242	1,435	1,442
外来	12,792	13,077	12,572
昼間	12,735	13,003	12,469
出張	57	74	103

15. 患者支援センター

1. 紹介患者状況

(人)

年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
被紹介	10,523	8,625	9,327
戻し紹介	2,162	1,512	1,719
逆紹介	8,250	6,202	6,705

2. 診療科別紹介患者状況

(人)

区分	令和元年度			令和2年度			令和3年度		
	紹介	戻し紹介	逆紹介	紹介	戻し紹介	逆紹介	紹介	戻し紹介	逆紹介
内科	3,934	877	3,518	3,253	583	2,531	3,525	578	2,611
心療内科	25	1	410	1	1	31	0	0	11
神経内科	197	5	104	135	4	88	0	2	117
小児科	1,049	339	355	742	201	210	793	217	236
外科	1,073	141	784	923	126	797	965	147	845
整形外科	903	82	1,249	709	34	857	787	28	1,034
脳神経外科	641	115	713	455	109	726	474	164	733
皮膚科	260	6	30	172	2	21	177	4	32
泌尿器科	648	100	351	515	45	272	581	81	306
産婦人科	476	4	119	456	1	101	489	4	142
眼科	193	5	244	146	0	141	149	0	100
耳鼻咽喉科	139	1	83	118	0	53	126	2	49
放射線診断科	373	373	0	363	363	0	449	449	0
放射線治療科	20	5	26	10	5	18	15	4	17
麻酔科	9	0	2	11	0	1	11	0	2
救急科	0	0	0	0	0	0	17	3	36
リハビリ科	0	0	1	0	0	9	0	0	12
歯科口腔外科	550	108	245	562	38	328	688	36	404
形成外科	33	0	16	54	0	18	81	0	18
合計	10,523	2,162	8,250	8,625	1,512	6,202	9,327	1,719	6,705

3. 地域別被紹介人数

(人)

区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度
藤岡市	3,703	3182	3,325
多野郡	181	127	150
高崎市	1,891	1,546	1,672
富岡市	188	138	118
前橋市	746	547	709
伊勢崎・佐波	310	254	357
その他県内	189	145	179
本庄市	1,494	1,250	1,374
児玉郡	1,270	1,059	1,032
その他埼玉県	275	188	247
その他県外	276	189	164
合計	10,523	8,625	9,327

5. 入退院支援室 入院予約患者対応人数

(人)

診療科	令和元年度	令和2年度	令和3年度
内科	1,234	1,017	982
小児科	32	41	54
外科	725	604	514
整形外科	332	248	288
脳神経外科	41	24	21
皮膚科	2	3	2
泌尿器科	377	327	376
産婦人科	332	298	306
眼科	102	79	95
歯科口腔外科	49	75	128
総合計	3,226	2,716	2,766

4. 医療福祉相談件数

(延べ件数)

医療相談実績	令和元年度	令和2年度	令和3年度
合計	24,573	24,706	26,154

16. 健診センター

(1) 人間ドック

(単位：件)

区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度
1泊2日ドック	121	100	103
日帰りドック	3,751	3,400	3,819
脳ドック	84	74	73
PET-CT	26	13	19
計	3,982	3,587	4,014

(2) 健康診断

(単位：件)

区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度
生活習慣病	1,915	1,781	1,947
企業健診	2,797	2,940	2,982
就業・入学	259	317	331
乳・甲状腺	677	507	577
婦人科検診	398	322	355
特定健診	208	166	164
特定保健指導	44	27	36
計	6,298	6,060	6,392

17. 母親学級（マザーズクラス）

※令和3年度は開催なし。

IX 群馬県立赤城特別支援学校公立藤岡総合病院内教室

(1)開設までの経緯

昭和 53 年 6 月、小児科病棟が開設。

昭和 54 年 4 月 1 日から、小児科慢性疾患等による長期入院患者を受け入れる。それに伴い、群馬県立東毛養護学校前橋日赤分校による当院への訪問教育が始まる。

地域住民から就学に対する不安の解消、入院設備の充実などを理由として、養護学校設立と小児科病棟増床の請願書が出される。

昭和 59 年からの病院増床に伴い、昭和 60 年 4 月 1 日、群馬県立西毛養護学校多野総合病院分教室として開設される。

(2)沿革

年 月 日	記 事
昭和 54 年 4 月 1 日	群馬県立東毛養護学校前橋日赤分校に訪問教育部が開設され、多野総合病院への訪問教育開始。 教職員数 非常勤講師 1名
昭和 56 年 4 月 1 日	教職員数 教諭 1名、非常勤講師 1名
昭和 57 年 4 月 1 日	教職員数 教諭 2名
昭和 60 年 4 月 1 日	多野総合病院内西2階病棟3部屋 56.00 m ² (共用部分を含む)を多野総合病院内分教室として建物使用許可。 群馬県立西毛養護学校多野総合病院内分教室開設 許可学級数 3(小学部2、中学部1) 教職員数 教諭 3名、応援教諭 1名(本校より) 教室等 普通教室 2、職員室 1
昭和 60 年 4 月 10 日	群馬県立西毛養護学校多野総合病院内分教室開校式
昭和 61 年 1 月 21 日	校舎移動(西2階病棟の2部屋へ) 教室等 普通教室 2、職員室 0
昭和 61 年 4 月 1 日	教職員数 教諭 3名、非常勤講師 1名
昭和 61 年 6 月 13 日	校舎移動(西2階病棟の4部屋 75.66 m ² へ) 教室等 普通教室 3、職員室 1
昭和 62 年 4 月 1 日	教職員数 教諭 4名
平成 2 年 4 月 1 日	教職員数 教諭 5名
平成 4 年 4 月 1 日	教職員数 教諭 6名
平成 6 年 4 月 1 日	許可学級数 4(小学部2、中学部2)
平成 9 年 4 月 1 日	群馬県立西毛養護学校と群馬県立東毛養護学校が統合され、群馬県立赤城養護学校が開校。

平成 13 年 4 月 1 日	群馬県立赤城養護学校公立藤岡総合病院分教室に改称。 許可学級数 5(小学部3、中学部2) 教職員数 教諭 7名
平成 14 年 8 月 12 日	校舎移動(事務棟 140.18 m ² へ) 教室等 普通教室 5、職員室 1、多目的室 1
平成 16 年 4 月 1 日	教職員数 教諭 6名
平成 21 年 12 月 1 日	テレビ会議システムの導入
平成 25 年 4 月 1 日	許可学級数 6(小学部3+重複学級1、中学部2) 教職員数 教諭 5名
平成 27 年 4 月 1 日	群馬県立赤城特別支援学校公立藤岡総合病院内教室に改称。 許可学級数 5(小学部3、中学部2)
平成 29 年 11 月 8 日	病院移転に伴い、新病棟で授業開始。
平成 30 年 2 月 9 日	校舎移転(外来棟 32m ²) 普通教室 1、職員室 1

(3) 児童生徒数(年度内在籍児童生徒数)

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
児童生徒数	11	11	4	4	8	1	4

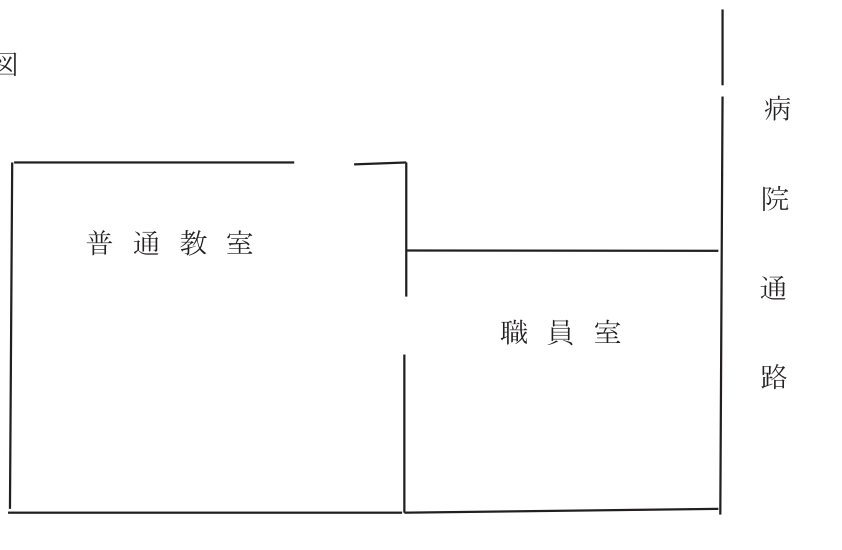
(4) 教育目標

児童生徒一人一人が、自己を大切にするとともに自立と社会参加を目指して自ら学び、好ましい人間関係の中で明るく元気に明日へ向かって生きる豊かな人間性を身に付ける。

(5) 学校病棟連絡会議

学校病棟連絡会議は学校教職員と病院小児科担当医師、小児科看護師長等が参加し、学校・病院運営の相互の理解、学校行事、学習指導、生活指導、児童生徒の病状等の事項を連絡協議して連携を図るものである。

(6) 校舎平面図



介護老人保健施設事業

介護老人保健施設
【しらさぎの里】

訪問看護ステーション
【はるかぜ】

基本理念

利用者本位のサービス

基本方針

1. 利用者の人権を尊重し、上質なサービスを提供します。
2. 安全に配慮したチームケアを行い、早期の在宅復帰に努めます。
3. 医療・他機関、地域と連携し、総合的に在宅支援を行います。

I 施設の現況

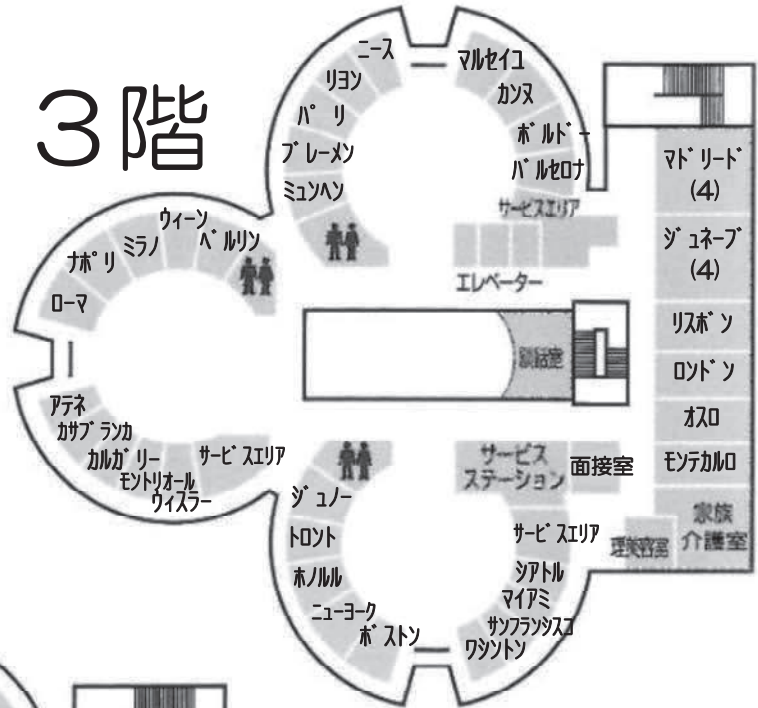
1. 施設の概要（令和4年3月31日現在）

名 称	介護老人保健施設しらすぎの里	
所 在 地	群馬県藤岡市中栗須519番地2	
電 話 番 号 等	TEL. 0274-24-6633 FAX. 0274-24-6634 E-mail : sirasagi@fujioka-hosp. or. jp URL : http://www.fujioka-hosp. or. jp/shirasagi/	
開 設 者	多野藤岡医療事務市町村組合 管理者 新井 雅博	
設 立 年 月 日	平成 9年 7月 1日	
構 成 市 町 村	藤岡市、神流町、上野村、高崎市	
施 設 長	河合 弘進	
定 員	入所 80人 （内、短期入所 20人） 一般療養棟 40人 認知症専門棟 40人 通所 50名	
サービス種類	介護老人保健施設	平成 9年 7月 1日許可
	通所リハビリテーション	平成 9年 7月 1日許可
	短期入所療養介護	平成 9年 7月 1日許可
	介護予防通所リハビリテーション	平成 9年 7月 1日許可
	介護予防短期入所療養介護	平成 9年 7月 1日許可
	居宅介護支援事業	平成11年 9月30日指定
面積及び構造	敷地面積 5,017㎡	
	延床面積 4,300㎡	
	1階 1,587㎡	通所リハビリテーション部門、管理部門
	2階 1,363㎡	一般療養棟部門
	3階 1,350㎡	認知症専門棟部門
	構 造	鉄筋コンクリート造 3階建
訪問看護	訪問看護ステーション「はるかぜ」（公立藤岡総合病院内）	

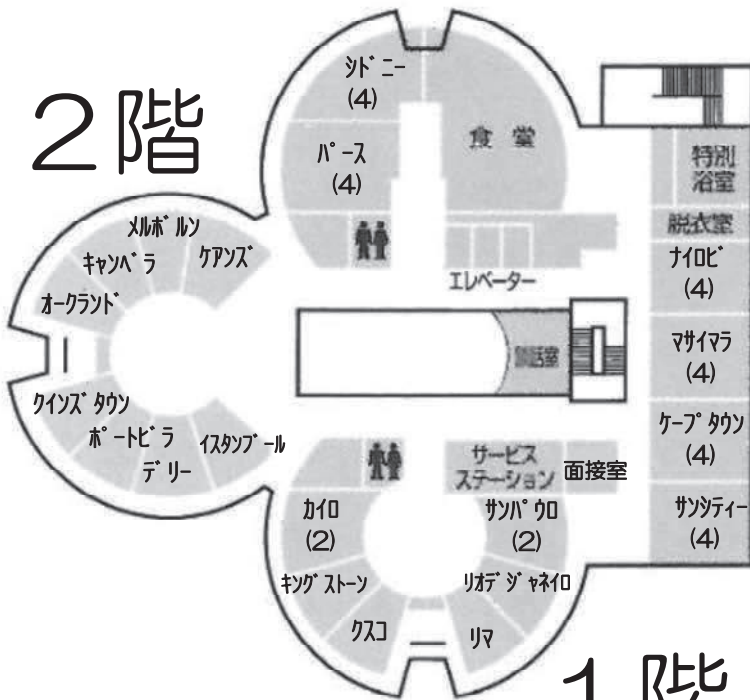
平面図

敷地面積 5,017m²
 延床面積 4,300m²
 3階 1,350m²
 2階 1,363m²
 1階 1,587m²

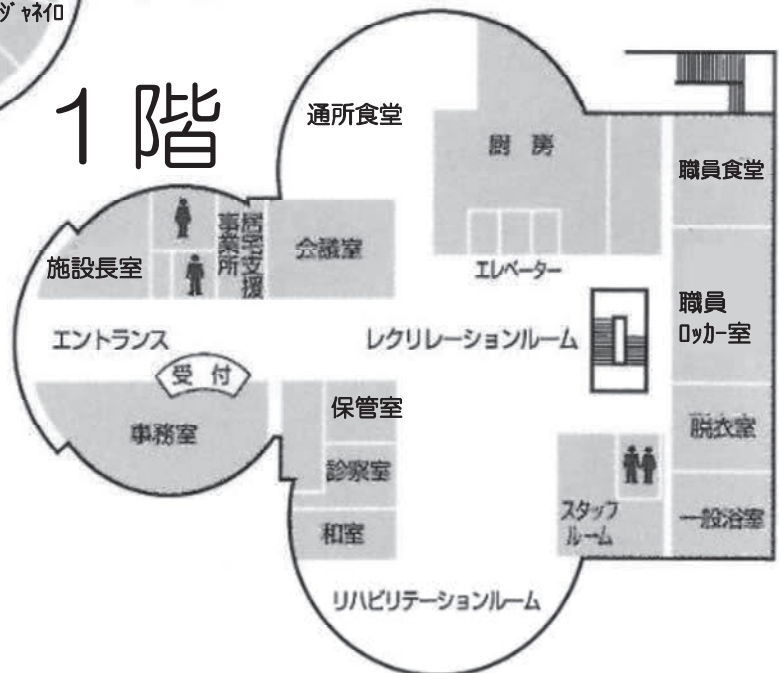
3階



2階



1階



注. 入所定員 40 名 () 内に数字のついていない部屋はすべて個室です。

2. 歴史と沿革

平成 8年 8月16日	土地収用法による事業（新築工事）認定（用第252号）
8月23日	老人保健施設建築工事着工
平成 9年 5月30日	老人保健施設建築工事竣工
7月 1日	老人保健施設開設許可（群馬県指令高第67号） 老人保健施設分40人、痴呆加算対象分40人、通所分40人
8月 1日	初代老人保健施設長 大野 治俊（群馬県指令高第68号） 痴呆専門棟入所者基本施設療養費加算届出受理（高第171号） 生活保護法による医療機関指定（藤第86号） 老人訪問看護ステーション指定（高第249号）
平成10年 2月27日	老人保健施設入所者基本施設療養費（Ⅱ）届出受理（高第571号）
5月28日	老人保健施設痴呆性老人通所加算届出受理（高第169号） 通所定員40人中10人
10月20日	老人保健施設痴呆性老人通所加算変更届出受理（高第392号） 通所定員40人中10人⇒20人
12月 1日	老人保健施設開設許可事項の変更 短期入所5床⇒20床
平成11年 4月 1日	第2代老人保健施設長 栗原 寛（群馬県指令高第3号） 老人保健施設開設許可事項の変更 通所定員40人⇒50人
9月30日	指定居宅介護支援事業者指定（群馬県指令高第124-199号）
平成12年 4月 1日	介護保険法施行に伴う名称変更 介護老人保健施設、訪問看護ステーション 生活保護法による介護機関指定 介護老人保健施設（介み藤第86号） 通所リハビリテーション（藤介第13号） 短期入所療養介護（藤介第13号） 居宅介護支援事業（藤介第13号） 原子爆弾被爆者一般疾病医療費の支払を受ける医療機関指定 老人保健施設（保予第164号）
平成13年 5月 1日	訪問リハビリテーション開始
平成17年10月 1日	栄養管理体制及び栄養ケア・マネジメントに関する届出
平成19年 4月 1日	第3代介護老人保健施設長 田中 壯佑（群馬県指令介高第608-31号）
10月 1日	祭日通所リハビリテーション実施
平成20年 3月21日	指定居宅介護支援事業者指定変更（群馬県指令介高第30133-55号） 平成20年4月1日～平成26年3月31日
3月31日	介護老人保健施設開設許可更新（群馬県指令介高第608-22号） 平成20年4月1日～平成26年3月31日
5月30日	生活保護法による介護機関指定（藤介第13号） 介護予防通所リハビリテーション、介護予防短期入所療養介護
6月12日	口腔機能向上体制加算の届出
平成21年 3月 3日	平成21年4月介護報酬改定に伴う届出
3月31日	通所リハビリテーション大規模型（Ⅰ）月平均利用者数751～900人 サービス提供体制強化加算（Ⅰ）に関する届出 介護老人保健施設、（介護予防）短期入所療養介護 （介護予防）通所リハビリテーション 夜勤職員配置加算に係る届出 介護老人保健施設、（介護予防）短期入所療養介護 特定事業所加算に係る届出 居宅介護支援事業
7月21日	原子爆弾被爆者一般疾病医療費の支払を受ける医療機関指定（群馬県指令保予第722-36号）
10月 1日	事業所評価加算の届出 介護予防通所リハビリテーション
平成23年 4月 1日	在宅復帰・在宅療養支援機能加算の届出
平成24年11月 1日	喀痰吸引等（特定行為）事業者登録（介高第30243-9号）
平成26年 4月 1日	在宅強化型介護老人保健施設の届出 介護老人保健施設開設許可更新（群馬県指令介高第608-15号） 平成26年4月1日～平成32年3月31日 指定居宅介護支援事業所指定更新（群馬県指令介高第30221-1号） 平成26年4月1日～平成32年3月31日
平成27年 4月 2日	サービス提供体制強化加算（Ⅰ）に関する届出 介護老人保健施設、（介護予防）短期入所療養介護 （介護予防）通所リハビリテーション
10月21日	禁煙認定施設屋内禁煙（建物全体）の認定
平成28年 8月 1日	在宅復帰・在宅療養支援機能加算介護老人保健施設の届出
平成29年 4月 1日	第4代介護老人保健施設長 河合 弘進（群馬県指令介高第608-18号）
令和元年 8月 1日	在宅復帰・在宅療養支援機能加算（Ⅰ）の届出

II 職員の現況

1. 職員数

職員の年度別推移（各年度末）

〔単位：人〕

部門・職種別		令和元年度			令和2年度			令和3年度		
		職員	臨時職員		職員	臨時職員		職員	会計年度任用職員	
診療部	医師	1		1	1		1	1		1
	計	1	0	1	1	0	1	1	0	1
診療支援部	理学療法士	1	1		1	1		2	2	
	作業療法士	2	2		2	2		2	2	
	栄養士	1	1		1	1		0	0	
	計	4	4	0	4	4	0	4	4	0
看護部	看護師	3	3		5	5		5	5	
	再任用	1	1		0	0		0	0	
	准看護師	5	5		5	5		5	5	
	再任用	2	2		3	3		1	1	
	介護福祉士	19	18	1	20	19	1	21	20	1
	介護職員	5	1	4	3	1	2	2	1	1
計	35	30	5	36	33	3	34	32	2	
経営管理部	事務員	1	1		1	1		1	1	
	再任用	1	1		1	1		1	1	
	介護支援専門員	5	5		5	5		5	5	
	計	7	7	0	7	7	0	7	7	0
合計		47	41	6	48	44	4	46	43	3

*訪問看護ステーション「はるかぜ」

部門・職種別		令和元年度			令和2年度			令和3年度		
		職員	臨時職員		職員	会計年度職員		職員	会計年度職員	
看護部	看護師	8	6	2	9	7	2	12	9	3
	再任用	1	1		1	1		1	1	
		9	7	2	10	8	2	13	10	3

2. 主要役職員名簿

職名	氏名	職名	氏名
診療部 施設長	河合 弘進	経営管理部 しらさぎ管理課長	新井 恵介
看護部 看護師長	武井 浩之	しらさぎ管理課課長補佐	中野 俊幸
介護グループGL	金田 夏樹	支援相談員	柳井 紀道
診療支援部 リハビリテーション室GL	品田 さゆり	施設介護支援専門員	長坂 美樹

*訪問看護ステーション「はるかぜ」

職名	氏名
看護部 看護師長	山口 明子

Ⅲ 学会及び研修会

名称	開催場所	開催月	参加者数
しらさぎの里			
第118回日本内科学会講演会	ネット配信	4月	1人
介護老人保健施設リスマネジャー養成講座	Web配信	4月	1人
前期医療安全必須研修	e-ラーニング	6月	48人
第66回日本透析医学会学術集会・総会WEB参加	WEB参加	6月	1人
医療倫理研修会(eラーニング)	公立藤岡総合病院	6月	1人
第64回日本腎臓学会学術総会WEB参加	ライブ配信	6月	1人
安全運転管理者講習	藤岡市	7月	1人
2021年度日本内科学会生涯教育講演会セッションLIVE配信	WEB参加	7月	1人
後期医療安全必須研修	e-ラーニング	9月	47人
令和3年度第1回支援相談員研修会(LIFE研修)	Zoomミーティング	10月	5人
令和3年度第1回栄養担当職員Web研修会	Web配信	10月	2人
令和3年度看護・介護職員研修会(管理職・中堅職対象)	Web配信	11月	5人
令和3年度看護・介護職員研修会(基礎講座)	Web配信	12月	3人
令和3年度第2回栄養担当職員研修会	Web配信	2月	2人
QCサークル活動院内発表会	公立藤岡総合病院	3月	1人
令和3年度在宅復帰率強化に向けた研修会	Zoomオンラインライブ研修	3月	2人

施設内研修会

開催月	開催日	内容	講師	受講人数
5月	5月26日	高齢者権利擁護・高齢者虐待防止研修	看護師長 武井浩之	17
6月	6月23日	身体拘束適正化研修	看護師長 武井浩之	23
7月	7月28日	①感染防止対策研修 食中毒について ②医療安全研修 I/Aレポートとリスクカンファレンス	看護師長 武井浩之	18
8月	8月20日	一般療養棟勉強会 「ラムゼイハット症候群について」	看護師長 武井浩之	8
	8月25日	代表者会議内研修 「個人情報の取り扱いについて」	管理課 中野俊幸	16
9月	9月22日	医療安全研修 BLS・頭部外傷の応急処置	看護師長 武井浩之	20
10月	10月21日	排便(尿)障害と脊髄損傷	施設長 河合弘進	9
	10月27日	感染経路予防策	看護師長 武井浩之	20
11月	11月2日	①高齢者虐待防止研修 高齢者虐待のとらえ方、不適切なケアとは ②身体拘束廃止に関する研修 魔の3ロックにつ	看護師長 武井浩之	5
	11月24日	職場におけるストレスマネジメントについて	㈱IDO執行委員/C00 認定NPO法人Link・マネジメント理事	18
12月	12月22日	個人情報の取り扱いについて	管理課 中野俊幸	14
	12月22日	高齢者とくすり	施設長 河合弘進	14
1月	1月26日	新型コロナウイルス対応時のPPEの脱着	看護師長 武井浩之	17
3月	3月2日	①LEFEの全体像について ②事業所運営上の留意点	①全老健副会長 折茂賢一郎 ②群馬県健康福祉部監査指導課	22
	3月23日	①感染防止対策研修 食中毒について ②福祉器具講習 ナースिंगストレッチャーとムーブボードの使用法	看護師長 武井浩之	22

IV. 教育実習生・研修生受入れ実績

※介護老人保健施設「しらさぎの里」

学校・団体・研修名	人数	延人数	実習期間	実習内容	備考
群馬医療福祉大学	43	172	7/5～11/25	高齢者看護学実習Ⅰ	4日間/1人
合計	43	172			

※訪問看護ステーション「はるかぜ」

学校・団体・研修名	人数	延人数	実習期間	実習内容	備考
群馬医療福祉大学	36	43	10/4～11/25	在宅看護論	0.5日間/1人
群馬県看護協会訪問看護研修	1	1	11/1	訪問看護研修指導者編	1日間/1人
上尾中央看護専門学校	1	2	8/30～8/31	在宅看護論実習Ⅱ	2日間/1人
合計	38	46			

V 経営状況

1. 損益計算書

*介護老人保健施設「しらさぎの里」

(単位：千円、%)

区分	令和元年度	令和2年度		令和3年度	
	金額	金額	指数	金額	指数
施設運営事業収益	436,685	417,943	95.7	393,693	94.2
事業収益	433,616	409,578	94.5	389,633	95.1
施設介護収益	244,676	258,451	105.6	235,137	91.0
居宅介護収益	80,381	47,798	59.5	53,350	111.6
居宅介護支援収益	16,587	14,937	90.1	14,061	94.1
施設介護利用料収益	70,981	74,792	105.4	72,032	96.3
居宅介護利用料収益	17,808	10,901	61.2	11,811	108.3
その他事業収益	3,183	2,700	84.8	3,242	120.1
事業外収益	3,069	5,465	178.1	4,060	74.3
受取利息及び配当金	1	1	100.0	0	0.0
長期前受金戻入	1,602	1,602	100.0	1,975	123.3
その他事業外収益	1,466	1,349	92.0	2,000	148.3
補助金	0	2,513	—	85	—
特別利益	0	2,900	—	0	—
過年度損益修正益	0	0	—	0	—
施設運営事業費用	463,080	482,053	104.1	483,560	100.3
事業費用	451,252	468,711	103.9	474,538	101.2
給与費	313,272	328,430	104.8	338,771	103.1
材料費	35,740	36,505	102.1	32,786	89.8
経費	42,066	40,707	96.8	39,421	96.8
委託費	37,103	40,449	109.0	41,655	103.0
減価償却費	21,838	21,633	99.1	21,707	100.3
資産減耗費	0	86	—	0	—
研究研修費	233	113	48.5	198	175.2
長期前払消費税償却	1,000	788	78.8	0	0.0
事業外費用	11,828	10,442	88.3	9,022	86.4
支払利息及び企業債取扱諸費	11,828	10,442	88.3	9,022	86.4
雑損失	0	0	—	0	—
特別損失	0	2,900	—	0	—
固定資産売却損	0	0	—	0	—
過年度損益修正損	0	0	—	0	—
その他特別損失	0	2,900	—	0	—
収支差引	△ 26,395	△ 64,110	△ 242.9	△ 89,867	△ 140.2

*訪問看護ステーション「はるかぜ」

(単位：千円、%)

区分	令和元年度	令和2年度		令和3年度	
	金額	金額	指数	金額	指数
訪問看護事業収益	101,084	101,934	100.8	108,979	106.9
事業収益	100,969	99,798	98.8	108,098	108.3
訪問看護療養収益	50,758	52,574	103.6	56,650	107.8
介護保険訪問看護療養収益	39,799	37,347	93.8	40,461	108.3
居宅介護支援収益	0	0	—	0	—
訪問看護利用料収益	5,724	5,502	96.1	6,147	111.7
介護保険利用料収益	4,688	4,375	93.3	4,840	110.6
事業外収益	115	136	118.3	281	206.6
受取利息及び配当金	4	1	25.0	0	0.0
その他事業外収益	111	135	121.6	281	208.1
特別利益	0	2,000	—	600	—
その他特別利益	0	2,000	—	600	—
過年度損益修正益	0	0	—	0	—
訪問看護事業費用	67,496	80,526	119.3	90,198	112.0
事業費用	67,340	78,361	116.4	89,381	114.1
給与費	57,701	67,796	117.5	79,984	118.0
材料費	318	214	67.3	318	148.6
経費	7,641	8,857	115.9	7,583	85.6
減価償却費	1,613	1,440	89.3	1,440	100.0
資産減耗費	0	27	—	0	—
研究研修費	67	27	40.3	56	207.4
事業外費用	156	165	105.8	217	131.5
支払利息及び企業債取扱諸費	156	165	105.8	217	131.5
雑損失	0	0	—	0	—
特別損失	0	2,000	—	600	—
固定資産売却損	0	0	—	0	—
過年度損益修正損	0	0	—	0	—
その他特別損失	0	2,000	—	600	—
収支差引	33,588	21,408	63.7	18,781	87.7

2. 貸借対照表

* 介護老人保健施設事業

(単位：千円、%)

区分	令和元年度	令和2年度		令和3年度	
	金額	金額	指数	金額	指数
固定資産	805,897	847,819	105.2	946,985	111.7
有形固定資産	744,745	727,455	97.7	706,621	97.1
土地	82,546	82,546	100.0	82,546	100.0
建物	1,338,367	588,019	43.9	570,519	97.0
構築物	68,028	39,864	58.6	38,640	96.9
器械備品	44,786	2,178	4.9	2,178	100.0
車両	3,762	2,785	74.0	2,397	86.1
リース資産	34,773	12,063	34.7	10,341	85.7
減価償却累計額	827,517	846,444	102.3	871,591	103.0
無形固定資産	364	364	100.0	364	100.0
投資	60,788	120,000	197.4	240,000	200.0
流動資産	524,216	453,562	86.5	349,042	77.0
現金預金	439,560	372,838	84.8	269,113	72.2
未収金	84,656	80,724	95.4	79,929	99.0
資産合計	1,330,113	1,301,381	97.8	1,296,027	99.6
固定負債	549,296	496,411	90.4	441,185	88.9
企業債	342,470	291,031	85.0	238,219	81.9
リース債務	6,826	5,380	78.8	2,966	55.1
他会計借入金	200,000	200,000	100.0	200,000	100.0
流動負債	92,034	97,992	106.5	100,927	103.0
企業債	50,104	51,440	102.7	52,812	102.7
リース債務	4,585	4,098	89.4	4,474	109.2
未払金	12,030	13,152	109.3	11,454	87.1
引当金	23,163	27,095	117.0	29,916	110.4
その他流動負債	2,152	2,207	102.6	2,271	102.9
繰延収益	53,756	54,654	101.7	52,679	96.4
長期前受金	89,000	91,500	102.8	91,500	100.0
長期前受金収益化累計額	△ 35,244	△ 36,846	△ 104.5	△ 38,821	△ 105.4
資本金	473,500	533,500	112.7	653,500	122.5
自己資本金	473,500	533,500	112.7	653,500	122.5
剰余金	161,527	118,824	73.6	47,739	40.2
資本剰余金	10,149	10,149	100.0	10,150	100.0
利益剰余金	151,378	108,675	71.8	37,589	34.6
負債資本合計	1,330,113	1,301,381	97.8	1,296,030	99.6

3. 経営分析

*介護老人保健施設「しらさぎの里」

区分	備 考	令和元年度	令和2年度	令和3年度
自己資本構成比率	$\frac{\text{自己資本金} + \text{剰余金}}{\text{負債} \cdot \text{資本合計}} \times 100$	47.7%	50.1%	54.1%
流動比率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}} \times 100$	569.6%	462.9%	345.8%
現金比率	$\frac{\text{現金預金}}{\text{流動負債}} \times 100$	477.6%	380.4%	266.6%

介護老人保健施設

区分	備 考	令和元年度	令和2年度	令和3年度
総収支比率	$\frac{\text{総収益}}{\text{総費用}} \times 100$	94.3%	86.7%	81.4%
事業収支比率	$\frac{\text{事業収益}}{\text{事業費用}} \times 100$	96.1%	87.4%	82.1%
利用率	一般	87.0%	88.2%	82.0%
1日平均利用者数	入所	69.6人	70.8人	65.6人
	入所日数	366日	365日	365日
	通所	42.1人	26.7人	27.6人
	通所日数	257日	244日	257日
1人1日当り診療収入	入所	12,394円	12,902円	12,831円
	通所	9,082円	8,995円	9,197円
事業収益に対する割合	職員給与費	72.2%	80.2%	86.9%

*訪問看護ステーション「はるかぜ」

区分	備 考	令和元年度	令和2年度	令和3年度
総収支比率	$\frac{\text{総収益}}{\text{総費用}} \times 100$	149.8%	126.6%	120.8%
事業収支比率	$\frac{\text{事業収益}}{\text{事業費用}} \times 100$	149.9%	127.4%	120.9%
1日平均利用件数	看護	33.3人	34.2人	36.2人
	リハビリ	10.6人	10.1人	10.0人
	訪問実日数	241日	243日	242日
事業収益に対する割合	職員給与費	57.1%	67.9%	74.0%

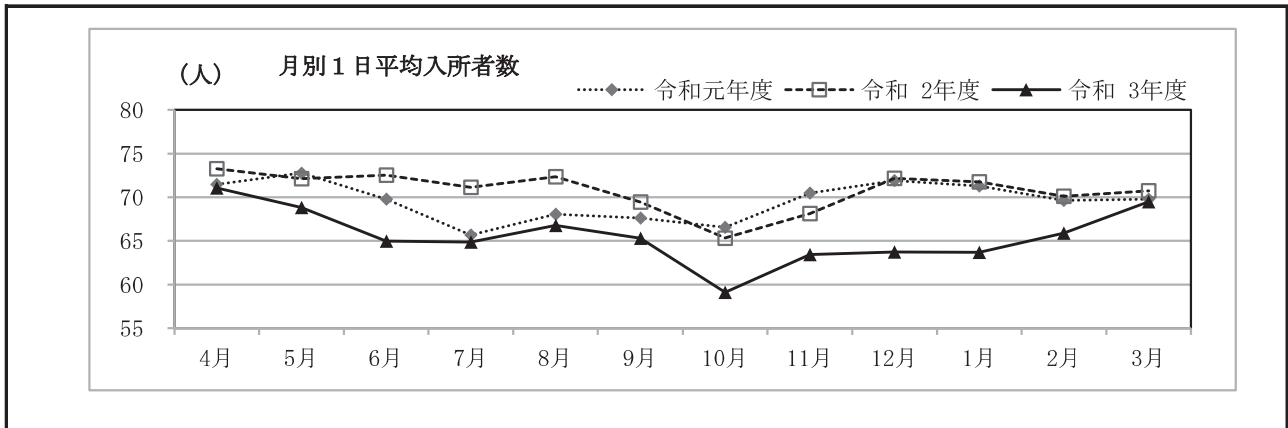
VI 業務統計

1. 介護老人保健施設しらさぎの里

(1) 施設サービス（入所利用者数）

[単位：人]

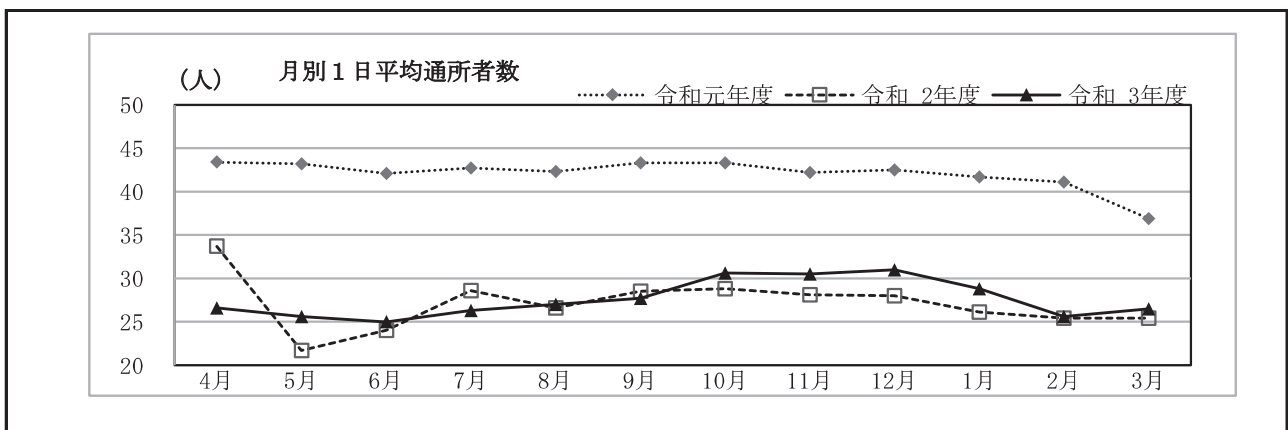
区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和元年度	2,144	2,256	2,094	2,036	2,110	2,029	2,063	2,114	2,229	2,210	2,020	2,163	25,468
内リハ数	931	897	921	977	974	899	889	916	933	827	775	902	10,841
1日平均	71.5	72.8	69.8	65.7	68.1	67.6	66.5	70.5	71.9	71.3	69.7	69.8	69.6
令和2年度	2,198	2,236	2,176	2,205	2,243	2,084	2,025	2,044	2,237	2,225	1,963	2,193	25,829
内リハ数	1,060	953	1,180	1,109	971	966	903	959	1,121	1,026	1,045	1,240	12,533
1日平均	73.3	72.1	72.5	71.1	72.4	69.5	65.3	68.1	72.2	71.8	70.1	70.7	70.8
令和3年度	2,132	2,134	1,949	2,011	2,070	1,959	1,832	1,903	1,976	1,975	1,845	2,154	23,940
内リハ数	1,120	1,016	1,157	1,126	1,236	1,123	974	1,070	1,143	902	1,025	1,290	13,182
1日平均	71.1	68.8	65.0	64.9	66.8	65.3	59.1	63.4	63.7	63.7	65.9	69.5	65.6



(2) 居宅サービス（通所リハビリテーション利用者数）

[単位：人]

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和元年度	954	993	841	983	931	910	996	887	850	833	821	812	10,811
1日平均	43.4	43.2	42.1	42.7	42.3	43.3	43.3	42.2	42.5	41.7	41.1	36.9	42.1
令和2年度	303	456	527	658	558	628	633	590	559	522	508	584	6,526
1日平均	33.7	21.7	24.0	28.6	26.6	28.5	28.8	28.1	28.0	26.1	25.4	25.4	26.7
令和3年度	585	538	550	578	594	610	643	671	620	576	511	609	7,085
1日平均	26.6	25.6	25.0	26.3	27.0	27.7	30.6	30.5	31.0	28.8	25.6	26.5	27.6



(3) 居宅サービス（ショートステイ利用者数）

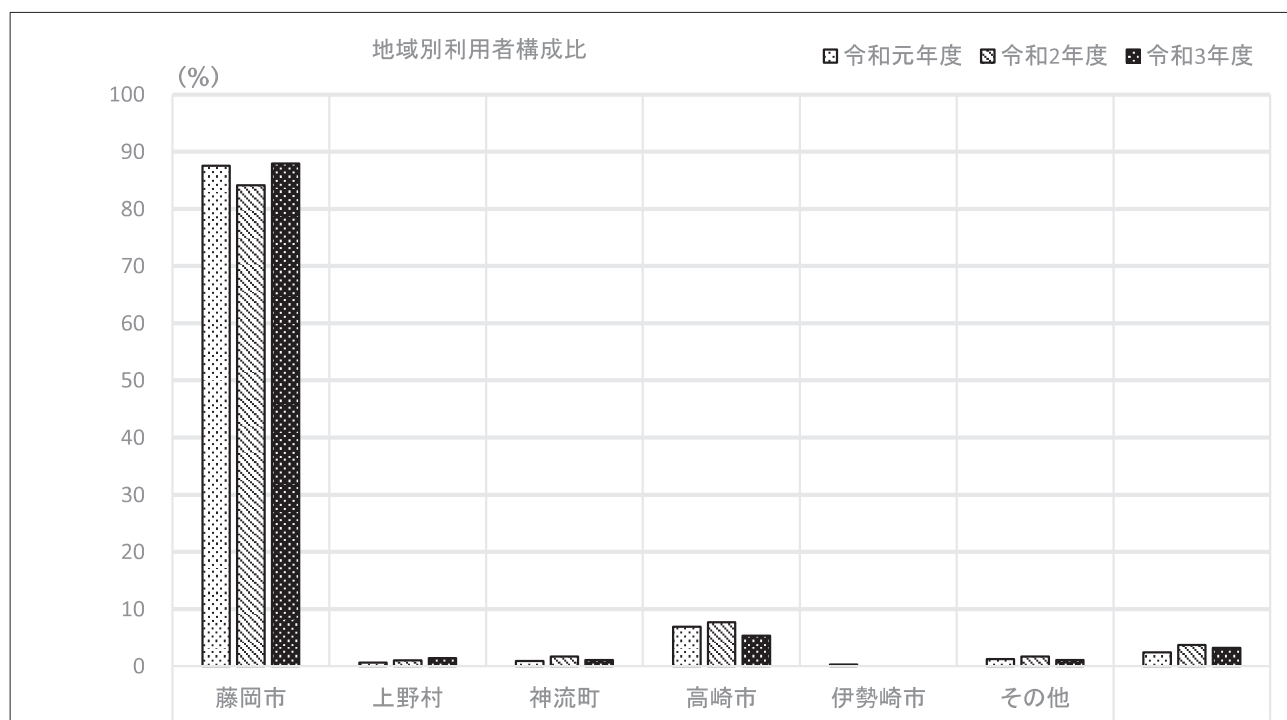
[単位：人]

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和元年度	37	35	16	11	25	31	13	3	8	8	12	0	199
令和2年度	23	18	2	0	4	15	15	27	0	0	19	9	132
令和3年度	10	0	3	12	12	9	6	23	20	6	3	24	128

(4) 地域別利用者数

[単位：人]

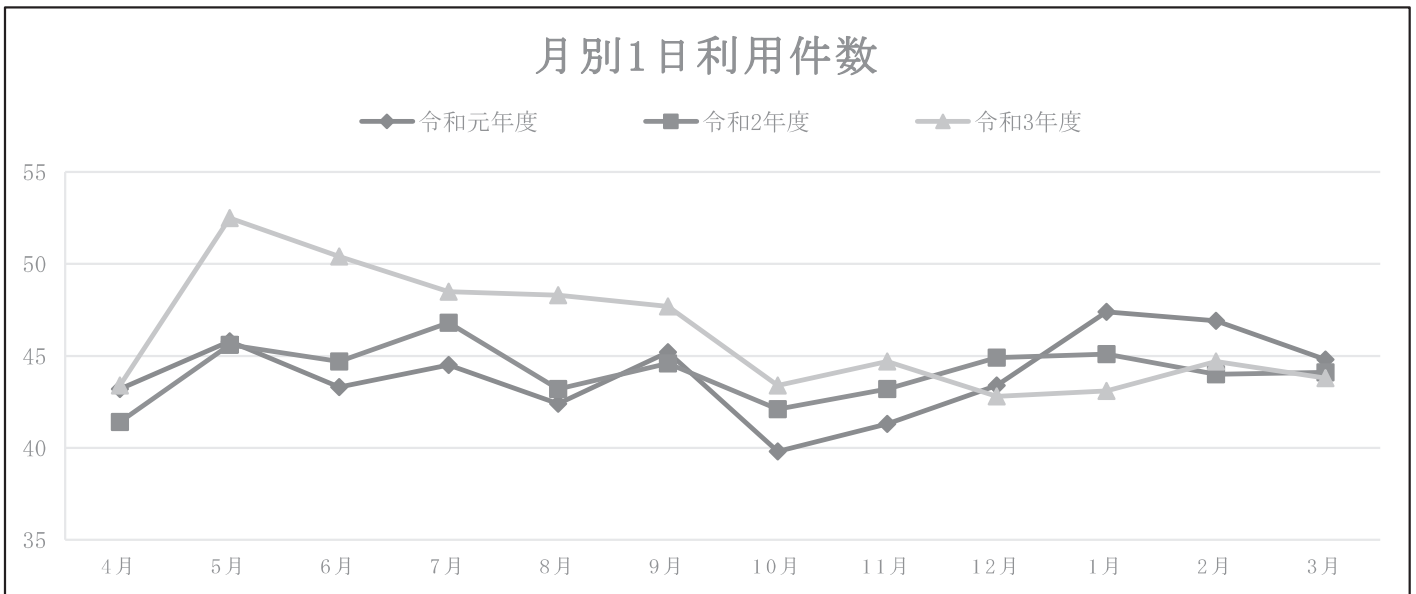
区分	県内	県内								県外	合計	
		藤岡市	上野村	神流町	高崎市	小計	伊勢崎市	その他	小計			
元年度	利用者数	322	289	2	3	23	317	1	4	5	8	330
	入所	132	104	2	3	19	128	1	3	4	8	140
	ショートステイ	11	11	0	0	0	11	0	0	0	0	11
	通所リハビリテーション	179	174	0	0	4	178	0	1	1	0	179
	構成比(%)	97.6	87.6	0.6	0.9	6.9	96.0	0.3	1.2	1.5	2.4	100.0
2年度	利用者数	285	249	3	5	23	280	0	5	5	11	296
	入所	128	99	2	4	19	124	0	4	4	11	139
	ショートステイ	9	8	0	1	0	9	0	0	0	0	9
	通所リハビリテーション	148	142	1	0	4	147	0	1	1	0	148
	構成比(%)	96.3	84.1	1.0	1.7	7.7	94.5	0.0	1.7	1.7	3.7	100.0
3年度	利用者数	273	248	4	3	15	270	0	3	3	9	282
	入所	129	110	3	3	10	126	0	3	3	9	138
	ショートステイ	11	9	0	0	2	11	0	0	0	0	11
	通所リハビリテーション	133	129	1	0	3	133	0	0	0	0	133
	構成比(%)	96.8	87.9	1.4	1.1	5.3	95.7	0.0	1.1	1.1	3.2	100.0



2. 訪問看護ステーション

月別利用者数

月別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用件数	912	945	1112	1022	1015	955	869	904	857	820	809	968	11188
看護	696	759	877	802	811	756	673	708	663	641	634	747	8767
リハビリ	216	186	235	220	204	199	196	186	194	179	175	219	2409
1日平均利用件数	43.4	52.5	50.4	48.5	48.3	47.7	43.4	44.7	42.8	43.1	44.7	43.8	46.1
看護	33.1	42.1	39.8	38.1	38.6	37.8	33.6	35.4	33.1	33.7	35.0	33.9	34.0
リハビリ	10.2	10.3	10.6	10.4	9.7	9.9	9.8	9.3	9.7	9.4	9.7	9.9	9.9
利用者数	136	145	150	151	153	146	136	141	138	138	136	138	1708
看護	136	144	149	151	153	146	136	140	138	138	136	138	1705
看護・リハ併用	30	31	31	32	31	31	29	26	23	27	27	29	347
リハビリ主体	20	21	20	22	21	21	22	22	23	21	21	22	256



地域別利用者数

項目 市町村別	令和元年		令和2年度		令和3年度	
	利用者数(人)	構成比(%)	利用者数(人)	構成比(%)	利用者数(人)	構成比(%)
藤岡市	168	64	170	68	182	72
神流町	0	0	0	0	0	0
上野村	0	0	0	0	0	0
高崎市(吉井町)	9	3.4	13	5.2	9	3.6
高崎市	32	12.3	27	10.8	25	9.9
県内(その他)	0	0	0	0	1	0.4
県外	52	19.9	40	16	36	14
計	261	100	250	100	253	100

休日・祭日・緊急訪問集計(看護師)

(単位:人)

月別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
休日・祭日訪問	45	96	67	78	88	65	43	35	59	67	41	44	728
緊急訪問	53	62	63	68	80	60	49	62	45	41	55	67	705

業 務 概 要

業務概要

1. 診療部

(1) 総合診療科

1. スタッフ

常勤医師：神保貴宏

2. 診療業務の現況

月・火・金 午前の新患

月・火・水・木 午後の再来 の診療を行っています。

新患については、「総合診療科」宛の紹介患者のほか、内科系紹介患者の初期対応を中心に診療し、必要に応じて各専門科に紹介するようにしています。

また、内科・循環器科のカンファレンスに参加して診療内容の検討を行っています。

3. 今後の目標

全人的な診療を心がけ、地域の医療機関と当院の各専門科との橋渡しをスムーズに行うことで、地域医療に貢献していきたいと考えています。

(文責：神保 貴宏)

(2) 消化器内科

1. スタッフ

常勤医は山口泰子、福田わかこの2名体制です。

外来は上記に加え、秋谷寿一、壁谷建志、内視鏡検査は非常勤医が担当します。

2. 業務の現状

当科では主に消化管疾患の診断、治療を行なっております。

入院では消化管出血、異物誤飲に対する緊急内視鏡処置、早期胃癌、早期大腸癌およびポリープの内視鏡治療を行い、胆道感染症、急性膵炎、また進行消化器がんの化学療法、緩和治療をしております。

外来では主として消化器外来、外来患者および検診受診者の内視鏡検査を実施しております。外来対応疾病としては消化性潰瘍、逆流性食道炎、炎症性腸疾患が主体で、その他検診二次の需要が増えております。ピロリ菌感染胃炎の除菌治療や、大腸ポリープの内視鏡切除も行なっております。

2021年度の主な内視鏡検査数は、上部消化管検査総数 5172 件、下部消化管検査総数 1348 件、内視鏡的膵胆管造影総数 62 件、ポリペクトミー (EMR も含む) 442 件、上部消化管 ESD 30 件、緊急内視鏡 279 件、内視鏡的止血術 117 件となっております。

3. 今後の目標

消化管疾患は救急疾患、悪性疾患に対する検査、治療が多いため、消化器外科をはじめとする他科や専門スタッフと協力して迅速かつ質の高い診療を行えるよう努力していきます。また、今年度より胃腫瘍に対する内視鏡的粘膜下層剥離術 (ESD) に加え、大腸腫瘍に対する ESD も取り組んでおります。

(文責：山口 泰子)

(3) 循環器内科

1. スタッフ

入院担当は 井上雅浩・間渕由紀夫・植田哲也・高松寛人・小野洋平の5名です。

外来担当は入院スタッフに加え、鈴木忠・倉林正彦・飯島徹・山岸美保・長谷川寛（不整脈外来）です。

2. 業務の現況

当科では、虚血性心疾患（心筋梗塞・狭心症）・心不全・不整脈・心筋症（拡張型・肥大型・二次性）・心臓弁膜症・高血圧症などを中心に、大動脈疾患（胸部および腹部大動脈瘤・大動脈解離）・閉塞性動脈硬化症・肺血栓塞栓症・深部静脈血栓症・成人先天性心疾患などの診断や治療を行っています。

冠動脈や末梢血管に対する心血管インターベンション治療は、ステント留置術・バルーン血管形成術・血栓吸引術などを行なっています。冠動脈ロータブレード治療の施設認定を取得し、今年度2例に治療しました。冠動脈CTや血管内超音波検査を使用し、適切で安全な治療を心がけています。

急性冠症候群（急性心筋梗塞・不安定狭心症）に対する緊急カテーテル治療は24時間体制で対応しています。毎年100例程の緊急カテーテル治療を行っています。

閉塞性動脈硬化症に対する血管インターベンション治療、徐脈性不整脈に対するペースメーカーの植え込み、肺血栓塞栓症に対する下大静脈フィルター留置なども行っています。

不整脈に対するカテーテルアブレーション治療や植え込み型除細動器、心不全に対する両室ペーシング、冠動脈バイパス術、弁置換術、大血管の手術が必要な症例は、群馬県立心臓血管センター、伊勢崎市民病院、群馬大学医学部附属病院などと連携し診療しています。

3. 2021年度のおもな検査・手術件数

カテーテル検査および治療 563。アセチルコリン負荷検査 22、右心カテーテル検査 10、心筋生検 5。冠動脈カテーテル治療（PCI）225（待期的 126、緊急 99）。大動脈内バルーンパンピング（IABP）15、経皮的心肺補助法（PCPS）1。下大静脈フィルター1。緊急一時ペーシング 13。ペースメーカー植え込み 59（新規およびリード交換 48、電池消耗に伴う本体交換のみ 11）。末梢血管形成術 106（動脈形成術・シャント血管形成術）。

4. 今後の目標

1. 丁寧な病状説明と診療記録を心がけ、患者・家族が納得できる医療を提供する。
2. 医療圏の循環器疾患をすべて受け入れる。
3. カテーテル検査・カテーテル治療を積極的に行い、より多くの患者に最新医療を提供する。
4. 地域医療連携を活用し、スムーズな退院指導を行うことで平均在院日数の短縮に努める。
5. インシデント・アクシデントレポートを積極的に提出し、医療事故を未然に防ぐ。
6. 臨床研修医にトレーニングの場を提供し、循環器診療に必要な考え方や基本技術を身につけた医師を育てる。

（文責：井上 雅浩）

(4) 呼吸器内科

1. スタッフ

茂木 充、竹村仁男、高野峻一、池田香菜

常勤医4人体制で診療にあたっている。

非常勤医師：須賀達夫：外来診療を行っている。

2. 業務の現況

呼吸器内科では肺癌をはじめとする腫瘍性疾患（悪性中皮腫、縦隔腫瘍を含む）、慢性閉塞性肺疾患、気管支喘息、多種多様な呼吸器感染症（肺炎、気管支炎、細気管支炎、胸膜炎、肺結核など）、特発性肺線維症をはじめとする間質性肺疾患（特発性間質性肺炎、膠原病肺、薬剤性間質性肺炎など）、気胸、各種胸膜炎、肺血栓塞栓症などを主な対象疾患としている。

入院患者の主な疾患は、肺癌、肺炎、間質性肺疾患、慢性閉塞性肺疾患、気管支喘息、呼吸不全などである。

肺癌患者の治療は十分なインフォームド・コンセントを得た上で、手術療法、化学療法、放射線療法のうち、その患者に適切な治療法を選択し施行している。呼吸器内科としては化学療法単独、放射線療法単独、ならびに化学療法・放射線療法併用療法を行っている。近年では、分子標的治療薬や免疫チェックポイント阻害薬による治療例が増加し、進行肺肺癌の治療成績は飛躍的に向上してきている。

間質性肺疾患としては、特発性間質性肺炎をはじめ、膠原病に関連する間質性肺炎や薬剤性肺炎を数多く診療している。

気管支鏡検査は、2020年度は83件、2021年度は86件に行っている。日本呼吸器内視鏡学会認定施設であり、超音波気管支鏡が導入されており、超音波気管支鏡検査対象患者数が増加している。

<外来担当医表>

	月	火	水	木	金
午前	池田・板井	池田・茂木	須賀	池田・高野	池田・茂木
午後	茂木	高野	須賀・竹村	(気管支鏡)	竹村

3. カンファランス・研修教育

多職種合同呼吸器カンファレンス：毎週水曜日に北5階病棟で行っている。参加メンバーは、呼吸器内科医（専門医、指導医）、放射線治療医、研修医、病棟看護師長、緩和ケア専門看護師、摂食嚥下障害看護認定看護師、薬剤師、栄養士、理学療法士、ソーシャルワーカーらで構成されている。

研修医教育には一段と力を注ぎ、魅力のある病院にするべく努力している。学会発表を積極的に行い、研修医にも発表の機会を提供している。

4. 臨床研究テーマ

- (1) EGFR T790M 変異陽性非小細胞肺癌におけるオシメルチニブの効果予測因子に関する前向き観察研究
- (2) 肺癌治療における免疫チェックポイント阻害薬の有効性と有害事象の検討
- (3) 薬剤性肺障害の臨床的検討
- (4) 各種間質性肺炎のHRCT所見の検討
- (5) レジオネラ肺炎の臨床的検討
- (6) ニューモシスチス肺炎の臨床的検討
- (7) COVID-19 の画像所見の検討
- (8) COVID-19-ARDS の臨床的検討：アクテムラ療法の検討

5. 今後の展望

群馬大学附属病院をはじめとする他の専門病院との連携を深め、県内の呼吸器科医の育成に努め、群馬県内（埼玉県北部医療圏を含む）の呼吸器疾患診療のさらなる充実を目指す。

(文責：茂木 充)

(5) 血液内科

1. スタッフ

外山耕太郎、武井寿史、野口紘幸、今村健二（内科専攻医）

2. 業務の現況

今年度は血液指導医・専門医1名、専門医1名、内科認定医1名、内科専攻医1名でスタートとなったが、1名が指導医を、1名が血液専門医を在職中に取得した。群馬県全域及び埼玉県北部の二次医療圏を超えた範囲からの血液疾患症例を受け入れている。基幹病院としての特性から積極的な治療を必要とする患者から Best supportive care の対象となる高齢者まで、幅広い年齢層の症例が集まっている。当院の特色として外科、循環器科、整形外科、透析科、放射線科などの他科との連携が容易であり、他の病院では対応できない数多くの合併症を持った患者に対応している。

無菌病棟が充実し、急性白血病症例や、強度の強い治療を必要とするリンパ腫症例数は更に増加しており、無菌病床はすでに不足している状況となっている。

2020年度は悪性リンパ腫の患者数減少などを認めたが患者数も回復し、多発性骨髄腫の累計患者数増加に伴い、外来化学療法室での治療が過密となってきている。

濾胞性リンパ腫の FOREST 試験や、Hodgkin リンパ腫の HORIZON 試験、JALSG の CS-17、GML219、W-JHS-MM02、W-JHS-HL01 といった全国規模の臨床試験に積極的に参加を行い新たな Evidence の構築に貢献している。

3. 今後の目標

同種移植が必要な患者に関しては、群馬大学血液内科や済生会前橋病院と連携をとり治療にあたっていく。

各種新規薬剤、レジメンの導入を遅滞なく行い、複雑化する血液内科の最新治療に対応していく。

研修指定病院としての役割で投下の果たす役割は多くはないが、当院の特色ある研修の一つとして研修医の指導に当たっていく。

4. 業務実績

急性骨髄性白血病7例、急性リンパ性白血病4例、骨髄異形成症候群14例、悪性リンパ腫36例、多発性骨髄腫12例、意義不明な単クローン性 γ グロブリン血症6例、慢性骨髄性白血病慢性期2例、慢性骨髄性白血病急性転化1例、真性多血症2例、本態性血小板血症4例、原発性骨髄線維症1例、慢性骨髄単球性白血病1例、MDS/MPN RS-T1例、再生不良性貧血1例、免疫性血小板減少症3例、自己免疫性溶血性貧血3例、悪性貧血5例、ビタミンB12欠乏性貧血（胃全摘後）1例、葉酸欠乏性貧血2例、血栓性血小板減少性紫斑病1例、自己免疫性好中球減少症1例、EDTA偽性血小板減少症1例、TAFRO症候群1例、サルコイドーシス1例、EBウイルス関連血球貪食性リンパ組織球症2例、伝染性単核球症3例、自家末梢血造血幹細胞移植3例

（文責：外山 耕太郎）

(6) 腎臓・リウマチ内科

1. スタッフ

塚田義人、太田史絵、月田真祐子、茂木伸介、半田広海、中村美紀

2. 業務内容

腎疾患診療については検尿異常から慢性腎臓病、ネフローゼ、急性腎障害などの患者さんの診療に対応している。今年度は31例の腎生検を行った。

また外来通院中の慢性腎臓病患者さんに対しては、疾患に対する知識を深めてもらうため、腎臓病教室を開催している。また慢性腎臓病3期以降の患者さんに対しては、自分にあった腎代替療法（腎移植・透析）を選べるよう、腎代替療法選択外来で情報提供・面談を行っている。

血液浄化治療に関しては、人工透析室に固定式29台、可動用2台の透析用コンソールを有し、維持外来血液透析患者さんだけでなく、新規導入や他院からの紹介、HCUや病棟での緊急透析に対応している。今年度は27例の新規血液透析導入と、4例の新規腹膜透析の導入を行った。血液透析患者さんの内シャント狭窄・閉塞に対するカテーテル治療を80件施行した。急性腎障害に対する一時的な血液透析、血栓性血小板減少性紫斑病などに対する血漿交換療法、炎症性腸疾患に対する顆粒球除去療法、ネフローゼ・閉塞性動脈硬化症に対するLDLアフェレーシスや、難治性腹水に対する腹膜濾過濃縮再静注療法、敗血症性ショックに対するエンドトキシン吸着療法などの血液浄化療法にも対応している。

リウマチ・膠原病に関しては県内のみならず、埼玉北部からも広く患者さんが紹介されている。この数年でリウマチ・膠原病領域で新たな治療薬が複数承認されている。薬の副作用に留意しつつ、疾患の寛解を目指して積極的に治療に当たっている。

3. 今後の目標

現行の診療体制を維持しつつ、地域の腎臓・リウマチ膠原病治療に貢献できるよう、診療の幅を広げていきたい。

(文責：太田 史絵)

(7) 糖尿病内科

1. スタッフ

2019年4月より中原理恵子が群馬大学大学院医学系研究科 臨床検査医学講座からの派遣にて常勤として勤務しています。また、非常勤として朱啓子、津久井智（糖尿病外来）、西野道夫（甲状腺外来）先生方に外来支援をいただいています。

日本糖尿病療養指導士は看護師6名、管理栄養士4名、薬剤師2名、理学療法士2名、臨床検査技師2名の計12名、群馬糖尿病療養指導士は13名おり、院内での糖尿病指導などにおける企画、実施を共に行っています。

2. 業務内容

外来診療は非常勤医を含め糖尿病外来6枠、甲状腺外来2枠で行っています。

糖尿病については1型糖尿病、2型糖尿病、妊娠糖尿病などのほか、周術期や抗がん剤治療・ステロイド治療中の患者様の血糖管理を主な業務としています。また、2019年4月よりインスリンポンプ療法の診療を開始しており、SAP治療にも対応しております。今年度よりリアルタイムCGM（ガーディアンコネクト、G6）にも対応しております。糖尿病透析予防指導では指導体制を強化し年間のべ135人の指導に当たり、慢性腎機能障害の患者様においても成果をあげています。令和2年度より稼働しておりますフットケア外来ではハイリスク患者様を中心に診療しており足潰瘍発症・再発抑制に力を入れています。

内分泌疾患については下垂体疾患、甲状腺疾患（バセドウ病、橋本病、亜急性甲状腺炎等）、副腎疾患（アジソン病、原発性アルドステロン症など）の精査・診断・治療を中心に行っています。

入院では糖尿病教育入院による教育・精査・治療内容の見直しのほか、糖尿病ケトアシドーシス(DKA)・高血糖高浸透圧症候群(HHS)などの糖尿病救急疾患と内分泌疾患の精査診断、粘液水腫重症例などを診療しています。また、院内往診（周術期血糖管理、外傷・感染症・ステロイド使用などに伴う高血糖に対する血糖管理）を主な業務としています。

糖尿病教育入院パスは1週間入院と2週間入院を設け、毎月第2水曜日を入院日としてお受け

しています。令和3年度は12回実施、参加者57名、うち教育入院14名です。地域の治療困難な糖尿病患者様の精査・教育入院もお受けしております。退院後はご紹介頂いた医療機関へ逆紹介させていただきます。

診療外の活動としては、外来患者様や一般の方を対象にした糖尿病教室を年4回開催しております。新型コロナウイルス感染流行中において安全に開催するため、本年は受講人数を20名程度に絞り当院に通院中の患者様を中心にお集まりいただき十分な感染対策のもとで開催しています。

糖尿病友の会『カンナの会』の活動としては、定例会の他、群馬糖尿病協会主催の糖尿病ウォークラリーなどが再開されましたら参加していきたいと思います。

糖尿病、内分泌疾患とも近隣医療機関より広くご紹介頂いており、地域における当科の役割を改めて認識するところです。病状が安定した患者様は積極的に逆紹介させていただき、新規の紹介患者様を受け入れられるよう努めています。

3. 今後の目標

糖尿病教育入院で地域の患者様の糖尿病教育・療養指導に力を入れて細小血管症ならびに大血管障害の予防に貢献したいと思います。また、地域における重症低血糖件数の減少、糖尿病合併症の進展抑制（糖尿病による人工透析導入の減少、足壊疽による下肢切断症例の減少）のため糖尿病チームで外来指導を継続していきたいと思います。

（文責：中原 理恵子）

（8）小児科

1. スタッフ

常勤医：渡部登志雄、小山晴美、相馬洋紀。嘱託医：牧岡西紀の4人体制。

非常勤：岡田恭典（循環器、発達）、川嶋伸明（神経、発達）、濱嶋恵美（内分泌・代謝）、鈴木信、大竹紗弥香（外科・消化器）の5人。

以上の常勤+非常勤各先生の援助で小児疾患の広い分野をカバーしている。（敬称略）

2. 業務内容

令和3年度も、入院数は新型コロナウイルス感染症の影響が続き、前年度よりは盛り返したがコロナ前のレベルには及ばない状況であった。

外来は総数で6262人とコロナ前の87%程度にとどまった。特殊検査は腎生検3件、腎シンチ13件、膀胱造影30件、ネフローゼに対するリツキシマブ投与3件とほぼ前年同様、アレルギー疾患については、入院での食物負荷試験は15件と大幅に増加した。内分泌負荷試験は13件行った。

新生児については院内出生の34週以降の早期産児。呼吸障害、感染症、初期嘔吐、新生児黄疸等の疾患につき87例の入院加療を行った。内DPAP装着10例と例年より多かった。

新生児蘇生講習会の開催は一回にとどまり6名のプロバイダーを輩出した。

3. 目標

新型コロナ感染症は出口がまだ見えぬままで、小児医療がどのように変わっていくかは未だはっきりしない。次年度も当院の利点（専門外来の種類多さ）を宣伝し、周囲からの紹介をさらに得られるように努力していききたい。また、スタッフの小児、新生児対応のレベルアップも引き続き図っていききたい。

（文責：渡部 登志雄）

（9）外科

1. スタッフ

石崎政利、設楽芳範、中村卓郎、中里健二、加藤寿英、松本明香、原圭吾、高橋遼、

2. 施設認定

- ① 日本外科学会外科専門医制度修練施設
- ② 日本消化器外科学会専門医修練施設
- ③ 日本がん治療認定医機構認定研修施設
- ④ 日本臨床腫瘍学会認定研修施設
- ⑤ 日本呼吸器外科学会専門医制度関連施設
- ⑥ 日本乳癌学会認定医・専門医制度関連施設
- ⑦ 日本消化器病学会専門医制度認定施設
- ⑧ 日本消化器内視鏡学会専門医制度認定施設
- ⑨ 日本気管食道科学会認定気管食道科専門医研修施設

3. 診療内容

- ①消化器外科：消化器の良性・悪性疾患
- ②呼吸器外科：肺、縦隔、胸膜、胸壁の疾患
- ③乳腺・内分泌外科：乳腺、甲状腺の疾患
- ④小児外科：小児ヘルニア
- ⑤一般外科：虫垂炎、成人ヘルニア、リンパ節、皮下腫瘍

4. 目標

安全を確保できるシステムで標準的な治療を提供する。

- ①医師の能力向上に努める
- ②学術的診療業務への取り組み
- ③外科医療の質改善に努める
- ④がん地域連携パスの推進

5. 手術実績と今後の目標

令和3年度は、3名の医師交代がありました。群馬大学医局人事により熊倉裕二先生、山中崇弘先生、遠藤瑞貴先生が異動となり、代わりに原圭吾先生、片山千佳先生、青木麻由先生が着任しました。群馬大学医学部附属病院 外科診療センターより循環器外科阿部知伸先生（第1,3週水曜日の午後外来）、小児外科鈴木信先生（第3月曜日の午前外来）、小児外科大竹紗弥先生（第2,4週水曜日の午後外来）、呼吸器外科尾林海先生（毎週火曜日の手術）、各先生方にご協力をいただいております。令和3年度の総手術件数は677件で、コロナ禍の影響があり昨年より減少しました（昨年度724件）。悪性腫瘍の手術件数は255件であり、こちらも昨年より減少しています（昨年度278件）。内訳では食道がん0例、胃がん41例（ESD17例、鏡視下手術6例）、大腸がん103例（鏡視下手術41例）、肝胆膵がん10例、肺がん58例（鏡視下手術56例）、乳腺・甲状腺がん43例でした。多くが減少しておりましたが、肺がん症例は増加しております。他、虫垂切除は58例（鏡視下手術57例）、ヘルニア手術は103例（鏡視下手術72例）、胆石症手術は109例（鏡視下手術76例）でした。令和3年度は、初期臨床研修医1年次6名、2年次3名が外科を選択し1-2ヶ月の研修を行い、良性疾患、悪性疾患、緊急手術等、幅広く研修していました。これからも、患者さんに求められる質の高い医療サービスを提供して、地域から信頼される医療を行いたいと考えております。

（文責：中里 健二）

（10）整形外科

1. スタッフ

常勤医師：中島大輔、坂根英夫、工藤千佳、津久井俊樹、萩原舟平、根岸涼介

非常勤医師（外来のみ）：勝見賢、猪俣和弘

2. 業務の現況

常勤医 6 名と外来のみの非常勤医 2 名で診療を行っています。外来は月曜日から金曜日までの午前に一般外来、火曜日午後に脊椎外来を行っています。

診療内容は整形外科領域全般にわたっており、特に手外科領域に関しては 2 次医療圏を超えた広い範囲からの紹介があるのが特徴であります。

手術に関しましては、骨折や軟部組織損傷などの外傷手術が多いのが当院の特徴であります。新型コロナウイルス感染症流行に伴い令和 2 年度は手術件数の減少が認められましたが、令和 3 年度は緊急手術を含め手術件数が回復傾向となっております。

毎週月曜日には術前術後のカンファレンスや、多職種カンファレンスを開いており、治療方針などの情報共有をはかっております。

当科では治療の標準化、入院期間の短縮などを目的としてクリニカルパスを積極的に使用しております。また大腿骨近位部骨折や脊椎圧迫骨折については地域連携パスがあり、急性期治療終了後に近隣病院へ円滑に転院できるような体制を整えております。

3. 今後の目標

- ・地域中核病院として安全で質の高い医療を提供すること
- ・地域関係機関と連携し急性期病院としての機能をはたすこと
- ・年間手術件数の増加
- ・学術活動への積極的な参加
- ・整形外科専門医、手外科専門医の養成

4. 業務実績

令和 3 年度手術総件数は 731 件（内緊急手術 68 件）でありました。

主要手術件数は、大腿骨近位部骨折 152 件（頸部骨折骨接合術 12 件、頸部骨折人工骨頭置換術 65 件、転子部骨折 70 件、転子下骨折 5 件）、人工股関節置換術 3 件、膝関節周囲外傷 25 件、足関節周囲外傷 28 件（内足関節脱臼骨折 16 件）、下肢切断術 11 件、外反母趾矯正手術 7 件、肩甲帯～上腕骨幹部外傷 28 件、肘関節周囲外傷 29 件（内小児肘外傷 10 件）、前腕骨幹部～手指外傷 111 件（内橈骨遠位端骨折 39 件、顕微鏡下神経血管修復術 13 件）、内シヤント造設術 57 件、狭窄性腱鞘炎手術 46 件、絞扼性神経障害手術 31 件（手根管症候群 25 件、肘部管症候群 6 件）、緊急創外固定設置 9 件、骨内異物除去術 84 件などとなっております。

（文責：中島 大輔）

（1 1）脳神経外科

1. スタッフ及び人事

病棟スタッフは 2020. 4. 1～2022. 3. 31 込山和毅医師が着任した。

過去 5 年間の在籍医師は下表に示す。

過去 5 年の在籍医師			
2017. 4. 1 ～ 2018. 9. 30	甲賀英明	若林和樹	吉沢将士
2018. 10. 1 ～ 2019. 9. 30	甲賀英明	若林和樹	小島丈夫
2019. 10. 1 ～ 2020. 3. 31	甲賀英明	若林和樹	富田庸介
2020. 4. 1 ～ 2022. 3. 31	甲賀英明	若林和樹	込山和毅

2. 外来体制

月曜若林、火曜休診、水曜日甲賀・田村、木曜込山、金曜甲賀が担当した。

	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
総入院数	608	654	640	605	640
脳腫瘍	24	26	29	10	11
脳血管障害	408	414	429	429	450 ↑
くも膜下出血+動脈瘤	26	25	23	45	30
脳出血	95	98	112	90	125 ↑
脳梗塞	283	295	288	294	295
頭部外傷	176	128	105	112	108
機能的疾患・痙攣	32	45	43	27	29
住所地 群馬県	399	422	399 (62%)	392 人 (65%)	433 (67%)
埼玉県	196 (32%)	217 (33%)	222 (35%)	206 人 (34%)	194 (30%) ↓
富岡下仁田南牧安中	38	35	70	55	77 ↑
退院先 自宅退院(含北二階)	316 (52%)	363 (56%)	363 (57%)	309 (51%)	330 (52%)
他院回復期転院	93	51	65	54	68 (11%)
療養病床	44	72	64	60	68 (11%)
介護施設入所	79	74	64	70	71 (11%)
死亡退院	38	43	53	55	54 (8%)

月	火	水	木	金
若林和樹	休診	甲賀英明 田村勝	込山和毅	甲賀英明

3. 待機救急体制

tPA 静注療法及び血栓回収療法に対して常時対応体制としている。富岡方面からは直接救急車が搬送される (Stroke Bypass)。

4. 入院患者統計

入院患者疾患動向：脳血管障害全体・脳出血患者は増加、頭部外傷患者は減少である。

住所地では 埼玉県からの入院は 30～35%を占める。

富岡地区（富岡・下仁田・南牧・安中）からの Stroke Bypass（救急車による直接搬送）が増加している。一つは脳卒中急性期患者のトリアージの進歩しているものと思われる。介護施設からの入院は 66 人（10%）をしめた。

5. その他の臨床データ

DPC 病棟：平均在院日数（13.7 日）

回復期包括含む：平均在院日数（25.3 日） 脳梗塞 4.5 時間以内入院 109 人（36.5%）

6. 手術件数一覧

血管内手術：血管内手術は平成 29 年度（47 件）→令和 3 年度（83 件）

特に血栓回収療法は平成 29 年度 20 件→令和 3 年度（42 件）と 2 倍に増加している。

		平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
脳腫瘍	頭蓋内腫瘍摘出術	4	6	8	5	5
	経蝶形骨洞下垂体腫瘍手術	3	1	3		
脳血管障害	クリッピング	11	10	7	14	5
	<u>AVM 摘出</u>					
	頸動脈内膜剥離術	2				1
	バイパス手術		1	1		
	高血圧性脳出血（開頭）	2	8	5	7	11
	高血圧性脳出血（内視鏡）	2	2		1	3
外傷	急性硬膜外血腫除去	1		1		
	急性硬膜下血腫除去	7	4	9	4	8
	外傷性脳内血腫除去			1		
	外減圧術	1				
	慢性硬膜下血腫	45	55	33	48	44
	髄液漏閉鎖術					0
	陥没骨折整復					0
水頭症	シャント手術	1	3	3	10	8
	脳室ドレナージ/オマヤ	3	8	7	8	6
血管内手術	外頸動脈塞栓術	1	1			2
	動脈瘤コイル塞栓術（破裂）	8	8	14	18	13

	動脈瘤コイル塞栓術（未破裂）					1
	AVM AVF 塞栓術		1	1	1	1
	血栓回収療法	20	22	34	30	42
	頸動脈ステント	17	11	20	13	20
	PTA/POBA	1	1		1	4
その他	頭蓋形成術		1	3	1	2
	大孔減圧術					1
	脳膿瘍摘出術・ドレナージ	1	1	2	2	
	シャント抜去				3	2
	頭蓋骨除去	1	2			
	気管切開術	2	9	3	1	3
	他(胃瘻その他)	3	3	5	5	10
tPA 静注療法		29	26	38	44	28
総計		165	184	198	216	220

(文責：甲賀 英明)

(1 2) 皮膚科

1. スタッフ

常勤医師：部長 1 名

2. 診療業務の現況

外来診療は、月曜日から金曜日の午前と、木曜日の午後に行っている。また、火、水曜日の午後は外来にて日帰り手術を行っている。病棟患者の診察・往診業務は原則毎日行っている。金曜日の午後には、病棟患者の褥瘡回診を褥瘡対策チームメンバーとともに行っている。

3. 今後の目標

入院患者を増加させることにより、収益の増加を目指す。褥瘡対策チームにおけるチーム医療活動を通じて、当院のみならず地域医療に貢献したい。

(文責：嶋岡 正利)

(1 3) 泌尿器科

1. スタッフ

常勤医師 3 名

非常勤医師 1 名

2. 業務内容

外来診療は水曜、木曜は午前のみだが、月曜、火曜、金曜は午前、午後ともに診療している。泌尿器科一般（尿路性器がん、尿路結石、尿路性器感染症等）の診療を行っている。

入院診療では水曜、木曜、金曜（午前）に手術を行っている。水曜には長時間の開放手術や経尿道的手術を行い、木曜に鏡視下手術を主に行っている。また月曜、火曜、金曜には通院で体外衝撃波結石破碎術（ESWL）を行っている。毎週月曜日に病棟カンファレンスを行っている。

3. 目標

泌尿器科がんの標準的な治療（手術、放射線療法、化学療法）は当院で行えるようにしたい。また H24 年度より低侵襲手術（鏡視下副腎、腎摘出手術）を導入し、H26 年度より鏡視下前立腺全摘除術を開始した。（H27 年 3 月に腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術の施設認定が受理されました）病棟ではスタッフとともにカンファレンスを継続して行い、泌尿器科チームとして質の高い、満足してもらえる医療を提供したい。

4. 業務実績

手術件数（令和 3 年 1 月～12 月）

病名	術名	件数
副腎腫瘍	腹腔鏡下副腎摘除術	3
腎癌	腹腔鏡下根治的腎摘出術	1
	腹腔鏡下腎部分切除術	5
腎盂尿管癌	腹腔鏡下腎尿管全摘除術	2
	腎尿管全摘除術（開放）	1
	尿管部分切除＋尿管膀胱再吻合	2
腎盂尿管癌疑い	尿管鏡	4
	逆行性腎盂造影	4
膀胱癌	膀胱全摘除術＋回腸導管造設	2
	膀胱全摘除術＋尿管皮膚瘻	1
	経尿道的膀胱腫瘍切除術	76
消化器癌膀胱浸潤	膀胱部分切除	2
前立腺癌	腹腔鏡下前立腺全摘	13
	去勢術	2
前立腺癌疑い	前立腺生検	116
精巣癌	高位精巣摘除	3
腎嚢胞	経皮的腎嚢胞穿刺術	1
	腹腔鏡下腎嚢胞切除術	1
前立腺肥大症	経尿道的前立腺切除	10
尿管狭窄	D-J ステンント留置	101
	D-J ステンント抜去	4
	尿管バルーン拡張術	1
	腎瘻造設	2
	腎瘻拡張	1
精巣捻転	精巣固定	2
尿管結石	経尿道的尿管結石破碎術	26
	尿管切石術	1
膀胱結石	経尿道的膀胱結石摘出	7
包茎	環状切除	2

腎尿管結石	体外衝撃波結石破碎術（新規）	34(13)
慢性腎不全	腹膜透析用カテーテル留置	4
その他	膀胱瘻造設	5
	陰嚢水腫根治術	8
	カルンクルス切除	2
	内視尿道切開	2
	腎（周囲）膿瘍ドレナージ	1
	腎生検	3
	腎瘻（尿管皮膚瘻）カテーテル交換	3

5. 研究業績（令和3年1月～12月）

論文：なし

学会発表：なし

講演：なし

（文責：武井 智幸）

（14）産婦人科

1. スタッフ

産婦人科医師は、診療科長、病棟医長に2名の産婦人科部長と、群大派遣の医員1名の、常勤医師3名体制で変わらない。群大医局との緊密な支援・連携により、火曜日～木曜日の当直非常勤医師3名の派遣を受けている。

病棟は、小児科医師4名に、助産師14名、看護師14名、病棟薬剤師1名、助手1名で、毎日夜間・休日問わず、分担してこの地域の周産期医療を担っている。

外来は、常勤医師の他に、外来専任医師2名と非常勤助産師1名、外来看護師で産科と婦人科と分担して診療を行っている。地域からの手術依頼の紹介と、合併症を持った妊婦、里帰り紹介の割合が比較的高いのが特徴である。また、不妊治療は、専門医を欠いている事情により、未だ弱点となっている。

この数年はCOVID-19感染症の対応に追われる毎日で、微力ながら、COVID-19感染妊婦の受け入れ、帝王切開（これまでに10件程度）が可能な県内5病院の一角を成している。

2. 業務概要

外来業務は、月曜～金曜に、第一診察室で婦人科、第二診察室で産科と分担して、吉田医師と延命医師が主に担当し、当院の対外的な顔となっている。常勤医師も、水曜～金曜に午前午後それぞれ産科、婦人科の外来を持っている。

病棟では、主に月曜火曜に手術を行っている。令和3年（2021）の1年間に、171件（前年比+5件）の手術を行っており、悪性腫瘍の根治手術から、内視鏡下の手術、膣式の手術、緊急手術まで、幅広く多彩な産婦人科手術を行っているのが当科の特徴である。分娩は年中無休・24時間対応で、1年間に201件（前年比-10件、帝王切開57件うち緊急帝王切開24件）を、COVID-19蔓延下にもかかわらず取り扱っている。母体と児の安全を同時に扱う、超高度なストレスの中、医師は365日の当直を、助産師・看護師は2交代での24時間勤務を、助け合い・融通し合いながら青色吐息でこなしている。それでも、妊婦・患者に親切・丁寧に接しており、産科病棟特有の明るさと、高度に求められる安全を維持し続け、退院時には笑顔で皆様感謝と口にする。また、常に不足している産科医、助産師の養成に向けて、研修医・医学生、助産・看護学生など、後輩教育に心血を注いでいるのも、当院産婦人科比肩なき特徴である。

3. 今後の目標

病棟一体で、さらなる安全意識の向上・安全策の徹底を目指す。COVID-19 蔓延の経験を元に、新たなるパンデミックに備えなくてはならない。

手術、分娩とも、単純に数の増加を目指すのではなく、安全性・快適性などで、質の向上を目指すのが、今後の産婦人科診療のあり方と思っている。

病棟医師と外来専任医師との意思の疎通と、方向性の共有も当産婦人科の大きな課題である。また、是非にも不妊症の専門医を招聘したい。

(文責：遠藤 究)

(15) リハビリテーション科

1. スタッフ

医師は4月から常勤1名、非常勤1名の体制となり、10月から後期研修医が1名常勤となった。療法士は理学32名、作業19名、言語聴覚9名でリハビリテーションを実施しています。

2. 業務の状況

リハビリテーション科は疾病に伴う患者の障害を評価し、社会的背景を考慮して、到達目標を設定し、患者の社会復帰や障害の克服を手助けする役割を担っています。

当院のリハビリテーションは急性期入院部門、外来部門、回復期病棟部門があり、「脳血管疾患等リハビリテーション料（Ⅰ）」「運動器リハビリテーション料（Ⅰ）」「呼吸器疾患リハビリテーション料（Ⅰ）」「がん患者リハビリテーション」、「心大血管疾患リハビリテーション料（Ⅰ）」、「廃用症候群リハビリテーション料（Ⅰ）」の施設基準で、回復期病棟では回復期リハビリテーション病棟入院料1の施設基準で運用しています。さらに訪問看護ステーション「はるかぜ」と連動した訪問リハビリテーションも実施しています。

令和元年度リハビリテーション（以下リハビリ）の新規依頼件数は、入院患者では総数3141件、内訳は脳血管疾患等リハビリ602件、運動器リハビリ400件、呼吸器疾患リハビリ490件、がん患者リハビリ256件、心大血管疾患リハビリ1件、廃用症候群リハビリ1392件でした。外来患者では総数399件、内訳は脳血管疾患等リハビリ76件、運動器リハビリ246件、呼吸器疾患リハビリ77件、訪問リハビリ54件、診断書に関わる身体計測は54件でした。回復期病棟への新規入棟患者は243件でした。

入院部門では、昨年度と比べ脳血管疾患等リハビリと呼吸器リハビリが増加し、総数も増えました。外来部門では、前年に比べ脳血管疾患等リハビリと呼吸器リハビリの依頼数が増加しました。また、診断書に関わる身体測定なども行っています。

回復期リハビリ病棟では、脳血管疾患や骨折など発症し急性期治療後に病状が安定した患者に引き続き集中的なリハビリを行うことで、機能回復や日常生活での必要な動作の改善を図り、社会や家庭への復帰を促進します。そのために医師、看護師、療法士、社会福祉士、栄養士など多職種が密に連携して業務を行っています。

訪問リハビリは在宅でのリハビリを提供しています。主治医からの依頼で、通院困難な患者の訪問リハビリも行っています。

3. 今後の目標

地域の医療機関や施設と連携し、リハビリを行っていきます。入院患者には病初期から介入し早期退院、回復期リハビリへの移行をすすめ、在院日数の短縮をはかります。また終末期がん患者のリハビリに積極的に関わっていきます。外来では通院可能な患者の職場復帰や社会活動への参加をめざし、機能向上、廃用防止につとめます。訪問では、在宅でのリハビリを希望する利用者を支えていく体制を整えていきたいと考えています。今後も、利用者にとって満足度の高い医療を提供することを心がけていきます。

(文責：黒崎 みのり)

(16) 放射線治療科

1. スタッフ

常勤1名、非常勤2名（水曜日午後、金曜日午後）

2. 業務内容

外来診療、放射線治療計画、放射線治療。

重粒子治療、定位放射線治療、強度変調放射線治療、密封小線源治療等が必要な場合には群馬大学医学部附属病院や群馬県・埼玉県内などの近隣の放射線治療施設へ御紹介させていただきます。

3. 業務実績

令和3年度の治療患者数（新患）は109例でした。

4. 今後の目標

他科との連携を取りつつ、患者様の状態やご意向に沿った適切な治療を提供するよう努めていきたいと思っております。

（文責：塩谷 真里子）

(17) 放射線診断科

1. スタッフ

令和3年度は 神宮晶子、横田貴之の常勤2名。週3日半日は非常勤医師の応援。

2. 業務内容

CT、MRI、核医学検査の読影。CTガイド下での生検やドレナージ、出血等の緊急血管造影・治療。

3. 業務実績

令和3年度の実施件数はCT 17836件、MRI 5393件、RI 557件、PET 561件、CTガイド下生検およびドレナージ・緊急血管造影併せて15件でした。コロナ感染症の影響を強く受けた前年度より全体に検査数は増加しました。

4. 今後の目標

迅速で正確な読影をすることで、各科の診療・患者様の治療方針等に貢献できるようにしていきたいと思っております。各診療科とも積極的に連絡を取り合いながら、診断していきたいと考えています。夜間や休日の急ぎの読影や血管造影は、大学からの応援も受けつつ、引き続き対応していきたいと思っております。

（文責：神宮 晶子）

(18) 麻酔科

1. スタッフ

日本専門医機構による名称変更で麻酔科専門医荒井、牛込、金井、田口、萩原の5名が昨年に引き続き手術麻酔全般を担当しています。その日の待機者が手術室リーダー看護師と相談して手術室の割り振りや手術開始時間を調整しています。

2. 診療業務の現況

局所麻酔以外のすべての手術麻酔を管理しています。緊急手術は24時間いつでも対応できる体制をとっています。昨今は重症患者も多く、麻酔管理に難渋することもますます多くなり

ました。

そのほかに、ペインクリニック外来を月曜日と木曜日の午前中に開いており、主に帯状疱疹関連痛、慢性疼痛、顔面けいれんなどを扱っています。また、筋肉由来の疼痛、例えば重症な肩こりや腰痛に対して、筋膜リリースに即効性があり患者さんに感謝されています。

2021年の麻酔科管理は1718例で内訳は全身麻酔（硬膜外麻酔併用を含む）1216例、腰椎麻酔389例、硬膜外麻酔100例、伝達麻酔その他13例でした。前年より全体では5%ほど増加しましたが、新型コロナ流行以前の一昨年には達していません。

3. 今後の目標

手術部門システムの導入により効率的な手術運営及び医療の質、安全性の向上を図ることができるようになりました。しかし、麻酔器やモニターの更新は否応なくやってきます。コロナ禍の厳しい状況ではありますが、安全な医療を目指す観点からも昨年と同様に更新を病院にお願いしたいと思っています。

（文責：荒井 賢一）

（19）歯科口腔外科

1. スタッフ

常勤

歯科医師 清水崇寛, 池 嘉子

歯科衛生士 飯沼 瞳, 齊藤由佳, 中村夢衣

非常勤

歯科医師 横尾 聡, 高山 優

歯科衛生士 富沢亜希子（2022/03～）

2. 業務内容

歯科口腔外科は今年で4年目を迎えました。昨年と同様に高山優先生と群馬大学大学院医学系研究科口腔顎顔面外科学講座教授・横尾聡先生には非常勤として手術の指導として勤務いただいております。二次医療機関の歯科口腔外科として引き続き難易度の高い抜歯や腫瘍、嚢胞に対する手術を行っております。また歯科衛生士が主体となり、悪性腫瘍などの手術や化学療法、放射線療法などの患者に対する周術期口腔機能管理や糖尿病教育入院患者への糖尿病と歯周炎の関係についての患者教育を積極的に行っております。

3. 業務実績

外来：初診患者数は1172人（昨年度1120人）と同程度の紹介は頂いておりますが、周術期口腔機能管理初診患者総数は287人（昨年度230人）と増加傾向にあります。外来局所麻酔下の高頻度手術である普通抜歯は262例、埋伏歯抜歯は131例、生検・腫瘍摘出48例でした。顕微鏡下歯根端切除は6例で、歯科用インプラント埋入は3例と例年とほぼ同程度の頻度でした。

入院：全身麻酔下手術件数は94例でした。主な手術は難抜歯ですが、今年度も、症例数はまだ少ないですが口腔悪性腫瘍に対する切除・頸部郭清や顎変形症に対する顎骨骨切りの手術などを行っております。昨年度と比較すると全身麻酔症例数は非常に増加しており、1.5倍以上となっております。また悪性腫瘍患者への放射線治療や化学療法のための入院など、今年度よりさらにその門戸を拡大しております。手術件数の増加や症例の多様化に伴い、今年度から病棟看護師との合同カンファレンスや勉強会を行っております。

2021年10月付けで日本口腔外科学会の口腔外科専門研修准施設認定を得ることができ、今後専門医や認定医の取得も可能となりました。

研究面では日本口腔外科学会総会で1演題、日本口腔腫瘍学会総会で1演題発表しております。

す。また、池医師の論文が2022年1月にBMC Oral Healthにacceptとなり、publishされております。今後も学会発表や論文投稿は続けていきます。

4. 目標

手術症例は増加してきておりますので、この状態を維持しつつも、今後も地域の2次医療機関として、また総合病院の歯科口腔外科として地域医療および病院内でも他診療科と連携を組み良質な医療を提供していきたいと考えております。

まだまだコロナウイルスが蔓延している環境で、当科はエアロゾル発生による影響を受けやすい領域でもありますので、患者のみならずスタッフの感染対策にも十分に配慮をしていきたいと考えます。また教育面では、今年度は歯科医師臨床研修医2名を合計6か月間受け入れました。今後も積極的に研修医の受け入れを行っていききたいと思っております。

(文責：清水 崇寛)

(20) 健康管理センター

1. スタッフ

人間ドック：飯島徹、田村勝、石崎政利、塚田義人、中村卓郎、神保貴宏

山岸美保（非常勤）

脳ドック：田村勝

婦人科検診：吉田光典、片貝栄樹、道崎護、延命みゆき（非常勤）

2. 業務内容

一泊2日ドック、日帰りドック、脳ドック、肺ドック、PET-CT健診、生活習慣病健診、特定健康診査／保健指導、就業・入学健診、企業健診、乳がん・甲状腺がん検診、予防接種等の業務を行っている。

3. 業務実績

一泊2日ドック 103件、日帰りドック 3,819件、脳ドック 192件、生活習慣病健診 1,947件、企業健診 2,982件、特定健診 164件、特定保健指導 36件、藤岡市等乳がん・甲状腺がん検診 577件、PETがん健診 19件など。

4. 今後の目標

保健指導を増やしていきたい。

(文責：飯島 徹)

(21) 病理診断科

1. スタッフ

医師1名：吉田孝友

2. 診療業務の現況

月～金曜日の全日制度で、病理診断、術中病理診断、病理解剖に対応している。病理解剖は担当医と協議により適宜施行しており、ほぼ100%の実施率である。

3. CPC

病理解剖を通して症例毎の病態・病因を究明し、研修医とともに病理解剖診断書を作成している。また、研修医による症例示説を行い、質疑応答を経て、より一層の理解を深めている。

4. 今後の目標

大学病理学教室、病理部その他関連施設の病理医との意見交換やコンサルテーションにより、迅速で正確な病理診断を心掛ける。

(文責：吉田 孝友)

2. 薬剤部

1. スタッフ

薬剤部長 1名 副部長 1名 室長 1名 室長補佐 1名 グループリーダー 1名
薬剤師 18名 薬剤助手 3名

2. 業務の現況

薬剤部では、「責任ある薬物治療の提供」を理念とし、以下を基本方針として多野藤岡地区の医療に貢献できるよう努力している。

1. 常に最適な薬物治療を提供する。
2. 患者さんと共に薬物治療に向かい合い、ささえる。
3. 薬剤師としての考えをしっかりと持って、チーム医療に参画する。

全病棟に専任薬剤師を配置し、きめ細かい薬剤調整と服薬指導を行っている。入院時にはすべての患者に対して持参薬調査を行い管理し、また服薬計画も提案している。

2021年度の実績は、薬剤管理指導件数は13,005件/年、病棟薬剤業務実施加算件数は17,075件/年、退院時薬剤情報管理指導件数は3,017件/年という算定結果だった。院内感染対策チーム（ICT）、抗菌薬適正使用支援チーム（AST）、栄養サポートチーム（NST）、医療安全、緩和医療、褥瘡対策、糖尿病教室などのチーム医療に、薬剤師の意見を反映できるよう取り組んでいる。

高額な医薬品が増えつつあるが、医薬品の採用や購入、在庫管理において細心の注意を払い、使用期限切れや破損など、経済損失リスクの管理に取り組んでいる。

日々更新される医薬品情報の管理は、D Iを通じてよりタイムリーな安全性情報やD Iニュース等の発信に注力している。薬学部学生の育成に対する取り組みとして、実務実習は3名の学生を受け入れ、未来の薬剤師の育成と実習受入れ施設としての役割を果たすことができた。

全病棟および部門の救急カートの管理や毒薬・劇薬・向精神薬の管理、カリウム製剤の管理、またHCU・中央手術室・救急センターにおける麻薬管理など、医薬品のリスクマネジメントにおいても、重要な役割を担っている。

外来化学療法室においては、薬剤師による抗がん剤のレジメンチェックや登録、ミキシング、個々の患者への説明・服薬指導および副作用のモニタリング等を行い、外来がん化学療法の中心的役割を担っている。医薬分業関連では、薬薬連携カンファレンスによる化学療法レジメンの勉強会や解説を行いながら、地域薬剤師会との連携をはかり、安全な院外処方につながっている。また、後発医薬品の普及促進のため、一般名処方も可能にしている。

医薬品市販後調査については、19件の調査協力をを行い、1件の治験が進行中である。

3. 今後の目標

- ①病棟業務関連の算定継続
- ②後発薬品使用率の維持
- ③医薬品情報室の機能強化
- ④チーム医療への参画
- ⑤専門・認定薬剤師の育成
- ⑥地域薬局と病院薬剤部との連携の強化

(文責：堀口 裕之)

3. 診療支援部

(1) 放射線室

1. スタッフ

診療放射線技師 23 名

看護師 1 名

受付事務 1 名

2. 令和3年度事業目標

①PACS の更新。

②PET-CT 利用率の向上。

③時間外勤務要件の再整備。

3. 令和3年度事業目標達成状況

①機器の納入、接続、調整は問題なく終了し、3月20日から順調に稼動している。

現在まで大きなトラブルや障害等は発生していない。

②PET-CT 検査の予約枠の再整備を行い、前年比45%増となった。PET-CT 利用率の向上。

③平日宿直補助当番の時間短縮等を試行し前年比30%の時間外勤務の軽減が図れた。

4. 今後の課題

①入院棟 CT・MRI への看護師常設配置は、検査効率の向上、安全・安心の検査体制に欠かすことが出来ないと考えている。前処置の完全実施、ラインの安定確保により、造影剤漏出などの危険因子を最小限に抑えることや、予約枠の拡大による収益の増加が期待され、最重要課題ととらえているが、看護師の人員不足により他部署との兼任での運用となっている。

②高精度な医療機器を有効活用するために、地域医療機関と連携し医療機器共同利用を伸ばしていきたい。

③ペースメーカー埋め込み患者に対して MRI 検査を行ってしまう事例が発生した。

改めて検査前の、1) 注意事項の確認 2) 問診票・同意書の確認 について確認作業を徹底することで、安全安心の検査を実施できるように努めていく。

④撮影および検査に使用している放射線量の管理を適正化し、より少ない被曝線量で診断に最適な画像提供と、術者の被曝低減を進め、安全・安心の放射線診断・治療を目指す。

(文責：高田 哲也)

(2) 検査室

1. スタッフ

検体検査 10 名 生理機能検査 9 名 総括 1 名 (産休 1 名) 会計年度職員 4 名

2. 業務の現況

新型コロナウイルスの発生により病院業務の変化や地域の中核病院として、また患者受け入れにより様々な部門が対応を余儀なくされ、検査室もできる限り検査対応させていただきました。

検査室においてもそれぞれの部署が従来にない対応を迫られました。特に細菌検査室ではいち早く LAMP 法による院内検査と外注 PCR 検査を併用しつつ対応しました。

新型コロナウイルス抗原定性検査試薬においては、感度・特異度そして試薬単価を考えつつメーカーの選定と変更を繰り返しました。度重なる変更により採取綿棒が変わり採取側の対応にも苦労をお掛けしました。最終的には、新型コロナウイルスとインフルエンザ抗原定性検査を綿棒 1 本の採取で共通して使用できるメーカーに落ち着きました。

さらに、全自動の簡易的なPCR検査装置（スマートジーン）の導入により緊急時の24時間対応が可能となりました。

そして、新型コロナウイルス抗原定量検査が実施できる機器の導入を行いました。抗原定量検査を導入後、まもなくして定性検査やPCR検査の保険点数の引き下げが実施されましたが、定量検査においては据え置きとなりました。本機器の導入により、生化学検査と免疫学的検査の機器が一体化されたこと、水をほとんど使用しない機器を導入したことで保守管理費の削減に貢献できたと考えています。

新型コロナウイルス検査に関連するものに関しては、一時的に物資が供給不足になるなどの苦しい状況下が訪れましたが、技師の在庫管理とメーカーや問屋の協力により検査が実施できなくなるなどの問題は起こりませんでした。

今後も、地域中核病院としてその任務を全うすべく協力していく所存です。

3. 今後の目標

- ・認定資格取得を目標に人材の育成を行います。
- ・検査機器の入れ替えを行い、分析機の故障による採血や検査の遅延を回避できるように整備したい。

（文責：柴崎 洋一）

（3）リハビリテーション室

1. スタッフ

公立藤岡総合病院	リハビリ医師 3名	兼務医師 13名		
	理学療法士 28名	作業療法士 18名	言語聴覚士 9名	看護師 1名
訪問リハビリ部門	理学療法士 4名	作業療法士 1名		
介護老人保健施設	理学療法士 2名	作業療法士 2名		

2. 業務の現況

病院部門は急性期部門、回復期リハビリ部門、外来部門に分かれています。

急性期は発症早期からの介入により、早期離床・廃用予防を促し最終的な機能的予後を高めるよう努めると共に、他職種との連携を密に取りながら入院期間の短縮に貢献できるよう努めております。また、院内の栄養サポート・がん緩和医療・糖尿病・褥瘡・フットケアチーム医療にも参加しております。必要な患者様には土日祝日のリハビリ提供も行っております。回復期リハビリは、より濃密なリハビリが提供できるよう人員を増やし患者様個人のレベルに合わせ職場復帰や自動車運転の練習など社会復帰に向けたサポートを他職種と連携し行っております。外来では回復期・生活期のリハビリを担当しており、機能的改善と、より快適な仕事や趣味などを含めた在宅生活を送っていただけるよう努めております。また、一泊ドックご利用者の健康増進を目的とした運動指導の実施をおこない予防の視点でも関与しています。

訪問リハビリ部門では、通院でのリハビリが困難な患者様を対象に、直接ご自宅にお伺いしリハビリを提供しております。介護保険と医療保険のどちらでも対応が可能な体制をとっており、難病やがん終末期の患者様にも対応しています。現在、藤岡市内・旧新町・旧吉井町・埼玉県北部地域等を対象地域として実施しております。今後は、対象地域拡大など地域包括ケアシステム推進に向けて、さらなる充実が必要な部門です。

介護老人保健施設では生活期のリハビリを担当しており、入所・通所でのリハビリを実施しております。医療機関から家庭復帰への橋渡しを行うと共に、ご利用者がより快適な在宅生活をより長く送れるよう努めております。この部門も地域包括ケアシステム推進に向けて、今後さらなる充実が必要な部門です。

新型コロナウイルスの感染対策を全部門で行いながら、リハビリテーション室は「患者様の立場に立ったリハビリテーションの実施」を基本理念とし、スタッフ一同日頃より臨床・地域

(4) 栄養室

1. スタッフ

- 公立藤岡総合病院 管理栄養士 6名 (介護老人保健施設兼務 1名)
再任用管理栄養士 2名
業務委託職員 23名
(管理栄養士 5名 栄養士 3名 調理師 5名 調理補助 10名)
- 介護老人保健施設 業務委託職員 8名
(管理栄養士 1名 栄養士 2名 調理師 2名 調理補助 3名)

2. 栄養室目標

『食べる楽しみ』『生きる喜び』につながる栄養管理
基本方針

- ①患者さん個々人にあつた食事を提供します。
- ②信頼される食のエキスパートを目指します。

3. 事業目標

- ①栄養指導の実績をあげる。(栄養指導件数の増加)
- ②栄養情報提供書を作成して在宅医療機関等との栄養連携を図る。

4. 業務の現況

(入院棟)

- ①給食管理業務
- ②個人栄養指導…前年度比 1.6%減

(介護老人保健施設しらさぎの里)

管理栄養士は入所時に食形態の写真を提示し食事内容の聞き取りを行い、安全に楽しく美味しく食事が出来るよう取り組んでいます。食欲不振や嚥下障害のある利用者には、ミールラウンドを行い適切な食事を他職種で検討しています。また、低栄養、褥瘡、疾病等にも状態に合わせた食事の提供をしています。

5. 今後の目標

地域中核病院として在宅医療機関等との切れ目のない栄養連携を図っていきたくと考えています。そこで、今年度から食事の様子や食形態がわかる写真を記した「栄養情報提供書」の作成を始めました。又、診療報酬・介護報酬改定により管理栄養士が介入する場面がますます増えています。職員一人一人がスキルアップに努め患者や地域に貢献できるように取り組んでいきます。食事提供については、委託職員と連携して患者の状態に合わせた食事を提供できるように努め、「食べる楽しみ」「生きる喜び」に繋がれるように取り組んでいきます。

(文責：堀越 勝)

(5) 臨床工学室

1. スタッフ

臨床工学技士 8名

2. 業務内容

- ①透析室：回路の組み立てやプライミング、穿刺、返血、透析中の血圧確認や透析装置のチェック、透析装置に供給する透析液を作る機械室の点検などを行っています。またアフエレーシス・PMX・CARTといった治療の機器操作も行っていきます。
- ②手術室：麻酔器の始業点検の他に内視鏡や顕微鏡といった医療機器の管理、トラブルにも対応しています。
- ③高度治療室（HCU）：呼吸・循環・代謝などの容態が悪化している患者さんに対して人工呼吸器や補助循環装置などの生命維持管理装置の操作や稼働中の点検、また高流量酸素療法（NFNC）、除細動器、体温管理装置などの点検・管理も行っていきます。
- ④心血管カテーテル室：ペースメーカーの植え込み手術の立ち会いを行っています。緊急時には補助循環装置（ECMO・IABP）介助、ロータブレーター介助も行っていきます。
- ⑤ME 機器中央管理室：機器管理システムを導入し、始業点検や必要に応じた定期点検を行っています。また輸液ポンプや人工呼吸器、テレメータなどの医療機器の貸し出し返却を行っています。
- ⑥その他：上記で挙げた業務の他にもペースメーカー外来や遠隔モニタリング、自動心臓マッサージシステム・保育器・ネブライザー等の点検にも関わっています。またRST（呼吸療法サポートチーム）にも加わり人工呼吸器の適正使用や早期抜管への取り組みに積極的に介入しています。新規導入医療機器や新人教育を踏まえた勉強会も随時開催しています。

3. 目標

COVID-19 関連は透析 20 件、NFNC33 件、人工呼吸器 4 件を実施してきた。引き続き十分な感染対策を取り臨床を熟していく。更に診療科や急性期・慢性期を問わずさまざまな場面で治療に使用される医療機器の安全利用を通じて管理や保守点検の強化を図り患者さんの治療に貢献していく。

4. ①業績実績と②ME 機器台数

①透析年間回数 14399 回、病棟出張透析回数 133 回、血漿交換 8 回、G-CAP15 回、DHP 7 回、CART15 回、CHDF2 回。麻酔器始業点検 1480 回。人工呼吸器（マスク含）使用中点検 1305 回、NFNC 使用中点検 787 回。ペースメーカー新規植え込み 47 件。ジェネレーター交換 12 件。MRI 対応 14 件。外来 562 件、臨時チェック 129 件。緊急呼び出し（透析・ME 機器）47 件。ME 機器点検・修理（ポンプ等）160 件。

②人工呼吸器 17 台、NPPV 装置 9 台、NFNC6 台、テレメータ関連 293 台、IABP3 台、ECMO2 台、除細動器 17 台、輸液ポンプ 160 台、シリンジポンプ 60 台、人工透析監視装置 31 台、保育器 13 台、超音波ネブライザー30 台、Arctic sun3 台、麻酔器 7 台、自動心臓マッサージ装置 1 台。

（文責：宇津木 徹）

（6）視能訓練室

1. スタッフ

視能訓練士 3 名（臨時職員 1 名含む）

2. 業務内容

診療日（月曜日・木曜日・金曜日午前）は主に眼科一般検査（視力・屈折検査、眼圧検査）や眼底写真検査（デジタル・自発蛍光眼底造影）、光干渉断層計検査、角膜内皮細胞検査などを行っております。

診療日以外の火～水曜日（検査日）及び金曜日午後（手術日）は視野検査（静的視野検査・動的視野検査・両眼単一視野）や斜視弱視検査及び訓練、網膜電位図検査や眼筋機能検査、眼鏡処

方検査・白内障手術前検査及び眼内レンズの度数計算など専門的特殊検査を行っております。

3. 業務実績

眼科一般検査：視力検査 6,526 件・眼圧検査 6,202 件・屈折及び角膜曲率半径検査 5,322 件

眼科特殊検査：視野検査 7,019 件・斜視弱視検査及び訓練 149 件・眼球運動検査 20 件・

眼鏡検査 116 件・光干渉断層計検査 2,729 件・眼底写真撮影（自発蛍光撮影を含む）766 件・網膜電位図 5 件・色覚検査 14 件・角膜内皮細胞検査 289

件・角膜形状解析検査 7 件・眼軸長測定 92 件 等

4. 今後の目標

令和 3 年度は視能訓練士（臨時職員）が 1 名増員となり、診療日は 3 人体制となりました。

診察日検査がより効率的に実施できるよう業務体制を構築していきます。また、眼科疾患以外、全身疾患による紹介受診も増加傾向であり、必要な特殊検査を迅速に行い、医師の診断へ繋げていきます。

令和 4 年度から眼鏡作製技能士新設予定となり、視能訓練士に対するニーズも増えることが予想され、これまで以上に眼鏡に関する知識を習得し、小児治療用眼鏡はもちろんのこと、成人眼鏡検査についても患者さんの QOL や QOV 向上のため、満足度の高い検査と情報提供を行います。

常に検査技術の向上と新しい知識の習得に取り組み、患者様が理解しやすい説明を行い安心して検査を受けて頂けるよう努めます。

（文責：宮本 恵子）

（7）歯科衛生室

1. スタッフ

常勤 3 名

2. 業務内容

1) 診療補助

歯科口腔外科診療日の午前中は主に初診患者、午後は再診患者、入院患者の往診での診療補助を行っております。また、近医歯科医院等より紹介のある智歯の抜歯、全身疾患を有する患者の抜歯、顎口腔領域の粘膜疾患・腫瘍・嚢胞の組織検査や治療、顎口腔領域の軟組織損傷・顎骨骨折など、局所麻酔下での処置が可能な場合は外来で外科処置が行われるため、その補助を行っております。全身麻酔下の手術は、月曜日と木曜日の午後に行われるため、その手術補助を行っております。

2) 予防処置、保健指導

当院で肺癌や消化器癌、乳癌等の手術を施行される患者の周術期において、気管内挿管時の歯牙脱落や術後誤嚥性肺炎、創部感染、菌性感染による敗血症や感染性心内膜炎などの発症予防を目的とした口腔機能管理を行っております。また、化学療法や放射線治療中に起こる口内炎や粘膜炎などの口腔内有害事象発現の予防や軽減を目的とした口腔機能管理も行っております。さらに、口腔衛生管理を必要とする入院患者に対して歯石除去、歯面清掃などの口腔ケア、歯ブラシやその他補助清掃用具の使用方法などセルフケアについて指導を行っております。糖尿病教育入院患者に対しても、歯周病コントロールが糖尿病コントロールに関係することを説明し、かかりつけの歯科医院へ定期的に受診する必要性を指導しております。

3) その他

器材を含めた歯科口腔外科外来診察室の管理を行っております。また、患者からの問い合わせ

せや予約取得、変更などの電話対応や病棟との連絡調整も行っております。

さらに、水曜日の午後は歯科医師の先生方とともに栄養サポートチームのラウンドに参加させていただいておりましたが、令和2年度より新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため歯科衛生士は不参加となっております。

3. 業務実績

歯科衛生業務：診療補助 6270 件、外来外科処置補助 465 件、全身麻酔下での手術補助 42 件、歯周検査 277 件、歯石除去 606 件、機械的歯面清掃 1264 件、歯科保健指導 81 件、粘膜清掃 1039 件

周術期等口腔機能管理：Ⅰ（術前）20 件（術後）5 件、Ⅱ（術前）153 件（術後）258 件、Ⅲ（化学療法）619 件（放射線治療）30 件（緩和ケア）2 件

歯科衛生士業務は前年比 17.6%増加致しました。周術期等口腔機能管理については、周術期Ⅰ・Ⅱの件数は減少しておりますが、周術期Ⅲを含む全体の新患数は 19.1%と増加致しました。

4. 今後の目標

令和3年度より常勤歯科衛生士が1名増員され、今までは困難であった単独で行うことができる業務を効率よく行うことが可能となりました。また、診療支援部長のお力添えにより備品庫を兼ねた歯科衛生室スタッフルームを設置することができ、休憩時間の確保・事務作業の効率化・超過勤務時間の短縮を図ることができました。

令和4年度はスタッフの退職や休暇に伴い、スタッフの大幅な入れ替えが生じます。患者をはじめ、歯科口腔外科の先生方・他部署のスタッフにご迷惑をお掛けしないよう、指導や引き継ぎを抜き行っていく所存です。また、今までは業務に追われ疎かになっていた歯科衛生室内の勉強会についても、知識の確認や手技向上のため積極的に行い教育面も強化していきたいと考えております。

（文責：齊藤 由佳）

4. 看護部

（1）看護部管理室

令和3年度は、健全な経営への貢献、医療機能強化と良質な看護サービスの提供、新型コロナウイルス感染症対応、職員の働き方改革、人材育成に主眼をおき、目標設定し達成に向け取り組んだ。

Ⅰ. 令和3年度看護部事業目標および評価

1. 健全な経営への貢献

1) 病床稼働率の向上

①定期的に病床稼働率、平均在院日数を把握し、入院時から退院後を見据えた支援・介入を行い病床稼働率（急性期病棟）75%以上、平均在院日数 11 日以内とする

②差額室算定率の向上

各個室の利用状況、算定状況を把握し、個室の有効利用を進め 37%を目指す

【評価】

毎朝の看護師長ミーティングにて、平均在院日数・病床稼働率を共有し、退院調整を進めた。病床稼働率（急性期）85.3%、（地域包括ケア）41.1%、（回復期リハビリ）75.7% 全体では 78%であり、昨年度より上昇した。平均在院日数は、11.3 日で、11 日以内とはならなかった。病棟により平均在院日数の差が大きいため、他職種の協力を得ながら、入院早期からの退院支援・調整の強化に努める必要がある。差額室算定率は 35.1%であり、目標値に達しなかった。2 床室の算定率が 16.4%と低く、2 床室を差額室として利用する

ことが難しい状況であった。次年度の引き続き算定率の向上に努めていく。

2. 医療機能の強化と良質な看護サービスの提供

1) 救急センター看護体制の強化

- ①新救急外来の構成、人員配置の検討を実施
- ②救急外来勤務希望調査の実施と配置に向けたローテーションの実施
- ③関連部署の勤務、人員配置の検討

2) 患者満足度の向上

- ①患者の意思・希望の確認を行い他職種で共有する
- ②IC 同席を推進し IC 時や IC 後の患者家族の反応を看護記録に記載する
- ③患者満足度調査を実施し現状を把握する。
- ④ご意見を看護師長会議で共有、改善策を実施し、苦情件数を 10 件以内とする
- ⑤接遇・身だしなみの強化
接遇・身だしなみチェックを実施し遵守率 90%とする、接遇チェック項目の見直しを実施する。

3) 安全かつ質の高い看護の提供

- ①身体抑制フローの沿った対応の状況把握と抑制解除に向けたカンファレンスの実施
15 日以上拘束件数を 10 件/月以下にする
- ②患者確認を徹底し、患者誤認 0 を目指す
- ③適切な医療器材の使用と P P E の適正使用を推進し針刺し・体液曝露件数の減少を目指す

【評価】

救急外来一本化として救急外来でカテーテル室も担当することとした。そのため、関連部署において、カテーテル検査に対応できる看護師の育成を実施。配置数を検討しローテーションを実施し、次年度から新看護体制での救急外来開始可能となった。ただし、人員配置数が現状では十分ではないため、夜勤に関しては、内視鏡センターから 1 名勤務する体制とした。次年度、運営状況を評価する。

患者満足度向上では、外来と 6 つの病棟で患者の意思・希望を看護記録に残し共有する取り組みを開始した。IC 同席の意識も高まり同席件数も増加傾向ではあるが、反応の記録を残すことが進んでいない状況である。また部署によっても差がある状況である。次年度は、看護部全体で件数等を可視化しさらに推進していく。今年度より新たな患者満足度調査をサービス向上委員会で実施。患者満足度は、入院 84% (42 位/62 施設)、外来 63.4% (59 位/68 施設) と低い結果となった。次年度、結果を分析し、改善策を検討していく。ご意見では、苦情が感謝のご意見を上回り、昨年度よりも増加した。ご意見の内容を分析し、対応をその都度検討していく。接遇・身だしなみチェックは予定通り実施し、90%以上の遵守率となった。次年度はさらに強化できるよう巡視等の対策も検討する。

安全かつ質の高い看護の提供において、身体抑制解除に向けた取り組みとして、認知症看護検討部会を中心にカンファレンス実施や一時解除の検討等を行い、徐々に解除に向けた意識づけはできつつある。しかし、15 日以上拘束が 15.4 件/月となり 10 件を超える結果となった。次年度は、今年度の取り組みを継続し、拘束件数の減少に取り組む。患者誤認件数は 33 件/年で昨年度より 3 件減少した。患者確認方法の周知徹底の取り組みを実施していく。針刺し・体液曝露は 16 件と昨年度より 1 件減少した。継続して対応を取っていく。

3. 新型コロナウイルス感染症対応

1) 新型コロナウイルス感染症における適切な感染管理と看護の提供

- ①院内における感染対策について各部署と密に連携・情報共有の実施

- ②対策会議内容を速やかに各部署に情報提供を行うとともに現場のスタッフの声を会議にあげ最善の対応を検討する
- ③適切な病床活用と人員配置・応援の実施④看護職員が不安なく適切なPPEを実践できるように感染管理認定看護師、感染対策リンクナース、各部署で連携し指導・実践する。
- ⑤職員・患者のワクチン接種の円滑な運営が行える

【評価】

感染対策の情報提供、対策会議内容の周知・共有について看護師長ミーティング・看護師長会議・副看護師長部会・感染対策リンクナース部会を活用し実施した。感染対策の実践でも感染管理認定看護師、感染制御実践看護師がリンクナースと連携し指導を行った。患者対応に当たる部署の看護職員の身体的・心理的負担は相当なものであったが、各部署の職員間の協力体制や支援により対応が継続出来ている。

適切な病床活用と人員配置、応援体制においては、南7階病棟（地域包括ケア病棟）を感染流行期には専用病棟として運営し、患者数の状況によって、地域包括ケア病棟としての運営・地域包括病床とコロナ病床との併用運営という運営とした。今年度は、コロナ専用病棟としての運営期間が最も長く約7か月間に及んだ。患者対応においては、原則、南3階病棟スタッフ、南7階病棟スタッフが専属として入院患者対応にあたった。また、患者数の増加に伴い、陽性者外来が開始となり、外来・救急、南3階病棟スタッフが対応にあたった。患者数の増加・重症化時には、全部署で協力体制を取り、必要な部署に助勤を送る体制を整え対応を行った。また、職員、患者のワクチン接種においても円滑に行えるよう毎回各部署からスタッフを集め対応を行った。入院患者の対応、助勤体制、陽性者外来や救急外来での対応、ワクチン接種対応とそれぞれ大きな問題や事故もなく行えているのは、職員一人一人の努力とお互いの協力があってこそのものだと改めて強く感じている。

4. 職員の働き方改革

- 1) 働き方改革に即した働きやすい環境の整備
 - ①急性期病棟での短時間夜勤導入部署の拡大
 - ②計画的有給休暇の取得
 - ③超過勤務時間の把握
 - ④看護職員が就業継続できる環境の整備
- 育児支援制度利用の推進
- ハラスメント対応の検討
- 2) 看護師の業務負担軽減
 - ①看護助手の増員、病棟クランクの導入

【評価】

短時間夜勤導入は1病棟で導入を行えた。有給休暇取得は1人当たり平均8.2日で昨年度より0.6日減となった。看護職員の就業継続できる環境の整備として、育児支援制度の再周知を看護師長会で実施し、部分休業取得が少しずつ看護職員間に浸透しつつある。今年度、看護部内でのハラスメント状況調査アンケートを実施。次年度に結果を分析し、対応を検討していく。看護師の離職率は5.8%で昨年度を0.1%上回った。引き続き就労継続できる環境の整備に努力していく。

看護師の業務負担軽減では、看護助手の増員には至らず、病棟クランクは1病棟に1名配置され、業務を行っている。看護師が従来行っていた事務的業務、電話対応などを担ってもらい、業務負担軽減につながっている。

5. 人材育成の推進

1) 人材育成の推進

- ①キャリアラダーの構築、運用検討を実施し、看護職員のキャリアラダーレベル設定を行う
 - ②新人教育プログラム実施とプリセプターシップの運用
 - ③新人看護職員研修プログラムの評価
新人看護職員研修プログラムの評価を実施し次年度につなげる
 - ④専門・認定看護師の育成
- ### 2) 人事評価制度の検討
- ①各自が役割に沿った目標設定および評価の実施
 - ②専門職における目標管理・能力評価の効果的な運用について

【評価】

人材育成の推進では、キャリアラダー構築に向けて検討を重ね、臨床実践能力の種類とそのレベル別能力到達目標の設定、およびレベル別評価票の検討を行った。次年度に看護職員のレベル設定を行う予定としている。新人看護職員研修については、新型コロナウイルス感染症の影響により臨地実習を行えなかった新卒看護職員が多いため、一部、集合研修とOJTを連携させた計画とし実施できた。次年度も、臨地実習経験が少ない新卒看護職員が多いため、基礎教育の状況に配慮した計画を実施するとともに、看護観を育成する研修等の追加を検討する。プリセプターシップについては、対象者にプリセプター研修を実施。プリセプターの役割や新人への支援方法等の学習を行った。各プリセプターが自身の役割を果たすことができ、新人の離職もなく次年度を迎えることができた。専門・認定看護師育成では、特定行為を含む感染管理認定看護師教育課程へ次年度1名受講予定となった。

人事評価制度の検討では、組織の目標と個人の目標の連動が不十分な状況が見受けられたこと、一次評価者となる副看護師長も目標管理および面接に困難感を感じていることから、目標管理についての研修を副看護師長に対し実施した。次年度も目標管理については、適切に運営できるよう検討を継続していく。

(文責：高田 幸子)

(2) 南3階病棟 (HCU)

1. スタッフ

兼任医師1名、看護師32名、薬剤師1名、MSW1名、医療事務1名

2. 業務の概要

令和3年度事業目標

1) 医療機能強化と良質なサービスの提供

(1) 患者満足度の向上

患者・家族の心理的なアセスメントと援助の実践を行う

(2) 安全かつ質の高い看護の提供

身体抑制カンファレンスの実施と記録を行う

2) 医療スタッフの充実

(1) 救急センター看護体制の一本化を図る

カテゴリー看護師及び救急外来看護師の育成を行う

3) 大規模感染症対策

新型コロナウイルス感染症における適切な感染管理及び患者への呼吸ケア・心理的援助を行う

4) 人材育成の推進

(1) 急性期看護の専門性を高める

(2) 新人看護師育成と HCU 新人プログラムの作成

今年度の実績は、入院患者延べ数 4108 人、平均在院日数 3.7 日、平均病床回転率 7.7%、平均病床稼働率 59.3%であった。当病棟は 24 床の集中治療室病床と 4 床の感染症病床を有し、循環器疾患、脳血管疾患、呼吸器疾患などの重症患者や全身管理の必要な術後患者、そして COVID-19 感染症患者を受け入れている。今年度は、24 床の集中治療室内の陰圧個室 2 床を感染症病床として使用し、COVID-19 感染症患者を受け入れた。COVID-19 感染症による入院実患者数は 27 人、入院日数は 144 日であった。感染拡大に伴い、COVID-19 感染症を合併した帝王切開を受ける妊婦も受け入れた。患者・家族の満足度の向上、新人看護師育成を中心に、人材育成の推進、新型コロナ感染症患者のケアに力を入れ取り組んだ。スタッフがやりがいを持ち看護ができる、働きやすい職場づくり、専門性の高い看護の提供を行うため、今後も継続して取り組んでいきたい。

(文責：樋口 美恵子)

(3) 南 4 階病棟

1. スタッフ

循環器内科医師 5 名、腎臓内科医師 6 名、糖尿病内科医師 1 名
看護師 29 名 看護助手 1 名、薬剤師 1 名、医療事務 2 名 MSW1 名

2. 業務の概要

令和 3 年度事業目標

1) 医療機能の強化と良質な医療サービスの提供

(1) 安全かつ質の高い看護の提供

医療安全対策の徹底と評価および感染対策の徹底と評価

(2) 接遇の改善

患者からのご意見に対して改善策を実施する

スタッフの身だしなみや接遇態度を育成する

2) 健全な経営基盤の確立

(1) 人材育成の推進

新人教育プログラムに沿った教育計画

(2) 人事評価制度の検討

各自の適切な役割に沿った目標設定

3) 職員の働き方改革

(1) 働き方改革に即した有給休暇の取得促進

有給休暇 6 日以上と超過勤務時間削減への取り組み

(2) 働きやすい環境の整備

部署における問題点を把握し改善に取り組む

令和 3 年度の実績は、入院患者延べ数 15355 人、平均在院日数 12.5 日、平均病床稼働率 96.9%、平均病床回転数 2.4 回であった。

安全かつ質の高い看護の提供の為に医療安全や感染防止対策に努めた。医療安全については、インシデント報告に対して安全対策の立案、実施、評価、修正の強化を行った。

また患者満足度の向上を目指して、スタッフの身だしなみや接遇態度の育成を強化した。

高齢化が進み家族背景も複雑となり退院調整が困難な事例も増える中、今後も多職種と連携を図り急性期病棟における入退院支援の強化に努め、患者が安心して入退院できるよう患者支援にも注力していきたい。

(文責：針谷 ゆかり)

(4) 南5階病棟

1. スタッフ

整形外科医師 6名 脳神経外科医師 3名 看護師 31名 (認知症看護認定看護師 1名)
看護助手 (臨時職員) 2名 病棟クレーン (臨時職員) 1名 MSW 1名 薬剤師 1名
管理栄養士 1名 医療事務 2名

2. 業務の概要

1) 医療機能の強化と良質な医療サービスの提供

- (1) 安全かつ質の高い看護の提供
- (2) 接遇・身だしなみの強化

2) 健全な経営基礎の確立

- (1) 病床利用率維持と在院日数の短縮
- (2) 重症度、医療・看護必要度の精度を高め基準を満たすことができる

3) 職員の働き方改革

- (1) 働きやすい職場環境の整備
- (2) 看護師の業務負担軽減

4) 大規模感染症対策

- (1) 新型コロナウイルス感染症における適切な感染管理

5) その他

- (1) 人材育成

当病棟は、病床数 47 床の整形外科と脳神経外科の混合病棟である。令和 3 年度の実績は、入院患者延べ数 14703 人、平均在院日数 10.8 日、平均病床回転率 85.1%、平均病床稼働率 2.9%。整形外科手術件数 732 件、脳神経外科手術 181 件うち血管内治療 73 件であった。

令和 3 年度は、看護部の目標に沿って上記 1)～4) に対し取り組み評価は以下である。

1) 身体抑制解除に向け認知症看護認定看護師による「身体抑制」の勉強会をもち、患者さん一人ひとりについて考え、身体抑制を最小限にする環境調整ができた。身体抑制解除に向けてのカンファレンスも定着し、カンファレンスを通し接遇に対してもスタッフの意識改革につながった。

2) 入院時から患者本人・家族に医師からの病状説明と、リハビリスタッフの意見を元に退院後に生活する場所を考えてもらえるよう MSW と連携し退院調整に取り組んだ。また、急性期治療を脱し継続的にリハビリテーションが必要な場合は、当院の回復期リハビリテーション病棟との連携もあり在院日数短縮へもつながった。

3) 新規クリニカルパス 1 件作成。既存クリニカルパス 4 件見直しをし、医療・看護の標準化ができ業務の効率化ができた。

4) 標準予防策について DVD・実技学習を 3 回/年施行。スタッフが、不安なく準備・対策ができるようになった。効果的なタイミングで手指衛生についてリンクナースを中心に指導中。

5) 病棟勉強会では、新人看護師から中堅看護師まで 9 割以上のスタッフが勉強会を実行でき、習慣化となり継続できている。QC サークルでは誤嚥防止と口から食べる楽しみを目的に、嚥下体操の DVD 作成と嚥下体操を行い口腔機能において改善がみられた。

今後も、突然の発症や不慮の事故による疾患での入院で、身体機能が低下し不便が生じた患者さんが元の生活の場に戻れるよう患者、家族のニーズに応えられるよう看護の提供に努めていきたい。

(文責：藤巻 淳子)

(5) 南6階病棟

1. スタッフ

医師7名（泌尿器科3名、血液内科4名）、看護師27名、准看護師1名、看護助手1名、MSW1名、薬剤師1名、管理栄養士1名、医療事務2名

2. 業務の概要

令和3年度は、看護部の目標に沿って以下の内容で取り組んだ。

- 1) 医療機能の強化と良質な医療サービスの提供
 - (1) 患者満足度の向上
 - (2) 安全かつ質の高い看護の提供
 - (3) 接遇・身だしなみの強化
- 2) 健全な経営基盤の確立
 - (1) 病床稼働率の向上
 - (2) 差額ベッドの利用率の向上
 - (3) 重症度、医療・看護必要度の精度の向上
- 3) 職員の働き方改革
 - (1) 働きやすい環境の整備
- 4) 大規模感染症対策
 - (1) 新型コロナウイルス感染症（疑い例）における適切な感染管理と患者への看護の提供
- 5) 人材育成の推進
 - (1) 専門的知識、技術の習得

令和3年度の実績は、入院患者延べ数12660名、月平均入院患者数1055名、平均在院日数12日、平均病床回転率2.7%、平均病床稼働率75.4%であった。高齢化が進み、独居生活の患者も増え、退院調整が困難な事例があったが、MSWをはじめ他職種と連携を図り、退院支援に取り組み在院日数の減少に努めた。

患者満足度の向上を図るために、業務効率主体から患者中心の看護の実現に向けて、泌尿器科、血液内科チームの体制を見直し、新たな看護体制の整備について検討を行った。コアメンバーを中心に各科特有な看護についての勉強会の実施、ワークシートの記載方法の統一、チームメンバーの入れ替えを行い、スタッフ全員がそれぞれの診療科の看護を経験した。新たな体制づくりは実現できなかったが、チーム関係なく、個々の患者の対応ができた。

今後も、専門性を高め、患者に寄り添った看護の提供をおこなっていききたい。

(文責：藤野 妙子)

(6) 南7階病棟（地域包括ケア）

1. スタッフ

医師1名 看護師19名（認知症看護認定看護師1名含む）
看護助手1名 薬剤師1名（兼任）理学療法士1名（専従） MSW1名（専従）
医療事務1名（兼任）

2. 業務の概要

令和3年度所属別行動計画

- 1) 地域包括ケア病棟の健全経営
病床稼働率の向上
- 2) 医療機能の強化と良質な医療サービスの提供
患者満足度の向上

安全かつ質の高い看護の提供

接遇の改善

3) 新型コロナウイルス感染症における適切な感染管理と患者への看護の提供

令和3年度は、入院患者延数528名、平均入院患者数17.4名、平均在院日数10.9日、病床回転率2.9日、病床稼働率35.7%であった。

当病棟は、昨年度より引き続き地域包括ケア病棟と併用して新型コロナウイルス感染症患者受け入れ病棟として稼働している。感染状況により地域包括ケア病棟・地域包括ケア病棟とコロナ病床の併用・コロナ専用病棟と3形態で病棟運営をしており、順に約3週間・約5か月間・約7か月間の稼働であった。感染拡大時は他病棟から助勤を頂き、看護部全体で心強い支援がありスタッフの支えとなった。

所属別行動計画の接遇の改善では、接遇強化ポスターを作成しスタッフステーションと休憩室に掲示しミーティング時に音読する事と、また毎週1回、スタッフそれぞれがポスター内の行動目標を選択し、勤務終了時に自己評価を行うことで意識の向上を図った。

安全かつ質の高い看護の提供では、認知症看護認定看護師を中心に身体抑制解除に向けたカンファレンスを実施し継続して取り組んでいる。

(文責：江原 忍)

(7) 北2階病棟 (回復期リハビリテーション)

1. スタッフ

リハビリテーション科医師2名、看護師17名、看護助手4名、理学療法士5名、作業療法士2名、言語聴覚士1名、薬剤師1名、MSW1名、管理栄養士1名、医療事務1名

2. 業務概要

1) 医療機能強化と良質な医療サービスの提供

(1) 退院支援の充実

(2) 感染防止対策の徹底

(3) 病棟チーム活動を実践し、回復期看護の質向上を図る

(4) IAレポートレベル0の提出を増やし、予防的意識を持つ

2) 健全経営

(1) 適切な患者選定を行い病床稼働率69%以上、回復期リハビリ入院料1を維持する

3) 人材育成

(1) 管理の視点を持つ看護師の育成を行う

(2) 10年未満の看護師を対象に、アセスメントを深め倫理について考える研修を行う

令和3年度の実績は延べ入院患者数13038人、平均在院日数55.6日、平均病床稼働率75.7%であった。感染症の影響で面会や試験外泊が行えず、患者の現状を家族に伝える事が難しかった。家族とのリモート面談やリハビリ中の様子を動画で見る、ガラス越しに面会しながら携帯電話で話すなど様々な工夫を行った。デイルームのテーブルにアクリル板を設置し、人数を減らして食事を行う等感染対策を実施した。また七夕飾り、運動会、クリスマス会、書き初めも継続して行い、楽しみのある入院生活の工夫をした。日常生活リハビリでは歩行練習をスタンプラリー形式にし、患者の意欲向上に繋がった。今後も多職種で連携し、感染予防を行い、安全で楽しみのある入院生活を提供していきたい。

(文責：菊池 弘美)

(8) 北4階病棟

1. スタッフ

医師 9 名、非常勤医師 5 名、助産師 14 名、看護師 14 名、看護助手 1 名
薬剤師 1 名（兼任）、MSW1 名（兼任）、医療事務 2 名（兼任）

2. 業務の概要

当病棟は、病床数 38 床の小児科、産婦人科、歯科口腔外科、眼科、乳腺外科、内科の混合病棟である。主に産科では周産期管理、婦人科、歯科口腔外科、眼科および乳腺外科では手術治療、婦人科、歯科口腔外科では化学療法、終末期医療を行い、令和 3 年度の延べ入院患者数は 8307 名、分娩件数 198 件、手術件数 482 件、平均在院日数 7.1 日、平均入院患者数 26.5/月、病床稼働率 69.6/月であった。

令和 3 年度は、看護部の目標に沿って以下のような取り組みを行った。

1) 医療機能の強化と良質な医療サービスの提供

(1) 安全かつ質の高い看護の提供

(2) 患者満足度の向上

2) 健全な経営基盤の確立

(1) 重症度、医療・看護必要度の維持・評価制度管理

(2) クリニカルパスの活用促進

3) 大規模感染症対策

(1) 新型コロナウイルス感染症における適切な感染管理および看護の提供

4) 人材育成

(1) クリニカルラダーに基づいた研修計画の検討、

ナーシングスキルを活用した研修の実施

NICU を持つ小児科と分娩を取り扱う産婦人科を含む混合病棟であり、助産師・NICU 担当看護師などそれぞれ役割を担いつつ、多職種と連携して、様々な状態の患者さんやご家族のケアを行った。クリニカルパスを作成・運用し、多様な診療科の患者さんに対しても一定の水準を担保したケアを行うことに努めた。

今後も、分娩、手術、治療、そして終末期を過ごす患者さん方一人一人に寄り添い、患者様の満足と看護者のやりがいに満ちた看護を提供するため、スタッフ一同看護実践能力を高め、看護の質向上につなげていきたい。

(文責：木部 和枝)

(9) 北5階病棟

1. スタッフ

医師 10 名、看護師 30 名、臨時看護助手 1 名、薬剤師 1 名、MSW1 名、医療事務 1 名

2. 業務の概要

令和 3 年度目標

1) 医療機能強化と良質な医療サービスの提供

・医療安全対策、感染対策の徹底、接遇強化。

・患者満足度の向上。

2) 健全な経営基盤の確立

・退院支援の充実、他職種連携の強化。

・差額ベッド稼働率の向上。

3) 職員の働き方改革

・短時間夜勤業務内容の検討。

・マニュアル、クリニカルパスの見直しによる業務改善、業務負担軽減。

・有給休暇取得率の向上。

4) 人材育成

令和3年度の実績は、入院患者延べ数 12,972 名、平均在院日数 8.21 日、平均病床稼働率 77.0%、平均病床回転率 3.7%、手術件数 474 件であった。

働き方改革の一環として、令和3年2月に短時間夜勤を導入し1年が経過したため、短時間夜勤の業務内容について再検討した。業務時間や業務内容には慣れたが、長日勤の負担を感じているスタッフが多かったため、さらに業務内容や調整を行い、遅出等の勤務調整も考慮していく必要がある。超過勤務時間は平均 2.0 時間とやや増加し、有給休暇取得日数は、平均 7.1 日だった。

クリニカルパスは 新規パス：ERCP(予定・待機) 虫垂炎(緊急・予定)の運用を開始した。外科特有の処置 4 件と検査のマニュアルをナーシングスキルと照合して見直し、質の高い統一した看護が提供できるよう取り組んだ。

手術後はせん妄のリスクが高く、せん妄を発症する高齢者も多いため、せん妄予防対策を行った。日中の離床や見守りなどを行い、発症時の早期対応に向けて積極的に取り組むことができた。入院時から、患者や家族の思いが、退院後の生活やQOL向上に生かせるよう他職種と連携し退院支援を行った。

緩和ケア病床においては、緩和ケアチームと連携し、緩和病床登録者の療養状況や、病床利用者、緩和ケア介入者の情報を共有し、継続看護に活かしている。コロナ禍での対応や、症状緩和、退院支援など、適時にチームとの相談が行え、患者に寄り添った看護が提供できるよう努力した。

今後も質の高い看護の提供とともに、患者・家族の気持ちに寄り添った看護を提供していきたい。

(文責：神宮 由香)

(10) 北6階病棟

1. スタッフ

医師：呼吸器内科 3 名、消化器内科 1 名、呼吸器外科 1 名、皮膚科 1 名 看護師：30 名
看護助手：2 名、薬剤師：3 名（兼任） 医療事務：2 名 MSW1 名

2. 業務の概要

令和3年度事業目標

1) 医療機能の強化と良質な医療サービスの提供

- (1) 患者満足度の向上
- (2) 安全かつ質の高い看護の提供
- (3) 接遇・身だしなみの強化

2) 健全な経営基盤の確立

- (1) 病床稼働率の向上
- (2) 差額ベッド利用率の向上
- (3) 重症度・医療・看護必要度の評価制度の維持、向上

3) 大規模感染症対策

- (1) 新型コロナウイルス感染症における適切な感染管理と患者への看護の提供
- (2) 新型コロナウイルス感染症の患者状況により看護体制の対応を行う

4) 人材育成の強化

- (1) 人材育成の推進 新人教育プログラムに沿った教育計画の実施
- (2) 組織の一員としての役割に沿った目標設定の実施

令和3年度の実績は、入院患者延べ数 14,732 人、平均在院日数 13.98 日、平均病床稼働率 92.2%、平均病床回転率 2.3%であった。

高齢化の進む中、呼吸器・消化器系の終末期患者も多く、リハビリ、緩和ケア、栄養管理、MSW などとチーム医療の推進を強化し、在宅復帰に向けた支援や施設・転院調整に取り組んできた。肺がん手術、酸素療法、(呼吸器・消化器)内視鏡検査・治療、癌化学療法、放射線治療など、専門性の高い知識と技術が求められるため、人材育成にも取り組んだ。次年度は、慢性呼吸器疾患認定看護師の活動も開始となり、呼吸器疾患の更なる看護の充実に努めていく。患者満足度の向上を目指して、スタッフの接遇・態度を強化した。また、病状説明に同席して、患者・家族の思いを共有し寄り添う看護を考えた対応を心掛けた。今後もコロナ禍での感染防止対策に努め、事業目標達成に向けて継続して取り組んでいきたい。

(文責：高橋 富士美)

(1 1) 人工透析室

1. スタッフ

医師 5 名、看護師 8 名、准看護師 1 名、臨床工学技士 8 名

2. 業務概要

令和3年度事業目標

1) 医療機能の強化と良質な医療サービスの提供

(1) I/A レポートの分析、評価

(2) 接遇、身だしなみの強化

2) 健全な経営基盤の確立

(1) 急性期病院としての役割を考慮した病状利用

(2) 腎代替療法指導の推進

(3) 腎臓リハビリテーション、フットケア外来の充実に図る

3) 職員の働き方改革

(1) 超過勤務削減のための業務改善を実践する

(2) 計画的な有給休暇の取得

(3) スタッフ全員が協力し、有意義な QC サークル活動を実践する

4) 大規模感染症対策

(1) 患者・家族への感染対策指導を実践する

(2) スタッフの感染予防対策の徹底

5) その他

(1) スタッフ教育の推進

・新入職者、異動者への教育

・現在配置されているスタッフ教育推進

(2) 各自が専門職としての役割を組み入れた業績目標を立案し、達成に向け行動することができる。

令和3年度の外来維持血液透析患者数は 91 名、腹膜透析患者数は 13 名で年間血液透析患者総数は 13443 件であった。新規導入患者数は血液透析 62 名、腹膜透析 4 名であった。

腎代替療法指導数 30 件のうち血液透析に導入した患者は 10 名、腹膜透析は 4 名であった。患者のみならず家族も一緒に腎代替療法指導を実施することで、不安なく透析治療が導入できたとの言葉を頂いている。また、今年度よりフットケア外来を立ち上げたことで継続したケアを実践し下肢末梢動脈病変の早期対処、進行防止に努めている。血液透析中の腎臓リハビリテーションは看護師とリハビリスタッフの協力により毎日平均 30 名の患者が実践している。患者・家族の高齢化、新型コロナウイルス感染症対策など優先されるべき問題点を分析しながら、患者の

個別性を考慮した看護を提供していきたい。

(文責：原 敦子)

(1 2) 中央手術室

1. スタッフ

看護師 18名

2. 業務の概要

令和3年度事業目標と達成状況

1) 医療機能の強化と良質な医療サービスの提供

(1) 新入職者の育成

(2) 手術後訪問の充実を図る

2) 職員の働き方改革有給休暇取得の推進

(1) 職場環境の改善

(2) 円滑な土日の日勤業務確立

3) 大規模感染症対策

(1) 感染症患者の手術が安全に行える

(2) 感染症患者が安心して手術が受けられる体制を強化する

(3) 全身麻酔下での気管内挿管・抜管が安全に実施でき、感染を起こさない

令和3年度の手術件数は2,494件で、前年度と比較し14.3%増(313件増加)、全身麻酔件数は1,213件で、前年度と比較し11.3%増(124件増加)となった。コロナ渦で減少していた手術件数がコロナ以前に回復してきた傾向である。

今年度の目標に対する評価として、新入職者は脱落することなく3月から待機業務に就くことが出来た。

術後訪問は経営戦略室に実績の報告ができ、患者の声を今後の看護に生かせるような訪問内容に変更した。有給休暇の取得は、累計平均が11.1で、個人差はあるが積極的に取得することが出来た。感染症患者の手術において、医療者に感染が発症することなく4件の手術を安全に実施できている。

急性期病院の手術室として、看護師として自分の言動や行動に責任が持てる看護師を育成し、患者が安心・安全・安楽に手術が受けられるよう手術チーム力を最大限発揮させたい。

(文責：野村 香)

(1 3) 外来・救急センター

1. スタッフ

看護師17名(保健師2名・助産師1名含む)その内14名が救急センターの夜勤を行う。

非常勤看護師28名、看護補助者4名

2. 業務の概要

令和3年度事業目標

1) 患者・家族の意思決定支援の実践

・外来IC時の同席を行い、患者・家族が満足できる看護の提供を行う

・入院病棟、外来の連携手段を検討し実践する

2) 各診療科における加算や指導料について正しく算定できる

3) 救急センター看護体制の強化

4) 看護師の業務負担軽減

QCサークル活動で看護支援スタッフの業務見直しを行いフリー業務を運用開始する

5) 新型コロナウイルス感染症における適切な感染管理
看護師が不安なく感染症患者の看護が適切に実施できる

令和3年度外来患者数は161447人/年(平均667.1人/月)で、前年比約4.7%増だった。

救急センター患者数は9894人/年(1日平均27.1人)救急車数4020人/年(1日平均11.0人)それぞれ前年比7.8%増、0.7%増となった。救急車の収容率は89%で前年比1%減大きな変化はなかった。コロナ禍の影響が続き患者数はわずかな増加となっている。

事業目標に対しては、外来全体で患者・家族の意思決定支援を目標として取り組み、認定看護師を中心として1年間で406件のICに同席し、支援に繋げることが出来た。糖尿病療養指導では493件の指導を行い昨年度を超える指導実績となった。フットケア外来も10月から運用開始することができ、透析室看護師と協力し毎月2回行っている。外来化学療法件数は2886件で前年比約1.1%減だった。

救急センターでは、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、接触者外来・陽性者外来も担当した。救急患者受け入れにおいても感染対策を徹底し、ICT、コメディカルと連携して対応した。

令和4年度の救急センター独立を目指して南3階と協力しスタッフの育成に取り組んだ。

今後も専門性を高め、地域住民に信頼される医療看護の提供に努めていきたい。

(文責：飯島 京子)

(14) 内視鏡センター

1. スタッフ

消化器内科医師1名、看護師14名、

准看護師1名(内消化器内視鏡技師9名含む、再任用1名、臨時職員2名含む)

2. 業務概要

1) 医療機能の強化と良質な医療サービスの提供

- (1) 安全かつ質の高い看護を提供する
- (2) 医療安全対策の徹底
- (3) 接遇強化

2) 大規模感染症対策

- (1) 感染防止対策の徹底

3) 職員の働き方改革

- (1) 働きやすい環境の整備
- (2) 有給休暇取得
- (3) ERCP 担当看護師の勤務時間短縮
- (4) 有意義なQCサークル活動を実践

4) その他

- (1) 人材育成の推進
- (2) 人事評価目標の適切な設定

令和3年度内視鏡センター実績は、上部消化管検査5615件、下部消化管検査1476件、内視鏡的膵胆管造影66件、気管支鏡検査96件、下部ポリペクトミー及びEMR441件、ESD(早期悪性腫瘍粘膜下層剥離術)30件、EST(内視鏡的乳頭括約筋切開術)40件、ERBD(内視鏡的逆行性胆汁ドレナージ)11件、健診(上部内視鏡)3741件であった。

医療機能の強化と良質な医療サービスの提供を目標に、リーダー配置と検査時の直接、間接介助者を配置した。配置により報連相が徹底され、安全面の強化と、より質の高いサービスが提供できた。インシデントカンファレンスをレポート提出毎に実施した。提出件数は前年度の5倍増であった。接遇強化については、患者からのクレームは無く、ハラスメント勉強会を実

施し、職場環境の心理的安全性の保持に努めた。

検査のオリエンテーション時に感染対策について説明し、更に内視鏡センター出入口前や、各検査ブースにアルコール手指擦式消毒を設置した。患者の手指消毒を徹底したことで患者や利用者から「安心して検査が受けられる。」との声も聞かれ接遇も強化できた。今後も感染防止対策を含め、患者の安全性を保証し、患者主体の内視鏡看護が提供できるよう努めていきたい。

(文責：原 敦子)

(15) 訪問看護ステーションはるかぜ

1. スタッフ

看護師 12 (非常勤 4 名) 常勤換算 11.4 名

リハビリスタッフ 5 名 訪問リハビリ事業所と兼務

2. 業務概要

令和 3 年度利用者数 253 名 (看護師 253 名 リハビリ主体 22 名 併用 35 名)

月平均利用者数 142 名 月平均訪問件数 932 件 (看護師 730 件・リハビリ 200 件) 1 日平均訪問件数 46 件 (看護師 36 件・リハビリ 9.9 件)

当訪問看護ステーションは、全ての科を対象に疾患も様々で、年齢を問わず幅広く対応している。また緊急時訪問看護加算・24 時間連絡対応体制を取得しており、待機は毎日 2 名 1 番・2 番で対応している。医療依存度の高い利用者が多く、年間緊急訪問 705 件 (昨年度より 246 件増加)、休日訪問件数年間 728 件 (昨年度より 42 件増加) で昨年度より大幅に増加している。休日も訪問看護が必要な状態の利用者は多く、医療用麻薬持続注射、褥瘡や潰瘍の処置、輸液など毎日訪問が必要な利用者には休日にも計画的に訪問をしている。疾患状況では、悪性腫瘍の利用者が最も多く、病院の緩和ケアと連携を行い入院中から介入するケースが増えている。リハビリにおいてもターミナルや進行疾患などの対応を行っている。癌以外の看取りも含めて、令和 3 年度の在宅での看取りは 48 名で昨年度より 14 名増加している。これはコロナ禍ということも増加の一因になると考えられる。

3. 令和 3 年度の事業目標

I. 健全な経営の確立

1) 看護体制強化加算 (介護保険) 維持と

機能強化型訪問看護管理療養費 3 (医療保険) の維持

2) 重症度の高い利用者の受け入れ

3) 医療機関との相互人材交流

4) 退院時共同指導参加

・令和 2 年度は看護体制強化加算 II (300 単位) を取得したが、要件を満たせたので令和 3 年 4 月より看護体制強化加算 I (550 単位) を取得できている。

II. 医療機能強化と良質な医療サービスの提供

1) 医療安全対策の徹底と評価

2) 感染防止対策の徹底と評価

3) 人材育成

4) 利用者満足度の向上

新型コロナウイルス・他感染症感染防止対策を強化し、スタッフ間での感染はなかった。接遇アンケートでは満足度 90%以上得られた。

III. 働き方改革働き方改革

1) 業務改善

2) 業務改善の推進

待機の負担を軽減するよう待機後に年休消化を行った。有給休暇、リフレッシュ休暇も取得できた。

(文責：山口 明子)

5. 経営管理部

(1) 総務課

1. スタッフ

課長外 7名（内、会計年度任用職員1名）

2. 業務の現況

- ・組合議会に関すること
- ・組合例規の制定及び改正
- ・職員の採用に関すること
- ・職員共済会に関すること
- ・職員の人事給与に関すること
- ・医局事務に関すること

3. 今後の目標

- ・医師の確保（医師支援業務の充実）
- ・人事評価制度の見直し
- ・組織の業務内容の見直し
- ・個人情報管理の徹底
- ・働き方改革の推進
- ・藤岡市との人事交流の促進

(文責：塩川 広幸)

(2) 用度課

1. スタッフ

課長外 7名

2. 業務の現況

- ・医療機器、薬品、診療材料、消耗品等の購入業務
- ・薬品、診療材料、消耗品等の物品管理業務
- ・委託、賃借等契約業務
- ・医療機器の保守、修繕等管理業務
- ・その他資産の管理業務

3. 今後の目標

- ・安全で良質な物品を提供し、医療現場の要望に即応できる体制の確立。
- ・経営戦略室と連携し経費削減における取り組みの検証、及び見直しを行い更なる経費節減・抑制をする。
- ・病院としらさぎの里の一元管理。

(文責：新井 誠十郎)

(3) 医事情報課

1. スタッフ

課長外16名、医事業務委託職員、医療情報システム業務委託職員

2. 業務の現況

(医事グループ)

- ・ 医事業務管理業務
- ・ 施設基準等の届出業務
- ・ 各種調査、統計業務
- ・ 地域がん診療拠点病院に関する業務
- ・ 訪問看護請求管理業務

(診療情報グループ)

- ・ 診療録、サマリーの点検業務
- ・ 診療録等の保管管理業務
- ・ 診療統計、各学会等のデータ登録業務
- ・ 診療情報開示に関する業務
- ・ がん登録、がん統計に関する業務

(診療支援グループ)

- ・ 医師事務作業補助業務
- ・ 診断書等の文書作成支援業務

(システム管理グループ)

- ・ 電子カルテ及び連携する各システムの運用管理
- ・ 各種統計等の作成業務
- ・ 組合全般の情報管理業務

3. 今後の目標

- ①オンライン資格確認システムを導入して、医事業務の効率化を図る。
- ②くすの木病院 PET 検査終了に伴い、当院での PET 検査体制を拡大整備して件数増に対応する。
- ③令和4年度診療報酬改定の対応。

(文責：五十嵐 哲二)

(4) 企画財政課

1. スタッフ

課長外 5名

2. 業務の現状

予算編成及び資金計画の作成
 決算の調整及び執行
 現金預金及び財産の記録管理、経理業務
 各種補助金の実施申請
 企業債の実施申請
 各種病院基準の申請
 財務統計データの作成

3. 今後の目標

新公立病院改革プランの管理・評価
 中期計画の作成
 機器等の適正な整備計画
 旧病院の解体
 運営資金の確保

(文責：新井 恵介)

(5) 経営戦略室

1. スタッフ

室長外 1名

2. 業務の現況

所属別行動計画の取り纏め、ヒアリング、進捗管理

TQMに関すること

収入分析報告、疾患構成変化の変化

QCサークル活動に関すること

「些細な業務の伸びしろを考える」

令和4年3月QCサークル活動発表会開催(4例)

広報戦略

多野藤岡医療事務市町村組合公式Instagramの運用・管理

多野藤岡医療事務市町村組合公式ユーチューブの運用・管理

公立藤岡総合病院登録医向け医師紹介冊子作成・配布

ナースガイド(看護師リクルート)冊子作成

経営戦略の立案に関すること

診療材料削減(価格交渉)

部門別業務実績の取り纏め、報告に関すること

日本病院会QIデータの取り纏め、報告

病院指標に関すること

診療報酬収入情報の抽出、分析及び活用に関すること

診療科別ミーティング(産婦人科)

各種統計の作成、分析及び活用に関すること

その他経営戦略に関すること

3. 今後の目標

所属別行動計画の進捗管理

地域包括ケア病棟継続運用のための資料作成

介護老人保健施設しらさぎの里改善検討会議開催

診療材料、医薬品等の費用削減(用度課と共同)

医師紹介冊子の作成・配布(顔の見える連携)

リクルート動画企画・撮影・制作・配信(臨床研修医・中堅看護師等)

(文責:清宮 きよ江)

6. 研修管理センター

1. スタッフ

研修管理センター長兼臨床研修統括部長 臨床研修医 15名(2年次7名・1年次8名)

事務統括(医局秘書兼務)・事務(医局秘書兼務)・図書司書(医局秘書兼務)

2. 業務実績

・職員研修に関すること(人材育成)

院内で実施する研修会や講演会及び各部門勉強会の計画・実績把握

全職種合同新入職者オリエンテーションの実施(4/1~4/3)

シミュレーター室の管理及び運用

- ・職員の資格取得に関すること
全職員の資格取得・資格更新・各研修会修了等の把握管理
- ・人材育成・新人研修プログラムの把握管理
- ・医学生の実習に関すること
- ・臨床研修に関すること（卒後臨床研修機能評価 4 年認定）
研修医症例発表会の実施(12 月)
- ・図書に関すること（図書管理・文献検索・学会支援）
- ・医局事務に関すること

3. 今後の目標

- ・臨床研修医を確実に確保し、修了認定までのサポートを行なう。
- ・2022 年度の卒後臨床研修評価の更新に向けて、改善事項の見直しを行い継続して 4 年を取
得できるよう準備する。
- ・必要とされる研修について、計画的な実施を検討し研修評価や改善を図る。

（文責：金澤 祐子）

7. 安全管理センター

1. スタッフ

- ・安全管理センター長 1 名（病院長補佐）
- ・安全管理事務統括 1 名（総務課長）
- ・安全管理課長補佐 1 名

安全管理グループ

- ・医療安全管理者（専従リスクマネージャー） 1 名
- ・院内感染管理者（感染制御実践看護師） 1 名
- ・事務員 1 名

施設管理グループ

- ・事務員 5 名
- ・電気主任技術者 1 名（非常勤）

2. 業務内容

- ・医療安全管理委員会の開催（毎月）
- ・リスクマネージャー専門部会の開催（毎週）
- ・全リスクマネージャー会議の開催
- ・I/A レポートの集計、報告、分析、対策、実施状況の評価
- ・医療安全巡視の実施
- ・医療安全研修会開催（全職員対象年間 2 回以上）
- ・医療安全キャンペーンの実施
4 月～7 月 「薬剤誤投与防止 6R 確認の徹底」
8 月～1 月 「本人確認の徹底」
2 月～3 月 「指さし呼称の徹底」
- ・医療安全地域対策連携加算相互評価
9 月 当院が伊勢崎市民病院を訪問審査
12 月 群馬中央病院が当院を訪問審査
12 月 当院が篠塚病院、吉井中央診療所を訪問審査
- ・院内感染予防対策委員会開催（毎月）
- ・ICT 活動（毎週 ICT ラウンド週 1 回、会議 1 回）

- ・AST 活動（毎週カンファレンスを実施）
- ・藤岡地域感染防止対策カンファレンス
（第1回6/17 第2回9/16 第3回12/16）
- ・感染対策地域連携加算相互評価
（審査：太田記念病院 訪問：東邦病院）
- ・院内感染対策研修会（全職員対象年2回）
- ・地域周辺の病院・施設からのコンサルテーション対応
- ・職員手帳発行準備
- ・医療安全患者文化アンケートの実施（全職員対象）
- ・地震災害総合訓練(10/27)
- ・火災避難訓練(3/9)
- ・委託、賃借等契約業務
- ・施設設備の維持
- ・その他資産の管理業務

3. 研修業績

研修会の開催

【医療安全研修会】

- ①医療安全必須研修会 職員全員対象
前期 6月 「患者・家族のとのコミュニケーション」
後期 9月 「外来での患者取り違いによる誤注射」
- ②新入職者-職種別-実習生関連の医療安全研修会
- ③新人看護師研修
- ④看護補助者医療安全研修
- ⑤診療部医療安全研修会

【感染防止対策研修】

- ①感染対策必須研修会 職員全員対象
前期 6月 感染対策とフィットテスト
後期 1月 水回りの感染対策
- ②院内感染対策研修会
- ③新入職者-職種別-実習生関連の感染対策研修会（4月）
- ④標準予防策（新入職看護職員）（4月）
- ⑤中途採用者研修（適宜）
- ⑥感染対策の基本と手洗い（実習生）
- ⑦リハビリテーション室 PPE 着脱訓練 新型コロナウイルス感染対策
- ⑧看護補助業務における感染管理 新型コロナウイルス感染対策（1月）
- ⑨診療部会 感染対策研修（6月 3月）
- ⑩薬剤部 PPE 着脱訓練
- ⑪委託業者 病院における感染対策

4. 今後の目標

- ・医療安全管理指針、医療安全マニュアル、感染対策マニュアルの改訂
- ・薬剤関連エラー防止、ドレーンチューブエラー防止、患者誤認エラー防止の徹底
- ・災害対策（BCP、マニュアル、一斉連絡配信システム登録者の整備）
- ・医療安全対策加算・感染防止対策加算、施設基準継続の取り組み
- ・安全管理センターにおける業務整理と改善
- ・施設設備管理の徹底
- ・節電対策

8. 患者支援センター

1. スタッフ

センター長（副院長兼患者支援センター長） 1名
課長兼事務統括 1名
グループリーダー（相談員） 1名・副看護師長 1名
看護師 8名（再任用 2名・会計年度任用職員 1名含む）
相談員 7名
事務員 4名（再任用 1名・派遣 1名含む）

2. 業務の現況

入退院支援業務、地域医療連携業務、医療・福祉相談業務
・病床管理と入退院のコーディネート
・紹介患者に関すること
・地域医療機関及び福祉施設等との連携
・医療・福祉の相談及び患者支
・病院ボランティアの対応とサポート

3. 今後の目標

・地域の医療機関及び介護施設職員との入院時・退院前カンファレンスの体制をつくり、顔の見える連携を構築する。
・紹介率、逆紹介率の向上を図る。
・入退院支援室、総合相談室における患者支援の推進
・スタッフの教育及び技術の向上を図り、患者さんやそのご家族に寄り添った支援と効率的な業務遂行との両立

(文責：横坂 政彦)

9. 緩和ケアセンター

緩和ケアセンターは、生命を脅かす病に関連する問題に直面している患者やその家族に対して、診断時からより迅速かつ適切な緩和ケアを切れ目なく提供するために、医師・看護師を中心とし、多職種が連携した質の高いチーム医療に努めている。

1. スタッフ

緩和ケアセンター長（専任医師） 1名
専従看護師 1名、専任看護師 1名、医療相談員 1名、兼任看護師 3名

2. 業務内容

- 1) 緩和ケアチームが中心となり、身体的症状や心の痛み、経済的問題など患者や家族が抱えている苦痛の軽減に向けた支援を行う。
- 2) がんに関する高次の相談に対応し、正しいがん情報を提供することで患者や家族が正しい判断や選択ができるよう支援する。
- 3) 緩和ケア外来やがん看護外来、がんサロンを実施する。
- 4) がんの地域連携パスの運用を行う。
- 5) 緩和ケア病床の運営、管理を行う。

- 6) 地域の医療機関の診療従事者と協働した緩和ケアにおける連携協力に関するカンファレンスを定期開催する。
- 7) 連携協力している医療機関等を対象にした患者の診療情報にかかる相談等、いつでも連絡が取れる体制を整備する。
- 8) 院内外の医療従事者に対する研修会等の運営を行う。
- 9) 緩和ケアセンターの運営に関するカンファレンスを定期開催する。
- 10) 倫理的問題に対しチームで検討を行い、より良い支援に繋げる。

3. 今後の目標

- ・質の高い緩和ケアを遂行するため、外来通院患者のスクリーニングを継続し早期介入に努める。
- ・緩和ケアチームカンファレンスを充実させ、院内外との多職種連携を強化していく。
- ・緩和ケア病床を活用した在宅療養や在宅看取りに繋がる支援を行う。
- ・グリーフケアの充実を図る。
- ・院内外医療スタッフや市民を対象としたがん医療における知識や技術の向上につながる研修会（WEB研修を含む）を企画する。

（文責：古池 きよみ）

10. しらさぎの里管理課

1. スタッフ

課長 他7名

2. 業務の現況

管理

事務3名 庶務・経理・用度・修繕・設備・車両等 施設全般の管理業務

介護老人保健施設

- ・支援相談員1名 入退所の調整や入所相談など

- ・介護支援専門員1名 入所者の療養計画の作成や家族への連絡・調整など

居宅介護支援事業所

介護支援専門員3名 在宅高齢者の介護計画やサービス事業者との調整など

3. 今後の目標

利用者数（年間平均利用者数）の増加

入所者 一日平均人数：74人

通所者 一日平均人数：35人

居宅 一月平均人数：117人

接遇の向上

加算型(在宅復帰・在宅療養支援機能加算Ⅰ算定)の継続

施設内感染防止対策の常態化

（文責：新井 恵介）

病 院 行 事

病院行事

1. 主な病院行事

実施年月日	行 事 名
令和3年4月1日	辞令交付式、新採用職員研修 臨床研修医オリエンテーション
5月29日	職員採用試験
6月2日	第2回組合議会臨時会
7月17日	職員採用試験
7月31日	職員採用試験
8月11日	令和3年度臨床研修医採用試験
8月23日	令和2年度決算審査
10月16日	職員採用試験
10月27日	地震災害総合訓練
11月15日	職員永年勤続者表彰
11月16日	第3回組合議会定例会
12月14日	臨床研修医症例検討会
12月18日	職員採用試験
12月28日	仕事納め
令和4年1月4日	仕事始め、辞令交付式
2月5日	職員採用試験
2月14日	第1回組合議会定例会
2月22日	職員採用予定者説明会
2月26日	職員採用試験
3月9日	火災災害避難訓練
3月31日	定年退職者等辞令交付式

2. 職員健康管理

実施年月日	内 容
令和3年6月29日～7月30日	HBワクチン接種
6月16日～6月30日	前期職員健康診断
8月6日～9月3日	前期電離放射線健康診断
11月8日～12月3日	インフルエンザワクチン接種（混合）
1月11日～1月31日	後期職員健康診断
令和4年2月16日～3月25日	後期電離放射線健康診断

3. 職員共済行事

実施年月日	行 事 名
令和3年6月16日	理事会・評議員会
6月20日	群馬県公的病院バレーボール大会（藤岡市）※中止
9月18日	西毛地区公立病院親善野球大会（藤岡市）※中止
11月15日～11月30日	厚生部 勤続10年記念品配布
令和4年3月18日	理事会・評議員会

<令和3年度> 病院年報
発行日 令和5年3月
発行 多野藤岡医療事務市町村組合
公立藤岡総合病院
〒375-8503 群馬県藤岡市中栗須813番地1
TEL 0274-22-3311
企画・編集 経営管理部 企画財政課

